

# 年報

平成29年度

Annual Report of Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute



## 中小企業が新たなイノベーションを創出するために

平成 29 年度は、第三期中期計画（平成 28 年度～平成 32 年度）の 2 年目として、重点研究分野である「環境・エネルギー」、「生活技術・ヘルスケア」、「機能性材料」、「安全・安心」の研究開発事業体制を強化し、中小企業の皆さまにご活用いただける技術シーズの創出に努めてまいりました。また、中小企業の IoT 化支援事業、航空機産業への参入支援、医療機器産業への参入支援など、新たな取り組みを開始いたしました。

中小企業における IoT 活用による生産性の向上や IoT 関連の製品開発を支援するための中小企業の IoT 化支援事業では、都産技研が開発経費を負担して共同で製品開発を行う「公募型共同研究事業」を実施しています。現在、8 テーマの共同研究が進んでいます。

航空機産業参入支援事業では、高い技術的波及効果が期待される航空機関連産業への参入を目指す中小企業を支援するため、平成 29 年 12 月、航空機産業支援室を開設しました。ASTM などの国際規格に準拠した試験を行うことができる評価装置を導入し、試作支援を実施しています。

医療機器産業への参入支援事業では、都産技研、東京都医工連携 HUB 機構、公益財団法人東京都中小企業振興公社の 3 機関が連携し、持続的な成長が見込まれる医療機器産業への都内中小企業の参入を図るため、コーディネータによる企業訪問などを通じ、医工連携の取り組みを行っています。

平成 27 年度に開始し、3 年目を迎えたロボット産業活性化事業では、都産技研が開発した多言語案内ロボットを使用し、都庁舎にて来庁者向けの都庁舎案内や観光案内の実証実験を実施しました。商業施設や美術館でも案内ロボットの実証実験が進んでいます。また公募型共同研究開発事業も継続して実施し、平成 29 年度は新たに応募された 20 テーマの中から 6 テーマを採択しました。

平成 29 年度は、主要事業である依頼試験は約 14 万 3 千件、機器利用は約 14 万 4 千件、技術相談は約 13 万 6 千件と、昨年度同様の高い実績となりました。

中小企業が新たなイノベーションを創出するために、都産技研は技術相談や依頼試験、機器利用、研究開発など技術面でのサポートに引き続き注力いたします。これらの支援に加え、企業間のマッチングを促進する「東京イノベーション発信交流会」や技術との出会いの場を提供する「TIRI クロスミーティング」を開催するなど、中小企業の皆さまが外部と連携するためのさまざまな取り組みを進めてまいります。中小企業の皆さま、関係機関の皆さまには、一層のご利用・ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

平成 30 年 6 月

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
理事長 奥村 次徳

# 平成 29 年度 東京都立産業技術研究センター年報 目 次

1. 概要	
1.1 概要	1
1.2 組織	2
2. 研究開発の推進	
2.1 基盤研究	3
2.2 共同研究	8
2.3 外部資金導入研究・調査	10
2.3.1 提案公募型研究	10
2.3.2 受託研究	12
2.4 プロジェクト事業	12
2.4.1 ロボット産業活性化事業	12
2.4.2 中小企業の IoT 化支援事業	14
2.4.3 障害者スポーツ研究開発推進事業	15
2.4.4 航空機産業への参入支援事業	16
2.5 生活関連産業支援	18
2.6 外部発表	19
2.7 職員の受賞	36
3. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援	
3.1 技術相談	38
3.1.1 技術相談	38
3.1.2 総合支援窓口	39
3.1.3 専門相談員	40
3.1.4 実地技術支援事業	40
3.2 依頼試験	42
3.2.1 依頼試験	42
3.2.2 オーダーメイド試験	45
3.2.3 校正事業者および試験所認定制度への取り組み	45
3.2.4 環境計量証明事業の登録	46
3.3 機器整備	47
3.3.1 機器整備一覧	47
3.3.2 経済産業省平成 28 年度補正予算事業による機器整備 およびその取り組み	48
3.3.3 経済産業省平成 29 年度補正予算事業による機器整備	49
3.4 機器利用	50
3.4.1 機器利用ライセンス制度	51

3.4.2	機器利用可能情報およびインターネット経由での 予約申し込み受け付けの提供	52
3.5	災害復興支援	53
3.5.1	都内中小企業および被災地企業の利用料金の減免	53
3.5.2	工業製品等の放射線量測定試験	53
3.5.3	東京都との協定に基づく放射線量測定試験	54
3.5.4	公設試験研究機関との震災復興に関する連携事業	54
3.6	高付加価値開発支援	55
3.6.1	3Dものづくりセクター	55
3.6.2	先端材料開発セクター	56
3.6.3	複合素材開発セクター	57
3.6.4	城東支所	58
3.6.5	オーダーメイド開発支援	59
3.6.6	製品開発支援ラボ	59
3.6.7	共同研究開発室	61
3.7	品質評価支援（実証試験セクター）	61
3.8	技術経営支援	62
3.8.1	知的財産権の取得	62
3.8.2	技術審査	92
3.8.3	海外展開技術支援	93
4.	多様な主体による連携	
4.1	産学公金連携	99
4.1.1	東京イノベーションハブの活用	99
4.1.2	マッチングの場の提供	100
4.1.3	異業種交流事業	101
4.1.4	業種別交流会	102
4.1.5	技術研究会	103
4.2	行政等支援機関連携	104
4.2.1	協定・覚書締結一覧	104
4.2.2	区市町村などとの連携	106
4.2.3	金融機関との連携	108
4.2.4	大学・研究機関等との連携	109
4.2.5	首都圏公設試験研究機関との連携	110
4.2.6	公益財団法人東京都中小企業振興公社等との連携	112
4.2.7	産業技術連携推進会議	113
4.2.8	学協会連携事業	116
5.	東京の産業を支える産業人材の育成	
5.1	技術セミナー・講習会	118
5.2	オーダーメイドセミナー	125

5.3	講師・委員等の派遣	126
5.3.1	委員等の派遣	126
5.3.2	講師等の派遣	126
5.4	インターンシップなどの受け入れ	127
5.4.1	インターンシップの受け入れ	127
5.4.2	研修学生の受け入れ	128
6.	情報発信・情報提供の推進	
6.1	イベント開催	129
6.1.1	TIRI クロスミーティング	129
6.1.2	施設公開	133
6.1.3	産業交流展	135
6.1.4	その他イベント	135
6.2	見学	136
6.3	展示会出展およびセミナーの開催	136
6.3.1	展示会出展	136
6.3.2	ものづくりセミナー	139
6.4	刊行物	140
6.4.1	刊行物	140
6.4.2	年報	141
6.4.3	TIRI NEWS	141
6.5	都産技研ウェブサイト	142
6.6	都産技研メールニュース	143
6.7	マスコミ報道	144
6.8	図書室	161
7.	業務運営	
7.1	組織運営	163
7.1.1	都産技研戦略ロードマップ	163
7.1.2	業務改革	163
7.1.3	人材育成	164
7.2	都産技研情報システム	165
7.2.1	概要	165
7.2.2	業務運営	165
7.3	業務実績報告書と業務実績評価	166
7.3.1	業務実績報告書の提出	166
7.3.2	業務実績評価	166
7.4	施設整備	167
7.4.1	本部	167
7.4.2	城東支所	167
7.4.3	墨田支所 生活技術開発セクター	168

7.4.4	城南支所	168
7.4.5	多摩テクノプラザ	168
7.5	安全衛生管理	169
7.5.1	放射線安全管理	169
7.5.2	安全衛生管理	171
7.5.3	リスクマネジメント	173
7.5.4	化学物質等管理	173
7.6	情報開示	173

## 資料

1	沿革	174
2	施設	175
3	東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会	183
4	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章	184
5	環境方針	185
6	リスクマネジメントに関する基本方針	186
7	第三期中期計画	187
8	平成 29 年度計画	200
9	職員名簿	211

## 1. 概 要

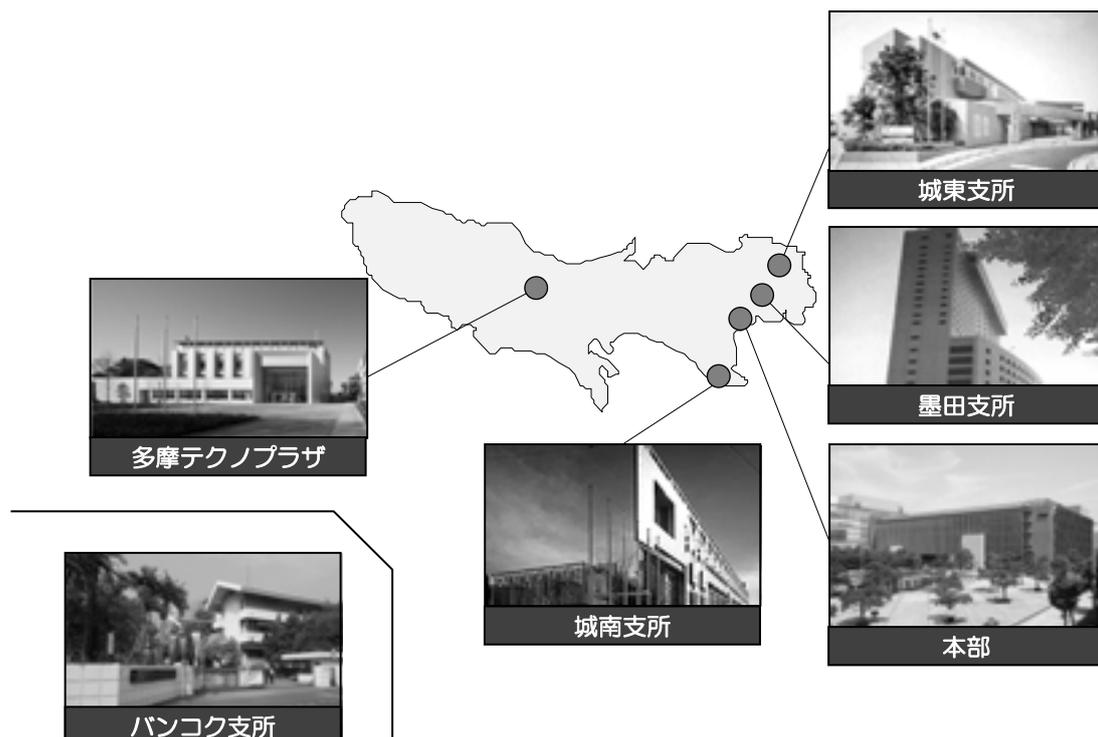
### 1.1 概要

東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、平成 18 年 4 月に全国に先駆けて地方独立行政法人へ移行した公設試験研究機関（以下、「公設試」という。）である。平成 28 年度から第三期中期計画期間を開始し、平成 29 年度は 2 年目にあたる。第三期では、第二期で得られた事業成果を有効活用しつつ、研究開発活動によって東京の成長産業支援を図るとともに、開発型中小企業支援をより充実させる。この第三期においては、従来以上に都内中小企業の技術支援を強化すべく、5 つの方針に基づき活動している。

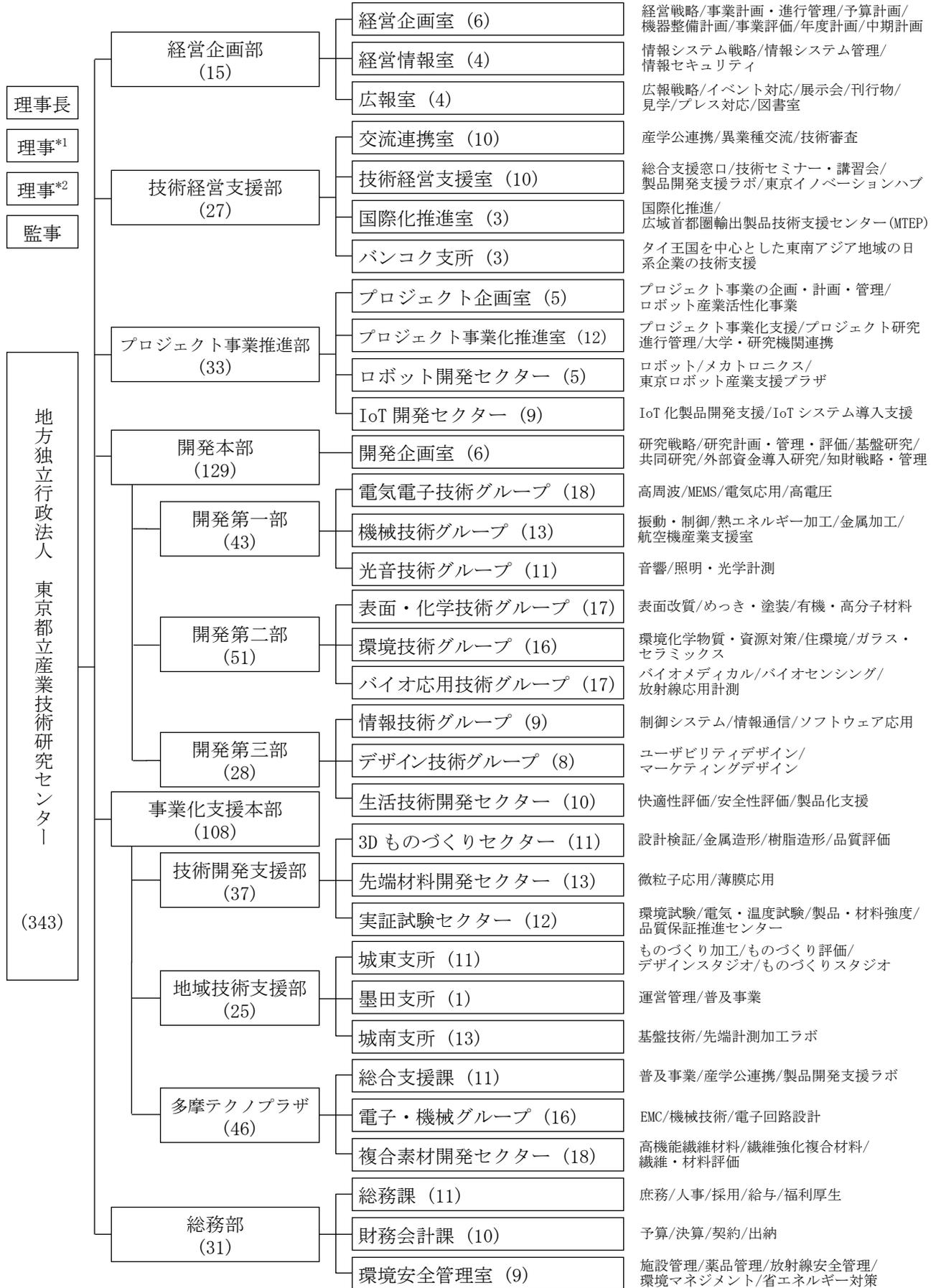
- (1) 研究開発活動による東京の成長産業支援
- (2) プロダクトイノベーションの推進による開発型中小企業の支援
- (3) 中小企業の海外展開を支える技術支援
- (4) 多様な機関との交流連携の推進
- (5) 高度な産業人材の育成

平成 29 年度は、「ロボット産業活性化事業」に加え、新たに「中小企業の IoT 化支援事業」、「航空機産業への参入支援事業」、「障害者スポーツ研究開発推進事業」を開始し、事業の着実な実施に向けて、プロジェクト事業推進部を発足させ、運営体制を整備した。また、都委託事業として「医療機器産業への参入支援」「医療関連機器等の海外展開支援」の取り組みを開始した。さらに、城東・城北地域のものづくり支援を強化するため、平成 29 年 10 月より城東支所にデザイン・試作・評価まで一貫したものづくり支援を展開する「デザインスタジオ」、「ものづくりスタジオ」を開設した。

都産技研は都民の期待に応えつつ、中小企業に対する事業化支援、研究開発、技術移転、人材育成などの総合的な技術支援によって、東京の産業発展と都民生活の向上を目指している。



1.2 組織



注1：( )内の数字は職員数。ワイドキャリア (12日型、時間型)を含む。(平成30年3月31日現在)

注2：理事\*1は開発本部長を兼務。理事\*2は事業化支援本部長および地域技術支援本部長を兼務。経営企画部長は経営情報室長、技術経営支援部長は国際化推進室長、特命担当部長はIoT 開発セクター長、開発第三部長はデザイン技術グループ長、技術開発支援部長は実証試験セクター長および3D ものづくりセクター長、多摩テクノプラザ所長は電子・機械グループ長をそれぞれ兼務。

## 2. 研究開発の推進

平成 28 年度から始まった第三期中期計画では、東京の将来の活力を支える成長産業分野である「環境・エネルギー」、「生活技術・ヘルスケア」、「機能性材料」、「安全・安心」の 4 つの技術分野を重点として、研究開発活動によって都内中小企業の新事業への展開などを促進する。

平成 29 年度は、基盤研究 94 テーマ、共同研究 46 テーマ、競争的資金導入研究 40 テーマ、受託研究 15 件を実施した。これらの研究成果については、国内外の学協会などにおいて公表と普及に努めた。

## 2.1 基盤研究……………94 テーマ

中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術的課題の解決に必要なシーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する都産技研独自の研究である。

平成 29 年度開始分

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
環境・エネルギー分野				
1	超低摩擦摺動の発現とその実用技術開発	表面・化学技術G 先端材料開発S	川口雅弘、徳田祐樹、 木下健司 渡邊禎之	H29. 5 ~ H31. 3
2	天然芳香族化合物資源を用いた有用化学物質への変換の検討	表面・化学技術G	木下健司、菊池有加、 篠田 勉	H29. 5 ~ H30. 3
3	LowEガラスからの銀・ガラス回収技術の開発	環境技術G	亀崎 悠、中澤亮二、 平井和彦	H29. 5 ~ H30. 3
4	複雑形状を有するクロムめっき製品の六価クロム簡易抽出法の実用化	城東支所 環境技術G 表面・化学技術G	安藤恵理、小野澤明良 中澤亮二 桑原聡士	H29. 5 ~ H30. 3
5	温間・熱間領域におけるドライプレス金型材料のトライボ特性および塑性変形挙動の解明	城南支所 機械技術G	玉置賢次、平野康之 中村健太、奥出裕亮	H29. 5 ~ H30. 3
生活技術・ヘルスケア分野				
6	複数音源を有する機器騒音に対応した心理音響評価手法の開発	光音技術G	宮入 徹、服部 遊、 神田浩一	H29. 5 ~ H30. 3
7	改良型レーザーマイクロダイセクターと酵母由来可溶性因子Unfoldinによる加齢性蛋白凝集疾患群早期確定診断システムの開発とその波及効果	バイオ応用技術G	八谷如美、紋川 亮、 月精智子、瀧本悠貴	H29. 5 ~ H31. 3
8	タンパク質高透過性ゲル膜を有した隔離培養容器の開発	バイオ応用技術G 複合素材開発S	藤井恭子、大藪淑美、 柚木俊二、畑山博哉 榎本一郎	H29. 5 ~ H30. 3
9	防災インフラ製品開発に役立つデザイン技術	デザイン技術G	森 豊史、加藤貴司、 橋本みゆき	H29. 5 ~ H30. 3
10	国際標準指定色を用いたP・D・C型色覚者のための識別しやすい色の研究	デザイン技術G	角坂麗子、酒井日出子	H29. 5 ~ H30. 3
11	導電性テキスタイルのセンサープローブへの応用展開	生活技術開発S	添田 心、後濱龍太、 古田博一、山田 巧	H29. 5 ~ H30. 3
12	ヒト由来不快臭気成分に対する指標物質の探索	生活技術開発S	佐々木直里	H29. 5 ~ H30. 3
機能性材料分野				
13	粉末冶金法を用いたIMC形成によるマグネシウム合金の耐熱性	機械技術G	岩岡 拓、青沼昌幸	H29. 5 ~ H30. 3

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
14	硬質膜を用いた絞り加工における加工油添加剤の作用機構の解明	機械技術G	中村健太、齋藤庸賀	H29. 5 ~ H30. 3
15	Ti-6Al-4V合金板の温間プレス成形法の開発	機械技術G	奥出裕亮、岩岡 拓、 中村 勲	H29. 5 ~ H30. 3
16	純チタンの深絞り加工における凝着抑制のための最適金型条件の導出	機械技術G	齋藤庸賀、中村健太、 奥出裕亮	H29. 5 ~ H30. 3
17	アークアシストグロー放電プラズマによるステンレス鋼の表面改質	機械技術G 表面・化学技術G	中村 勲 寺西義一	H29. 5 ~ H30. 3
18	微細粒子添加摩擦攪拌プロセスを用いたマグネシウム合金鋳造材の熱処理の効率化	機械技術G	猿渡直洋、岩岡 拓、 中村 勲、青沼昌幸	H29. 5 ~ H30. 3
19	角度選択性を有する微細光吸収構造の原理実証と分光特性の改善	光音技術G 電気電子技術G	磯田和貴、海老澤瑞枝 永田晃基	H29. 5 ~ H30. 3
20	銀ナノ粒子ペーストの光学的機能の探索と応用	光音技術G 先端材料開発S 生活技術開発S	海老澤瑞枝、平 健吾、 磯田和貴 小林宏輝 山口隆志	H29. 5 ~ H31. 3
21	セルロースナノファイバーの低温特性の解明と化学処理による高機能化	表面・化学技術G	佐野 森、安田 健、 篠田 勉、佐熊範和	H29. 5 ~ H30. 3
22	有害物を含まない暖色系ガラスフリットの開発	環境技術G 城南支所	宮宅ゆみ子、吉野 徹 田中 実	H29. 5 ~ H30. 3
23	フィラー充填材料の物性評価と構造解析	生活技術開発S 複合素材開発S	飛澤泰樹 唐木由佑	H29. 5 ~ H31. 3
24	金属積層造形における残留応力低減プロセスの開発	3DものづくりS	大久保 智、千葉浩行、 藤巻研吾	H29. 5 ~ H30. 3
25	アウトラインレーザーパスを組み合わせた金属 AM 造形品の表面研磨	3DものづくりS	藤巻研吾、千葉浩行、 大久保 智	H29. 5 ~ H30. 3
26	金属積層造形における造形精度向上	3DものづくりS	千葉浩行、藤巻研吾、 大久保 智	H29. 5 ~ H30. 3
27	樹脂AM部品表面への導電パターン作製	3DものづくりS 表面・化学技術G	小林隆一 竹村昌太、桑原聡士	H29. 5 ~ H30. 3
28	酸化スズ系透明導電膜のウェットエッチング技術の開発	先端材料開発S	小川大輔	H29. 5 ~ H30. 3
29	スクリーン印刷による機能性パターンニング	先端材料開発S 光音技術G 電子電気技術G	並木宏允、小川大輔、 森河和雄、小林宏輝、 藤巻康人、染川正一、 清水研一 海老澤瑞枝 宮下惟人	H29. 5 ~ H30. 3
30	微細カーボンナイトライド系光触媒の開発	先端材料開発S	染川正一、渡辺洋人	H29. 5 ~ H30. 3
31	新規p型有機半導体材料の開発	先端材料開発S	小汲佳祐	H29. 5 ~ H30. 3
32	機能性セラミック微粒子の分散技術開発	先端材料開発S 光音技術G 表面・化学技術G	小林宏輝、佐熊範和、 立花直樹、柳 捷凡、 森河和雄 海老澤瑞枝 安田 健	H29. 5 ~ H30. 3
33	ナノファイバーを用いた粒子設計による機能性材料の創製	先端材料開発S	柳 捷凡	H29. 5 ~ H31. 3
34	有機EL用の新規発光物質の開発	先端材料開発S 城東支所	藤巻康人、林 孝星 小金井誠司	H29. 5 ~ H30. 3
35	CFRP用コンジットコーティング剤における各種フィラーの効果	城東支所 電子・機械G 複合素材開発S	小野澤明良、安藤恵理 西川康博 杉森博和	H29. 5 ~ H30. 3
36	パルス放電を用いたGD-MSによる非導電性試料中の微量不純物定量法の開発	城南支所	山田健太郎、湯川泰之	H29. 5 ~ H30. 3
37	高分子系複合材料のトライポロジーに及ぼす繊維表面処理効果に関する研究	城南支所	井上 潤、梶山哲人、 竹澤 勉	H29. 5 ~ H30. 3

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
38	LA-ICPMS法による鉛フリーハンダ実装部の鉛の分析	城南支所	林 英男、湯川泰之	H29. 5 ~ H30. 3
39	耐衝撃性CFRPのオートクレーブ成形法および実用性の検討	複合素材開発S 電子・機械G 生活技術開発S	武田浩司 西川康博 飛澤泰樹	H29. 5 ~ H30. 3
40	金属-CFRP接合部における電気化学反応を利用した陽イオン処理法の開発	複合素材開発S	杉森博和、棚木敏幸	H29. 5 ~ H30. 3
安全・安心分野				
41	積層セラミック技術を用いたガスセンサの開発	電気電子技術G	山岡英彦、小宮一毅	H29. 5 ~ H30. 3
42	多重通信を可能とするOAM波発生用給電回路の開発	電気電子技術G	渡部雄太、山岡英彦、 藤原康平	H29. 5 ~ H30. 3
43	電子状態計算に基づく熱電材料の探索と設計	電気電子技術G	太田優一	H29. 5 ~ H30. 3
44	ガス選択膜を付与したLSPRセンサの開発	電気電子技術G バイオ応用技術G	永田晃基 瀧本悠貴、紋川 亮	H29. 5 ~ H30. 3
45	ケーシング表面形状によるシールレスポンプのスラスト低減	機械技術G 城南支所	小西 毅 平野康之	H29. 5 ~ H30. 3
46	アクティブマスダンパを用いた振動制御	機械技術G 経営情報室 実証試験S	岩田雄介、福田良司 志水 匠 林 夢愛子	H29. 5 ~ H30. 3
47	スペクトル解析に基づくX線インライン検査の高識別度化	バイオ応用技術G	河原大吾、片岡憲昭	H29. 5 ~ H30. 3
48	電子線照射における薄層内部の線量評価法の開発	バイオ応用技術G	片岡憲昭、河原大吾、 関口正之	H29. 5 ~ H30. 3
49	セキュリティを考慮したビッグデータ共有方法の開発	情報技術G	大平倫宏	H29. 5 ~ H30. 3
50	広角カメラ映像からの人物動作認識手法に関する研究	情報技術G	三木大輔、阿部真也	H29. 5 ~ H30. 3
51	より高機能なデジタル回路合成を可能とする高位合成手法の開発	情報技術G	岡部 忠	H29. 5 ~ H30. 3
52	木材上ワッシャーのめり込みを活かした方杖接合部制振機構の開発	実証試験S 交流連携室	松原独歩 島田勝広	H29. 5 ~ H30. 3
53	高温下で使用されるMg合金鋳造材における締結条件の最適化	実証試験S	小船諭史、新垣 翔	H29. 5 ~ H30. 3
54	X線CT装置を用いた内部寸法・肉厚測定に関する研究	城南支所	竹澤 勉、樋口英一	H29. 5 ~ H30. 3
55	挟み込み構造のワイヤレス充電システムの開発	電子・機械G プロジェクト 事業化推進室	秋山美郷、佐野宏靖、 大森 学 佐藤 研	H29. 5 ~ H30. 3
56	基板に実装したICの耐ノイズ性能評価システム開発	電子・機械G	佐々木秀勝、佐野宏靖、 大森 学	H29. 5 ~ H30. 3
57	マイクロ波帯電波抑制方法の開発	電子・機械G 複合素材開発S 電気電子技術G	福田純子、大森 学 伊東洋一 上野武司	H29. 5 ~ H30. 3
58	誘電体基板による電波吸収構造の開発	電子・機械G 電気電子技術G	小畑 輝、高橋文緒、 大森 学 渡部雄太	H29. 5 ~ H30. 3
ものづくり要素技術				
59	物理強化ガラスの接触損傷による破壊の破壊面解析的研究	環境技術G	増田優子、上部隆男	H29. 5 ~ H30. 3
60	比較測定用校正システムの開発	3DものづくりS 電子・機械G	村上祐一、中村弘史 大西 徹	H29. 5 ~ H30. 3
61	AMによる造形品の表面性状評価方法の検討	3DものづくりS	古杉美幸、小林隆一、 千葉浩行	H29. 5 ~ H30. 3

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
62	弾性率変化を用いた高効率研削砥石の開発	電子・機械G	鈴木悠矢、久慈俊夫	H29. 5～H30. 3
63	東京染小紋型紙の微細加工	複合素材開発S 電子・機械G	岡田明子、小柴多佳子、 中島 茂、池田善光 高松聡裕	H29. 5～H30. 3

## 平成 28 年度開始分

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
環境・エネルギー分野				
64	小容量BLDCモータドライバの開発	電気電子技術G	西澤裕輔、重松宏志	H28.10～H29. 9
65	軽量な建材の小試料による音響透過損失予測手法の確立	光音技術G	西沢啓子、渡辺茂幸、 神田浩一	H28.10～H29. 9
66	熱処理木材の表層劣化とその防止	表面・化学技術G	村井まどか、石田祐也、 佐熊範和、木下健司	H28.10～H30. 3
67	電子部品用バレルクエン酸ニッケルめっき浴における金属不純物の影響	表面・化学技術G	桑原聡士、竹村昌太、 土井 正	H28.10～H29. 9
68	製品化に向けた低温VOC処理触媒の最適化	環境技術G 先端材料開発S	井上研一郎 染川正一	H28.10～H30. 3
69	RoHS指令に対応したフタル酸エステル類分析法の適用範囲拡大	環境技術G 表面・化学技術G 広報室	平井和彦、中澤亮二、 亀崎 悠 木下健司 池田紗織	H28.10～H29. 9
生活技術・ヘルスケア分野				
70	観察工学を用いた生活製品に対する外国人の潜在ニーズ抽出研究	デザイン技術G 生活技術開発S	橋本みゆき、中田恵子、 小池真生 大島浩幸	H28.10～H29. 9
機能性材料分野				
71	陽極酸化処理を施したチタン及びチタン合金の深絞り加工	機械技術G	奥出裕亮、中村健太、 中村 勲	H28.10～H30. 3
72	ほうろう用釉薬の改良	環境技術G 表面・化学技術G 情報技術G 城南支所	吉野 徹、宮宅ゆみ子 村井まどか 富山真一 湯川泰之	H28.10～H30. 3
73	木粉を用いた複合材のバインダーが及ぼす影響	デザイン技術G 実証試験S 先端材料開発S 交流連携室	酒井日出子 松原独歩 藤巻康人 島田勝広	H28.10～H29. 9
74	貴金属フリー酸素発生触媒の開発	先端材料開発S 城南支所	立花直樹、小林宏輝、 森河和雄、染川正一 湯川泰之	H28.10～H29. 9
安全・安心分野				
75	マイクロレンズデバイスの開発	電気電子技術G	宮下惟人、山岡英彦、 永田晃基	H28.10～H29. 9
76	フェイズドアレイアンテナに向けた要素技術の開発	経営情報室 電気電子技術G	近藤 崇 藤原康平	H28.10～H29. 9
77	放射線センサーの実用化要素技術の開発	電気電子技術G	小宮一毅、藤原康平	H28.10～H29. 9
78	超音波疲労試験の最適試験片形状の提案	実証試験S	新垣 翔、松原独歩、 小船諭史	H28.10～H29. 9
ものづくり要素技術				
79	レーザー焼結技術の省エネルギー化および低コスト化に向けた新手法の確立	3DものづくりS 表面・化学技術G 環境技術G 城東支所	山内友貴 安田 健 吉野 徹 木暮尊志、小金井誠司	H28.10～H29. 9
80	種々の造形条件で作製した金属AM材への熱処理最適化	3DものづくりS	大久保 智、千葉浩行、 藤巻研吾	H28.10～H29. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
81	VCMMにおける不確かさ推定の検証	3DものづくりS 城南支所	中西正一、三浦由佳 樋口英一	H28.10～H30.3
82	キセノンフラッシュアナライザーを用いた比熱容量測定方法の確立	実証試験S	佐々木正史、沼尻治彦、 倉持幸佑	H28.10～H29.9
83	遮断電流測定手法の確立	実証試験S	倉持幸佑、佐々木正史、 沼尻治彦	H28.10～H29.9
84	非接触三次元測定機の精度チェック用ゲージの開発	城南支所 3DものづくりS	樋口英一 中西正一、三浦由佳、 村上祐一	H28.10～H29.9
85	難加工材用ダイヤモンド工具の急速共擦り研磨法の開発	城南支所 機械技術G 3DものづくりS	平野康之 中村健太 藤巻研吾	H28.10～H30.3
86	現場環境における三次元測定機のレーザ干渉測長器を用いた温度補正の評価	電子・機械G 3DものづくりS	大西 徹 村上祐一	H28.10～H30.3
87	低周波ノイズを測定可能とする広帯域EMI簡易測定用アンテナの開発	電子・機械G 3DものづくりS	高橋文緒、大森 学、 佐野宏靖 村上祐一	H28.10～H30.3
88	レーザ焼結による造形物の電氣的絶縁性能評価	電気電子技術G 3DものづくりS	新井宏章 山内友貴	H28.10～H29.9
89	超音波探傷法を応用した金属材料の加工変質層検出法の確立	機械技術G	西村信司、伊藤 清、 青沼昌幸	H28.10～H30.3
90	コンピュータ合成ホログラム(CGH)を用いた平面精度の測定方法および精度評価方法の検討	3DものづくりS	中村弘史	H28.10～H29.9
91	LA-ICP-MSによる元素イメージング分析	城南支所	林 英男、湯川泰之	H28.10～H30.3
92	ナットを用いないねじ締付け時の座面摩擦係数測定方法の検討	城東支所	櫻庭健一郎	H28.10～H30.3

## 平成 27 年度開始分（継続課題）

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
バイオ応用分野				
93	【プロジェクト型研究】 Collagen-Fiber-Reinforced Collagen(CFRC)技術の開発：医療機器開発 における都産技研モデルの確立にむけて	バイオ応用技術G 光音技術G 電気電子技術G 城南支所	柚木俊二、成田武文、 大藪淑美 海老澤瑞枝 豊島克久 玉置賢次	H27.10～H29.9
94	【プロジェクト型研究】 高感度かつ高精度なバイオマーカー探索技 術の開発	バイオ応用技術G 3DものづくりS 城南支所 城東支所	紋川 亮、月精智子、 瀧本悠貴、八谷如美 中西正一 梶山哲人、樋口英一 上野明也	H27.10～H30.3

「G」グループの略、「S」セクターの略

## 2.2 共同研究・……………46 テーマ

企業や業界団体、大学、他の試験研究機関などと協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合して、応用研究や一步進んだ技術の事業化・製品化に向けた実用研究を共同で推進することにより、効果的かつ効率的な研究成果の実現を図る研究である。

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
1	ハイサイクルインサート成形のための新工程の開発	表面・化学技術G	安田 健、佐野 森	H29.11～H30. 9
2	分光型耐光性試験機の製品化に向けた改良	環境技術G 表面・化学技術G 光音技術G	濱野智子 村井まどか、石田祐也 澁谷孝幸	H29.11～H30. 9
3	ナノ薄膜表面加工技術を基にした新規培養基材の開発	バイオ応用技術G	八谷如美、紋川 亮	H29.11～H30. 9
4	中性子・X線デュアルビームCT開発に向けた探索研究	バイオ応用技術G	月精智子、木下真梨子、 瀧本悠貴、河原大吾、 片岡憲昭、紋川 亮	H29.11～H30. 9
5	局在プラズモン共鳴(LSPR)チップの量産化	バイオ応用技術G 電気電子技術G	紋川 亮、月精智子、 木下真梨子、瀧本悠貴 永田晃基	H29.11～H30. 9
6	硫化水素および二酸化硫黄センサの開発	バイオ応用技術G 電気電子技術G 環境技術G	瀧本悠貴、紋川 亮、 月精智子、木下真梨子 永田晃基 小林真大	H29.11～H30. 9
7	プログラマブルデバイスMRLDのアーキテクチャ評価基板の開発	情報技術G IoT開発S	岡部 忠 大原 衛	H29.11～H30. 9
8	粘菌アルゴリズムによる断線保障性に優れた避難経路の導出	情報技術G	吉次なぎ、阿部真也	H29.11～H30. 9
9	快適なコンプレッションウェア素材の開発	生活技術開発S	山田 巧	H29.11～H30. 9
10	X線CT装置におけるソフトウェアの開発	3DものづくりS バイオ応用技術G	中西正一、三浦由佳、 中村弘史、小林隆一、 大久保 智 月精智子、紋川 亮	H29.11～H30. 9
11	酵素の活性を蛍光検出可能な新規プローブ分子の創製	先端材料開発S	藤巻康人	H29.11～H30. 9
12	金属酸化物を活用した水素製造用八ニカム型Ni触媒の開発	先端材料開発S	染川正一、柳 捷凡	H29.11～H30. 9
13	環境有害物質モニタリング装置の開発	城南支所	梶山哲人、井上 潤	H29.11～H30. 9
14	土壌水分センサの開発	電子・機械G IoT開発S	佐野宏靖、高松聡裕、 秋山美郷、大森 学、 久慈俊夫 仲村将司	H29.11～H30. 9
15	高速回転体用円盤形炭素織物の開発	複合素材開発S 電子・機械G	窪寺健吾、武田浩司、 谷口昌平 高橋俊也	H29.11～H30. 9
16	RHIC加速器sPHENIX実験のためのシリコン検出器INTT用バスエクステンダの開発	経営情報室 電気電子技術G	近藤 崇 藤原康平	H29. 5～H30. 3
17	ミリ波を用いるIEEE802.11adおよび自動車衝突防止レーダー用評価システムの製品化	電気電子技術G	藤原康平、山岡英彦	H29. 5～H30. 3
18	移動体向け超広帯域無線通信および高精度レーダーの為に光・ミリ波変換装置の研究開発	電気電子技術G	藤原康平、時田幸一	H29. 5～H30. 3
19	ミリ波帯用無収縮LTCC基盤の開発	電気電子技術G	時田幸一、藤原康平、 山岡英彦	H29. 5～H30. 3
20	フライホイール型摩擦摩耗試験機の開発	表面・化学技術G 機械技術G	川口雅弘、徳田祐樹 福田良司	H29. 5～H30. 3

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
21	機能性薄膜の開発	表面・化学技術G 先端材料開発S	寺西義一 森河和雄	H29. 5 ~ H30. 3
22	排水規制に対応する垂鉛めっき排水処理技術の実用化	環境技術G 開発企画室 表面・化学技術G	森久保 諭、小坂幸夫、 榎本大佑 田熊保彦 西田 葵	H29. 5 ~ H30. 3
23	ブチレングリコール含有化粧品原料に含まれる微量タンパク質の簡易定量法の開発	バイオ応用技術G	藤井恭子、成田武文、 柚木俊二	H29. 5 ~ H30. 3
24	長期開存性を付与した自己拡張型ハイドロゲルス tent の創出と医学的有用性及び安全性の実証	バイオ応用技術G	永川栄泰、柚木俊二	H29. 5 ~ H30. 3
25	長寿命かつ高効率な酵素燃料電池開発における基盤技術の確立	バイオ応用技術G 複合素材開発S	紋川 亮、月精智子、 瀧本悠貴、木下真梨子 杉森博和	H29. 5 ~ H30. 3
26	フルカラープリント可能な植毛布グッズの開発	デザイン技術G 複合素材開発S	平山明浩、大泉幸乃 武田浩司、小柴多佳子	H29. 5 ~ H30. 3
27	高精度高速充填制御システムの開発	情報技術G	金田泰昌、村上知里	H29. 5 ~ H30. 3
28	座標測定機により測定された幾何偏差の信頼性検証	3DものづくりS	三浦由佳、中西正一	H29. 5 ~ H30. 3
29	遅延膨張性エトリンガイド生成の抑制メカニズムの検討および抑制材料の探索	先端材料開発S 環境技術G 表面・化学技術G	渡邊禎之 吉野 徹 菊池有加	H29. 5 ~ H30. 3
30	高出力高容量金属空気電池の開発	先端材料開発S 環境技術G	立花直樹、染川正一 亀崎 悠	H29. 5 ~ H30. 3
31	外観デザインにトポロジー最適化を活用したマイクロEVキッチンカーおよび二人乗り小型乗用車の開発	城東支所 デザイン技術G	上野明也 橋本みゆき	H29. 5 ~ H30. 3
32	高精度圧延ロール及びスリッターの熱処理シミュレーション	城東支所 実証試験S 機械技術G	木暮尊志 松原独歩 中村 勲	H29. 5 ~ H30. 3
33	一絨毛膜双胎における双胎間輸血症候群の低侵襲外科治療用胎児鏡の開発	城南支所 表面・化学技術G	梶山哲人、玉置賢次、 田中 実、平野康之、 井上 潤 安田 健	H29. 5 ~ H30. 3
34	緩み止めボルト・ナットの開発	電子・機械G 実証試験S	西川康博 小船論史	H29. 5 ~ H30. 3
35	熱硬化性樹脂によるサンドイッチコアの開発	電子・機械G 複合素材開発S 城東支所	高橋俊也 唐木由佑、窪寺健吾 木暮尊志、小金井誠司	H29. 5 ~ H30. 3
36	簡易型静電植毛塗装機の開発	電子・機械G	長谷川 孝	H29. 5 ~ H30. 3
37	表面改質用添加剤の耐焼付き性向上メカニズムの解明	機械技術G	中村健太	H28.11 ~ H29. 9
38	船用高遮音性防火扉の開発	光音技術G	渡辺茂幸、宮入 徹	H28.11 ~ H29. 9
39	分光型耐光性試験機の開発	環境技術G 表面・化学技術G 光音技術G	濱野智子 村井まどか、石田祐也 澁谷孝幸	H28.11 ~ H29. 9
40	導電性ダイヤモンド電極の開発	表面・化学技術G 交流連携室	川口雅弘、寺西義一 長坂浩志	H28.11 ~ H29. 9
41	リングASSYにおける一体成型技術の開発	表面・化学技術G	安田 健、木下健司、 佐野 森、西田 葵	H28.11 ~ H29. 9
42	セラミックAM技術における基礎技術の確立と商用運用時の運用条件、製造工程の最適化	3DものづくりS 電子・機械G	小林隆一、山内友貴、 横山幸雄、古杉美幸、 村上祐一 西川康博、鈴木悠矢、 高橋俊也	H28.11 ~ H29. 9
43	多角的偏光撮像システム	光音技術G	海老澤瑞枝、磯田和貴	H28.11 ~ H29. 9

No.	テーマ名	所属	研究者名	期間
44	新規成膜プロセスを用いた高機能CVD-DLC膜の開発	表面・化学技術G	徳田祐樹、川口雅弘	H28.11～H29.9
45	広帯域小型・軽量アンテナの開発	電子・機械G 電気電子技術G	高橋文緒、福田純子、 大森 学 渡部雄太	H28.11～H29.9
46	色彩に優れるポリオレフィン釣糸の開発	複合素材開発S	榎本一郎、池田善光	H28.11～H29.9

「G」グループの略、「S」セクターの略

## 2.3 外部資金導入研究・調査

### 2.3.1 提案公募型研究・………40 テーマ

都産技研が保有する研究成果を基に、国などの公募に対し研究課題および研究内容を提案し、審査を経て採択された課題について、研究資金の交付を受けて実施する研究である。都産技研においては、その積極的な獲得に努めている。

平成 29 年度に獲得・実施した研究は、文部科学省など「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金 / 科学研究費補助金）」をはじめ、以下のとおりである。

No.	開始年度	事業名	研究費配布機関	G/S・室・支所	担当者
1	H27	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	情報技術 G バイオ応用技術 G 3D ものづくり S	富山真一 紋川 亮 中西正一
2	H27	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	光音技術 G	服部 遊 渡辺茂幸 西沢啓子 宮入 徹 神田浩一
3	H27	戦略的基盤技術高度化支援事業	経済産業省	先端材料開発 S	森河和雄
4	H27	農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業	農林水産省	実証試験 S	松原独歩
5	H26	SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)/革新的設計生産技術	(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構	3D ものづくり S 城東支所	横山幸雄 山内友貴 木暮尊志
6	H25	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)〔分担〕	(独)日本学術振興会	機械技術 G	福田良司
7	H25	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(S)〔分担〕	(独)日本学術振興会	表面・化学技術 G	川口雅弘
8	H26	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)〔分担〕	(独)日本学術振興会	生活技術開発 S	神谷嘉美
9	H27	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	柚木俊二 大藪淑美
10	H27	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	表面・化学技術 G	徳田祐樹
11	H27	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦的萌芽研究	(独)日本学術振興会	先端材料開発 S	林 孝星 渡辺洋人 染川正一 藤巻康人

No.	開始年度	事業名	研究費配布機関	G/S・室・支所	担当者
12	H27	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦の萌芽研究	(独)日本学術振興会	複合素材開発 S 電子・機械 G	榎本一郎 唐木由佑 武田浩司 高橋俊也
13	H27	学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)〔分担〕	(独)日本学術振興会	城南支所	林 英男
14	H27	学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)〔分担〕	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	永川栄泰 櫻井 昇
15	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)	(独)日本学術振興会	表面・化学技術 G	樋口智寛
16	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)	(独)日本学術振興会	環境技術 G	小沼ルミ
17	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦の萌芽研究	(独)日本学術振興会	機械技術 G	奥出裕亮
18	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	大藪淑美
19	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	紋川 亮
20	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	情報技術 G	村上知里
21	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	情報技術 G	金田泰昌
22	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	生活技術開発 S	大島浩幸
23	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	環境技術 G	吉野 徹
24	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦の萌芽研究	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	八谷如美
25	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)基盤研究(C)〔分担〕	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	柚木俊二 成田武文
26	H28	学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)〔分担〕	(独)日本学術振興会	先端技術開発 S	森河和雄
27	H28	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)〔分担〕	(独)日本学術振興会	表面・化学技術 G	川口雅弘
28	H28	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)挑戦の萌芽研究〔分担〕	(独)日本学術振興会	バイオ応用技術 G	八谷如美
29	H29	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	電気電子技術 G	武内陽子
30	H29	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)若手研究(B)	(独)日本学術振興会	電気電子技術 G	宮下惟人
31	H29	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)研究活動スタート支援	(独)日本学術振興会	環境技術 G	小林真大
32	H29	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)〔分担〕	(独)日本学術振興会	実証試験 S	松原独歩
33	H29	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(A)〔分担〕	(独)日本学術振興会	複合素材開発 S	榎本一郎
34	H29	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(B)〔分担〕	(独)日本学術振興会	先端材料開発 S	渡邊禎之
35	H29	科学研究費助成事業(科学研究費補助金)基盤研究(C)〔分担〕	(独)日本学術振興会	生活技術開発 S	山口隆志

No.	開始年度	事業名	研究費配布機関	G/S・室・支所	担当者
36	H29	科学研究費助成事業(科学研究費補助金) 基盤研究(C)〔分担〕	(独)日本学術振興会	城南支所	梶山哲人
37	H28	研究成果最適展開支援プログラム A-STEP ステージ : シーズ育成タイプ	(国研)科学技術振興機構	バイオ応用技術 G	大藪淑美 柚木俊二 藤井恭子
38	H28	奨励研究助成	(公財)天田財団	実証試験 S	小船諭史
39	H29	地域産業活性化補助金	荒川区	環境技術 G	森久保 諭
40	H29	国際研究集会派遣研究者助成	(公財)吉田科学技術財団	先端材料開発 S	立花直樹

### 2.3.2 受託研究・……………15 件

受託研究は企業からの委託に基づいて都産技研職員が短期の研究・調査を行う事業である。受託研究の受け付けは常時行っており、企業の緊急な技術課題に対して即応できるという特徴がある。また、研究費は企業の負担となるが、非公開が原則となっており、秘密保持性の高いこともこの研究の特徴の一つである。

平成 29 年度は、15 件の研究・調査を実施し、9,264,840 円の受託研究費を受け入れた。

## 2.4 プロジェクト事業

### 2.4.1 ロボット産業活性化事業

中小企業のロボット産業への参入を支援するため、平成 27 年 4 月から「ロボット産業活性化事業」を開始した（事業推進根拠：東京都長期ビジョン）

本事業では、案内支援、産業支援、点検支援、介護支援の 4 分野におけるロボットの実用化を推進するための支援を行うとともに、2020 年東京オリンピック・パラリンピックにおいて東京のロボット技術を発信する契機とし、中小企業のロボット産業への参入を後押しする。

#### (1) 技術開発

##### 1) 基盤研究および実証研究

ロボット開発に関する基盤的で汎用性の高い技術開発や実証環境を求めてロボットを試作開発するための研究開発に取り組んだ。

平成 29 年度開始 基盤研究および実証研究テーマ一覧

種別	テーマ名	主担当者名	期間
基盤	ロボットの重心位置が T 型ロボットベースの走行性能に及ぼす影響と走行性能の改善	坂下和広	H29. 6 ~ H30. 5

##### 2) 共同研究

企業や業界団体などと協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合して、ロボットの実用化や事業化に向けた研究開発に取り組んだ。

## 平成 29 年度開始 共同研究テーマ一覧

テーマ名	主担当者名	期間
排気管内部清掃ロボットの開発	佐藤 研	H29. 4～H30. 4

## 3) 公募型共同研究開発事業

日本国内からロボットを開発・活用して事業化を目指す中小企業を公募し、都産技研が開発経費を負担（委託）して、共同で開発を行う「公募型共同研究開発事業」を実施した。

## 平成 29 年度開始 事業テーマ一覧

短期展開型（事業期間：1年 委託上限額：1,000万円）

分野	事業者名 所在地	事業テーマ名
産業支援	(株)アキュレイトシステムズ 東京都千代田区	警備に対応した移動支援ロボット
産業支援	(株)キャロットシステムズ 神奈川県相模原市中央区	公共施設フロアのドライ掃除ロボット開発
産業支援	日本ウイントン(株) 東京都大田区	住宅用ダクト掃除ロボットによる 清掃サービスの事業化
点検支援	ルーチェサーチ(株) 広島県広島市安佐南区	高速巡航型マルチコプターを用いた 広域観測システムの開発
介護支援	RT.ワークス(株) 大阪府大阪市東成区	屋内型ロボットウォーカー実用化による 自立支援介護サービスの提供
介護支援	(株)メディカルスイッチ 東京都大田区	服薬支援ロボットを活用した 高齢者見守りサービスの事業化

テーマ設定型（事業期間：1年 委託上限額：3,000万円）

分野	事業者名 所在地	事業テーマ名
	実証実験場所 共同体メンバー	
点検支援	アースアイズ(株) 東京都中央区	駅施設における監視、警備業務効率化
	西武鉄道(株)	
	日本ユニシス(株)	
産業支援	(株)ハイメックス 東京都東久留米市	現場実装に向けた全方位・小型運搬ロボットの開発
	(株)ヒラノテクシード、日本ゼオン(株) 東京工業高等専門学校	

## (2) 事業化支援

都産技研の研究開発成果や試作開発ロボットを広く周知し、本事業への参画を促すとともに、共同開発企業の拡販を支援するために「2017 国際ロボット展」に出展した。都産技研試作ロボットのほか、共同研究開発企業 20 社による展示、デモンストレーションを行った。

ロボット産業活性化事業ウェブサイトにて、共同研究開発ロボット（開発中を含む）の利用事例を紹介するとともに、ユーザー企業の開拓のためのロボット利用相談ページを 10 月に開設した。展示会含め 28 件の相談に対応した。

## (3) ロボット産業人材育成

ロボット開発や導入への興味喚起、ロボットに関する最新の技術情報を提供するため、「ロボッ

ト産業活性化事業セミナー」を2回開催した(5.1 技術セミナー・講習会参照)

(4) 外部機関との連携

1) 自治体・産業支援機関等

ロボット産業における情報共有や実用化に向けた課題解決を図るため、日本ロボット工業会の各種専門委員会、ベイエリアおもてなしロボット研究会等の活動に参加し、意見交換を行った。また、自治体等が主催する見学会やセミナー等に協力し、本事業や東京ロボット産業支援プラザの紹介を行った。

ふちゅうテクノフェア(10月) 品川情報クラスターフェア(2月)

2) 東京都が実施する都庁舎サービスロボット実証実験への参加

都産技研が試作開発した多言語案内ロボット「Libra(リブラ)」を使用し、都庁舎にて来庁者(主に訪日外国人)向けの都庁舎案内や観光案内の実証実験を実施した。東京都庁第1本庁舎45階南展望室において、1月から3月まで延べ9日間実証実験を行い、ロボットの無人運用の可能性、音声認識の確度、対話シナリオの進行を検証するとともにロボットに期待する機能などの知見を獲得した。

2.4.2 中小企業のIoT化支援事業

中小企業におけるIoT活用による生産性の向上や業務の効率化、IoT関連製品の開発や新たなサービス・ソリューションの提供によるビジネス創出を支援するため、平成29年度から「中小企業のIoT化支援事業」を開始した(事業推進根拠:都民ファーストでつくる『新しい東京』~2020年に向けた実行プラン~)。

本事業では、研究開発および人材育成を軸とした、さまざまな取り組みを行うことで、IoT活用による中小企業の事業活動を支援する。

(1) 公募型共同研究事業

中小企業のIoT活用による生産性の向上やIoT関連の製品開発を支援するため、都産技研が開発経費を負担(委託)して、共同で開発を行う「公募型共同研究事業」を実施した。

平成29年度開始 研究テーマ一覧

IoTソリューション研究(研究開発期間:最長3年 委託上限額:3,000万円)

事業者名 所在地	テーマ名
(株)アニー 東京都調布市	洋菓子店向け接客システムの開発
イービストレード(株) 東京都千代田区	環境モニタリングを用いた水質改善装置運用の最適化共同研究
(株)オンチップ・バイオテクノロジーズ 東京都小金井市	遠隔監視機能を搭載したマイクロ流路チップ・セルソーター
秀和工業(株) 東京都足立区	4つの新機能実現のためのIoTシステムの開発

## IoT 共同研究（研究開発期間：最長1年 委託上限額：500万円）

事業者名 所在地	テーマ名
(株)ウフル 東京都港区	IoT セキュリティテストベッドの構築
サーパス浅野(株) 東京都台東区	IoT 用 発電靴本底 商品化開発
(株)CAMI & Co. 東京都品川区	後付型 IoT 異常検知システムの開発
(株)ケー・ティー・システム 東京都港区	クラウド・IoT 活用による「製造設備の診断サービスシステム」の開発

## (2) 東京都 IoT 研究会

IoT に関する情報の収集・発信、普及・啓発を行うとともに、IoT に関する新しいビジネスモデルの創出への取り組みを促すことを目的に「東京都 IoT 研究会」を設立した（会員数 216 社 257 名、平成 30 年 3 月末日現在）。平成 30 年 2 月 27 日、法政大学西岡靖之教授を座長とする第 1 回総会を開催した。

## (3) 人材育成

中小企業への IoT 導入、新製品開発に関し、国の施策や先行導入事例等のさまざまな情報を提供するため、公益財団法人東京都中小企業振興公社と協力し、IoT セミナーを開催した。

セミナータイトル	開催日	参加者数
第 3 回 IoT セミナー「都産技研 IoT 事業キックオフイベント」	平成 29 年 11 月 21 日	93 名
第 4 回 IoT セミナー「中小企業 IoT 活用最前線」	平成 30 年 2 月 27 日	82 名

また、IoT の概要から基本的な仕組みを学び、簡単な IoT システムのプロトタイプ構築を体験する「IoT 導入ハンズオン講習会」を 2 回開催した（受講者 30 名）。

## (4) IoT 有識者会議

中小企業の IoT 化支援事業の推進にあたり、公平で客観的な観点から事業全体への有意義な意見を聴取することで、より実効的な事業運営を行うことを目的に、有識者会議を設置した。平成 29 年 10 月 18 日、第 1 回有識者会議を開催した。

## 2.4.3 障害者スポーツ研究開発推進事業

## (1) 基礎研究

障害者スポーツの振興、競技力の向上や普及促進を目的として、都産技研が主体となり実施する研究である。

## 平成 29 年度開始 基礎研究テーマ一覧

テーマ名	所属	研究者名	期間
子供用歩行（走行）支援機器の開発	電子・機械G デザイン技術G 生活技術開発S 複合素材開発S	西川康博 酒井日出子 大島浩幸 武田浩司	H29. 6～H32. 3
さわれるスポーツ観戦 ～Tangible Sports～	生活技術開発S	島田茂伸、大島浩幸	H29. 6～H32. 3

(2) 公募型共同研究

障害者スポーツの競技力向上を目指し、障害者スポーツ用具の新製品開発を目的として、都産技研が必要経費（限度額内）を負担（委託）して実施する共同研究である。

平成 29 年度開始 研究テーマ一覧（研究開発期間：2 年半 委託上限額：4,500 万円）

研究開発対象	事業者名 所在地	テーマ名
競技用「車いす」	(株)オーエックスエンジニアリング 千葉県若葉区	新素材を活用したバドミントン用車いす開発
競技用「義足」	(株)Xiborg 東京都渋谷区	世界最速を目指したスポーツ用義足 および関連技術の開発

2.4.4 航空機産業への参入支援事業

東京都が推し進める航空機産業参入支援事業と連携し、Tokyo Metropolitan Aviation Network（以下、「TMAN（ティーマン）」という。）に参画している中小企業に対する技術支援を目的に、平成 29 年 4 月から「航空機産業への参入支援事業」を開始した（事業推進根拠：東京都長期ビジョン）

本事業では、組織人員・施設強化による支援体制整備、テーマ設定型共同研究、試作・実証実験支援、国際規格認証技術支援により、東京都および TMAN 事務局と連携し、中小企業の航空機産業への参入を支援する。

(1) 組織人員・施設強化による支援体制整備

1) 特任技術アドバイザーの招聘

都産技研において航空機産業支援を開始するにあたり、航空機の製造技術と航空機ビジネスの理解、航空機部品試作および ASTM 規格に対応した職員の育成を目的に、特任技術アドバイザーを 2 名招聘した。平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月までに、累計 50 回の講習と話し合いがなされ、航空機産業支援を推進する職員の育成に取り組んだ。

2) 航空機産業支援室の開設

平成 29 年 12 月 13 日、航空機産業への参入に向けた試作部品開発および必要な国際規格にのっとった評価に対応する「航空機産業支援室」を都産技研本部 2 階に開設した。室内には、航空機部品に対応できるインチ規格の測定機器、米国 ASTM 規格など航空機部品に使用される試験規格に適合した評価装置、航空機部品の設計に必要な 3D-CAD 設備を設置し、試作加工機器として 5 軸マシニングセンタ、3 軸モデリングマシンを本部一階実験室内に設置した。

平成 29 年 11 月 24 日、航空機産業支援室の開設に先駆け、「航空機産業支援室開設プレセミナー」を開催した。プレセミナーでは、東京都・TMAN の航空機産業支援への取り組み、経済産業省の航空宇宙産業支援と育成への取り組み、民間航空機産業の魅力と課題、都産技研の航空機産業への技術支援に関する講演を実施し、参加者数は 42 名であった。

(2) テーマ設定型共同研究

東京都が支援する TMAN への参加企業から、航空機部品製造、開発、評価に関する研究課題を募集し、生産技術や製品性能の向上など、航空機産業参入支援と航空機部品製造・開発における課題解決を目的とした研究開発に取り組んだ。研究成果は平成 30 年 3 月 9 日に開催された研究成果報告会 / TMAN 交流会において、TMAN 参加企業に公開された。

## 平成 29 年度 テーマ設定型共同研究一覧

事業者名(所在地)	研究テーマ
(株)コバヤシ精密工業 (神奈川県相模原市)	ドローン用エンジンクーリングユニットの冷却効率向上を目的とした形状の最適化
多摩冶金(株) (東京都武蔵村山市)	航空機部品用窒化鋼のガス窒化層深さに及ぼす表面状態の検討と前処理法の開発
(株)ニッチュー (東京都台東区)	航空機用アルミニウム合金のピーンフォーミングにおける処理条件の最適化
(株)吉増製作所 (東京都あきる野市)	有限要素解析を用いた航空機用純チタンの温間成形加工精度の向上
(株)吉増製作所 (東京都あきる野市)	航空機用純チタンの冷間プレス加工における高品質化と工程数削減

## (3) 試作・実証実験支援

TMAN 参加企業 6 社との共同による航空機部品一貫試作について、特任技術アドバイザーの支援を受けて取り組んだ。完成した試作品を、平成 30 年 2 月 6 日から 9 日にシンガポール共和国チャンギ国際空港にて開催された「シンガポール・エアショー2018」トレードデーにおいて、東京都 TMAN ブース内の都産技研展示スペースに展示し、TMAN 参加企業の技術力をアピールした。

## (4) 国際規格認証技術支援

航空機部品の性能確認試験に適用するため、米国 ASTM 規格および FAR 規格、国連 UN 規格試験に対応した試験設備の導入を行った。

## 平成 29 年度 対応国際規格試験一覧

規格	内容
ASTM E112	自動画像解析による結晶粒度測定
ASTM E45 Method A	鉄鋼の介在物含有量測定
ASTM E18	ロックウェル硬さ試験
ASTM E384	マイクロピッカース硬さ試験
ASTM B117	塩水噴霧試験
FAR 25.853	燃焼性試験
UN 3480 対応	振動試験

## (5) 展示会出展および調査

本事業のプロモーションと取り組みの周知および航空機産業への参入に必要な情報収集と人材育成を目的とした展示会への出展と、市場・技術動向の把握を目的とした調査に取り組んだ。

## 平成 29 年度 参加展示会等一覧

	展示会	会期	開催場所
出展	パリ・エアショー2017	平成29年 6月19～25日	フランス共和国 ル・ブルジェ空港
	第7回航空機産業フォーラム ハンブルグ 2017	平成29年11月 7～8日	ドイツ連邦共和国 ハンブルグ
	シンガポール・エアショー2018	平成30年 2月 6～9日	シンガポール共和国 チャンギ国際空港
調査	エアロマート名古屋 2017	平成29年 9月26～28日	名古屋市商工会議所 名古屋市中小企業振興会館
	2017 MARPA アニュアル・カンファレンス	平成29年10月25～26日	アメリカ合衆国 オランダ

(6) プレス・報道

本事業に関連するプレス発表および記事掲載は以下のとおりである。

平成 29 年度 プレス発表一覧

プレス内容	プレス日
航空機産業に係る国際規格対応の試験設備の導入など「航空機産業参入支援室開設プレセミナー」の開催	平成 29 年 10 月 12 日
TMAN 一貫生産 試作品 「シンガポール・エアショー2018」に出展	平成 30 年 2 月 2 日

平成 29 年度 記事掲載一覧

報道内容	報道日	媒体
航空機産業への参入支援 都産技研 中小向けに新組織	平成29年11月23日	日本経済新聞
「航空機産業支援室」プレセミナーを開催・都産技研本部に開設	平成29年 1月 4日	日経テクノロジーオンライン
TMAN 一貫生産試作品 「シンガポール・エアショー2018」にて展示	平成30年 2月 5日	日経テクノロジーオンライン
都立産業技術研究センター 航空機産業育成へ「航空機産業支援室」を開設	平成30年 2月21日	週刊 WING 航空新聞社

(7) TMAN 交流会および連携交流会

TMAN 参加企業との交流を目的に、東京都 (TMAN) との交流会および連携交流会に参加し、航空機産業参入支援事業共同研究成果報告会を TMAN 交流会との併催とし、連携して実施した。

平成 29 年度 連携交流会一覧

交流会	実施日	開催場所
平成 29 年度 TMAN 全体交流会	平成29年 4月24日	航空会館
平成 29 年度 TMAN 第 1 回産学連携交流会	平成29年 7月14日	東京理科大学 葛飾キャンパス
平成 29 年度 東京都立産業技術研究センター 航空機産業参入支援事業 共同研究成果報告会 / TMAN 交流会	平成30年 3月 9日	都産技研本部

## 2.5 生活関連産業支援

人間工学、感性工学、情報技術、デザイン技術を活用して、ユーザー本位の製品開発手法を普及することにより、健康・医療・福祉機器産業や生活関連産業の製品開発力を強化した。

(1) 技術開発

人間の運動特性、生理情報、感覚等を客観的データとして計測し、製品開発、評価技術に展開する研究を実施した。

(基盤研究)

- ・ 広角カメラ映像からの人物動作認識手法に関する研究 (日経産業新聞掲載 平成 30 年 1 月 9 日)
- ・ 観察工学を用いた生活製品に対する外国人の潜在ニーズ抽出研究
- ・ 有機ヒト由来不快臭気成分に対する指標物質の探索
- ・ 有機導電性テキスタイルのセンサープローブへの応用展開 ほか 6 件

(共同研究)

- ・ 快適なコンプレッションウェア素材の開発
- ・ 粘菌アルゴリズムによる断線保障性に優れた避難経路の導出 ほか 3 件

(プロジェクト推進研究)

- ・同調制御を用いた歩行支援ロボティックウェア curara の実用化 (ロボット公募型共同研究)
- ・さわれるスポーツ観戦 (障がい者スポーツ基礎研究) ほかに4件

(2) 技術支援

1) 生活技術開発セクターの主な取り組み

生活空間計測スタジオを活用した研究開発の取り組みと成果

- ・筋力トレーニングのためのウェアラブル型パーソナルトレーナースーツの開発 (平成27年度基盤研究)
- ・人体のデータを利用した記録コンテンツの作成方法及び視聴システムの開発 (平成28年度共同研究)
- ・特許出願: 3件 筋力トレーニング支援 (平成29年5月)、人体形状のデータ変換方法 (平成29年11月)、VR空間での運動可視化システム (平成29年11月)
- ・特許登録: 1件 筋力トレーニング支援 (平成30年1月)
- ・事業化: 企業がVRコンテンツを制作し展示会で公開 (日刊工業新聞 平成29年12月12日掲載)

2) デザイン技術グループの主な取り組み

感性工学分野への取り組み

「使いやすさ」「楽しさ」「潜在ニーズ」等のキーワードで研究やオーダーメイド開発支援などを実施した。また、日本流行色協会主催「高齢者が楽しくなるカラーデザイン研究会」、人間生活工学研究センター主催「心身特性と価値変化を探る研究会 (美味しく感じるカトラリー研究)」に参加し、感性に基づく製品開発手法を検討したほか、技術研究会「東京都・感性工学研究会」ではセミナー「SDGs (持続可能な開発目標) で未来を創る」を開催した (平成30年2月)

デザイン成果事例集の作成 (平成30年1月発行)

デザイン開発の流れや都産技研のデザイン支援メニューの紹介、10件の事例を掲載した。また、デザイン技術分野の積極的PRに活用した。

3) 情報技術グループの主な取り組み

オーダーメイド試験等で家電等の電気信号測定に関する試験やLED製品、医療用高温物体の輸送における熱流解析等、産業用から家電製品まで幅広い分野の製品に対し、電気的適合性評価を実施した。

## 2.6 外部発表……………325件

基盤研究などの成果普及は、各種学協会などの外部機関への論文投稿、口頭発表などを通じて行っている。また、依頼原稿や依頼講演を通じて成果普及を行い、中小企業の技術課題の解決や製品開発に寄与している。

平成29年度の外部発表実績は以下のとおりである。なお、執筆者、発表者には共同執筆者および共同発表者の場合も掲載している。

## 論文発表 48 件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名
1	全面供給型金属線構造体流路を用いた直接メタノール燃料電池における流路網目サイズとセル面圧が発電性能に与える影響	峯 英一 ほか 2 名	(公社)自動車技術会	自動車技術会論文集 Vol.48, No.2, pp.323-327 (2017)
2	Precise finite difference analysis of Lorentz force acting on metal nanoparticle irradiated with light	山口隆志 海老澤瑞枝 ほか 1 名	The Electromagnetics Academy	Progress In Electromagnetics Research (PIER) C Vol.73, pp.81-86 (2017)
3	データを用いたフィルタ分布の直接推定と状態推定への応用	金田泰昌 入月康晴	(公社)計測自動制御学会	計測自動制御学会論文集 Vol.53, No.4, pp.295-297 (2017)
4	Spatial distribution of tramp element contents in recycled steel	林 英男 ほか 3 名	(一社)日本鉄鋼協会	ISIJ international Vol.57, No.4, pp.758-763 (2017)
5	高位合成を使った軽量ブロック暗号の実装性能評価	岡部 忠	(一社)電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ	第 30 回回路とシステムワークショップ Vol.30, pp.63-68 (2017)
6	VE 酔いを考慮した注視点に追従する雲台の至適速度の検討	大島浩幸 後濱龍太 武田有志 島田茂伸	(特非)ヒューマンインタフェース学会	ヒューマンインタフェース学会論文誌 Vol.19, No.2, pp.185-188 (2017)
7	The effect of chlorine doping on tribological properties of amorphous carbon films deposited by PBI&D	徳田祐樹 川口雅弘 ほか 2 名	Elsevier	Tribology International Vol.113, pp.377-382 (2017)
8	ANALYSIS of HOLE BENDING IN LAMINA INCISED BY THIN DRILL WITH MICRO FOCUS X-RAY CT SCANNER	松原独歩 ほか 4 名	WULS-SGGW, GUT	23rd International Wood Machining Seminar Proceedings pp.418-425 (2017)
9	Dissimilar lap joining of commercial pure titanium to nickel-based alloy by friction stir welding	青沼昌幸 岩岡 拓 中村 勲 寺西義一 森河和雄	(一社)溶接学会	Quarterly Journal Japan Welding Society Vol.35, No.2, pp.85s-88s (2017)
10	Low friction mechanism of chlorine-doped amorphous carbon films sliding against an aluminium alloy	徳田祐樹 川口雅弘 ほか 3 名	Elsevier	Tribology international Vol.115, pp.573-579 (2017)
11	Existence of Unprocessed a Mitochondrial Enzyme: YDL178wp in the Membrane Fraction as an Oligomeric Formation with a Protein-Unfolding Activity	八谷如美 ほか 2 名	MedCrave Group	MOJ Cell Science and Report Vol.4, No.2, pp.1-5 (2017)
12	木材-ボルト接合における塑性域締付け軸力の締付けトルク算定法	松原独歩 ほか 5 名	(一社)日本木材学会	木材学会誌 Vol.63, No.4, pp.162-175 (2017)
13	Comparison of the environmental impact of the conventional nickel electroplating and the new nickel electroplating	田熊保彦 杉森博和 安藤恵理 水元和成 ほか 1 名	Springer	The International Journal of Life Cycle Assessment DOI : 10.1007/s11367-017-1375-y
14	Low transmission loss, simple, and broad-band waveguide-to-microstrip line transducer in V-, E- and W-band	藤原康平 小林文士	(一社)電子情報通信学会	IEICE Electronics Express Vol.14, No.15 (2017)
15	拡大投影型軟X線顕微鏡での像修正におけるノイズ除去の効果	金城康人 ほか 1 名	(公社)日本アイソトープ協会	RADIOISOTOPES Vol.66, No.4, pp.137-148 (2017)
16	A Tourism Information System with Language-Barrier-Free Interfaces for Foreign Visitors	阿部真也 三木大輔 ほか 1 名	MAT	International Conference on Marketing and Tourism (Conference Proceedings) pp.58-66 (2017)
17	Surface coating and texturing on stainless-steel plates to decrease the contact resistance by using screen printing	峯 英一 伊東洋一 寺西義一 ほか 2 名	Elsevier	Journal of Hydrogen Energy Vol.42, No.31, pp.20224-20229 (2017)
18	大気中およびアルゴン中における CVD ダイヤモンド同士の摩擦特性	中村健太 玉置賢次 ほか 2 名	(一社)表面技術協会	表面技術 Vol.68, No.6, pp.344-348 (2017)
19	大気中およびアルゴン中における CVD ダイヤモンドと高速度工具鋼の摩擦特性	中村健太 玉置賢次 ほか 2 名	(一社)表面技術協会	表面技術 Vol.68, No.8, pp.462-466 (2017)

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名
20	Microstrip antenna and rectifier for wireless power transfer at 94GHz	藤原康平 山岡英彦 ほか 8 名	IEEE MTT-S	Wireless Power Transfer Conference 2017 (2017)
21	Development of chromium free corrosion resistance conversion coating	浦崎香織里 竹村昌太 土井 正 桑原聡士	日本材料科学会	材料の科学と工学 Vol.54, No.4, pp.123-127 (2017)
22	Allergic Bronchopulmonary Mycosis due to Exposure to Eurotium herbariorum after the Great East Japan Earthquake	小沼ルミ ほか 10 名	Cambridge University Press	Prehospital and Disaster Medicine Vol.32, No.6, pp.688-690 (2017)
23	Phosphorus Speciation in Sludge from Nickel Electroplating	林 英男 ほか 2 名	(公社)日本金属学会	Materials Transactions Vol.58, No.9, p.1337-1340 (2017)
24	Effect of Silane Coupling Agent on Tribological Properties of Hemp Fiber Reinforced Plant-Derived Polyamide 1010 Biomass Composites	梶山哲人 山中寿行 ほか 1 名	MDPI	Materials Vol.10, No.9, p.1040 (2017)
25	Relationship between clamp force and pull-out strength in lag screw timber joints	松原独歩 ほか 5 名	Springer	Journal of wood science Vol.63, No.6, pp.625-634 (2017)
26	Memory-Efficient 3D Connected Components Labeling with Parallel Computing	大平倫宏	Springer	Signal, Image and Video Processing Vol.12, No.3, pp.429-436 (2017)
27	Highly Porous Nitrogen-Doped Carbon-Supported Pt Nanoparticles with Enhanced Activity for the Oxygen Reduction Reaction in Alkaline Media	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 川口雅弘	The Electrochemical Society	ECS Transactions Vol.80, No.8, pp.1043-1050 (2017)
28	Substituent Effect in Magnesium Tetraethynylporphyrin with Two Diketopyrrolopyrrole Units for Bulk heterojunction Organic Solar Cells	小汲佳祐 ほか 5 名	Royal Society of Chemistry	Journal of Materials Chemistry A No.44 p.10.1039 (2017)
29	90 GHz Radio-over-Fiber system with IEEE802.11ad packet for High-speed railway communication	藤原康平 ほか 1 名	IEEE MTT-S , The European Microwave Association (EuMA)	IRMMW-THz 2017 (2017)
30	ノッチフィルタとスイッチ機構を用いた複数クロック動作時における放射ノイズ発生源探査手法の検討	佐野宏靖 佐々木秀勝 金田泰昌	(一社)エレクトロニクス実装学会	エレクトロニクス実装学会誌 Vol.20, No.7, pp.458-467 (2017)
31	塗装した熱処理木材の表面分析	村井まどか 小野澤明良 木下稔夫 ほか 2 名	(公社)日本木材保存協会	木材保存 Vol.43, No.5, pp.250-257 (2017)
32	Solid-Phase Extraction of Ga <sup>3+</sup> and In <sup>3+</sup> with hexadentate chelating reagent	梶山哲人 ほか 5 名	日本溶媒抽出学会	Proceedings of ISEC2017 pp.278-283 (2017)
33	Adsorption of indium and gallium on natural banana fiber	梶山哲人 ほか 2 名	日本溶媒抽出学会	Proceedings of ISEC2017 pp.264-269 (2017)
34	鉄鋼材料およびセラミックス材料との摩擦における塩素含有 DLC 膜の摩擦摩耗メカニズム	徳田祐樹 川口雅弘 ほか 3 名	日本材料試験技術協会	材料試験技術 Vol.63, No.1, pp.4-10 (2018)
35	Pressure-induced phase transitions of vaterite, a metastable phase of CaCO <sub>3</sub>	吉野 徹 ほか 4 名	Wiley	Journal of Raman Spectroscopy DOI:10.1002/jrs.5162 (2017)
36	Improvement of the method to estimate the relative reaction rate constants of hydroxyl radical with polyphenols using ESR spin trap: X-ray irradiation of water with a flowing system	中川清子	Taylor and Francis	Free Radical Research Vol.51, No.7-8, pp.749-754 (2017)
37	Color modulation of Ag nanoparticle dispersion by light-induced aggregation	海老澤瑞枝 山口隆志 寺西義一 磯田和貴	(一社)電気学会	IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering Vol.12, No.S2, pp.125-126 (2017)
38	Influence of Process Time and Geometry on Part Quality of Low Temperature Laser Sintering	山内友貴 木暮尊志 ほか 1 名	The University of Texas , The Minerals , Metals & Materials Society	Proceedings of the 28th Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium Vol.28, pp.1495-1505 (2017)

平成29年度 年報

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名
39	Effects of tightening speed on torque coefficient in lag screw timber joints with steel side plates	松原独歩 ほか5名	Springer	Journal of Wood Science DOI:10.1007/s10086-017-1679-3 Vol.64, No.2, pp.112-118 (2018)
40	Possibility of elasto-hydrostatic evolved-gas bearing as one of the mechanisms of superlubricity	川口雅弘 ほか3名	SAGE	Journal of Engineering Tribology DOI:10.1177/1350650117746025
41	The run-in process for stable friction fade-out and tribofilm analyses by SEM and nano-indenter	川口雅弘 ほか5名	(一社)日本トライボロジー学会	Tribology Online Vol.12, No.5, pp.274-280 (2017)
42	Enhanced quantum yield of fluorophores in confined spaces of supermicroporous silicas	渡辺洋人 林 孝星 ほか6名	(公社)日本化学会	Bulletin of the Chemical Society of Japan Vol.91, No.1, pp.87-91 (2018)
43	Band alignments of Graphene-like III-Nitride semiconductors	太田優一	Elsevier	Solid State Communications Vol.270, pp.147-150 (2018)
44	Mechanical stiffness of running-specific prostheses in consideration of clamped position	西川康博 ほか1名	(一社)日本機械学会	Mechanical Engineering Letters Vol.4 p.17 (2018)
45	挟み込み構造による非接触給電アンテナの開発	秋山美郷 佐野宏靖 大森 学	日本 AEM 学会	日本 AEM 学会誌 Vol.25, No.4, pp.403-408 (2017)
46	A low-cost and simple-structure IEEE802.11ad wireless network appliance test system using Gunn oscillator and fundamental mixer	藤原康平 山岡英彦 小林丈士 ほか5名	IEEE MTT-S, The European Microwave Association (EuMA)	2017 Asia Pacific Microwave conference DOI: 10.1109/APMC.2017.8251425
47	温度環境を考慮した三次元測定機の高度化 第1報 目盛誤差による温度測定誤差の評価	大西 徹 ほか1名	(公社)日本設計工学会	日本設計工学誌 DOI: 10.14953/jjsde.2017.2749
48	吹付ガン式植毛装置を用いた立体物への植毛加工および植毛評価	長谷川 孝	(一社)色材協会	色材協会誌 Vol.91, No.3, pp.106-108 (2018)

論文発表は、『平成28年度年報』未掲載分を含む。

論文発表(査読なし) 3件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名
1	低消費電力性・耐腐食性を有するフローセンサデバイスの特性改善	山岡英彦 永田晃基	(一社)電気学会 センサ・マイクロマシン部門	第34回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム 01pm4-PS-148 (2017)
2	積層セラミックス技術を用いたガスセンサの要素技術開発	小宮一毅 山岡英彦	(一社)電気学会 センサ・マイクロマシン部門	第34回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム 02pm1-PS-228 (2017)
3	EVALUATION OF MULTI-LAYERED SHIELDING MATERIALS BASED ON ANALYSIS OF CHARACTERISTIC X-RAY	河原大吾 飛澤泰樹 櫻井 昇	High Energy Accelerator Research Organization	KEK Proceedings 2017 Vol.24, p.43086 (2017)

口頭発表(学協会など) 117件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	高感度インフルエンザ検査チップの開発	紋川 亮 瀧本悠貴 月精智子	平成29年 3月16日	パシフィコ横浜	第64回応用物理学会春季学術講演会
2	油溶性ポリマー添加油のトライボロジー特性	中村健太 ほか1名	平成29年 5月15日	国立オリンピック記念 青少年総合センター	トライボロジー会議 2017 春東京
3	アルミニウム合金との摩擦における塩素含有 DLC 膜の低摩擦化メカニズム	徳田祐樹 川口雅弘 ほか2名	平成29年 5月17日	国立オリンピック記念 青少年総合センター	トライボロジー会議 2017 春東京
4	摩擦フェイドアウトを発現する水素添加 DLC 膜のトライボフィルムの形成過程	川口雅弘 ほか3名	平成29年 5月17日	国立オリンピック記念 青少年総合センター	トライボロジー会議 2017 春東京
5	バイアス電圧を変化させた水素添加 DLC 膜の摩擦フェイドアウトと膜質評価	川口雅弘 ほか3名	平成29年 5月17日	国立オリンピック記念 青少年総合センター	トライボロジー会議 2017 春東京
6	フライホイール型摩擦試験機の開発及び DLC ビボット軸受の摩擦フェイドアウトの評価	川口雅弘 ほか4名	平成29年 5月17日	国立オリンピック記念 青少年総合センター	トライボロジー会議 2017 春東京

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
7	エチレンガス添加水素/窒素雰囲気での軽荷重下における水素添加 DLC 膜の摩擦フェイドアウト	川口雅弘 ほか3名	平成 29 年 5 月 17 日	国立オリンピック記念 青少年総合センター	トライボロジー会議 2017 春東京
8	ガスアトマイズ法による高靱性 Mg-B-Sn-Zn 系焼結合金の作製	岩岡 拓 青沼昌幸	平成 29 年 5 月 20 日	名古屋大学 東山キャンパス	(一社)軽金属学会第 132 回春期大会
9	蛇腹折りの紙製ばねを用いた振動低減	岩田雄介	平成 29 年 5 月 21 日	千葉工業大学 津田沼キャンパス	2017 年度春季研究発表講 演会
10	屋外暴露木材表面色経年変化シミュレーションのための地域別予測	村井まどか ほか16名	平成 29 年 5 月 24 日	メルパルク東京	(公社)木材保存協会第 33 回年次大会
11	Fullerene Cation-mediated Demethylation/Cyclization to 5- and 7-Membered Cyclo[60]fullerene Derivatives	小汲佳祐 ほか2名	平成 29 年 5 月 29 日	アメリカ合衆国 ルイジアナ州 ニューオリンズ	231 <sup>st</sup> ECS meeting
12	セメント硬化体に生成するカトアイトの検討	渡邊禎之 ほか3名	平成 29 年 5 月 31 日	ホテルメトロポリタン	第 71 回セメント技術大 会
13	軽量ブロック暗号 SPARX のハードウェア開発	岡部 忠	平成 29 年 6 月 8 日	東京ビッグサイト	JPCAShow2017 アカデミ ックプラザ
14	Low friction mechanism of chlorine-containing amorphous carbon films against aluminium alloy	徳田祐樹 川口雅弘 ほか3名	平成 29 年 6 月 8 日	スロベニア リュブリャナ	6th European Conference on Tribology
15	麻繊維強化植物由来 PA1010 複合材料の機械的性質に及ぼすマレイン酸処理の影響	梶山哲人 ほか3名	平成 29 年 6 月 15 日	タワーホール船堀	プラスチック成形加工学 会第 28 回年次大会
16	各種麻繊維強化植物由来 PA1010 バイオマス複合材料の機械的性質	梶山哲人 ほか3名	平成 29 年 6 月 15 日	タワーホール船堀	プラスチック成形加工学 会第 28 回年次大会
17	高湿度・結露環境に向けた熱型絶対湿度センサの検討	豊島克久	平成 29 年 6 月 29 日	イーグレひめじ	平成 29 年電気学会 E 部 門総合研究会
18	Effects of growth orientation on Hall mobility in Ta:SnO <sub>2</sub> epitaxial thin films	小川大輔 森河和雄 ほか5名	平成 29 年 7 月 3 日	早稲田大学 国際会議場	10th International Symposium on Transparent Oxide and Related Materials for Electronics and Optics
19	木製摩擦ダンパー付き耐力壁及び合板壁、石膏ボードから構成される木質構造の減衰性能評価	松原独歩 ほか6名	平成 29 年 7 月 9 日	信州大学 長野キャンパス	2017 年度日本建築学会北 陸支部総会・大会
20	A Synchronous Software Rejuvenation Technique for Time Warp Event Simulation	大原 衛 ほか1名	平成 29 年 8 月 4 日	アメリカ合衆国 イリノイ州 シカゴ	23rd ISSAT International Conference on Reliability and Quality in Design
21	放射線遮へい材の遮へい能解析に基づいた複合遮へいシートの開発	河原大吾 櫻井 昇 飛澤泰樹	平成 29 年 8 月 8 日	高エネルギー加速器研 究機構放射線化学セン ター	第 24 回 EGS 研究会
22	Influence of Process Time and Geometry on Part Quality of Low Temperature Laser Sintering	山内友貴 木暮尊志 ほか1名	平成 29 年 8 月 9 日	アメリカ合衆国 テキサス州 オースティン	2017 Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium
23	Improvement of recycle rate in laser sintering by low temperature process	木暮尊志 ほか1名	平成 29 年 8 月 9 日	アメリカ合衆国 テキサス州 オースティン	2017 Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium
24	90 GHz Radio-over-Fiber system with IEEE802.11ad packet for High-speed railway communication	藤原康平 ほか1名	平成 29 年 8 月 28 日	メキシコ合衆国 キンタナ・ロー州 カンクン	IRMMW-THz 2017
25	High Mobility Approaching the Intrinsic Limit in Ta-doped SnO <sub>2</sub> Films Epitaxially Grown on TiO <sub>2</sub> (001) Substrates	小川大輔 森河和雄 ほか5名	平成 29 年 8 月 29 日	京都大学 吉田キャンパス	International union of materials research society-International conference of advanced materials (IUMRS-ICAM) 2017
26	三次元座標測定機の精度チェックゲージの検証	樋口英一 中西正一 中村弘史 小船諭史 小西 毅	平成 29 年 8 月 31 日	熊本大学 黒髪南地区	第 34 回センシングフォ ーラム 計測部門大会
27	Virtual CMM による不確かさの検証-CMM によるホールプレート測定-	三浦由佳 中西正一 樋口英一 ほか1名	平成 29 年 9 月 1 日	熊本大学 黒髪南地区	第 34 回センシングフォ ーラム 計測部門大会

平成29年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
28	Virtual CMM によるリングゲージ測定の不確かさの推定	中西正一 三浦由佳 樋口英一 ほか1名	平成 29 年 9 月 1 日	熊本大学 黒髪南地区	第 34 回センシングフォーラム 計測部門大会
29	湿度変動下における各種木材の応力緩和挙動	松原独歩 ほか4名	平成 29 年 9 月 1 日	広島工業大学	2017 年度日本建築学会大会
30	木製摩擦ダンパーの初期軸力管理法に関する研究	松原独歩 ほか4名	平成 29 年 9 月 3 日	広島工業大学	2017 年度日本建築学会大会
31	木製摩擦ダンパー付き耐力壁及び合板壁、石膏ボードから構成される木質構造の耐震性能評価 その1 振動台実験	松原独歩 ほか6名	平成 29 年 9 月 3 日	広島工業大学	2017 年度日本建築学会大会
32	木製摩擦ダンパー付き耐力壁及び合板壁、石膏ボードから構成される木質構造の耐震性能評価 その2 応答予測法と減衰性能評価	松原独歩 ほか6名	平成 29 年 9 月 3 日	広島工業大学	2017 年度日本建築学会大会
33	A novel temperature-responsive, biodegradable and injectable collagen sol for endoscopic closure of perforation during endoscopic submucosal dissection: an animal feasibility study.	柚木俊二 成田武文 ほか8名	平成 29 年 9 月 4 日	ギリシャ アテネ	the 28th Annual Conference of the European Society for Biomaterials
34	接触を有する機械構造物の FEM を用いたモデル構築に関する研究	宮入 徹 ほか2名	平成 29 年 9 月 4 日	埼玉大学	(一社)日本機械学会 2017 年度年次大会
35	Low friction mechanism of chlorine-containing amorphous carbon films against aluminium alloy	徳田祐樹 川口雅弘 ほか2名	平成 29 年 9 月 5 日	フランス リオン	44th Leeds-Lyon symposium on tribology
36	ローバンドギャップマグネシウムポルフィリン錯体の合成と有機太陽電池への応用	小汲佳祐 ほか3名	平成 29 年 9 月 6 日	福岡国際会議場	第 78 回応用物理学会秋季学術講演会
37	乱雑性ノイズを含んだ時系列データに対する RC フィルタの効用と非線形モデル推定の改善	中川善継 村上知里 ほか2名	平成 29 年 9 月 7 日	サンポートホール高松	平成 29 年電気学会 電子・情報システム部門 (C 部門) 大会
38	InGaN の熱電特性	太田優一	平成 29 年 9 月 8 日	福岡国際会議場	第 78 回応用物理学会秋季学術講演会
39	低分子有機薄膜太陽電池向け新規マグネシウムポルフィリン誘導体	小汲佳祐 ほか3名	平成 29 年 9 月 11 日	長崎大学	2017 年電気化学秋季大会
40	衣服一体型ウェアラブルロボット curara の装着感と有用性	加藤貴司 ほか2名	平成 29 年 9 月 12 日	筑波大学 東京キャンパス	第 19 回日本感性工学会大会
41	遅延エトリンサイト生成による膨張に対するフライアッシュの長期的抑制効果	渡邊禎之 ほか3名	平成 29 年 9 月 13 日	九州大学 伊都キャンパス	平成 29 年度全国大会第 72 回年次学術講演会
42	四国・三波川変成岩中のハロゲンと希ガスから制約される水の沈み込み過程	小林真大 ほか9名	平成 29 年 9 月 13 日	東京工業大学 大岡山キャンパス	2017 年度日本地球化学会年会
43	四輪ロッカーボギー構造を用いた T 型ロボットベースの段差踏破の検討と開発	坂下和広 森田裕介 小林祐介 渡辺公一 益田俊樹 村上真之	平成 29 年 9 月 13 日	東洋大学 川越キャンパス	第 35 回日本ロボット学会学術講演会
44	固体 NMR を用いた硫酸塩劣化 (DEF) に対するフライアッシュ抑制効果の考察	渡邊禎之 吉野 徹 ほか3名	平成 29 年 9 月 14 日	北海道大学	(一財)日本原子力学会 2017 年秋の大会
45	セメント系材料へのアルカリイオンの収着に関する検討 (2)C-A-S-H 中の Al 含有量の影響	渡邊禎之 ほか4名	平成 29 年 9 月 14 日	北海道大学	(一財)日本原子力学会 2017 年秋の大会
46	百貨店における案内支援ロボットの導入とその効果検証	瓦田研介 大泉 悟 武田有志 松本正雄 ほか2名	平成 29 年 9 月 14 日	東洋大学 川越キャンパス	第 35 回日本ロボット学会学術講演会
47	CFRP への高密着性無電解銅めっきと耐雷性評価	新井宏章 黒澤大樹 武内陽子 ほか7名	平成 29 年 9 月 15 日	金沢工業大学 扇が丘キャンパス	表面技術協会第 136 回講演大会
48	糖尿病合併症バイオマーカーとしてのソルビトール検出用バイオセンサの開発	月精智子 瀧本悠貴 紋川 亮 ほか2名	平成 29 年 9 月 15 日	お茶の水女子大学	第 33 回ライフサポート学会大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
49	Environmental impact assessment of nickel plating	田熊保彦 杉森博和 安藤恵理 水元和成 ほか5名	平成29年 9月16日	カナダ トロント	Third International Conference on Environment, Engineering & Energy 2017
50	弾性率変化を用いた高効率研削砥石の検討	鈴木悠矢	平成29年 9月20日	大阪大学 豊中キャンパス	2017年度精密工学会秋季 大会学術講演会
51	現場環境における三次元測定機の高度化に関する研究 - 低熱膨張ステップゲージを用いた温度補正の評価-	大西 徹 ほか1名	平成29年 9月20日	大阪大学 豊中キャンパス	2017年度精密工学会秋季 大会学術講演会
52	レーザー焼結低温造形の微細構造の形成過程についての 研究	木暮尊志 山内友貴 ほか1名	平成29年 9月21日	大阪大学 豊中キャンパス	2017年度精密工学会秋季 大会学術講演会
53	レーザー焼結における余剰焼結に影響を与える支配要素に 関する考察	山内友貴 木暮尊志 ほか1名	平成29年 9月21日	大阪大学 豊中キャンパス	2017年度精密工学会秋季 大会学術講演会
54	樹脂粉末レーザー焼結による造形品側面の面荒れ抑制	小林隆一 古杉美幸	平成29年 9月22日	大阪大学 豊中キャンパス	2017年度精密工学会秋季 大会学術講演会
55	沈み込み帯の火山岩中かんらん石斑晶およびマントルか んらん岩のハロゲン・希ガス組成から制約する水の沈み 込み過程	小林真大 ほか3名	平成29年 9月22日	熊本大学 黒髪南キャンパス	日本火山学会 2017年度 秋季大会
56	Highly Porous Nitrogen-Doped Carbon-Supported Pt Nanoparticles with Enhanced Activity for the Oxygen Reduction Reaction in Alkaline Media	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 川口雅弘	平成29年 10月3日	アメリカ合衆国 メリーランド州	232 <sup>nd</sup> ECS Meeting
57	都産技研における GPU・FPGA を活用した製品開発支援の 紹介	三木大輔 岡部 忠	平成29年 10月4日	幕張メッセ	CEATEC2017 半導体/プロ グラマブルデバイスプラ ザ オープンセミナー
58	X線 CT を用いた寸法測定における補正方法の検討	竹澤 勉 樋口英一	平成29年 10月6日	福岡国際会議場	日本非破壊検査協会秋季 講演大会
59	画像の歪曲に頑健な人物姿勢認識手法	三木大輔 阿部真也	平成29年 10月13日	熊本大学	パターン認識・メディア 理解研究会
60	吹付ガン式植毛装置を用いた立体物への植毛加工	長谷川 孝 宇井 剛	平成29年 10月18日	学士会館	色材協会創立90周年記 念会議
61	バグ修正コミットのソースコード変更点の特徴に関する 一考察	大原 衛	平成29年 10月20日	熊本県天草市民センタ ー	信頼性研究会
62	穿くロボット curara®パンツタイプの開発	加藤貴司 ほか2名	平成29年 10月22日	筑後広域公園芸術文化 交流施設 九州芸文館	平成29年度日本デザイ ン学会第5支部研究発表 会
63	リサイクル麻繊維強化植物由来 PA1010 バイオマス複合 材料を用いたトライポマテリアルの開発	梶山哲人 ほか5名	平成29年 10月23日	名古屋市工業研究所	第29回高分子加工技術 討論会
64	セラミックスを用いたガス電子増幅器用電極の開発	小宮一毅 武内陽子 藤原康平	平成29年 10月26日	都産技研 本部	18回実装・信頼性技術研 究会
65	A novel temperature-responsive, biodegradable and injectable collagen sol for endoscopic closure of colonic perforation hole: an animal study.	柚木俊二 成田武文 ほか9名	平成29年 10月29日	スペイン バルセロナ	UEGW 2017 -The 25th United European Gastroenterology Week
66	無水マレイン酸処理 VGCF-X/PA6 複合材料のトライポロ ジータの性質	梶山哲人 ほか2名	平成29年 11月1日	大阪府立国際会議場	成形加工シンポジウム'17
67	麻繊維強化植物由来 PA1010 複合材料の機械的特性と繊 維分散性の関係	梶山哲人 井上 潤 竹澤 勉 ほか4名	平成29年 11月1日	大阪府立国際会議場	成形加工シンポジウム'17
68	天然繊維の有機導電加工と活用	添田 心 古田博一	平成29年 11月2日	フェニックス・シーガ イア・リゾート	平成29年度繊維学会秋 季研究発表会
69	希ガス質量分析の応用による極微量ハロゲン分析	小林真大 ほか2名	平成29年 11月9日	熱川ハイツ	2017年度日本質量分析学 会同位体比部会
70	ダイヤモンドコーテッド工具を用いたステンレス鋼板の ドライしごき加工	玉置賢次 中村健太 平野康之 ほか1名	平成29年 11月10日	フェニックスプラザ	第68回塑性加工連合講 演会
71	摩擦援用押し出しを施したマグネシウム合金板材の機械的 性質と集合組織との関係	小船諭史 ほか1名	平成29年 11月10日	フェニックスプラザ	第68回塑性加工連合講 演会

平成29年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
72	異方性を考慮した Ti-15V-3Cr-3Sn-3Al 合金板の成形限界線図	奥出裕亮 岩岡 拓 平野康之	平成 29 年 11 月 10 日	フェニックスプラザ	第 68 回塑性加工連合講演会
73	データに基づく観測モデルの直接設計とカルマンフィルタへの応用	金田泰昌 入月康晴	平成 29 年 11 月 11 日	電気通信大学	第 60 回自動制御連合講演会
74	多面体構造サンドイッチコアの開発と圧縮特性	高橋俊也	平成 29 年 11 月 11 日	フェニックスプラザ	第 68 回塑性加工連合講演会
75	火山ガスモニタリングに向けた硫化水素ガスセンサの開発	瀧本悠貴 紋川 亮 月精智子 木下真梨子 永田晃基 小林真大 ほか 2 名	平成 29 年 11 月 14 日	つくばセミナーハウス	2017 年度火山性流体討論会
76	各種炭化水素ガスを添加した水素雰囲気での DLC 膜の摩擦フェイドアウト性能	川口雅弘 ほか 3 名	平成 29 年 11 月 15 日	サンポートホール高松	トライボロジー会議 2017 秋高松
77	エタノール蒸気を添加した酸素を含む窒素雰囲気での DLC 膜の摩擦フェイドアウト性能	川口雅弘 ほか 3 名	平成 29 年 11 月 15 日	サンポートホール高松	トライボロジー会議 2017 秋高松
78	フライホイール型摩擦試験機による DLC ピボット軸受の摩擦フェイドアウトの荷重・速度特性	川口雅弘 ほか 3 名	平成 29 年 11 月 15 日	サンポートホール高松	トライボロジー会議 2017 秋高松
79	各種麻繊維強化植物由来 PA1010 バイオマス複合材料のトライボロジー特性	梶山哲人 ほか 5 名	平成 29 年 11 月 16 日	サンポートホール高松	トライボロジー会議 2017 秋高松
80	円筒形及び直方体磁性体における反磁界係数	伊藤 清 西村信司	平成 29 年 11 月 20 日	新日鐵住金(株) 直江津製造所	平成 29 年度第 1 回表面 三部門合同研究集会
81	コラーゲンのゲル紡糸：線維配向化と直径制御を実現する新たな連続紡糸技術	海老澤瑞枝 畑山博哉 ほか 2 名	平成 29 年 11 月 21 日	タワーホール船堀	第 39 回日本バイオマテリアル学会大会
82	金属繊維を用いた燃料電池用集電材の開発	窪寺健吾	平成 29 年 11 月 22 日	都産技研 多摩テクノプラザ	日本繊維機械学会関東支部講演会・見学会
83	話者の音声特徴に着目した難聴者が聞き取りやすい音声の検討	服部 遊 宮入 徹 ほか 1 名	平成 29 年 11 月 25 日	山形県立保健医療大学	日本福祉工学会第 21 回 学術講演会
84	腱振動刺激による運動錯覚時の刺激量定量化装置の設計	大島浩幸 島田茂伸	平成 29 年 11 月 25 日	大阪商業大学	日本スポーツ心理学会第 44 回大会
85	自律移動型案内ロボットの開発と安全認証への挑戦	武田有志	平成 29 年 11 月 29 日	東京ビッグサイト	2017 国際ロボット展
86	ゲル法シリカ充填非架橋 EPDM の折り曲げ性と衝撃吸収性	飛澤泰樹 ほか 2 名	平成 29 年 11 月 30 日	京都大学 宇治キャンパス	第 28 回エラストマー討論会
87	放電抑制を向上させた LTCC-GEM の開発	武内陽子 小宮一毅 ほか 1 名	平成 29 年 12 月 1 日	岩手大学 銀河ホール	第 14 回マイクロパターン ガス検出器 (MPGD) 研究会
88	レーザー照射処理をしたアモルファス窒化炭素薄膜の励起スペクトル	太田優一 ほか 9 名	平成 29 年 12 月 2 日	福井大学	2017 年度日本物理学会北 陸支部定例学術講演会
89	紙製ばねによる振動低減効果の検討	岩田雄介	平成 29 年 12 月 8 日	都産技研 本部	制振工学研究会設立 30 周年記念技術交流会
90	W-band up-converter using low-loss and simple waveguide-to-microstrip line transducer for UWB	藤原康平 山岡英彦 小林丈士	平成 29 年 12 月 12 日	機械振興会館	日韓マイクロウェーブ ワークショップ 2017
91	Analysis of Slit Type Chipless RFID Tag Comprising Fractal Structures	渡部雄太	平成 29 年 12 月 12 日	機械振興会館	日韓マイクロウェーブ ワークショップ 2017
92	NSL を使ったプロトタイピングによるストリーム暗号の性能評価	岡部 忠	平成 29 年 12 月 26 日	都産技研 本部	第 43 回バルテノン研究会
93	鉄鋼材料およびセラミックス材料との摩擦における塩素含有 DLC 膜の摩擦摩耗メカニズム	徳田祐樹 川口雅弘 ほか 3 名	平成 30 年 1 月 26 日	都産技研 本部	第 274 回材料試験技術シ ンポジウム
94	CFRP への高密着性めっきと耐雷性評価	新井宏章 黒澤大樹 武内陽子 上野武司 ほか 8 名	平成 29 年 10 月 18 日	タワーホール船堀	第 7 回 CSJ 化学フェスタ 2017

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
95	High Degree-of-Freedom Hand Model Driven by Lower Degree-of-Freedom Input	佐々木智典 ほか1名	平成 29 年 12 月 13 日	中華民国 台北市	2017 IEEE / SICE International Symposium on System Integration (SII)
96	Perovskite oxide nanoparticles supported on highly porous nitrogen-doped carbon as a synergistic catalyst for oxygen reduction reaction	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 川口雅弘 ほか1名	平成 30 年 1 月 24 日	ポルトガル共和国 リスボン	3rd ISN2A-2018
97	超音波疲労試験の最適試験片形状の提案	新垣 翔	平成 30 年 1 月 25 日	都産技研 本部	第 25 回 超音波による非 破壊評価シンポジウム
98	訪日外国人向け観光スポット検索システム	阿部真也 三木大輔 ほか1名	平成 30 年 2 月 19 日	静岡県立大学 草薙キャンパス	第 4 回とうかい観光情報 学研究会
99	0.1mm極細熱電対の開発	沼尻治彦 佐々木正史 倉持幸佑 河原大吾 ほか6名	平成 30 年 3 月 2 日	新潟駅前オフィス貸会 議室	電気学会計測研究会
100	Evaluation of color appearance of LED lighting by principal component analysis and prediction method by color appearance model	岩永敏秀 澁谷孝幸 横田浩之 ほか4名	平成 30 年 3 月 7 日	東海大学 高輪キャンパス	The 8th Lux Pacifica
101	ノッチフィルタを用いた複数差動信号におけるノイズ源 探査手法の検討	佐野宏靖 佐々木秀勝 金田泰昌	平成 30 年 3 月 8 日	東京理科大学 野田キャンパス	(一社)エレクトロニク ス実装学会
102	亜鉛めっき排水処理における薬剤の影響とその対策	森久保 諭 西田 葵 田熊保彦 榎本大佑 小坂幸夫	平成 30 年 3 月 13 日	芝浦工業大学 豊洲キャンパス	表面技術協会 第 137 回 講演大会
103	背景騒音下で聴感される異音に対する気になり度合の推 定	宮入 徹 服部 遊	平成 30 年 3 月 13 日	日本工業大学 宮代キャンパス	日本音響学会 2018 年春 季研究発表会
104	レーザー焼結部材の絶縁特性評価	新井宏章 山内友貴 上野武司	平成 30 年 3 月 14 日	九州大学 伊都キャンパス	平成 30 年電気学会全国 大会
105	観光情報システムの言語バリアフリー化	阿部真也 三木大輔 ほか1名	平成 30 年 3 月 14 日	早稲田大学 西早稲田キャンパス	情報処理学会第 80 回全 国大会
106	粘菌アルゴリズムによる避難経路の導出	吉次なぎ 阿部真也 ほか1名	平成 30 年 3 月 15 日	早稲田大学 西早稲田キャンパス	情報処理学会第 80 回全 国大会
107	促進耐候試験による熱処理木材の表層劣化の形態的解析	村井まどか 石田祐也 ほか2名	平成 30 年 3 月 14 日	京都府立大学	第 68 回日本木材学会
108	プログラマブルデバイス PSoC へのストリーム暗号の実 装検討	岡部 忠	平成 30 年 3 月 15 日	九州大学 伊都キャンパス	平成 30 年電気学会全国 大会
109	レーザー焼結低温造形の造形条件が溶融深度に与える影 響についての研究	木暮尊志 山内友貴 ほか1名	平成 30 年 3 月 15 日	中央大学 後楽園キャンパス	2018 年度精密工学会春季 大会学術講演会
110	レーザー焼結した部品表面の平滑化	山内友貴	平成 30 年 3 月 16 日	中央大学 後楽園キャンパス	2018 年度精密工学会春季 大会学術講演会
111	木材の摩擦を用いた耐力壁の開発 その6 摩擦接合を 用いた軸組工法用 CLT 壁の開発	松原独歩 ほか5名	平成 30 年 3 月 16 日	京都府立大学 国立京都国際会館	第 68 回日本木材学会大 会(京都大会)
112	無水マレイン酸処理 CF/PAG 複合材料の機械的性質	梶山哲人 ほか2名	平成 30 年 3 月 16 日	電気通信大学	関東学生会第 57 回学生 員卒業研究発表講演会
113	麻繊維強化植物由来 PA1010 バイオマス複合材料の機械 的性質に及ぼす PP-g-MA 添加の影響	梶山哲人 ほか2名	平成 30 年 3 月 16 日	電気通信大学	関東学生会第 57 回学生 員卒業研究発表講演会
114	ストリーム暗号 Enocoro の FPGA 実装	岡部 忠	平成 30 年 3 月 20 日	東京電機大学 東京千住キャンパス	2018 年電子情報通信学会 総合大会
115	複数センサによる人認識コンポーネントの調停と実装	中村住雅 武田有志	平成 30 年 3 月 21 日	東京電機大学 東京千住キャンパス	2018 年電子情報通信学会 総合大会
116	sPHENIX 実験-INTT 検出器のための長尺・高密度デー タバスの開発	近藤 崇 ほか9名	平成 30 年 3 月 22 日	東京理科大学 野田キャンパス	(一社)日本物理学会第 73 回年次大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
117	低分子有機薄膜太陽電池に用いるジケトピロロピロールが連結されたマグネシウムテトラエチルポルフィリン	小汲佳祐 ほか4名	平成30年 3月22日	日本大学 船橋キャンパス	日本化学会第98春季年会(2018)

ポスター発表(学協会など) 72件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	複数人の集合環境における追従ロボットの開発	鈴木 薫 ほか2名	平成29年 5月10日	ビッグパレットふくしま	(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス 講演会- 2017 in Fukushima
2	高位合成を使った軽量ブロック暗号の実装性能評価	岡部 忠	平成29年 5月11日	北九州国際会議場	(一社)電子情報通信学会 第30回回路とシステムワークショップ
3	屋外用ロボットベース「Taurus」の開発	益田俊樹 森田裕介 佐藤 研 武田有志 坂下和広	平成29年 5月11日	ビッグパレットふくしま	(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス 講演会- 2017 in Fukushima
4	SysML を活用したロボットシステムの明確化と安全設計	森田裕介 村上真之 坂下和広 ほか1名	平成29年 5月11日	ビッグパレットふくしま	(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス 講演会- 2017 in Fukushima
5	ロッカーボギー構造による移動プラットフォーム(T型ロボットベース)の開発	小林祐介	平成29年 5月11日	ビッグパレットふくしま	(一社)日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス 講演会- 2017 in Fukushima
6	Microstrip antenna and rectifier for wireless power transfer at 94GHz	藤原康平 山岡英彦 ほか1名	平成29年 5月11日	中華民国 台湾 台北市	Wireless Power Transfer Conference 2017
7	熱処理木材用の高耐候性塗料の開発	村井まどか 木下稔夫 小野澤明良 ほか2名	平成29年 5月23日	メルパルク東京	(公社)日本木材保存協会 第33回年次大会
8	オオズラタケ由来の揮発性有機化合物に対するイェシロアリの触角電位応答の比較	小沼ルミ 瓦田研介 ほか2名	平成29年 5月24日	メルパルク東京	(公社)日本木材保存協会 第33回年次大会
9	ANALYSIS OF HOLE BENDING IN LAMINA INCISED BY THIN DRILL WITH MICRO FOCUS X-RAY CT SCANNER	松原独歩 ほか4名	平成29年 5月29日	ポーランド共和国 ワルシャワ	23rd International Wood Machining Seminar
10	Quantification of the depth at which the vibrator pushes the tendon to evoke the motion illusion	大島浩幸 島田茂伸	平成29年 6月3日	日本大学 津田沼キャンパス	The 2nd Asian Conference on Ergonomics and Design (ACED 2017)
11	Friction properties of chlorine-containing amorphous carbon films against various counter parts	徳田祐樹 川口雅弘 ほか3名	平成29年 6月8日	スロベニア共和国 リュブリャナ	6th European Conference on Tribology
12	陶磁器の上絵層における有機物分析の試み - 赤外放射光分析による焼成に伴う膠成分の変化に関する検討 -	樋口智寛 ほか3名	平成29年 6月10日	東北芸術工科大学	日本文化財科学会 第34回大会
13	蛋白質可溶性因子アンフォルジンの細胞内存在様式	八谷如美	平成29年 6月21日	仙台国際センター	(一社)日本蛋白質学会 第17回年会
14	Friction and Wear Properties of Recycled Natural Fiber Reinforced Plants-Derived Polyamide1010 Biomass Composites	梶山哲人 ほか6名	平成29年 6月27日	ドイツ連邦共和国 ドレスデン	The Europe Africa Conference 2017 of the POLYMER PROCESSING SOCIETY (PPS)
15	燃料電池および金属空気電池用高活性多孔質窒素ドーパカーボンナノ粒子触媒の開発	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 川口雅弘	平成29年 7月4日	東京国際フォーラム	(公社)新化学技術推進協会 第6回 JACI/GSC シンポジウム
16	Aspergillus section Versicolores におけるステリグマトシチン産生菌種の分子生物学的 検出方法の開発	小沼ルミ ほか10名	平成29年 7月7日	バルテノン多摩小ホール	日本マイコトキシソ学会 第80回学術講演会
17	Microstructure of Boron-doped AlN Epitaxial Layer Grown by Metal-Organic Vapor Phase Epitaxy	太田優一 ほか3名	平成29年 8月1日	くにびきメッセ	The 29th International Conference on Defects in Semiconductors

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
18	A Tourism Information System with Language-Barrier-Free Interfaces for Foreign Visitors	阿部真也 三木大輔 ほか1名	平成29年 8月6日	ホテルサンルートプラザ新宿	International Conference on Marketing and Tourism
19	シリコン窒化膜の窒素原子空孔の第一原理計算	太田優一 ほか3名	平成29年 8月24日	東京理科大学 森戸記念館	(公社)電気化学会 第81回 半導体・集積回路技術シンポジウム
20	Measuring Torque Coefficient of Lag-Screw Timber Joints for Developing Wood Friction Dampers	松原独歩 ほか5名	平成29年 8月31日	京都大学 吉田キャンパス	International union of materials research society-International conference of advanced materials (IUMRS-ICAM) 2017
21	TIPS マグネシウムポルフィリンを前駆体としたポルフィリン誘導体の合成と光電変換特性	小汲佳祐 ほか4名	平成29年 9月5日	福岡国際会議場	(公社)応用物理学会 第78回応用物理学会 秋季学術講演会
22	テラヘルツ波発生用ベンゾチアゾリウム系結晶	秋葉拓也 ほか8名	平成29年 9月6日	福岡国際会議場	(公社)応用物理学会 第78回応用物理学会 秋季学術講演会
23	微細周期構造による日射反射材の数値解析的検討	磯田和貴 永田晃基 海老澤瑞枝 ほか1名	平成29年 9月7日	福岡国際会議場	(公社)応用物理学会 第78回応用物理学会 秋季学術講演会
24	LA-ICP-MSによる樹脂試料中の有害元素の分析	湯川泰之 林 英男	平成29年 9月10日	東京理科大学 葛飾キャンパス	(公社)日本分析化学会 第66年会
25	固体標準試料を用いないLA-ICP-MSの検討	林 英男 川口雅弘 渡邊禎之 湯川泰之 ほか2名	平成29年 9月10日	東京理科大学 葛飾キャンパス	(公社)日本分析化学会 第66年会
26	「安全(機能)」による「安心(生活価値)」のアフオーダンス 感性評価を活用した製品開発プロセス	森 豊史	平成29年 9月11日	筑波大学 東京キャンパス	日本感性工学会 第19回日本感性工学会大会
27	ゲーテンベルグダイヤグラムに代表される視線移動の経験則の検証	森 豊史	平成29年 9月11日	筑波大学 東京キャンパス	日本感性工学会 第19回日本感性工学会大会
28	新型リフレクトメーターの開発	酒井日出子 高橋文緒 佐々木秀勝 木暮尊志 ほか3名	平成29年 9月12日	筑波大学 東京キャンパス	日本感性工学会 第19回日本感性工学会大会
29	ハロン 2402 含有アルコール溶液中に放射線照射で生成するBr <sup>-</sup> からのBr <sup>2</sup> 生成過程の検討	中川清子 ほか2名	平成29年 9月27日	(国研)産業技術総合研究所	日本放射線化学会 第60回放射線化学討論会
30	水害被災後の家屋の真菌叢の推移及び家屋の環境による真菌叢の相違	小沼ルミ ほか5名	平成29年 9月27日	千里ライフサイエンスセンター	日本防菌防黴学会 第44回年次大会
31	蛍光X線観察による難燃処理ラミナ中の薬剤分布状況について	松原独歩 ほか5名	平成29年 9月28日	兵庫県民会館	(公社)日本木材加工技術協会 第35回年次大会
32	Friction properties of chlorine-doped DLC films sliding against various counter parts	徳田祐樹 川口雅弘 ほか2名	平成29年 10月14日	奄美山羊島ホテル	(一社)日本トライボロジエ学会 サステナブルトライボロジエ会議 2017
33	内視鏡治療における粘膜下局注剤としての加温硬化性コラーゲン・ゾルの可能性	柚木俊二 成田武文 ほか3名	平成29年 10月14日	福岡国際会議場	Japan Digestive Disease Week
34	BGaNの電子状態計算	太田優一	平成29年 10月26日	ロワジールホテル豊橋	(独)日本学術振興会 第100回記念特別公開シンポジウム
35	低消費電力性・耐腐食性を有するフローセンサデバイスの特性改善	山岡英彦 永田晃基	平成29年 11月1日	広島国際会議場	(一社)電気学会 第34回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
36	電子線照射によるCYPMPPO-HO2生成条件における照射エネルギーの影響	中川清子	平成29年 11月2日	東京工業大学 大岡山キャンパス	(一社)電子スピンスイエンス学会 第56回電子スピンスイエンス学会

平成29年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
37	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 環境技術グループ ガラス・セラミックス分野の紹介	増田優子 陸井史子 吉野 徹 宮宅ゆみ子 上部隆男	平成 29 年 11 月 2 日	名古屋国際会議場	(公社)日本セラミックス協会 第 58 回ガラスおよびフォトンクス材料討論会
38	積層セラミックス技術を用いたガスセンサの要素技術開発	小宮一毅 山岡英彦	平成 29 年 11 月 2 日	広島国際会議場	(一社)電気学会 第 34 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
39	無容器法-酸素炎高温ガスバーナーで 1 秒以内作成のインフライトガラス：メカニズム解明と新機能性ガラスの作製を目指して	陸井史子 ほか 7 名	平成 29 年 11 月 2 日	名古屋国際会議場	(公社)日本セラミックス協会 第 58 回ガラスおよびフォトンクス材料討論会
40	Adsorption of indium and gallium on natural banana fiber	梶山哲人 ほか 2 名	平成 29 年 11 月 7 日	フェニックス・シーガイア・リゾート	The 21st International solvent extraction conference (ISEC 2017)
41	Solid-Phase Extraction of Ga <sup>3+</sup> and In <sup>3+</sup> with hexadentate chelating reagent	梶山哲人 ほか 5 名	平成 29 年 11 月 7 日	フェニックス・シーガイア・リゾート	The 21st International solvent extraction conference (ISEC 2017)
42	Thermoelectric properties of β-Ga203	太田優一	平成 29 年 11 月 9 日	長浜口イヤルホテル	第 36 回電子材料シンポジウム
43	A low-cost and simple-structure IEEE802.11ad wireless network appliance test system using Gunn oscillator and fundamental mixer	藤原康平 山岡英彦 小林丈士 ほか 5 名	平成 29 年 11 月 14 日	マレーシア クアラルンプール	2017 Asia Pacific Microwave conference
44	Optimization of microsecond pulsed glow discharge and press forming conditions for the direct analysis of solid fine ceramics powders with fast-flow GD-MS using a secondary electrode	山田健太郎 ほか 3 名	平成 29 年 11 月 14 日	くにびきメッセ	7th Asia-Pacific Winter Conference on Plasma Spectrochemistry
45	Electronic and optical properties of BAIN	太田優一 ほか 3 名	平成 29 年 11 月 15 日	九州大学 医学部百年講堂	International Workshop on UV Materials and Devices 2017
46	市場流通医薬品の品質確認のための分光分析 第 3 報 近赤外イメージングによる異なる流通経路で入手した抗マラリヤ合剤 Riamet 錠における主薬及び添加剤成分の分布比較	藤巻康人 ほか 3 名	平成 29 年 11 月 16 日	筑波大学	近赤外研究会 第 33 回 近赤外フォーラム
47	シリカ細孔内に導入したナノグラフェンの近赤外スペクトル解析	藤巻康人 小金井誠司 林 孝星 渡辺洋人 ほか 1 名	平成 29 年 11 月 17 日	筑波大学	近赤外研究会 第 33 回 近赤外フォーラム
48	プリント技術を用いた炭素繊維強化プラスチックの機械的物性制御	武田浩司 西川康博	平成 29 年 11 月 22 日	都産技研 多摩テクノプラザ	(一社)日本繊維機械学会 関東支部講演会・見学会
49	スポーツ用義足の剛性評価	西川康博 ほか 1 名	平成 29 年 11 月 22 日	都産技研 多摩テクノプラザ	(一社)日本繊維機械学会 関東支部講演会・見学会
50	超高分子量ポリエチレン繊維(釣糸)の染料染色	榎本一郎 池田善光 ほか 6 名	平成 29 年 11 月 22 日	都産技研 多摩テクノプラザ	(一社)日本繊維機械学会 関東支部講演会・見学会
51	繊維製品評価のための標準白布の仕上げ条件の適正化	小柴多佳子 中島 茂 岡田明子 渡辺世利子 朝倉 守	平成 29 年 11 月 22 日	都産技研 多摩テクノプラザ	(一社)日本繊維機械学会 関東支部講演会・見学会
52	産業用繊維資材の汚染ガスと光による複合試験	岡田明子	平成 29 年 11 月 22 日	都産技研 多摩テクノプラザ	(一社)日本繊維機械学会 関東支部講演会・見学会
53	移動プラットフォーム(T 型ロボットベース)の開発とロボットへの適用	小林祐介 益田俊樹 佐藤 研 瓦田研介	平成 29 年 12 月 6 日	大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス	(一社)日本機械学会 第 26 回交通・物流部門大会 (TRANSLOG2017)
54	Tribological Properties of Various Natural Fiber Reinforced Plant-Derived Polyamide1010 Biomass Composites	梶山哲人 ほか 3 名	平成 29 年 12 月 11 日	メキシコ合衆国 キンタナ・ロー州 カンクン	The 33rd Annual Meeting of the Polymer Processing Society

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
55	Influence of Maleic Anhydride Treatment on the Tribological Properties of Hemp Fiber Reinforced Plant-Derived Polyamide 1010 Biomass Composites	梶山哲人 山中寿行 ほか3名	平成 29年 12月 11日	メキシコ合衆国 キンタナ・ロー州 カンクン	The 33rd Annual Meeting of the Polymer Processing Society
56	培養法およびアンプリコンシーケンス解析による室内真菌叢の比較	小沼ルミ ほか13名	平成 29年 12月 13日	佐賀市文化会館	(一社)室内環境学会 平成 29年室内環境学会学術大会
57	原子間力顕微鏡を用いた SrFeO <sub>3</sub> のトポタクティック局所酸化還元反応	小川大輔 森河和雄 ほか4名	平成 30年 1月 4日	東京大学 本郷キャンパス	強制的秩序とその操作に関わる研究グループ 第6回研究会
58	A basic study of an internal state estimation of buttock using pressure mapping system in sitting position	村上知里 金田泰昌 ほか1名	平成 30年 3月 2日	アメリカ合衆国ネバダ州ラスベガス	The National Pressure Ulcer Advisory Panel 2018 Annual Conference
59	繰返し素材リサイクルによる不純物元素の濃度変化説明モデル 鉄鋼材の事例	林 英男 ほか5名	平成 30年 3月 8日	早稲田大学 早稲田キャンパス	第13回日本LCA学会研究発表会講演
60	パレル用クエン酸ニッケルめっき浴における銅不純物の影響	桑原聡士 竹村昌太 土井 正 浦崎香織里	平成 30年 3月 12日	芝浦工業大学 豊洲キャンパス	(一社)表面技術協会第137回講演大会
61	鋼板添え板ラグスクリュー接合部の最大締付け軸力推定法	松原独歩 ほか5名	平成 30年 3月 15日	京都府立大学 国立京都国際会館	第68回日本木材学会大会(京都大会)
62	木材の摩擦を用いた耐力壁の開発 その7 温湿度の変動が木材圧縮力に与える影響	松原独歩 ほか5名	平成 30年 3月 15日	京都府立大学 国立京都国際会館	第68回日本木材学会大会(京都大会)
63	スギ耐火集成材に用いるドリルインサイジングの加工条件が穴形状に及ぼす影響	松原独歩 ほか3名	平成 30年 3月 15日	京都府立大学 国立京都国際会館	第68回日本木材学会大会(京都大会)
64	Bi <sub>2</sub> O <sub>3</sub> 量子ドットのバンド準位制御による二酸化炭素の選択的光還元反応の誘起	渡辺洋人 染川正一 ほか5名	平成 30年 3月 15日	東北大学 川内北キャンパス	(公社)日本セラミックス協会 2018年年会
65	-(Al <sub>x</sub> Ga <sub>1-x</sub> ) <sub>2</sub> O <sub>3</sub> のバンドアライメント	太田優一	平成 30年 3月 19日	早稲田大学 西早稲田キャンパス	第65回応用物理学会春季学術講演会
66	大気中光電子分光測定を用いたナノグラフェンのバンド構造解析	藤巻康人 渡辺洋人 林 孝星 小汲佳祐	平成 30年 3月 20日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第98春季年会 (2018)
67	RoHS 指令に対応した樹脂に含有する六価クロム分析方法の改良	中澤亮二	平成 30年 3月 21日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第98春季大会
68	Study on analysis method of phthalates corresponding to RoHS directive	平井和彦 中澤亮二 亀崎 悠 木下健司 池田紗織	平成 30年 3月 21日	日本大学 船橋キャンパス	(公社)日本化学会 第98春季年会 (2018)
69	多孔質シリカを鋳型に用いて合成した酸化チタン光触媒の特性	染川正一 渡辺洋人 ほか3名	平成 30年 3月 23日	東京大学 駒場キャンパス	(一社)触媒学会 第121回触媒討論会
70	内部量子効率計測による Tryptophan のキラリティー評価	藤巻康人 小金井誠司 ほか1名	平成 30年 3月 27日	石川県立音楽堂 金沢市アートホール	(公社)日本薬学会 第138年会
71	【豪雨対策】 ドローンによる 3D 防災調査の実証	森 豊史	平成 30年 3月 28日	名古屋大学	第13回日本感性工学会春季大会
72	外国人を対象とした非言語依存の潜在ニーズ調査	橋本みゆき 森 豊史	平成 30年 3月 28日	名古屋大学	第13回日本感性工学会春季大会

座長 7件

No.	大会等の名称	職員名	年月日	場所	学会などの名称
1	(一社)電子情報通信学会 ディベンダブルコンピューティング研究会	大原 衛	平成 29年 5月 25日	北海道登別市	(一社)電子情報通信学会
2	(一社)プラスチック成形加工学会 第28回年次大会	梶山哲人	平成 29年 6月 15日	タワーホール船堀	(一社)プラスチック成形加工学会
3	日本放射線化学会 第60回放射線化学討論会	中川清子	平成 29年 9月 28日	(国研)産業技術総合研究所	日本放射線化学会
4	Asia Pacific Prion Symposium 2017	八谷如美	平成 29年 10月 21日	オーストラリア連邦 メルボルン	Asian Pacific Society of Prion Research

平成29年度 年報

No.	大会等の名称	職員名	年月日	場所	学会などの名称
5	(一社)日本塑性加工学会 第68回塑性加工連合講演会	玉置賢次	平成29年 11月10日	フェニックスプラザ	(一社)日本塑性加工学会
6	(公社)精密工学会 2018年度精密工学会春季大会学術講演会	山内友貴	平成30年 3月16日	中央大学 後楽園キャンパス	(公社)精密工学会
7	(一社)日本非破壊検査協会 第21回表面探傷シンポジウム	伊藤 清	平成30年 3月26日	メルパルク京都	(一社)日本非破壊検査協会

依頼講演 - 研究成果 - 16件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	CVD多結晶ダイヤモンド成膜技術の開発およびその産業応用事例紹介	長坂浩志	平成29年 4月28日	都産技研 本部	(独)日本学術振興会
2	特別講演「持続可能な天然材料「漆」の熱硬化特性とその応用技術」	木下稔夫	平成29年 7月13日	都産技研 本部	マテリアルライフ学会
3	改良型レーザーマイクロダイセクターによるあたらしい蛋白質凝集研究手法	八谷如美	平成29年 8月4日	宇都宮東武ホテルグランデ	日本白内障学会 水晶体研究会
4	木材腐朽の検出手法に関する検討	小沼ルミ	平成29年 8月25日	都産技研 本部	カビ毒研究連絡会
5	放射線透過試験用透過度計及び像質計に関するJIS改正及び制定について	河原大吾 ほか3名	平成29年 9月8日	アクトシティ浜松	(一社)日本非破壊検査協会
6	水生植物における放射性セシウムの蓄積状況及び吸収経路の解明	永川栄泰 櫻井昇 ほか5名	平成29年 9月8日	東京理科大学 野田キャンパス	(公社)日本植物学会
7	多孔質窒素ドーブカーボンナノ粒子を用いた金属空気電池用触媒の開発	立花直樹	平成29年 10月13日	都産技研 本部	(公社)高分子学会印刷・情報・電子用材料研究会
8	有機薄膜太陽電池用材料の開発	小汲佳祐	平成29年 10月13日	都産技研 本部	(公社)高分子学会印刷・情報・電子用材料研究会
9	MEMS技術を用いた技術支援および研究事例紹介	永田晃基	平成29年 10月13日	都産技研 本部	(公社)高分子学会印刷・情報・電子用材料研究会
10	announcement of APPS 2018	八谷如美	平成29年 10月21日	オーストラリア連邦 メルボルン	Asian Pacific Society of Prion Research
11	Paradigm shift of analytical methods for protein aggregates -Advanced Laser Micro Dissection System against the Neurodegenerative diseases-	八谷如美	平成29年 11月28日	ポーランド共和国 ヴロツワフ	Wroclaw Medical University
12	ダイヤモンドコーテッド工具を用いたステンレス鋼板のドライしごき加工	玉置賢次	平成29年 12月8日	ユシロ化学工業(株)	(一社)日本トライボロジー学会
13	都産技研におけるFPGAを活用した製品開発支援	岡部 忠	平成30年 1月19日	都産技研 本部	(特非)FPGA コンソーシアム
14	セラミックスAMの紹介	小林隆一	平成30年 1月25日	東京大学 駒場キャンパス	東京大学生産技術研究所 付加製造科学研究室
15	Prion2017	八谷如美	平成29年 5月24日	英国 エジンバラ	Prion2017
16	多点温度センサの開発	倉持幸佑	平成30年 2月9日	弘済会館	産業計測第36委員会 温度計測分科会研究会

依頼原稿 - 研究成果 - 17件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	小型化された共晶点セルの実現とその評価	佐々木正史	(公社)計測自動制御学会	計測自動制御学会 計測と制御 Vol.56, No.4, p.312 (2017)
2	金属粉末積層造形におけるモデル形状に対する条件データベースの構築	藤巻研吾 横山幸雄 小金井誠司 千葉浩行 大久保 智	(株)アグネ技術センター	金属 Vol.87, No.5, pp.382-386 (2017)
3	東京都立産業技術研究センターが取り組む研究開発事例	藤巻研吾 千葉浩行 大久保 智	(公社)砥粒加工学会	砥粒加工学会誌 Vol.61, No.5, pp.241-244 (2017)
4	漆と間伐材の木粉を混成した成形材料	木下稔夫	(公社)日本表面科学会	表面科学 Vol.38, No.5, pp.244-246 (2017)

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
5	めっきによるナイロン樹脂 AM (3D プリンター) モデルへの意匠性付与	竹村昌太	(株)塗料報知新聞社	塗布と塗膜 Vol.6, No.2, pp.16-20 (2017)
6	小型化された共晶点セルの実現とその評価	佐々木正史	(公社)計測自動制御学会	計測自動制御学会 計測と制御 センシングフォーラム資料 33 pp.25-28 (2016)
7	漆の熱硬化特性とその応用技術	木下稔夫	日本塗装技術協会	塗装工学 Vol.52, No.9, pp.282-288 (2017)
8	医薬品開発、品質・製造工程管理における分光測定 (第10回)	藤巻康人 ほか5名	(株)じほう	ファームテックジャパン (PHARM TECH JAPAN) Vol.33, No.8, pp.75-79 (2017)
9	Novel approach for neurodegenerative diseases	八谷如美	Juniper Publishers	Journal of Neurology and Neurosurgery Vol.6, No.3, p.42739 (2017)
10	プラズマ産業応用技術への寄稿	川口雅弘	(株)シーエムシー出版	プラズマ産業応用技術 pp.135-143 (2017)
11	水生植物の放射性 Cs モニタリング及び非放射性 Cs との挙動の比較	永川栄泰 櫻井昇 ほか5名	高エネルギー加速器研究機構 放射線科学センター 日本放射化学会 放射体・環境放射能分科会	第18回環境放射能研究会 pp.226-231 (2017)
12	マントル捕獲岩の超高感度ハロゲン分析：揮発性物質の沈み込み過程の解明	小林真大	(一社)日本地球化学会	地球化学 Vol.51, No.4, pp.239-240 (2017)
13	ミスフォールド蛋白解析技術の革新-改良型レーザーマイクロダイセクションシステムの開発-	紋川亮 八谷如美	医歯薬出版(株)	別冊医学のあゆみ pp.148-149 (2017)
14	輸送振動の低減を目指した紙製ばね	岩田雄介	日本ばね学会	日本ばね学会ホームページ 会員専用サイト
15	プリント技術を用いた炭素繊維強化プラスチックの機械的物性制御	武田浩司	(株)加工技術研究会	コンバーテック Vol.539, No.46, pp.110-111 (2018)
16	細胞輸送用の温度応答性ゲルとしてゼラチンを用いる試み	大藪淑美 袖木俊二 ほか1名	(株)技術情報協会	ゲル化・増粘剤の使い方、選び方 事例集, pp340-349 (2018)
17	塗装によるナイロン粉末焼結型積層造形品へのめっき前処理技術	竹村昌太 桑原聡士 土井正 浦崎香織里 小野澤明良 山内友貴 木暮尊志	日本塗装技術協会	塗装工学 Vol.53, No.3, pp.95-102 (2018)

## コンテスト応募 1件

No.	大会等の名称	応募者	年月日	コンテストの名称
1	奥ゆかしい表示デバイス	並木宏允 海老澤瑞枝 小川大輔 平健吾 磯田和貴 清水研一	平成29年 12月20日	次世代プリンテッドエレクトロニクスコンソーシアム JAPEC アイデアコンテスト 2017

## 依頼講演 - 技術解説 - 13件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	木材塗装の欠陥と対策	村井まどか	平成29年 6月15日	都産技研 本部	木材塗装研究会 第29回木材塗装基礎講座
2	偏光イメージングのための多角的撮像システムの樹脂成型品評価への応用	海老澤瑞枝 ほか1名	平成29年 7月7日	東京工業大学 大岡山キャンパス	(一社)プラスチック成形加工学会 新加工専門委員会 第58回委員会
3	化学分析の基礎知識	林英男	平成29年 8月24日	東京理科大学 神楽坂キャンパス	(公社)日本分析化学会 関東支部 第30回分析化学基礎実習-化学分析実習コース-

平成29年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
4	測定値の取扱い	林 英男	平成 29 年 8 月 25 日	東京理科大学 神楽坂キャンパス	(公社)日本分析化学会 関東支部 第30回分析化学基礎実習-化学分析実習コース-
5	実験器具の取り扱い方法	林 英男	平成 29 年 9 月 9 日	東京理科大学 葛飾キャンパス	(公社)日本分析化学会 第 66 年会
6	ICP-MS について	林 英男	平成 29 年 9 月 25 日	環境省 環境調査研究所	環境省 平成29年度特定 機器分析研修 I (ICP-MS) (第2回)
7	無機-有機ハイブリッド樹脂の開発とフィルム成型用ハードコート箔への応用	佐熊範和	平成 29 年 10 月 21 日	職業能力開発総合大学 校	職業能力開発総合大学 校 職業大フォーラム 2017
8	UV 硬化型無機-有機ハイブリッド樹脂の開発とハードコートへの展開	佐熊範和	平成 29 年 11 月 9 日	名古屋市工業研究所	明日の工業塗装を考える 懇談会
9	ISO18535 に向けた公設試験場の取組み	川口雅弘	平成 29 年 11 月 10 日	東京工業大学蔵前会館	DLC 工業会設立記念講演 会
10	金属 3D プリンターによる造形技術と 3D ものづくり支援	藤巻研吾	平成 29 年 11 月 15 日	名古屋市中小企業振興 会館吹上ホール	第7回次世代ものづくり 基盤技術産業展 3Dプリンターフォーラム
11	セラミックス AM 技術の紹介 ~3D プリンターでセラミックス造形が可能に~	小林隆一	平成 29 年 11 月 16 日	名古屋市中小企業振興 会館吹上ホール	第7回次世代ものづくり 基盤技術産業展 3Dプリンターフォーラム
12	促進耐候性試験におけるリスクアセスメントの基礎と実践	中澤亮二	平成 29 年 11 月 28 日		(一財)日本ウエザリング テストセンター 平成29 年度ウエザリング技術研 究成果発表会
13	照明器具の測光と関連規格	岩永敏秀	平成 30 年 2 月 16 日	LED 照明推進協議会	(特非)LED 照明推進協議 会

依頼原稿 - 技術解説 - 10 件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	染色加工におけるオゾン・ファインパブルの活用	榎本一郎	(一社)大阪工研協会	科学と工業 Vol.91, No.7, pp.204-209 (2017)
2	無機-有機ハイブリッド型ハードコート材の設計と屈折率制御	佐熊範和	(株)技術情報協会	光学樹脂の屈折率、複屈折率制御技術 pp.455-465 (2017)
3	木材腐朽菌由来の揮発性有機化合物 (MVOC) による木材保存の可能性	小沼ルミ	(公社)日本しろあり対策協会	しろあり No.168, p.42744 (2017)
4	金属めっきによる導電紙について	上野武司 竹村昌太 島田勝広	(株)テックタイムス	紙パルプ技術タイムス Vol.60, No.8, pp.65-68 (2017)
5	特集：カルマンフィルタを中心とした状態推定の理論から応用まで	金田泰昌 ほか 1 名	(公社)計測自動制御学会	計測自動制御学会 計測と制御 Vol.56, No.9, p.629 (2017)
6	小型サーボプレスを活用した純チタンの円筒深絞り加工におけるデータベース構築	奥出裕亮	(株)日刊工業新聞社	プレス技術 Vol.55, No.11, pp.38-42 (2017)
7	表面改質の動向	川口雅弘	(株)シーエムシー出版	機能材料 Vol.37, No.10, pp.30-37 (2017)
8	染色・仕上げ加工におけるファインパブルの利用	榎本一郎	(公社)日本油化学会	オレオサイエンス Vol.17, No.9, pp.17-21 (2017)
9	(地独)東京都立産業技術研究センターにおける CFRP の非破壊検査	谷口昌平 唐木由佑 渡部友太郎	(一社)強化プラスチック協会	強化プラスチック Vol.63, No.11, pp.539-543 (2017)
10	体温に急速に応答するコラーゲンゲルの調製	柚木 俊二	(株)技術情報協会	ゲル化・増粘剤 pp.350-364 (2018)

## 依頼講演 - 事業紹介 - 6件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	亜鉛めっき排水処理の課題と対策	小坂幸夫	平成 29 年 5 月 25 日	HORIBA 東京分析センター	(一社)表面技術協会 めっき部会
2	吸水後に拡張および硬化するゼラチンスポンジの開発	成田武文 柚木俊二	平成 29 年 7 月 26 日	千葉県産業支援技術研 究所	千葉県産業支援技術研 究所オープンラボ2017 平成29年度研究成果発表 会・講演会・見学会
3	広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)の海外展開 支援サービスと支援事例紹介	萩原利哉	平成 29 年 9 月 8 日	幕張メッセ	JASIS2017
4	複合素材開発セクターの紹介	谷口昌平	平成 29 年 11 月 22 日	都産技研 多摩テクノプラザ	(一社)日本繊維機械学会 関東支部講演会・見学会
5	城南支所と医工連携産業支援の紹介	田中 実	平成 30 年 1 月 26 日	都産技研 城南支所	(一社)表面技術協会 表 面技術とものづくり研究 部会講演
6	都産技研における干渉計計測事例の紹介	中村弘史	平成 29 年 9 月 14 日	東京ビッグサイト	日本光学測定機工業会

## ポスター発表 - 事業紹介 - 3件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	場所	大会などの名称
1	Design : 技術の連携こそが、地域産業を活性化する	森 豊史	平成 29 年 9 月 11 日	筑波大学 東京キャンパス	日本感性工学会 第19回 日本感性工学会大会
2	公設試によるガラスリサイクル研究の取り組み	増田(優子 ほか6名)	平成 29 年 10 月 27 日	都産技研 本部	(公社)日本セラミックス協 会 平成 29 年度資源・環境 関連材料講演・討論会
3	パルス放電 GD-MS による固体アルミナ粉末中の微量不純 物元素の迅速分析	山田健太郎	平成 29 年 10 月 27 日	都産技研 本部	(公社)日本セラミックス協 会 平成 29 年度資源・環境 関連材料講演・討論会

## 依頼原稿 - 事業紹介 - 4件

No.	発表タイトル	執筆者	学会等の名称	誌名など
1	公設試験研究機関 人間生活工学機器データベースサイ ト「DHULE」の紹介	大平倫宏	(一社)人間生活工学研究セ ンター	人間生活工学 Vol.18, No.1, pp.59-60 (2017)
2	先端計測加工ラボを通じた中小企業の開発・設計支援	樋口英一	(株)日刊工業新聞社	機械設計 Vol.61, No.7, pp.48-51 (2017)
3	大学・研究所めぐり(地独)東京都立産業技術研究セン ター 多摩テクノプラザ 電子・機械グループ	長谷川 孝	(一社)色材協会	色材協会誌 Vol.90, No.6, pp.229-230 (2017)
4	(地独)東京都立産業技術研究センターの金属造形支援事 業	藤巻研吾	(株)日刊工業新聞社	機械技術 Vol.65, No.8, pp.36-41 (2017)

## その他(規格策定・本執筆・書評等) 7件

No.	発表タイトル	発表者	学会等の名称	誌名など
1	書籍「技能検定 1 級：電子機器組立て 学科 過去問題と 解説 平成 29 年度版」	三上和正	科学図書出版(株)	技能検定 1 級：電子機器組立て 学 科 過去問題と解説 平成 29 年度版
2	(地独)東京都立産業技術研究センター 技術シーズの 紹介	渡辺 彩	(株)東京 TY フィナンシャ ルグループ ほか	知財マッチング会 ~大企業・研究 開発機関等の特許を活用した新たな 事業展開を支援します~
3	外構材の耐候性向上・維持管理技術事業の成果報告会	村井まどか	(公社)日本木材保存協会	木材保存
4	心理評価に基づいた LED 照明の設計	岩永敏秀 ほか1名	(株)朝倉書店	視覚実験研究ガイドブック
5	「アロイ・ブレンド・複合材料」セッション報告	梶山哲人	(一社)プラスチック成形加 工学会	プラスチック成形加工学会誌
6	第 11 回東京木工塗装技能士会作品展	村井まどか	東京木工塗装技能士会	東京木工塗装技能士会 第11回東京木工塗装技能士会作品展
7	AM シンポジウム講演“新材料適用に向けたレーザー焼結 の露光と溶融についての考察”	木暮尊志	東京大学生産技術研究所 付加製造科学研究室	第 8 回 AM (Additive Manufacturing) シンポジウム

外部発表は、『平成 28 年度年報』未掲載分を含む。

## 2.7 職員の受賞

国内外の学協会等から、研究成果の実用化、優れた研究、技術の普及・移転に対して、平成 29 年度は 12 件の賞を受けた。

## 平成 29 年度受賞実績

受賞名	6 <sup>th</sup> European conference on tribology Best Student Poster Award 1 <sup>st</sup> Place
件名	Friction properties of chlorine-containing amorphous carbon films against various counter parts
受賞者	徳田祐樹（表面・化学技術グループ）
受賞名	(一社)エレクトロニクス実装学会 アカデミックプラザ5年連続継続賞
受賞者	情報技術グループ
受賞名	Asia Pacific Prion Symposium 2017 Best Poster Award
件名	PrP dependent breakdown of mitochondrial proteostasis can lead to neuronal cell death
受賞者	八谷如美（バイオ応用技術グループ）
受賞名	第 56 回日本白内障学会総会 第 43 回水晶体研究会 感謝状
受賞者	八谷如美（バイオ応用技術グループ）
受賞名	第 35 回日本ロボット学会学術講演会 実用化技術賞
件名	中小企業による移動サービスロボットの製品化を容易にする T 型ロボットベース
受賞者	坂下和広（ロボット開発セクター） 村上真之、小林祐介、佐藤 研、益田俊樹（プロジェクト事業化推進室）
受賞名	2017 年度精密工学会秋季大会学術講演会 ベストプレゼンテーション賞
件名	レーザー焼結低温造形の微細構造の形成過程についての研究
受賞者	木暮尊志（城東支所）
受賞名	東京木工塗装技能士会技能品評会 二級自由課題 賞状
受賞者	村井まどか（表面・化学技術グループ）
受賞名	BCSJ Award Article
件名	Enhanced Quantum Yield of Fluorophores in Confined Spaces of Supermicroporous Silicas
受賞者	渡辺洋人、林 孝星（先端材料開発セクター）
受賞名	(一社)日本塑性加工学会 優秀論文講演奨励賞
件名	多面体構造サンドイッチコアの開発と圧縮特性
受賞者	高橋俊也（電子・機械グループ）
受賞名	JAPEC アイデアコンテスト 2017 作品賞
件名	奥ゆかしい表示デバイス
受賞者	並木宏允、小川大輔、清水研一（先端材料開発セクター） 海老澤瑞枝、平 健吾、磯田和貴（光音技術グループ）

受賞名	(公社)計測自動制御学会 感謝状
受賞者	金田泰昌(情報技術グループ)
受賞名	2017年「分析化学」J-STAGE アクセスランキング賞
件名	チオ硫酸ナトリウム溶液の安定性とヨウ素酸カリウムの電量ヨウ素滴定
受賞者	林 英男(城南支所)

## 平成 28 年度受賞実績

受賞名	2016年度計測自動制御学会学術奨励賞 技術奨励賞
件名	小型化された共晶点セルの実現とその評価
受賞者	佐々木正史(実証試験セクター)

### 3. 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

#### 3.1 技術相談

##### 3.1.1 技術相談

中小企業などから受ける技術支援の依頼に対して、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図った。生産現場での支援が必要な場合は、職員や外部専門家を現地に派遣して利用者の要望に応えた。

相談件数は、来所 26,482 件 (19.4%)、電話 54,659 件 (40.0%)、メール 43,821 件 (32.1%)、その他 11,704 件 (8.6%) であり、総相談件数は 136,666 件であった。企業規模別では中小企業 106,779 件 (78.1%) であり、技術分野別では材料、評価技術、エレクトロニクスが多かった。

企業規模別の技術相談件数 (件)

区分	来所	電話	メール	その他	合計	比率 (%)
一般	5,399	8,028	9,778	2,362	25,567	18.7
中小企業	20,805	45,107	32,336	8,531	106,779	78.1
中小企業団体	116	900	300	170	1,486	1.1
公益法人等	162	624	1,407	641	2,834	2.1
合計	26,482	54,659	43,821	11,704	136,666	100

技術分野別の技術相談件数 (件)

区分	来所	電話	メール	その他	合計	比率 (%)
ナノテクノロジー	56	315	267	30	668	0.5
IT	595	2,019	3,569	60	6,243	4.6
エレクトロニクス	3,731	5,631	3,666	360	13,388	9.8
システムデザイン	1,868	3,994	2,925	1,750	10,537	7.7
環境	1,662	3,894	2,266	187	8,009	5.9
少子高齢・福祉	879	1,523	1,290	215	3,907	2.9
バイオテクノロジー	169	459	618	85	1,331	1.0
材料	5,605	10,160	9,322	1,210	26,297	19.2
精密加工	1,759	1,891	2,354	623	6,627	4.8
光音・照明	758	2,240	4,056	99	7,153	5.2
繊維	1,581	3,104	1,686	821	7,192	5.3
放射線	457	2,514	2,885	402	6,258	4.6
評価技術	6,427	12,729	5,551	1,113	25,820	18.9
技術連携	36	280	457	269	1,042	0.8
ロボット	48	776	1,445	524	2,793	2.0
その他	851	3,130	1,464	3,956	9,401	6.9
合計	26,482	54,659	43,821	11,704	136,666	100

## 3.1.2 総合支援窓口

## (1) ご利用カード発行状況

依頼試験・機器利用等の試験の受け付けをスピーディーに行うために、本部・支所のいずれかで登録すれば共通して使用できる「ご利用カード」を平成 18 年度から導入した。12 年間で約 5 万 1 千枚のカードを発行し、お客さまへのサービス向上を実現した。

「ご利用カード」発行枚数（枚）

事業所	累計枚数	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 27 年度	平成 26 年度	平成 25 年度	平成 18～24 年度
本部	37,327	2,324	2,406	3,294	3,200	4,242	21,861
本部（旧駒沢支所）	372				—	—	372
城東支所	2,449	265	232	181	201	220	1,350
墨田支所	2,512	135	168	296	273	229	1,411
城南支所	2,041	106	64	98	77	105	1,591
多摩テクノプラザ	6,888	685	753	732	694	700	3,324
合計	51,589	3,515	3,623	4,601	4,445	5,496	29,909

\* 本部は旧西が丘本部分、多摩テクノプラザは旧多摩・八王子支所分を含む。

## (2) 料金収納状況

料金収納方法について、お客さまの利便性を考慮して平成 18 年度より現金以外にコンビニ収納や銀行振込による取り扱いを開始した。平成 20 年度よりクレジットカードおよびデビットカードによる支払いも可能とした。

料金収納状況

支払い方法	現金	コンビニ	銀行振込	クレジットカード	デビットカード	合計
支払い件数（件）	15,592	2,342	8,583	4,479	12	31,008
支払い金額（千円）	168,172	18,009	334,841	89,965	80	611,067
金額比率（％）	27.5	3.0	54.8	14.7	0	100.0

### 3.1.3 専門相談員

本事業は、本部総合支援窓口専門相談員を置き、中小企業の製品化実現に向けて幅広く対応し支援するものである。平成29年度の相談実績は215件であった。専門相談員8名の技術分野は次のとおりである。

専門相談員氏名	技術分野
朝比奈奎一	機械
安城泰雄	環境マネジメント、生産管理
生島 博	知的財産
金田光範	通信、情報、機能安全
高村悦夫	自動車、技術経営
田中敬三	計測分析システム
野口英明	工業デザイン
原島なほみ	マーケティング

#### <主な相談事例>

- ・新製品開発時に必要な評価項目の策定
- ・拡大するマーケットをみすえた新製品のデザイン開発
- ・事業改善と企業戦略立案のためのマーケティングマネジメント
- ・社内ネットワークシステム確立に向けた安全性評価
- ・機械設計・製造上の問題点の洗い出し

### 3.1.4 実地技術支援事業

都内中小企業の要請により、職員や外部専門家（エンジニアリングアドバイザー・技術指導員）が現地に出向き、現場が抱えている技術的諸問題について3種類の方法で技術支援を実施した。

平成29年度は、エンジニアリングアドバイザーによる支援（実地技術支援A）43社214日、エンジニアリングアドバイザーまたは技術指導員と職員による支援（実地技術支援B）39日、職員による支援（実地技術支援C）927件であった。技術分野別では、システムデザイン、環境、材料、エレクトロニクスが多かった。目的別では、製品開発、技術開発が多かった。

#### <実地技術支援Aの主な支援内容>

- CE マーケティング・海外規格取得に関する支援
- デザイン開発・設計・販売促進に関する支援
- 品質管理・品質評価に関する支援
- 製造コスト削減と販路開拓
- システム設計・構築に関する支援

## 技術分野別の実地技術支援日数（日）

区 分	実地 A	実地 B	実地 C	合計	比率 (%)
ナノテクノロジー	0	0	8	8	1
IT	4	1	86	91	8
エレクトロニクス	12	3	81	96	8
システムデザイン	106	11	73	190	16
環境	19	1	122	142	12
少子高齢・福祉	1	5	41	47	4
バイオテクノロジー	0	1	26	27	2
材料	2	9	162	173	15
精密加工	0	4	53	57	5
光音・照明	8	1	32	41	3
繊維	2	0	30	32	3
放射線	1	0	4	5	0
評価技術	4	2	102	108	9
技術連携	0	0	26	26	2
ロボット	3	0	31	34	3
その他	52	1	50	103	9
合 計	214	39	927	1,180	100

## 目的別の実地技術支援日数（日）

区 分	実地 A	実地 B	実地 C	合計	比率 (%)
品質証明	11	1	22	34	3
品質管理	15	3	122	140	12
性能評価	1	1	73	75	6
製品開発	88	20	426	534	45
技術開発	32	4	127	163	14
事故関連	1	4	34	39	3
その他	66	6	123	195	17
合 計	214	39	927	1,180	100

## 3.2 依頼試験

## 3.2.1 依頼試験

中小企業の生産活動に必要な製品、部品、材料などについて、各種の試験、測定、分析、設計を実施し、成績証明書を発行した。製品開発に関わる工業デザインの依頼にも対応した。さらに、これらの試験を通して、企業における技術開発、製品開発、品質改善および事故品の原因究明などの技術支援を実施した。

平成 29 年度の依頼試験の実績を以下の表に、試験件数の目的別構成比および地域別構成比を図 1 および図 2 に示す。

平成 29 年度依頼試験（試験項目別）実績

試験項目	試験件数	金額（円）
一 材料試験		
(一) 強度試験 引張試験、製品の荷重試験、静的強度試験、硬さ試験ほか	15,462	40,554,819
(二) 特性試験 金属材料の疲れ試験、材料の熱膨張試験、耐熱試験ほか	476	4,610,718
(三) 組織試験 光学式顕微鏡によるもの、透過型電子顕微鏡によるもの	1,561	5,003,794
(四) 非破壊検査 エックス線透過試験、エックス CT スキャン試験、 透過写真判定、線量測定	23,901	29,720,977
(五) 塗料の物性試験 碁盤目試験、鉛筆引っかき試験、テーバ式摩耗試験ほか	578	1,485,441
(六) 表面処理皮膜試験 皮膜厚さ測定、色彩測定、ボールディスク乾燥摩擦試験ほか	1,935	4,449,224
(七) 照射試験 イオン注入装置によるイオン注入、セシウム 137 によるガンマ線 照射	404	1,032,936
(八) 成形性試験 絞り試験、高温絞り試験、エリクセン試験、球頭張出し試験	47	223,482
小 計	44,364	87,081,391
二 精密測定		
(一) 機械・器具等の精密測定 長さ測定、表面粗さ・形状測定機による測定、歯車の測定、 走査型白色干渉測定器による測定ほか	3,771	8,617,285
(二) 核種等の測定 放射線計数装置、液体シンチレーション計数装置によるものほか	1,510	3,561,239
小 計	5,281	12,178,524
三 化学試験		
(一) 化学分析 容量法による試験、重量法による試験ほか	87	449,339

試験項目	試験件数	金額（円）
(二) 機器分析 赤外線分光光度計、スパーク放電発光分光分析装置、 エネルギー分散型エックス線分析装置、走査型電子顕微鏡、 イオンクロマトグラフによるものほか	6,912	69,215,165
(三) 窯業試験 ひずみ観察、表面応力測定、ガラスの破損事故解析ほか	396	1,076,582
(四) 化学製品等の性能試験 製品の防かび試験、耐薬品試験ほか	2,564	13,385,502
小 計	9,959	84,126,588
四 機械器具・装置等の性能試験		
(一) 性能試験 耐久試験、応力・ひずみ測定、振動測定・解析ほか	4,615	7,204,370
(二) メカトロニクス・ロボット性能試験 高速度撮影、落下試験ほか	1,356	127,680
(三) ロボットによる耐久性試験 低頻度、中頻度、高頻度	577	106,330
小 計	6,548	7,438,380
五 電気試験		
(一) 校正試験 電圧計、電流計、抵抗計、抵抗箱、標準電圧電流発生器、 デジタル計器ほか	1,201	952,487
(三) 測温素子の温度特性試験 熱電対、測温抵抗体	557	1,550,594
(五) 絶縁試験 絶縁抵抗試験、耐電圧試験、衝撃耐電圧試験、衝撃電流試験、 絶縁破壊試験、漏れ電流試験ほか	3,191	10,022,472
(六) 構造および性能試験 機能的強度試験、温度上昇試験、開閉試験、誘電率・誘電正接試 験、消費電力試験ほか	1,788	6,426,099
(七) 部品および材料の電気特性試験 動作特性試験、磁気特性試験ほか	28	255,613
(九) 電子機器・電子部品試験 電子機器特性試験、電子部品試験	3,470	6,129,636
(十一) 電波暗室試験 10m電波暗室、3m電波暗室、電波ノイズ試験室ほか	1,808	16,345,102
小 計	12,043	41,682,003
六 音響試験		
(一) 材料の音響特性試験 残響室法吸音率測定、音響透過損失測定、制振性能測定、 垂直入射吸音率測定ほか	5,339	15,101,038
(二) 材料および装置の音響特性試験 音圧・騒音・振動レベル測定、オクターブバンド分析ほか	1,720	8,656,442

試験項目	試験件数	金額（円）
小 計	7,059	23,757,480
七 照明試験		
(一) 材料試験 反射率・透過率測定、赤外分光放射測定ほか	1,578	12,709,963
(二) 機器および光源の試験 光度・光束測定、照度、輝度測定、配光測定、分光放射照度測定、 分光透過率・反射率測定ほか	702	8,024,991
小 計	2,280	20,734,954
八 環境試験		
(一) 振動試験 動電形振動試験機によるもの(加振、共振、伝達特性、衝撃試験)	2,699	17,548,183
(二) 腐食試験 塩水噴霧試験、ガス腐食試験	21,427	20,951,790
(三) 耐候性試験 促進耐候試験(サンシャインカーボンアーク灯式、キセノン アーク灯式)、促進耐光試験(紫外線カーボンアーク灯式)ほか	8,597	61,424,159
(四) 温湿度試験 恒温試験、恒温恒湿試験、冷熱衝撃試験、温湿度サイクル試験	2,797	6,113,982
小 計	35,520	106,038,114
九 材料および製品の加工		
(一) 機械加工 油圧プレス加工、フライス盤加工、旋盤加工ほか	352	1,320,009
(二) 冶金加工 粉末冶金	4	72,408
(三) 金属粉末積層造形品の後加工 熱処理、ビルドプレート、サポート処理、バレル研磨	687	762,669
小 計	1,043	2,155,086
十 デザイン		
(一) 工業デザイン	2,429	705,807
(三) グラフィックデザイン	169	310,523
(四) プロモーションデザイン	120	291,240
小 計	2,718	1,307,570
十一 繊維製品試験および試験的加工		
(一) 繊維工業用原料および材料・繊維製品等の試験 繊維製品等の物性試験(質量、密度、番手・織度、引張強さ・伸 び率、寸法変化、防水性等)、染色仕上げ加工試験(染色堅ろう度 試験、浸染試験等)、ホルムアルデヒド試験、光学的試験、クレ ーム解析試験ほか	6,511	8,140,012
(二) 繊維製品のデザイン 繊維製品デザイン、織物・ニットの設計・分解ほか	23	23,702

試験項目	試験件数	金額（円）
(三) 繊維・編織物等の試験的加工 編織準備(ねん糸、繰り返し、整経等)、 編織(編成)コンピュータ制御編機、染色仕上げ加工	1,395	324,676
小 計	7,929	8,488,390
十二 成績証明書の交付		
成績証明書および成績証明書(副本)の交付ほか	4,954	969,253
成績証明書および成績証明書(副本)等の交付に当たって 郵送する場合の手数料等	3,395	1,710,010
小 計	8,349	2,679,263
端数処理に伴う減額		52,763
急速料金 依頼試験料金の100%増額	(218)	1,036,280
震災復興技術支援 依頼試験料金の50%減額	(3,268)	6,053,830
総 合 計	143,093	391,965,110

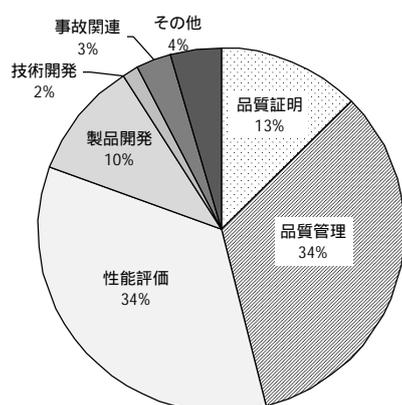


図1 依頼試験件数の目的別構成率

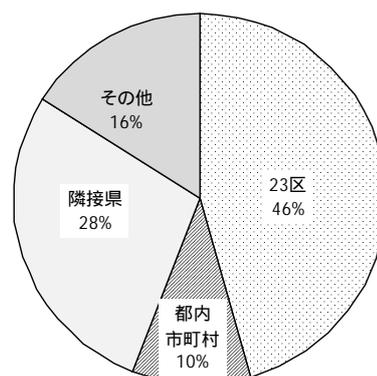


図2 依頼試験件数の地域別構成率

( 隣接県は、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県 )

### 3.2.2 オーダーメイド試験

依頼試験の実施要綱に定められていない試験項目あるいはJISなどの規定にない試験に関してはオーダーメイド試験として対応し、利用者の多様な要望に対応した。

平成29年度には、188件、8,003,860円を実施した。

オーダーメイド試験の依頼目的は、品質証明7件、品質管理72件、性能評価57件、製品開発20件、技術開発18件、事故関連3件、その他11件であった。

### 3.2.3 校正事業者および試験所認定制度への取り組み

平成18年度より、校正事業者登録制度による依頼試験業務を開始した。また、平成20年より、英文の校正証明書の発行を開始した。都産技研の発行する校正証明書および試験報告書は、ILAC/MRA(相互承認取決)に加盟する世界95国・地域(平成29年3月現在)で有効である。

これまでJCSSで3分野4区分、JNLAで2分野3区分、VLACではEMC電磁両立性試験として3項目の認定を取得している。国際的な試験品質保証体系である事業を推進することで、

都内中小企業の海外における事業展開を積極的に支援している。

(1) 計量法校正事業者登録制度 (JCSS)

本部は、電気 (直流抵抗器)、温度 (熱電対) および長さ (一次元寸法測定器、形状測定器) の区分で国際 MRA 対応の JCSS 登録認定を受けており、国際相互承認の証である ILAC/MRA 認定シンボル (右図) を付与した JCSS 校正証明書の発行が可能である。平成 29 年には 4 年ごとの登録更新審査が行われ、8 月に事業継続が認められた。



都産技研は、認定基準として ISO/IEC 17025 (JIS Q 17025) を用い、認定スキームを ISO/IEC 17011 に従って運営されている JCSS の下で認定されています。JCSS を運営している認定機関 (IAJapan) は、アジア太平洋試験所認定協力機構 (APLAC) および国際試験所認定協力機構 (ILAC) の相互承認に署名しています。  
都産技研は、国際 MRA 対応 JCSS 認定事業者です。JCSS 0184 は、当センターの認定番号です。

(2) 試験事業者登録制度 (JNLA)

本部は、電気分野で照明器具電気的特性試験 (全光束、消費電力) および光源色試験 (色彩)、鉄鋼・非鉄金属分野で金属材料引張試験での JNLA 登録認定を受けており、ILAC/MRA 認定シンボル (右図) を付与した JNLA 試験報告書の発行が可能である。



都産技研は、APLAC および ILAC の相互承認の署名者である IAJapan により認定された試験所であり、認定国際基準に対応しています。  
JNLA 140361JP は当センターの認定番号です。

(3) 多摩テクノプラザ EMC サイトの試験所認定制度 (VLAC)

多摩テクノプラザ EMC サイトは、平成 24 年度に株式会社電磁環境試験所認定センター (VLAC) より ISO/IEC 17025 試験所認定を受けた。現在の認定範囲は、VCCI、FCC Part15 SubPartB、CISPR22、ICES-003、J55022 (4 章) の規格に基づいた 10m 法電波暗室での放射妨害波試験、伝導妨害波試験 (電源ポート) および伝導妨害波試験 (通信ポート) の EMC 試験である。平成 25 年度から認定範囲における規格適合確認試験および英文の試験成績書の発行を開始した。平成 30 年 2 月には VLAC の試験所認定審査により試験適合評価を受け、認定登録を更新した。



### 3.2.4 環境計量証明事業の登録

依頼試験などの測定分析業務において信頼性の高いデータを提供するため、平成 20 年度に区分「濃度」、「音圧レベル」、「振動加速度レベル」の計量証明事業者登録を完了した。平成 23 年 10 月の本部移転後も、試験実施体制を再整備し、事業を継続している。計量証明用設備の管理を徹底し、担当者のスキル向上に取り組むことで、充実した受け入れ態勢を継続している。

### 3.3 機器整備

#### 3.3.1 機器整備一覧

平成 29 年度は、城東支所に「デザインスタジオ・ものづくりスタジオ」の機器や、機器利用でのニーズが高い機器を中心に全 102 機種を整備した。平成 29 年度の主な機器整備は以下のとおりである。

平成 29 年度機器整備実績

	機 器 名	事業所	組織
1	3次元 YV04 レーザーマーカ	本部	電気電子技術 G
2	部分放電測定システム		電気電子技術 G
3	密閉式スピン現像機		電気電子技術 G
4	ノッチフィルタ		電気電子技術 G
5	クランプ式漏れ電流計		電気電子技術 G
6	軽量標準衝撃源		光音技術 G
7	重量標準衝撃源		光音技術 G
8	自由音場マイクロホン		光音技術 G
9	制振性能測定装置		光音技術 G
10	摩擦摩耗試験機		表面・化学技術 G
11	テーバー摩耗試験機		表面・化学技術 G
12	メルトフローレート測定装置		表面・化学技術 G
13	射出成形金型		表面・化学技術 G
14	熱分解試料導入装置		表面・化学技術 G
15	イオンクロマトグラフ質量分析計		環境技術 G
16	高精度線量計		バイオ応用技術 G
17	ディープフリーザー		バイオ応用技術 G
18	昇華転写プリンタ		デザイン技術 G
19	高精度 3次元造形機		デザイン技術 G
20	倒立型マイクロスコープ		3Dものづくり S
21	真円度測定器		3Dものづくり S
22	熱電対比較校正装置		実証試験 S
23	ファーストトランジェントパースト試験機		実証試験 S
24	スプレース		実証試験 S
25	パワーアナライザ		実証試験 S
26	ファーストトランジェントパースト試験機	城東支所	
27	複数材料インクジェット式 3次元造形機	城東支所	
28	デジタルマイクロスコープ	城東支所	
29	万能試験機 100kN	城東支所	
30	ファイバーレーザー加工機	城東支所	
31	試料研磨機	城東支所	
32	両頭グラインダ	城東支所	

	機 器 名	事業所	組織
33	のこ盤	城東支所	城東支所
34	細穴放電加工機		城東支所
35	卓上ボール盤		城東支所
36	タッキネスチェッカ	墨田支所	生活技術開発 S
37	電子天びん		生活技術開発 S
38	光造形システム JKA 補助	城南支所	城南支所
39	RF セレクタ	多摩 テクノ プラザ	電子・機械 G
40	ワークステーション		電子・機械 G
41	ラージループアンテナ		電子・機械 G
42	基板リワークシステム		電子・機械 G
43	高感度電流プローブ		電子・機械 G
44	純水製造装置		複合素材開発 S
45	マイクロスコープ		複合素材開発 S
46	表面張力計		複合素材開発 S
47	非接触固定カメラ式伸び計		複合素材開発 S
48	ガーレ式剛軟度試験機		複合素材開発 S

組織名の表記について、「G」グループの略、「S」セクターの略。

公益財団法人 JKA の公設工業試験研究所等における研究開発型機械設備拡充補助事業による。

ロボット産業活性化事業の実施に伴う機器整備は、「2.4 ロボット産業活性化事業」を参照。

### 3.3.2 経済産業省平成 28 年度補正予算事業による機器整備およびその取り組み

経済産業省平成 28 年度補正予算事業「地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域未来投資の活性化のための基盤強化事業）」による「医療・福祉・介護機器用 IoT センサーモジュールの開発支援等事業」を実施した。

本事業は、首都圏公設試験研究機関連携体（以下、「TKF」という。）を構成している 5 公設試（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、横浜市）が連携し、印刷・同関連業の中小企業が保有する薄膜化技術を応用した医療・福祉・介護向け IoT センサーモジュールの開発支援を行い、将来的に医療・福祉・介護分野におけるものづくりの IoT 化を推進し、地域イノベーションを創出することを目的としている。

#### (1) 機器整備

TKF の 5 公設試に計 7 機種を導入した。うち都産技研では、粘度・動的粘弾性測定器とデバイスの電機特性測定器を先端材料開発セクターに導入した。

#### (2) 導入機器の利用促進に向けた活動

##### 1) 利用普及セミナー

本事業で整備した機器を効果的に活用するため、普及セミナーを開催した。

## 利用普及セミナーの開催状況

開催年月日	開催場所	タイトル	参加者数 (延べ人数)
平成 29 年 11 月 15～17 日	東京ビッグサイト	医療・福祉・介護産業用 IoT センサーモジュール開発支援等事業のご紹介	20
平成 30 年 2 月 2 日	都産技研 本部	フレキシブルデバイス開発に向けた都産技研の支援事業	10

## 2) 利用促進活動

本事業で導入した機器の利用拡大を目的として、導入機器紹介パンフレットを 2,000 部発行し、利用普及セミナーや展示会で配布した。また、展示会等において本事業の紹介および各公設試の事業紹介を行った。

## 利用促進活動

開催年月日	開催場所	イベント名
平成 29 年 9 月 27 日	埼玉県産業技術総合センター	TKF オープンフォーラム
平成 29 年 11 月 15～17 日	東京ビッグサイト	産業交流展 2017
平成 30 年 1 月 24～25 日	さいたまスーパーアリーナ	彩の国ビジネスアリーナ 2018
平成 30 年 2 月 7～9 日	パシフィコ横浜	テクニカルショウヨコハマ

## 3.3.3 経済産業省平成 29 年度補正予算事業による機器整備

経済産業省平成 29 年度補正予算事業「地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域における中小企業の生産性向上のための共同基盤事業）」に応募し、「関東地域における生産性向上のための成長ものづくり支援基盤強化事業」が、平成 30 年 3 月 29 日付で採択された。

本事業は、TKF が連携し、次世代自動車をはじめとした成長産業分野の進展に伴う産業構造の変化に、地域の中小企業が効率的に対応できる支援基盤を整備することを目的としている。

デジタルデータを活用したものづくりの高効率化や高付加価値化の支援を行うための機器整備として、平成 30 年度に 5 公設試に計 6 機種を導入予定である。

## 3.4 機器利用

中小企業が製品開発や新技術開発を行う際に、自ら保有・管理することが困難な各種の測定器や試験機器・設備などを設置し、新製品開発や品質管理などの生産活動を支援した。また、その使用法や試験データの解析法について技術的なアドバイスをを行った。平成29年度の機器利用の実績は以下のとおりである。

平成29年度機器利用（試験項目別）実績

No.	機器利用試験項目（機器例）	件数	金額（円）
1	指示計器（絶縁抵抗計）	227	214,897
2	定数測定器・測定用素子（ミリオームメータ）	483	307,018
3	電圧・周波数測定器（デジタルマルチメータ）	368	107,136
4	信号発生器および発振器（高周波ノイズシミュレータ）	2,588	2,511,776
5	校正装置（計器用変成器）	328	53,344
6	波形測定器・記録装置（温度記録計）	3,103	4,671,895
7	電源装置その他（電圧調整器）	2,254	1,006,396
8	試験機械（万能試験機）	3,999	3,739,658
9	測定機器（三次元測定機）	10,836	17,070,985
10	環境試験機器（恒温恒湿槽）	44,515	50,091,534
11	試験機器（耐電圧試験器）	405	395,038
12	記録解析装置（デジタルシリアルアナライザ）	291	574,225
13	観察機器（マイクロフォーカスX線CT）	3,293	11,973,444
14	クリーンルームおよび関連機器（クリーンルーム）	503	287,397
15	加工機器（プリント配線板試作装置）	8	37,520
16	切削加工機械（普通旋盤）	915	539,523
17	設計・生産支援装置（ナイロン粉末造形装置）	40,354	46,998,343
18	ナノテクノロジー加工装置（レーザーマーカ）	842	1,487,448
19	その他の加工機械（マイクロハイスコープ）	2,128	1,616,143
20	繊維計測・生産加工機器（インクジェットプリントシステム）	3,962	5,138,443
21	電波暗室・測定システム（シールドルーム）	4,242	8,459,048
22	メカトロニクス試験・ロボット開発支援機器・計測制御機器	4,979	556,980
23	生活科学計測機器	3,385	7,887,526
24	指導料（機器利用指導、放射線施設利用に伴う技術指導）	10,729	14,017,292
端数処理に伴う減額			59,449
震災復興技術支援 機器利用料金の50%減額		(2,352)	1,882,540
総合計		144,737	177,791,020

### 3.4.1 機器利用ライセンス制度

平成 24 年 2 月から機器利用ライセンス制度を導入し、今まで要望が多かった高性能で操作に習熟が必要な装置を対象機器とした。現在、対象機器は合計 18 機種である。利用希望者には利用方法習得セミナーの受講後「機器利用ライセンスカード」を交付した。平成 29 年度は 171 枚の機器利用ライセンスカードを発行し、累計発行枚数は 739 枚となった。

「機器利用ライセンスカード」発行枚数（累計）

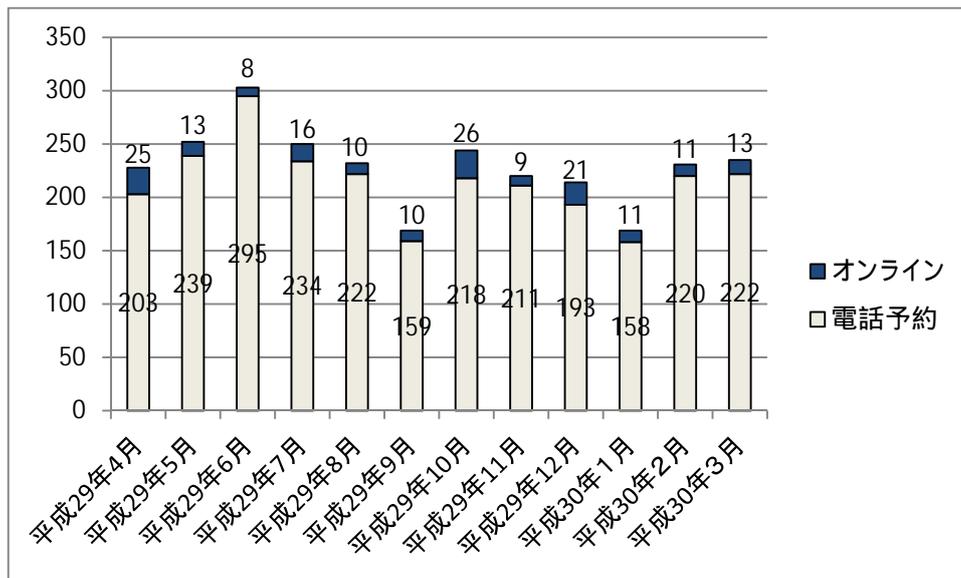
ライセンス制度対象機器	発行枚数（枚）
分析機能付き走査電子顕微鏡（本部）	240
キセノンフラッシュアナライザー	83
スタジオ撮影システム	15
蛍光 X 線分析装置（波長分散型）	42
X 線回折装置	107
マグネトロンスパッタ	6
スクラッチ試験機	22
万能試験機（20kN）	44
万能試験機（100kN）	44
絶対 PL 量子収率測定装置	5
音響管	41
ハイパワーキセノンフラッシュアナライザー	17
フーリエ変換赤外分光分析	1
分析機能付き走査電子顕微鏡（多摩テクノプラザ）	15
走査型白色干渉測定機（多摩テクノプラザ）	36
分析機能付き走査電子顕微鏡（城南）	19
ダイシングソー *	1
ナノインプリント装置 *	1

\*平成 29 年度追加対象機器

### 3.4.2 機器利用可能情報およびインターネット経由での予約申し込み受け付けの提供

平成 23 年度から、実証試験セクターの機器利用設備において、ウェブサイト上で機器利用可能情報、機器の仕様などの情報提供を開始した。平成 29 年度は多摩テクノプラザや全支所の機器利用設備を新たに加えて 428 機種（本部：199 機種、多摩テクノプラザ：97 機種、城東支所：43 機種、墨田支所：58 機種、城南支所：31 機種）の情報提供を開始した。実証試験セクターの予約可能 29 機種については、インターネット経由での予約申し込み受け付けを継続して行った。

環境試験機器年間月別予約件数  
（上段：オンライン予約分 下段：電話・メール等予約分）



### 3.5 災害復興支援

#### 3.5.1 都内中小企業および被災地企業の利用料金の減免

東日本大震災および平成 28 年熊本地震で直接的・間接的に大きな影響を受けた中小企業を支援するため、特定被災区域および都内の中小企業を対象として、依頼試験料金などの 50% 減額を実施した。

< 東日本大震災 >

対象事業：依頼試験、機器利用、オーダーメイド試験、オーダーメイド開発支援

対象地域：東京都、岩手県、宮城県、福島県、栃木県、茨城県、青森県、千葉県、新潟県、長野県

対象企業：直接被害に関しては「り災証明」、業況の悪化（売上高などの減少）については「セーフティネット保証 5 号（八）」または「東日本大震災復興緊急保証」の認定を受けた対象地域の住所（本社、工場、事業所）で申し込まれた中小企業

減額期間：平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

平成 29 年度利用実績：5,350 件（依頼試験 + 機器利用件数合計）

2 件（オーダーメイド試験）

4 件（オーダーメイド開発支援）

< 平成 28 年熊本地震 >

対象事業：依頼試験、機器利用、オーダーメイド試験、オーダーメイド開発支援

対象地域：東京都、熊本県、大分県、鹿児島県、長崎県、宮崎県、佐賀県、福岡県

対象企業：直接被害に関しては「り災証明」、業況の悪化（売上高などの減少）については「セーフティネット保証 4 号」の認定を受けた対象地域の住所（本社、工場、事業所）で申し込まれた中小企業

減額期間：平成 28 年 8 月 1 日から平成 33 年 7 月 31 日まで

平成 29 年度利用実績：270 件（依頼試験 + 機器利用件数合計）

0 件（オーダーメイド試験）

0 件（オーダーメイド開発支援）

#### 3.5.2 工業製品等の放射線量測定試験

東京電力福島第一原子力発電所事故による都内工業製品の風評被害を防ぐために開始した放射線量測定と成績証明書の発行を継続実施した。また、都内中小企業の依頼試験手数料無料および大型試験品の出張測定についても継続した。平成 29 年度の試験実績は以下のとおりである。

平成 29 年度試験実績

	持ち込み試験		出張試験	
	実施件数	成績証明書 発行枚数	実施件数	成績証明書 発行枚数
都内中小企業	40	40	8	8
都内中小企業以外	0	0	0	0
都外企業	2	2	0	0
合計	42	42	8	8

### 3.5.3 東京都との協定に基づく放射線量測定試験

都産技研は平成 19 年 3 月に東京都産業労働局と締結した「放射線物質等による災害時等対応に関する協定」に基づき、空間線量率測定および大気浮遊塵の放射線量測定を平成 29 年度も継続実施した。

#### (1) 空間線量率測定

本部に設置したモニタリングポストによりデータ収集を継続実施した。平成 24 年 4 月 11 日から、測定結果は東京都健康安全研究センターのウェブサイトにて都内他地域の測定結果とともに公表している。

#### (2) 大気浮遊塵の放射能測定

都産技研では昭和 50 年から継続的に環境放射能の測定を旧駒沢支所（世田谷区深沢）で実施していた。本部移転後は、新本部にて測定を継続実施している。I-131、I-132、Cs-134、Cs-137 の測定結果は、東京都産業労働局ウェブサイトにて毎日公表されている。なお、北朝鮮の地下核実験の際には、東京都との協定に基づき緊急測定体制を整備して測定結果を速やかに東京都に報告している。また、平成 29 年 9 月の北朝鮮の核実験の実施を受け、9 月 3 日 16 時から 9 月 12 日 16 時まで捕集時間を通常の 24 時間ごとから 8 時間ごと（1 日 3 回）に変更し、測定対応した。

### 3.5.4 公設試験研究機関との震災復興に関する連携事業

都産技研は全国 66 機関で構成される全国公立鉱工業試験研究機関長協議会の会長機関として、放射線・放射能の正しい理解を促す目的で平成 23 年度に作成した企業向けの放射線対策ガイドを平成 29 年度も無料で配布した。

#### ・技術冊子の配付

書 名：「放射線・放射能の基礎と測定の実際」（平成 23 年 1 月 31 日発行）

配布部数：92 部

### 3.6 高付加価値開発支援

#### 3.6.1 3Dものづくりセクター

「3Dものづくりセクター」では、3D技術やリバースエンジニアリングを活用した製品開発を総合的に支援する。

##### (1) アディティブ・マニュファクチャリング（AM）設備による試作・製作支援

AM（3Dプリンター）ラボ 1では、金属粉末積層造形装置およびワイヤー放電加工機など、AM（3Dプリンター）ラボ 2では、主にナイロン粉末造形装置により、医療器具などの試作・製作支援を行った。平成29年度は、金属粉末積層造形品の品質向上のために、倒立型マイクロスコープ、真円度測定器を新たに導入した。

##### (2) 三次元CADデータ作成等のデジタルエンジニアリング支援

三次元CAD/CAEシステム、パターン投影式3Dデジタイザーなどによりさまざまな工業用製品の試作・製作支援を行った。

##### (3) 製品の品質評価支援

中小企業では評価が困難な1/1000mmオーダーの寸法測定や形状測定等を依頼試験にて実施し、製品の品質向上・高付加価値化を支援した。また、長さ測定の試験（寸法測定器の校正）では、認定機関によりJCSS4年ごとの登録更新審査が実施され、事業継続が認められた。平成29年度は、高精度な寸法測定のために真円度測定機を更新した。

##### (4) 情報発信・情報提供の推進

1) パンフレット作成 2,900部

2) 展示会出展

産業交流展（11月）、METALEX 2017（11月）、3D Printing 2018展（2月）

3) 広報誌、マスコミ等掲載

東京 JOBS（11月、TOKYO MX）、TIRI NEWS（2月号特集）

4) 講演

「3Dプリンター - 造形と設計の現状の問題」(3Dプリンター造形を想定した次世代設計・製造に関わる研究会 主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所)(9月)

「金属3Dプリンターによる造形技術と3Dものづくり支援」「セラミックスAM技術の紹介～3Dプリンターでセラミックス造形が可能に～」(第7回次世代ものづくり基盤技術産業展 主催：名古屋国際見本市委員会)(11月)

「セラミックスAMの紹介」(第8回AMシンポジウム 主催：東京大学生産技術研究所付加製造科学研究室)(1月)

平成29年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 3Dものづくりセクター利用実績（件）

平成29年度利用実績	24,033
------------	--------

### 3.6.2 先端材料開発セクター

「先端材料開発セクター」では、機能性材料、環境対応製品など先端材料製品の開発に用いる高度先端機器を集中配置し、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。中でも以下を柱と位置付けている。

- ・分析機器・特性解析装置を活用した技術支援
- ・粉体プロセス機器を活用した微粒子応用材料の開発支援
- ・印刷機を活用した機能部材の開発支援

平成 29 年度は、地域新成長産業創出促進事業費補助金を活用して、回転型レオメータ、電気-光特性測定器を導入し、TKF 機関との連携による医療・福祉・介護産業用 IoT センサーモジュールの開発支援事業を展開した。また、フレキシブル基材の新しい物性評価手法の確立を目指して「フィルム物性研究会」を新設した。

#### (1) 研究開発成果の応用展開

- ・炭素系ナノ材料を液中で安定的に分散させる技術を応用展開し、中小企業と共同研究を行ってきた「粉末焼結用離型・潤滑剤」の製品化につなげた。
- ・有機合成技術を応用展開し、電荷輸送効率や励起寿命の改善を図ったポルフィリン誘導体の特許を出願し、有機薄膜太陽電池を製造販売する中小企業での評価に供した。

#### (2) 先端材料製品の開発支援

- ・X 線回折装置の知見を用いて、中小企業による「化粧品に用いる鉱物から不純物を除去するプロセス」の開発を支援した。
- ・微粒子分散技術の知見を用いて、中小企業による「炭素繊維リサイクル」の事業化を支援した。

#### (3) ライセンス制度による機器利用

先端的な機器分析装置のうち、操作に習熟が必要な以下の機器については、利用方法習得セミナー受講者に対してライセンスを発行し、機器利用に供している。

- ・分析機能付き走査電子顕微鏡
- ・X 線回折装置
- ・波長分散型蛍光 X 線分析装置

平成 29 年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 先端材料開発セクター利用実績（件）

平成 29 年度利用実績	5,487
--------------	-------

### 3.6.3 複合素材開発セクター

多摩テクノプラザ「複合素材開発サイト」では、高機能繊維材料や繊維強化材料による製品開発を支援している。平成 29 年度は繊維技術や化学技術による支援を発展させ炭素繊維強化プラスチック（CFRP）や高機能繊維素材の研究・開発に取り組み、支援する技術分野を拡大した。

#### (1) 利用促進に向けた活動

##### 1) 研究発表・紹介活動

###### 事業紹介

- ・第 24 回燃料電池シンポジウム（5 月 25～26 日）
- ・繊維学会年次大会（6 月 7～8 日）
- ・日本不織布協会展示会「第 9 回産学官の集い」（7 月 7 日）
- ・エヌプラス（9 月 13～15 日）
- ・ふちゅうテクノフェア（10 月 13 日）
- ・62nd FRP CON-EX2017（11 月 13～14 日）
- ・日本繊維機械学会関東支部講演会・見学会（11 月 22 日）
- ・クルマの軽量化技術展（1 月 17～19 日）
- ・繊維学会誌 1 月号へ広告掲載（1 月 12 日）

###### 解説記事

- ・染色加工におけるオゾン・ファインバブルの活用：「科学と工業」（一社）大阪工研協会、Vol.91, No.7, pp.204-209(2017)
- ・染色・仕上げ加工におけるファインバブルの利用：「オレオサイエンス」（公社）日本油化学会、Vol.17, No.9, pp.17-21(2017)
- ・（地独）東京都立産業技術研究センターにおける CFRP の非破壊検査：「強化プラスチック」（一社）強化プラスチック協会、Vol.63, No.11, pp.539-543(2017)
- ・プリント技術を用いた炭素繊維強化プラスチックの機械的物性制御：「コンバーテック」（株）加工技術研究会、No.2（2018）

###### 新聞等掲載

- ・化学工業日報（2017 年 9 月 28 日）「CFRP プリントで機能付与」
- ・TIRI NEWS 設備紹介「マルチスケール X 線 CT 装置」（5 月号）設備紹介「超微小押し込み硬さ試験機」（10 月号）研究紹介「機械的物性制御が可能な炭素繊維強化プラスチック材料の開発」（11 月号）設備紹介「X 線 CT 装置」（11 月号）

#### (2) 相談事例

- ・オートクレーブ成形機や高温プレス機による CFRP 板の試作
- ・X 線 CT 装置による CFRP 内の炭素繊維・ボイドの状況観察
- ・金属繊維による生地を試作 など

平成 29 年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 複合素材開発セクター利用実績（件）

平成 29 年度利用実績	19,731
--------------	--------

### 3.6.4 城東支所

地域に密着したものづくりの高付加価値化を支援するため、平成 29 年 10 月 11 日、城東支所に「デザインスタジオ・ものづくりスタジオ」を開設した。デザインスペースを約 3 倍に拡大し、マルチ材料対応インクジェット式 3Dプリンターやファイバーレーザー加工機などを導入し、高品質なものづくり支援を開始した。

#### 利用促進に向けた活動

(1) 「デザインスタジオ・ものづくりスタジオ」開設式（10月11日）

開設式（参加者 58 名）

見学会（参加者 109 名）

記念講演会（参加者 94 名）

講師：吉川良三 氏（東京大学ものづくり経営研究センター 特任研究員）

題目：「今、世界で何が起きているか」

(2) 開設記念セミナー

	題目	所属	講師	開催日	参加人数
開設 プレセミナー	ねじの事故例とその原因に見る事故を未然防止するための方策	広島大学大学院 名誉教授	澤 俊行 氏	9月21日	36名
第1回開設記念 セミナー	活用から学ぶ最適な 3D プリンターの選び方	アルテック(株) アプリケーションエンジニア	立山 豪 氏	11月30日	29名
第2回開設記念 セミナー	デザインのチカラでものづくりの一步先へ	(株)エムテド 代表取締役	田子 學 氏	1月23日	25名

(3) 広報活動

#### 事業紹介

- ・ものづくり技と匠の祭典展示(8月9～11日)
- ・いたばし産業見本市展示（9月9～10日）
- ・産業交流展 2017 展示(11月15～17日)
- ・産業ときめきフェア in EDOGAWA 展示(11月17～18日)
- ・町工場見本市 2018 展示(2月8～9日)
- ・新事業案内作成(6,000部)
- ・都営浅草線車両窓上ポスター掲示
- ・京成電鉄車両窓ステッカー掲示

平成 29 年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

#### 城東支所利用実績（件）

平成 29 年度利用実績	15,550
--------------	--------

### 3.6.5 オーダーメイド開発支援

中小企業の製品開発における上流工程・上流設計支援を目的に、オーダーメイド開発支援事業を平成 21 年 6 月に開始した。主にデザイン、設計、加工、試作等の分野で、開発過程でのデータ収集、測定、性能評価等も対象とした。複雑で高度化する企業のニーズに対し、従来制度である依頼試験や受託研究での対応では、支援内容が制度にマッチしない事例が発生していたが、オーダーメイド開発支援事業の開始により、都産技研が保有する機器・設備と、職員の人的能力を最大限に活用して、中小企業の製品開発を有効に支援できるようにした。成果において特許、実用新案が発生する場合は、必要に応じて都産技研・利用者で協議し、契約を結ぶことも可能である。

平成 29 年度は、520 件、16,155,820 円のオーダーメイド開発支援を実施した。

### 3.6.6 製品開発支援ラボ

新製品・新技術開発を目指す中小企業を支援する施設として、平成 18 年度より「製品開発支援ラボ」を旧西が丘本部に 3 室設置し運営を開始した。中小企業の事業化支援の充実と強化を目的に、平成 22 年 2 月多摩テクノプラザ開設時に 5 室設置、平成 23 年 10 月本部開設時には新たに 18 室設置し、平成 24 年 10 月からは増室により 19 室とし、合計 24 室を製品開発支援のために提供している。

製品開発支援ラボは、都産技研の技術支援を得ながら効率的に技術開発できる、24 時間利用できる、ラボマネージャーが各種相談に応じ製品開発、事業化をサポートする、などの特長がある。また、本部には機械加工機器、電気試験機器などを整備した共用の試作加工室、ドラフトチャンバーや精密天秤などを整備した共用の化学実験室を設置し、迅速に製品開発できるよう支援の充実に努めている。

入居者はウェブサイトやメールニュースなどで公募し、入居者選定審査会において審査の上、選定している。平成 30 年 3 月 31 日現在、本部ラボ（19 室）は 18 室が入居中であり、多摩ラボ（5 室）は満室状態を維持している。

#### 本部

室番号	企業名	利用の概要	入居期間
301	アイリックス(株)	レーザーラマン分光装置の開発・製造	平成25年 6月 1日 ～平成30年 4月15日
302	ハードロック工業(株)	宇宙航空機産業参入に向けた新製品開発とボルト締結体基礎物性の把握	平成27年10月 1日 ～平成30年 9月30日(予定)
303	クスノキ石灰(株)	地球温暖化の原因となる CO <sub>2</sub> を新たなセラミックス製品へ利用した製品開発	平成29年 5月 1日 ～平成32年 4月30日(予定)
304	(株)サイトライン・ソリューションズ	マイクロアレイや次世代シーケンサーのデータ解析システムの開発	平成24年 9月 1日 ～平成29年 8月31日
	ヤマモトホールディングス(株)	ガラスコーティング剤の製品開発と利用範囲拡大	平成29年 9月 1日 ～平成32年 8月31日(予定)
305	カムイ・イノベーション(株)	画像処理技術の開発	平成28年 9月 1日 ～平成31年 3月31日(予定)
306	(株)CICS	加速器を用いたホウ素中性子捕捉治療システムの実用化	平成25年10月 1日 ～平成30年 9月30日(予定)
307	ACA(株)	肌測定用のソフトウェア、アプリケーションの開発	平成28年 9月 1日 ～平成31年 8月31日(予定)

平成29年度 年報

室番号	企業名	利用の概要	入居期間
308	(株)トリマティス	光通信技術と制御回路技術をもとにレーザー光源と電源の開発	平成28年 1月 1日 ～平成30年12月31日(予定)
309	エンネット(株)	リチウム二次電池等の劣化診断技術の開発	平成28年 9月 1日 ～平成29年 9月30日
310	クラリアントジャパン(株)	植物由来の原料を使用した新たな化粧品原料の開発と評価	平成29年 9月 1日 ～平成32年 8月31日(予定)
311	(株)アイテックシステム	CE マーキングの認証に向け良質な LED 照明器具の製品開発	平成29年 5月 1日 ～平成32年 4月30日(予定)
312	seven dreamers laboratories(株)	全自動衣類折りたたみ機の開発	平成28年 9月 1日 ～平成31年 8月31日(予定)
313	(株)アルファ・プロダクト	コンクリート表面のクラック検出用画像処理装置、コンクリート内部の金属検出用超音波検査装置、ドラム缶内面のさび検出用超音波装置の開発	平成28年12月 1日 ～平成31年11月30日(予定)
314	デザミス(株)	農業・畜産分野における IoT 機器の開発	平成29年 1月24日 ～平成32年 1月23日(予定)
315	(株)名取製作所	2020 年パラリンピックに向けスポーツ用義足の開発	平成28年 6月 1日 ～平成31年 5月31日(予定)
316	日本電熱(株)	加熱蒸気発生機器関連の開発および爆砕処理とそれによる残渣の利用開発	平成26年10月 8日 ～平成29年 9月30日
	2501(株)	スタジアムで行われるスポーツ向け多視点映像生成システムの開発	平成29年10月 1日 ～平成32年 9月30日(予定)
317	(株)アロマビット	匂いセンサの開発	平成28年 8月 1日 ～平成29年10月10日
	GROOVE X(株)	生活に自然に溶け込む、新世代の家庭用ロボットの開発	平成29年12月 1日 ～平成32年11月30日(予定)
318	(株)TBM	フィラー高充填シートの開発	平成26年11月 1日 ～平成30年 4月30日
319	ティエムファクトリ(株)	「透明な断熱性を有するエアロゲル」の製品開発	平成29年 4月 1日 ～平成30年10月31日(予定)

多摩テクノプラザ

室番号	企業名	利用の概要	入居期間
ラボ 1	(株)EVTD 研究所	知見を有す電動車両技術を踏まえ、家庭向け蓄電池事業の開発	平成27年 8月 1日 ～平成29年10月31日
	ineova(株)	防災用・非常用のアルミホイル電池の開発および大型非常用電池開発	平成29年12月 1日 ～平成32年11月30日(予定)
ラボ 2	ナノコート・ティーエス(株)	真空・プラズマ技術を用いた薄膜作成技術の開発	平成27年 9月15日 ～平成30年 8月31日(予定)
ラボ 3	Cambwick Healthcare(株)	抗酸化ストレス治療用の治療器の開発	平成27年 2月22日 ～平成30年11月30日(予定)
ラボ 4	(株)PARAM	電子ビーム描画装置等試作開発	平成24年11月 1日 ～平成29年10月31日
	(株)EVTD 研究所	知見を有す電動車両技術を踏まえ、家庭向け蓄電池事業の開発	平成29年11月 1日 ～平成30年 7月31日(予定)
ラボ 5	(株)アспект	3D プリンターのアプリケーション開発	平成28年10月 1日 ～平成31年 9月30日(予定)

### 3.6.7 共同研究開発室

競争的資金導入研究や共同研究などのテーマで、中小企業と都産技研が共同で実施し迅速に成果を出せるよう、研究の実施場所として共同研究開発室を本部に3室提供している。共用を原則としている。ただし、共同研究開発室運営会議で審査し承認が得られた場合には、6ヶ月を限度に専用使用することができる。共同研究開発室の利用者は、研究の実施場所として試作加工室や化学実験室など製品開発支援ラボの共用利用施設も利用することができる。平成29年度は、随時共同研究者、共同研究企業に提供した。

## 3.7 品質評価支援（実証試験セクター）

「実証試験セクター」では、中小企業が安全で信頼性の高い製品を開発するために必要な、温湿度・劣化、振動・衝撃、電気・耐ノイズの試験を行う際に、技術相談、依頼試験、機器利用をワンストップで効率的な技術支援ができるよう環境試験機器を集約している。

平成29年度は、迅速かつ効率的な試験サービスの維持・拡充と、各種規格などに対応した質の高い試験業務を継続して行った。

### (1) 実証試験セクターのサービス拡充

実証試験セクターは、環境試験、電気・温度試験、製品・材料強度の各技術分野において製品の品質評価支援を行っている。

本部2階にある実証試験セクター窓口は、ワンストップの技術支援の相談窓口として機能させ、予約情報、稼働状況、装置仕様を60インチディスプレイなどにより表示・提供している。装置と機器利用の概要をまとめたガイドについては、平成28年度にわかりやすいハンドブックとして刷新したが、平成29年度は、Q&Aや新規導入機器の追記、写真の見直しなども加えて更新し、2,500部を発行した。ウェブサイトでは、温湿度試験機やEMC試験機など、49機種 of 機器利用予約情報、機器仕様などの提供、ならびに29機種のオンライン予約を行っている。また、利用が多いファスト・トランジェント/バースト試験器、パワーアナライザ、熱電対自動校正装置を更新し、サービスの維持と充実を図った。

### (2) 対応可能な規格試験の拡大とサービス向上

これまで依頼試験のみで利用していた減圧試験機について、利用者のニーズに対応して機器利用の運用を開始した。

### (3) 試験所認定および校正事業者登録による国際化支援

平成29年度より、本部の国際規格対応試験を管理している品質保証推進センターを、交流連携室所管から実証試験セクターへ移管、執務室を新設し、品質専任担当者を配置した。このことにより、他部署で実施していた長さ（JCSS）および照明（JNLA）も含めた品質マニュアルおよび品質記録、実績を一元管理できるようになり、教育訓練も充実した。また、認定機関によりJCSS4年ごとの登録更新審査が実施され、事業継続が認められた。

### (4) 利用促進PR活動

実証試験セクター、品質保証推進センターのパフレットと刷新したハンドブックは、出展した展示会でお客さまに配布するとともに、1階相談窓口および各担当分野室に配架し、認知度向上と利用者増、事業目標達成につながるPR展開を行った。

平成 29 年度の依頼試験および機器利用の合計利用実績は次のとおりである。

実証試験セクター利用実績（件）

平成 29 年度利用実績	74,969
--------------	--------

3.8 技術経営支援

3.8.1 知的財産権の取得

(1) 知的財産権総括

1) 知的財産権保有件数

		特許 (件)		実用新案 (件)		意匠 (件)		商標 (件)	
		登録	出願中	登録	出願中	登録	出願中	登録	出願中
国内 <sup>1</sup>	今年度分	24	36	0	0	1	2	0	0
	累計	168	114	8	0	5	2	10	0
国外 <sup>2</sup>	今年度分	3	11					2	0
	累計	12	20					2	0
PCT <sup>3</sup>	今年度分		4						
	累計		7						

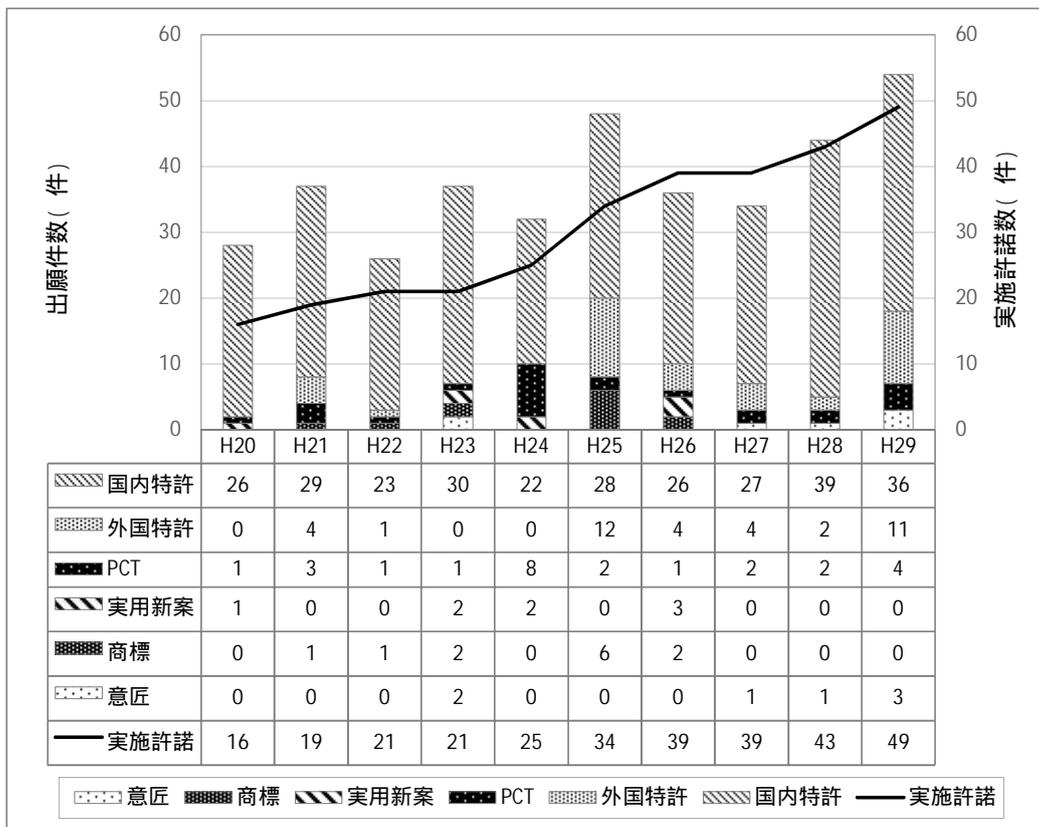
1 国内優先権主張を利用したものは、原出願を件数から削除した。登録となった場合には、累計における「出願中」から削除した。「出願中」は、出願公開後に放棄等した件数は含まない。

登録累計は、権利終了案件は含まない。

2 自国（日本）指定も含めて計上した。

3 PCT 出願後、各国への移行が完了したものについては、PCT の「出願中」から削除した。

2) 出願案件数の推移（平成 20 年度～平成 29 年度まで）



## (2) 保有する登録済み知的財産権

## 1) 国内登録特許

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
1	第 3062813 号 (平 10-251835)	べっ甲基材の再生製造方法	H12. 5. 12 (H10. 8. 21)	横澤佑治 今津好昭 金谷公彦 浅見淳一 廣瀬徳豊	従来廃棄していた製造工程中に発生するべっ甲端材を再生し、有効利用することができる製造方法
2	第 3261676 号 (平 11-357480)	電気ニッケルめっき浴	H13. 12. 21 (H11. 12. 16)	土井 正 水元和成 茅島正資 田中慎一	めっき排水中のほう酸やほう素の除去処理を行わなくてもよい、ほう酸を使用しないめっき浴で、緻密で欠陥の少ないニッケルめっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき浴
3	第 3292239 号 (平 10-084250)	鑄造用すず合金	H14. 3. 29 (H10. 3. 30)	佐藤健二 ほか 1 名	創造性、転写性に優れ鑄造した製品の色調が銀色に近いものが得られる鑄造用すず合金
4	第 3559727 号 (平 11-198208)	放射性核種吸収体とこれを用いた放射性核種の濃度測定法	H16. 5. 28 (H11. 7. 12)	斎藤正明	簡易で安全な放射能測定を実現するため、シンチレータと溶解しやすい発泡ポリスチレンを放射性気体の吸収材として規格化し、この吸収材を用いて放射能を測定する方法
5	第 3779290 号 (2003-322418)	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆/植物繊維成形体	H18. 3. 10 (H15. 9. 16)	木下稔夫 上野博志 瓦田研介 ほか 1 名	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させた後、加熱して粉末化成用材料およびこの材料を金型で加熱圧縮成形した成形体
6	第 3812783 号 (平 10-066426)	超音波振動付加型摩擦試験機	H18. 6. 9 (H10. 3. 17)	片岡征二 加藤光吉 基 昭夫 中田高志 佐々木武三 ほか 1 名	一般的な汎用試験機に超音波振動装置を組み込み、摩擦低減に対する超音波振動付加の効果を簡便に試験できる摩擦試験機
7	第 3993784 号 (2002-106827)	多次元座標測定機の性能評価方法、多次元座標測定機の校正用ゲージ及び校正用ゲージの治具	H19. 7. 24 (H14. 4. 9)	澤近洋史 樋田靖広 浜島義明 ほか 1 名	反転法を利用して被測定物を多次元で測定するため、三次元座標測定機において、スケール誤差、真直度、および直角度を容易に評価するための方法および校正用ゲージ
8	第 4086241 号 (2004-035337)	水素吸蔵合金粉末	H20. 2. 29 (H16. 2. 12)	内田 聡 ほか 3 名	鉄とチタンを主成分とする金属原料粉末をボールミリングすることにより得られる水素吸蔵合金粉末
9	第 4222515 号 (2004-314637)	ダイヤモンドの研磨方法と装置	H20. 11. 28 (H16. 1. 22)	横澤 毅 基 昭夫 片岡征二 仁平宣弘	超音波で振動しているステンレス工具をダイヤモンドの表面に押しあてることにより、ダイヤモンドを研磨する方法
10	第 4233222 号 (2001-008685)	着色ガラスの製造方法	H20. 12. 19 (H13. 1. 17)	鈴木 蕃 大久保一宏 小山秀美 田中 実 陸井史子	一般的なソーダ石灰ガラスの原料に、重量割合で 2~50% の三宅島火山灰を配合することにより、清澄剤を使わなくてもガラス中に気泡が残留せず、また、着色剤を使用することなく美しい青色に発色する高品質の着色ガラスが製造できる
11	第 4359537 号 (2004-177562)	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	H21. 8. 14 (H16. 6. 15)	樋口明久 吉野 学	立体製織体、金属繊維立体製織体の製造方法製織繊維の一部を屈曲させ立体製織体を得るための構造および製法の改良
12	第 4392719 号 (2004-036734)	母材表面の下地処理方法及びこの方法により下地処理された表面を持つ母材及び製品	H21. 10. 23 (H16. 2. 13)	片岡征二 基 昭夫 玉置賢次 ほか 3 名	プレス用金型や機械部品の摩擦面などにおける摩擦特性を改善し、DLC 膜を強固に密着させる加工方法
13	第 4394050 号 (2005-254626)	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	H21. 10. 23 (H17. 9. 2)	藤木 栄 ほか 1 名	金属板およびその製造方法に関して金属母材表面の低摩擦性、耐摩耗性を一層向上させた金属板
14	第 4568142 号 (2005-048669)	放電加工による素材の成形方法	H22. 8. 13 (H17. 2. 24)	山崎 実 鈴木岳美 國枝正典	放電加工法により任意の微細軸を高精度で成形する方法
15	第 4573174 号 (2005-226475)	放射線廃棄物の処理方法及びその焼結体	H22. 8. 27 (H17. 8. 4)	小山秀美 小林政行 ほか 1 名	低濃度放射線物質を含有する廃棄物の処分を行うにあたり、発生した排気物の減容化だけでなく安全性、安定性や取り扱いやすさを画期的に向上させる技術

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
16	第 4599529 号 (2005-234849)	放射線照射判別方法および放射線照射判別システム	H22. 8.11 (H17. 8.12)	後藤典子 山崎正夫 ほか 3 名	食品や生薬に対する放射線照射の有無の判別を行うシステムと方法
17	第 4740439 号 (2000-008551)	塗装用ブラシ	H23. 5.13 (H12. 1.18)	木下稔夫 ほか 2 名	ブラシ本来の機能を失うことなく毛束部の含浸保水能力を著しく向上させ、従来不可能であった低粘度塗料の塗布を可能にしたブラシ
18	第 4764973 号 (2005-356870)	CRC 値の算出装置	H23. 6.24 (H17.12. 9)	坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 ほか 4 名	誤り検出方式の一つである簡易なハードウェアにおいて実現できるシリアル伝送路における誤り検査等に広く用いられる回路規模の増大を極力抑え回路の高速化を実現
19	第 4776212 号 (2004-340549)	マルチ X 線の発生方法及びその装置	H23. 7. 8 (H16.11.25)	鈴木隆司	1 種類以上の金属元素から成るフィルターを用いて、X 線発生装置から出る連続 X 線を単色 X 線または 2 本以上のマルチ X 線にする方法および装置
20	第 4791746 号 (2005-094574)	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	H23. 7.29 (H17. 3.29)	田中 実 上部隆男 ほか 2 名	鉛加工物を用いずに、ほうけい酸塩系ガラス原料を利用して 580 以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリット
21	第 4827657 号 (2006-222746)	排ガス中のハロゲン化合物及び硫酸化物の分析方法と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫酸化物の分析用前処理装置と、排ガス中のハロゲン化合物及び硫酸化物の分析用前処理キット	H23. 9.22 (H18. 8.17)	野々村 誠 栗田恵子	排ガス中のハロゲン化合物と硫酸化物を分析するための前処理装置と前処理キットを提供することにより、排ガス中のこれらの成分を簡便、迅速、安価に測定することができる
22	第 4828159 号 (2005-153290)	赤外線追尾装置	H23. 9.22 (H17. 5.26)	大畑敏美	パソコンや携帯電話に使われている赤外線通信技術を活用し、通信信号に新たに提案する振幅変調信号を付加することで、通信可能範囲や距離を感知し、信号発生方向に自動追尾する装置
23	第 4832785 号 (2005-114097)	表面改質された超高分子量ポリエチレン製成形品、およびその製造方法	H23. 9.30 (H17. 5.26)	谷口昌平	人工関節などに用いられる超高分子量ポリエチレンの低ポリエチレンの低摩擦化、耐摩耗性の向上を目的とする
24	第 4847931 号 (2007-211714)	揮発性有機物除去装置及び揮発性有機物検出方法	H23.10.21 (H19. 8.15)	紋川 亮 石束真典 加澤エリト	ポリマーが VOC を吸収することで溶解し、その物性値が変化することを利用した VOC センサー等を組み込んだ揮発性有機物の除去装置およびその検出方法
25	第 4851432 号 (2007-320334)	揮発性有機物回収処理装置及びこれを有する揮発性有機物回収処理システム	H23.10.28 (H19.12.12)	紋川 亮	多孔質吸着剤が持つ VOC 吸着処理能力の高さと、揮発性有機物吸収材の持つ高い VOC 吸収能力を複合するという技術を用いた有用な揮発性有機物回収処理装置
26	第 4873617 号 (2006-093164)	低摩擦特性と耐剥離性を有する硬質膜の被覆部材	H23.12. 2 (H18. 3.30)	基 昭夫 後藤賢一 ほか 3 名	研磨した第一硬質膜の表面に DLC 膜をコーティングして第二硬質膜とし、表面を鏡面に研磨する硬質膜被覆工具および摺動材の製造方法
27	第 4920007 号 (2008-129932)	ガラス発泡体の製造方法、ガラス発泡体及びガラス発泡体の再生方法	H24. 2.10 (H20. 5.16)	中澤亮二 小山秀美	排水中のリン酸を回収し、リン酸肥料として再資源化するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつリン酸の再解離が容易なガラス発泡体の製造方法
28	第 4936349 号 (2005-161094)	金属内包カーボンナノカプセルの製造方法	H24. 3. 2 (H17. 6. 1)	基 昭夫 片岡征二 ほか 2 名	量産性に優れた金属内包カーボンカプセルの製造方法
29	第 4940464 号 (2005-271060)	ネットワーク機器試験装置	H24. 3. 9 (H17. 9.16)	坂巻佳壽美 乾 剛 ほか 4 名	通信メディアチップを直接 FPGA の回路により制御することにより、高速な試験を行う。ハッシュ関数をパケットの一部検出に用いることで高速なフィルタリング試験を実現する
30	第 5019445 号 (2007-230736)	低摩擦摺動部材および低摩擦転動部材	H24. 6.22 (H19. 9. 5)	基 昭夫 ほか 4 名	大気中、真空中、水中および潤滑剤中で低摩擦係数を有し、耐久性、耐荷重性に優れた摺動部材および転動部材
31	第 5022207 号 (2007-326851)	多層編地および多層編地の編成方法	H24. 6.22 (H19.12.19)	飯田健一	5 層編地や 7 層編地など、3 層より多くの層を有する多層編地

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
32	第 5025209 号 (2006-262181)	絶縁層を形成するための無鉛 珪酸塩ガラスフリット及び そのガラスペースト	H24. 6. 29 (H18. 9. 27)	田中 実 上部隆男 ほか 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリット
33	第 5055617 号 (2007-139787)	分注装置	H24. 8. 10 (H19. 5. 25)	楊 振 ほか 3 名	従来の分注装置の高さを低くした、小型 の分注装置
34	第 5078002 号 (2007-124308)	ダイヤモンド膜被覆部材およ びその製造方法	H24. 9. 7 (H19. 5. 9)	玉置賢次 片岡征二 ほか 2 名	鉄基合金上に密着性よくダイヤモンド膜 が被覆されたダイヤモンド膜被覆部材お よびその製造方法
35	第 5083768 号 (2008-008191)	バイオセンサシステム	H24. 9. 14 (H20. 1. 17)	沢井正之 ほか 2 名	溶存酸素の影響を受けずに、NAD <sup>+</sup> また は NADP <sup>+</sup> を補酵素とする脱水素酵素の基 質を正確に定量することができ、安価に 製造することができ、かつ携帯性に優れ た、バイオセンサシステム
36	第 5105957 号 (2007-146932)	自動車燃料中の植物由来エタ ノール混合量の測定法	H24. 10. 12 (H19. 6. 1)	斎藤 正明	植物由来のエタノールを含む炭化水素系 自動車燃料中のバイオエタノールの正確 で簡便な測定法
37	第 5107261 号 (2008-548357)	手術ナイフ、手術ナイフ用ブ レード及びその製造方法、並 びに手術ナイフ用ハンドル	H24. 10. 12 (H18. 12. 8)	加澤エリト ほか 1 名	単結晶シリコンの異方性エッチング技術を 用いて手術用ナイフを製造する技術
38	第 5107571 号 (2006-354819)	LED 制御方法	H24. 10. 12 (H18. 12. 28)	宮島良一 小林丈士 五十嵐美穂子	多数の多色 LED を均一に同時点灯可能な LED 制御回路
39	第 5116245 号 (2006-083377)	自動分析装置に用いる検量線 作成用化合物	H24. 10. 26 (H18. 3. 24)	上野博志 山本 真 石田直洋 金子真理奈 ほか 1 名	硫黄および主要なハロゲン (F、Cl、Br、 I) について同時に検量線を作成するこ とのできる新規な検量線作成用化合物
40	第 5135022 号 (2008-081958)	揮発性有機物分解菌用担持体 及び汚染土壌の浄化方法	H24. 11. 16 (H20. 3. 26)	紋川 亮	特定の高分子吸収材の持つ高い揮発性有 機物吸収能力を活用し、原位置処理で、 揮発性有機物を効率的に分解すること を可能とする揮発性有機物分解菌用担 持体、および、該揮発性有機物分解菌用 担持体を利用した汚染土壌の浄化方法
41	第 5135341 号 (2009-520544)	燃料電池用セパレータプレ ートの製造方法及びそれを利用 した燃料電池	H24. 11. 16 (H19. 6. 27)	伊東洋一 上野博志 ほか 1 名	燃料電池用セパレータプレートの製造方 法およびそれを利用した燃料電池。さら に詳しくは、低温駆動電源を必要とする 自動車用、家庭用、携帯電子機器等の固 体高分子型燃料電池用セパレータプレ ートの製造方法、前記製造方法によって得 られるセパレータプレート、および前記 セパレータプレートを用いた燃料電池
42	第 5137768 号 (2008-253593)	断面形態制御繊維およびその 製造方法	H24. 11. 22 (H20. 9. 30)	山本清志	減量加工用繊維、異形断面繊維、極細繊 維等の断面形態を制御されたポリエチレ ンテレフタレート繊維およびその製造方 法
43	第 5140519 号 (2008-212839)	はんだの組成分析方法	H24. 11. 22 (H20. 8. 21)	林 英男 上本道久	鉛フリーはんだに含まれる全合金構成元 素と不純物元素とを同時に分析する方法
44	第 5147633 号 (2008-263687)	フッ素アパタイトの製造方法	H24. 12. 7 (H20. 10. 10)	渡辺洋人 仙名 保	高い活性の可視光応答型光触媒が得られ るように、ヒドロキシアパタイト粉体か らフッ素アパタイトを製造する
45	第 5175584 号 (2008-064141)	局所表面プラズモン共鳴イメ ージング装置	H25. 1. 11 (H20. 3. 13)	紋川 亮	金ナノパターン基板上で発生する局所表 面プラズモン共鳴 (LSPR) を利用して、 DNA およびタンパク質などの多検体試料 を基板上に配置し、蛍光などのタンパク 質標識を行うことなく検出する LSPR イ メージング装置
46	第 5177472 号 (2006-274408)	カット面を着色したダイヤモ ンド粒子の製造方法、および カット面に文様を描画したダ イヤモンド粒子の製造方法	H25. 1. 18 (H18. 10. 5)	谷口昌平 ほか 1 名	低価格の天然ダイヤモンドを着色する方 法であり、短時間に処理でき、照射後の 熱処理を必要としないカラーダイヤモンド 製造方法
47	第 5183301 号 (2008-139659)	成型型およびその製造方法	H25. 1. 25 (H20. 5. 28)	寺西義一 ほか 3 名	ガラス状炭素部材を用いた、離型性が高 く、しかも凹凸部のアスペクト比が大き い場合に適した成型型およびその製造方 法

平成29年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
48	第 5183328 号 (2008-174673)	編成体及びその製造方法	H25. 1. 25 (H20. 7. 3)	樋口明久	無機繊維と収縮繊維との交差系から編成されたものを用い、収縮繊維を収縮させたことにより無機繊維が不規則に変形した状態で編成されていることを特徴とする編成体
49	第 5203603 号 (2006-355457)	親水性熱可塑性共重合体	H25. 3. 5 (H18.12.28)	清水研一 篠田 勉 上野博志	芳香族ビニルジエン共重合体の二重結合部分のみにカルボキシル基を付加して、親水性の高分子材料を得る方法
50	第 5207669 号 (2007-165339)	再生繊維製造方法	H25. 3. 1 (H19. 6. 22)	樋口明久 ほか 2 名	塩ビ系壁紙を粉砕処理した後に得られる塩ビ樹脂粉体とパルプ繊維の混合物を液体中で攪拌や分離、濾過を行い良質なパルプ繊維を回収する装置およびその製造方法
51	第 5214290 号 (2008-071504)	食品用 X 線異物検査装置およびその方法	H25. 3. 8 (H20. 3. 19)	大平倫宏 周 洪鈞 ほか 2 名	ベルトコンベア上を流れる食品パックに X 線を透過し、異物の判定を行う装置で、従来では検出困難であった微小な樹脂やガラスなどの異物を検出する装置および方法
52	第 5231294 号 (2009-055710)	揮発性有機化合物吸着材とその製造方法	H25. 3. 29 (H21. 3. 9)	瓦田研介 井上 潤	廃木材を原料とするバイオエタノール製造で排出されるリグニン残渣を VOC 吸着材に転換する技術
53	第 5242289 号 (2008-207817)	揮発性有機物吸収材及びその製造方法	H25. 4. 12 (H19. 8. 15)	紋川 亮 田村和男	取り扱いが簡便で、VOC の吸収能が高く、さらに活性炭やメソポーラスシリカ等といった従来の VOC 吸着材よりも VOC の吸収能が極めて高い吸着材であるため、吸着材の交換や再生を頻繁に行う必要のない揮発性有機物吸収材およびその製造方法
54	第 5243222 号 (2008-322621)	粉体分離装置、粉体分離システム、及び粉体分離方法	H25. 4. 12 (H20.12.18)	樋口明久 ほか 8 名	異種の粉体の混合物を好適に分離可能な粉体分離装置、粉体分離方法、および、これを用いた粉体分離システム
55	第 5261690 号 (2008-131617)	高強度ダイヤモンド膜工具	H25. 5. 10 (H20. 5. 20)	横澤 毅 玉置寛次 寺西義一 片岡征二 ほか 2 名	気相法でダイヤモンド膜を合成する際に、合成雰囲気中にボロンを含むガスを積極的に導入することでポロンドープダイヤモンド膜を有する高強度ダイヤモンド膜工具
56	第 5268050 号 (2008-010369)	カーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体及びカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法	H25. 5. 17 (H20. 1. 21)	柳 捷凡 ほか 2 名	機械強度（曲げ強度、曲げ弾性率）や導電性（特に均一性）に優れたカーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体およびカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法
57	第 5281926 号 (2009-046676)	揮発性有機化合物吸着剤とその製造方法、並びに樹皮又はその成型体の利用方法	H25. 5. 31 (H20. 2. 28)	瓦田研介 井上 潤	樹皮またはその成型体を有効利用できる、揮発性有機化合物吸着材とその製造方法、ならびに樹皮またはその成型体の利用方法
58	第 5301140 号 (2007-286805)	ガラス状炭素材からなる微細成形型材料とその製造方法ならびにこれを用いた微細成形型	H25. 6. 28 (H19.11. 2)	寺西義一 ほか 1 名	凹凸部の寸法を数 nm ~ 数百 μm 程度とする微細な成形が行われた微細成形型の材料とその製造方法ならびにこれを用いた微細成形型
59	第 5302860 号 (2009-266467)	家畜骨残渣の処理方法	H25. 6. 28 (H21.11.24)	柳 捷凡	食肉と骨とを含む家畜骨材料からエキスを抽出した後の家畜骨残渣の処理方法
60	第 5308608 号 (2001-024519)	締結体締め付け力安定化剤、これを用いた締結力安定化法、安定化剤を付着した締結体構成部品	H25. 7. 5 (H12.11.27)	大久保一宏 石田直洋 ほか 2 名	締結体の締め付け力を安定化することができる安定化剤、およびこれを用いた締結体の締め付け力安定化法、さらに、同安定化剤をあらかじめ付着させてなる締結体を構成する部品
61	第 5309354 号 (2006-052500)	高速パターンマッチング装置の探索方法	H25. 7. 12 (H18. 2. 28)	坂巻佳壽美 乾 剛 高山匡正 ほか 4 名	バイナリデータのパターンマッチングを高速に行う高速パターンマッチング装置の探索方法
62	第 5350866 号 (2009-096262)	皮革または革製品	H25. 8. 30 (H21. 4. 10)	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖 中村 宏	皮革および革製品の表面に付着した主に環境由来のかび孢子の発芽を抑制し、かびの発生を防止もしくは低減化できる皮革または革製品

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
63	第 5367341 号 (2008-283986)	アルミニウム合金鋳物およびアルミニウム合金鋳物の製造方法	H25. 9.20 (H20.11. 5)	渡部友太郎	Al-Si(Al-Si-Mg)系合金と Al-Mg 系合金を複合化したアルミニウム合金鋳物およびこの製造方法
64	第 5376669 号 (2010-070763)	金属部材のプレス加工方法およびプレス加工用金型	H25.10. 4 (H22. 3.25)	小金井誠司 ほか 6 名	ふっ素樹脂膜を潤滑皮膜としていても、プレス加工が繰り返し行えるように金型の耐久性を高めるとともに、チタン部材やマグネシウム合金部材といった難加工金属部材について、ドライ加工を行えるようにすることができるプレス加工方法等
65	第 5378024 号 (2009-075049)	揮発性有機物吸収材	H25.10. 4 (H21. 3.25)	紋川 亮 藤井 恭子	揮発性有機物の吸収能（吸収量および吸収速度）が高く、また、熱処理により脱着が簡単にできるため吸収した揮発性有機物の処理が容易な揮発性有機物吸収材
66	第 5382638 号 (2008-014005)	マグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型	H25.10.11 (H20. 1.24)	基 昭夫 ほか 4 名	絞り、曲げ成形等のプレス加工によるマグネシウム合金部材の成形方法およびその成形用金型
67	第 5388304 号 (2010-074034)	掲示板のための照明装置	H25.10.18 (H22. 3.29)	中村広隆 榊本博司 三上和正 長谷川 孝 西澤裕輔 ほか 3 名	掲示板のための照明装置、より詳細には掲示板に掲げられた情報（掲示情報）についての視認性の改善に寄与する照明装置
68	第 5394132 号 (2009-134259)	揮発性有機化合物の浄化装置及びその浄化方法	H25.10.25 (H21. 6. 3)	紋川 亮 ほか 1 名	小型で設置が容易な、揮発性有機化合物に汚染された大気、土壌からその汚染化合物を吸着剤で除去して光触媒で分解する揮発性有機化合物の浄化装置、およびその浄化方法
69	第 5399034 号 (2008-246074)	微細成型型および微細成型型用基材並びに微細成型型の製造方法	H25.11. 1 (H19. 9.28)	寺西義一 三尾 淳 石束昌典	コート材や潤滑材を塗布することなく離型性を高めた微細成型型および微細成型型用基材ならびに微細成型型の製造方法
70	第 5404465 号 (2010-031649)	ポリアニリン半導体材料	H25.11. 8 (H22. 2.16)	中川清子 谷口昌平 山崎正夫	化学的操作では必要であった廃液の処理などが不要なポリアニリン半導体材料
71	第 5413939 号 (2007-198213)	タンパク質自動合成精製方法及び装置	H25.11.22 (H19. 7.30)	楊 振 佐々木智典	ディスク内に微細流路および反応室等を形成して内部でタンパク質を自動合成し、精製したタンパク質を供給可能とするディスクを用いたタンパク質自動合成精製装置
72	第 5414719 号 (2011-052181)	揮発性有機化合物分解用無機酸化物成形触媒とその製造方法	H25.11.22 (H22. 3.31)	染川正一 ほか 1 名	強度が強く保たれるとともに高い触媒活性が保持され、安価で簡便な押し出し成形法、低温での焼成が可能な無機酸化物成形触媒等
73	第 5422320 号 (2009-218022)	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	H25.11.29 (H20. 9.22)	染川正一 石川麻子 ほか 1 名	VOC 分解用触媒として用いられている貴金属担持触媒よりも材料コストを抑え、より低い温度で VOC を分解することができる触媒等
74	第 5425689 号 (2010-081190)	ネズミ誘引方法および装置、並びにネズミ捕獲装置	H25.12. 6 (H22. 3.31)	神田浩一 坂巻佳壽美 大原 衛 金田泰昌 加藤光吉 ほか 4 名	複数の音節からなるユニットが複数回繰り返される周波数特性を有する超音波を用いることによって、優れた誘因効果を得ることができ、ネズミを効率よく捕獲することができるネズミ誘引方法等
75	第 5435911 号 (2008-218293)	除放性製剤とその製造方法	H25.12.20 (H20. 8.27)	飯田孝彦 瓦田研介 小沼ルミ 宮崎 巖	短時間で気化しやすい常温揮発性薬剤成分を緩やかに放出することができ、廃棄物量が少なく、薬剤成分の効果の消失を容易に判別することができ、人体への安全性も高い徐放性製剤とその製造方法
76	第 5438287 号 (2008-143107)	難溶性アミノ酸類含有混合組成物及びその製造方法、並びに皮膚外用剤	H25.12.20 (H20. 5.30)	柳 捷凡 ほか 3 名	難溶性アミノ酸類微細粒子およびその製造方法に関わり、さらに皮膚外用剤
77	第 5439155 号 (2009-286011)	歯間清掃具及びその製造方法	H25.12.20 (H21.12.17)	許 深 樋口明久	歯の表面に付着している歯垢等の汚れを除去するための歯間清掃具およびその製造方法
78	第 5441485 号 (2009-106510)	揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法	H25.12.27 (H21. 4.24)	紋川 亮	VOC の触媒分解処理を静的環境で行うことができ、触媒活性の低下が抑制される揮発性有機物処理装置および VOC 処理方法

平成29年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
79	第 5448549 号 (2009-106520)	光イオン化検出器及び光イオン化検出方法	H26. 1. 10 (H21. 4. 24)	平野康之 加澤エリト 吉田裕道 原本欽郎	金属電極に交流電圧または交流電流を印加することで、汚染物質の存在下でもVOC濃度の測定が可能な光イオン化検出器等
80	第 5460113 号 (2009-105359)	局在表面プラズモン共鳴測定基板及び局在表面プラズモン共鳴センサ	H26. 1. 24 (H21. 4. 23)	紋川 亮 加澤エリト	VOC等の検出対象物を捕捉するために多孔質吸着材を備えているため、表面へのガス分子吸着による物性変化が大きく、極めて高感度なガス検出が可能な、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサ
81	第 5479826 号 (2009-204833)	ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化装置	H26. 2. 21 (H21. 9. 24)	三尾 淳 ほか 2 名	低コストかつ短時間でガスの分解および処理を実現可能とする新規な構成のガス浄化装置およびガス浄化方法、ならびにこれに使用するプラズマ電極
82	第 5486790 号 (2008-263686)	多孔質アパタイトおよびその製造方法	H26. 2. 28 (H20. 10. 10)	渡辺洋人 仙名 保	天然骨等の廃棄物を原料とした、大きな比表面積のアパタイト微粒子を有する多孔質アパタイトであり、吸着剤として用いることが可能
83	第 5511523 号 (2010-129014)	二脚型移動装置	H26. 4. 4 (H22. 6. 4)	坂下和広	人間が暮らす住環境に存在する障害物をスムーズに跨ぎ越すことのできる二脚型移動装置
84	第 5548144 号 (2011-016517)	表示装置	H26. 5. 23 (H23. 1. 28)	豊島克久	液晶ディスプレイに比べ目の疲労が少なく、製造コストを抑えることができるという優れた効果を有する表示装置
85	第 5560065 号 (2010-047994)	防護服	H26. 6. 13 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、脇下近辺に開閉部があるため、脱衣しやすく、製造が容易で十分な防護性を確保できる
86	第 5560066 号 (2010-047997)	防護服	H26. 6. 13 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、前面に開閉部があるため脱衣しやすく、迅速に脱衣が可能
87	第 5564680 号 (2009-170391)	ガラス発泡体、ガラス発泡体を含むリン酸吸着剤、ガラス発泡体を含む植物育成用培地及びガラス発泡体の製造方法	H26. 6. 27 (H21. 7. 21)	中澤亮二 小山秀美	排水中のリン酸を回収するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつ排水処理に使用後のガラス発泡体の植物栽培への利用を容易にするため、植物に利用可能な水を保持できるガラス発泡体
88	第 5572459 号 (2010-152637)	4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	H26. 7. 4 (H22. 7. 5)	上野博志 菊池有加 峯 英一	試料中の微量な 4 種類のハロゲン（フッ素、塩素、臭素、ヨウ素）および硫黄の有機元素を、迅速に高精度で自動定量分析する際の検量線を作成する、4 種類のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質およびその製造方法
89	第 5579644 号 (2011-059966)	赤色ガラス	H26. 7. 18 (H23. 3. 18)	大久保一宏 増田優子 上部隆男 ほか 2 名	有害元素であるカドミウムを着色剤として使用せずに、カドミウム含有の赤色ガラスと同じ赤い色を示すソーダ石灰の赤色ガラス
90	第 5604094 号 (2009-286822)	防かび剤組成物、およびそれを利用した木材および木製品	H26. 8. 29 (H21. 12. 17)	小沼ルミ 宮崎 巖 飯田孝彦 濱野智子 瓦田研介 ほか 1 名	木材および木製品にも適した防かび剤組成物、およびそれを使用した防かび加工方法、木材および木製品等
91	第 5632597 号 (2009-200679)	弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置	H26. 10. 17 (H20. 9. 2)	横山幸雄	積層造形法を活用した弦楽器、弦楽器の製造方法および弦楽器製造装置
92	第 5647669 号 (2012-503249)	多孔質シリカの製造方法	H26. 11. 14 (H23. 3. 3)	渡辺洋人 ほか 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能であり、かつ炭素数が 7 以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法
93	第 5647836 号 (2010-198628)	導電紙及びその製造方法	H26. 11. 14 (H22. 9. 6)	上野武司 竹村昌太 島田勝広	無電解金属めっきにより金属で被覆された木材パルプを含む導電紙およびその製造方法

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
94	第 5650916 号 (2010-047999)	防護服	H26.11.21 (H22. 3. 4)	加藤貴司	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、一端の袖部から頭部近辺を跨ぎ、他端の袖部にかけて開閉部があるため、防護服の脱衣が容易で、短時間で迅速に脱衣できる
95	第 5660831 号 (2010-219707)	アルミニウム合金の材質判定方法	H26.12.12 (H22. 9.29)	竹澤 勉 上本道久 伊藤 清	アルミニウム合金のリサイクルにおいてアルミニウム合金のグループ分けを行う場合に適用して好適なアルミニウム合金の材質判定方法
96	第 5660918 号 (2011-026993)	情報処理装置、コンピュータプログラム、および情報処理方法	H26.12.12 (H23. 2.10)	大平倫宏	三次元図形を構成する複数の頂点に対応する複数の頂点データを有する三次元図形データに対する電子透かしなどの付加情報の埋め込みにおいて、データの改ざんが検出されやすくなるようにする情報処理装置、コンピュータプログラム、および情報処理方法
97	第 5667431 号 (2010-287832)	三次元座標測定機簡易検査用ゲージ	H26.12.19 (H22.12.24)	中西正一 西村信司 中村弘史	三次元座標測定機の寸法検査を短時間に簡便に行うことができ、マルチスタイルの検査も実施可能な三次元座標測定機簡易検査用ゲージ
98	第 5690244 号 (2011-179367)	はんだの組成分析方法	H27. 2. 6 (H23. 8.19)	林 英男	鉛フリーはんだに含まれる各種元素を分析する方法
99	第 5697309 号 (2009-053490)	局在プラズモン共鳴センサの製造方法	H27. 2.20 (H21. 3. 6)	加澤エリト 紋川 亮	局在表面プラズモン共鳴現象を応用した化学センサの性能向上に関し、センサ性能低下の要因となっていた導電・密着層を熱処理により誘電体化することが特徴
100	第 5697852 号 (2009-073154)	揮発性有機物回収システム	H27. 2.20 (H21. 3.25)	紋川 亮	VOC を効率的に液化して回収することができる揮発性有機物回収システム
101	第 5698034 号 (2011-045449)	加熱補助器具及び加熱装置並びに化学的酸素消費量の測定方法及び加熱方法	H27. 2.20 (H23. 3. 2)	荒川 豊	マイクロ波によって複数の試料を簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の加熱むらを小さくすることができる加熱補助器具、加熱装置および加熱方法、ならびに、複数の試料水について簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の測定精度のばらつきを小さくすることができる化学的酸素消費量の測定方法
102	第 5706069 号 (2009-024032)	ダイヤモンド研磨装置及びダイヤモンド研磨方法	H27. 3. 6 (H21. 2. 4)	横澤 毅 片岡征二 ほか 1 名	被研磨物にコーティングされたダイヤモンドを研磨する装置および方法
103	第 5711927 号 (2010-222197)	固体酸化物型燃料電池	H27. 3.13 (H22. 9. 3)	樋口明久 ほか 7 名	MEA セルとセパレータの間に集電材が設けられる平板型の固体酸化物型燃料電池、および MEA セルの空気極と燃料極の内周面または外周面に集電材が設けられる円筒型の固体酸化物型燃料電池
104	第 5717491 号 (2011-065307)	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	H27. 3.27 (H23. 3.24)	染川正一 小島正行 藤井恭子 萩原利哉 堂免一成	VOC 用の触媒層を担体に担持するにあたって、触媒担持量を増やしても比表面積を大きくでき、かつ触媒層が担体から剥離しにくいので、触媒性能のアップを図ることができるとともに触媒燃焼法の装置設計がしやすくなる
105	第 5722736 号 (2011-202620)	流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター及びその流路形成方法	H27. 4. 3 (H22. 9.17)	田中 実 伊東洋一 上部隆男 ほか 3 名	一对の石英ガラス基板の両板の対向面に、スクリーン印刷法でガラスペーストを印刷して焼成により該両板間に微細流路を形成する流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター、およびその石英ガラスマイクロリアクターの流路形成方法
106	第 5734589 号 (2010-162015)	水道用ゴムパッキン	H27. 4.24 (H22. 7.16)	清水研一 飛澤泰樹 ほか 2 名	バルブ、フランジ、その他各種の継手に使用する水密性に優れた水道用ゴムパッキン
107	第 5739125 号 (2010-2011507)	人工骨部材	H27. 5. 1 (H21. 9.10)	寺西義一 ほか 1 名	自家骨との接合強度を高くして自家骨との強固な接合を発現維持させて、しかも汎用性の高い人工骨部材

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
108	第 5753568 号 (2013-240142)	局在プラズモン共鳴センサ及びその製造方法	H27. 5. 29 (H21. 3. 6)	加澤エリト 紋川 亮	金属微細構造を持つ局在プラズモン共鳴センサの製造方法であって、誘電体基板と金属微細構造の間に設けた導電層または密着層を誘電体化する、局在プラズモン共鳴センサ製造方法
109	第 5762151 号 (2011-126795)	数値データの圧縮システム及び方法	H27. 6. 19 (H23. 6. 6)	大原 衛 山口隆志	主にコンピューターによる科学技術計算や表計算のソフトウェアで一般的に採用されている浮動小数点形式の数値データの処理に関し、連続して入力される数値入力データを効率的に圧縮および伸長するためのシステム、方法およびその装置
110	第 5767076 号 (2011-227936)	熱型加速度センサー	H27. 6. 26 (H23.10.17)	豊島克久	加速度センサーに関し、三軸方向の加速度を同時に測定可能な熱型加速度センサー
111	第 5775326 号 (2011-041203)	LED 点灯回路	H27. 7. 10 (H23. 2. 28)	小林丈士 染谷克明 寺井幸雄	照明器具、照明装置関連技術分野における省エネルギー型で、比較的大きな動作電流を持つ LED (発光ダイオード) の点灯回路
112	第 5779038 号 (2011-175078)	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	H27. 7. 17 (H23. 8. 10)	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	被測定対象に含まれる VOC を検出する VOC 検出器および VOC 検出方法、特に、VOC をイオン化させ、拡散定数の大きさを判別することで、被測定対象に含まれる VOC の種別を特定することが可能な VOC 検出器および VOC 検出方法
113	第 5780640 号 (2011-146285)	燃料電池、その駆動システム及び燃料電池組み立てキット	H27. 7. 24 (H23. 6. 30)	峯 英一 菊池有加 小野澤明良 上野博志 ほか 1 名	必要な部品数を少なくして組み立ておよび分解を容易にするとともに、良好な出力電圧を有する燃料電池、その駆動システムおよび燃料電池組み立てキット
114	第 5803003 号 (2011-150689)	熱フィラメント CVD 装置及び成膜方法	H27. 9. 11 (H23. 7. 7)	長坂浩志	基材の表面にダイヤモンド薄膜などの薄膜を形成するための熱フィラメント CVD 装置およびその装置を用いて薄膜を形成するための成膜方法
115	第 5812828 (2011-262112)	管内壁の研掃方法、管内壁の研掃方法に用いる偏向部材および管内壁研掃システム	H27.10. 2 (H23.11.30)	小野澤明良 木下稔夫 ほか 1 名	錆面（付着物が付着した管内壁）への研削材の衝突エネルギーを高め、錆除去のプラスト力とその効率をさらに向上させるとともに、円錐形部材の円錐面の摩耗を少なくすることができる。したがって、偏向部材を長時間使用可能であること、研掃効率が高いため同じ範囲をより短い時間で研掃できることから、大変経済性の高い偏向手段
116	第 5818619 号 (2011-220890)	スラリー状触媒液の付着装置	H27.10. 9 (H23.10. 5)	小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉	有害ガスを浄化するためのハニカム構造の触媒担持担体の製造において、担体にスラリー状触媒液を遠心力を利用して均一に付着させる技術
117	第 5827735 号 (2014-198975)	多孔質シリカの製造方法	H27.10.23 (H22. 3. 4)	渡辺洋人 ほか 2 名	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能である多孔質シリカを、炭素数が 7 以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法
118	第 5840054 号 (2012-74775)	複合材料、培養容器及び細胞培養器用仕切り部材	H27.11.20 (H24. 3. 28)	大藪淑美 柚木俊二	細胞を通過させずに培養液成分などの物質を通過可能であるとともに、細胞の観察に適した透明性を有するコラーゲンゲル膜およびこれを用いた培養容器
119	第 5861177 号 (2011-228859)	有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置	H28. 1. 8 (H23.10.18)	杉森博和 ほか 3 名	活性炭やゼオライト等の吸着剤に吸着された有機溶剤を脱着して回収するための有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置
120	第 5861231 号 (2011-138440)	絹繊維品のブリーツ加工方法及び絹繊維品のブリーツ加工品	H28. 1. 8 (H23. 6. 22)	武田浩司 木村千明 小林研吾	絹繊維品のブリーツ加工に非常に有効であり、絹繊維品本来の特性を損なうことなく、ブリーツの保持性にも優れるという効果を有する、ブリーツ加工方法

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
121	第 5875761 号 (2010-280036)	コラーゲン線維ゲルおよびその用途	H28. 1. 29 (H22. 12. 16)	柚木俊二 ほか 2 名	コラーゲン線維を架橋してなり、接着・増殖した細胞の牽引力によって収縮しない硬さを持つコラーゲン線維ゲル、およびそのコラーゲン線維ゲルを用いた動物移植用培養基材
122	第 5876311 号 (2012-15800)	吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム	H28. 1. 29 (H24. 1. 27)	西沢啓子 神田浩一 渡辺茂幸	試料の吸音率を測定する吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム
123	第 5878294 号 (2011-2763)	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工具	H28. 2. 5 (H23. 1. 11)	小金井誠司 ほか 4 名	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工具において、チタン部材について、潤滑油を用いることなくドライ環境下での曲げ加工が行えるとともに、ふっ素樹脂膜を潤滑皮膜としていても、曲げ加工が繰り返し行えるように、曲げ加工具の耐久性を高めることができる、加工方法と加工具
124	第 5883287 号 (2011-276326)	防護帽、防護帽の使用法、防護服及び防護装置	H28. 2. 12 (H23. 12. 16)	服部 遊 神田浩一 西沢啓子 渡辺茂幸 ほか 2 名	気体の供給によるフード部内の騒音を低減できるので、防護帽の装着者と他人との間で会話を適切に行うことができ、意思疎通を適切に図ることができる防護帽
125	第 5892485 号 (2011-282885)	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	H28. 3. 4 (H23. 12. 26)	斎藤正明	多量の試料水の昼夜無人連続運転が可能であり、大幅に労力を省くことができる自動蒸発濃縮器
126	第 5901156 号 (2011-144300)	無機有機複合粒子及びその製造方法	H28. 3. 18 (H23. 6. 29)	柳 捷凡	水難溶解性有機化合物を無機多孔質の細孔内に含有し、種々の分野で利用することができるナノレベルサイズの無機有機複合粒子およびその製造方法
127	第 5917139 号 (2011-287408)	ダイヤモンド膜の研磨方法および装置	H28. 4. 15 (H23. 12. 28)	藤巻研吾 横澤 毅	ダイヤモンド膜表面の平滑化による発熱量の低下を伴う研磨速度の減速を抑制できるダイヤモンド膜の研磨方法および装置
128	第 5917108 号 (2011-260878)	電解セル	H28. 4. 15 (H23. 11. 29)	斎藤正明	電解膜を用いて水を電気分解する電解セル、例えば重水、トリチウム水等の試料水中の純水を固体高分子電解質 (Solid Polymer Electrolyte) から成る電解膜を用いて電解し減容して該試料水を濃縮する電解セル
129	第 5989334 号 (2011-283724)	造粒体、造粒体の製造方法、水質浄化装置、リン酸肥料、及び、土壌改良資材	H28. 8. 19 (H23. 12. 26)	中澤亮二 佐々木直里 小山秀美 平井和彦	リン酸の吸着性に優れた造粒体、前記造粒体の製造方法、リン酸の吸着性に優れた水質浄化装置に関し、また、前記造粒体を用いたリン酸肥料および土壌改良資材
130	第 6029149 号 (2014-126615)	編針の製造方法	H28. 10. 28 (H20. 6. 3)	堀江 暁 森河和雄 川口雅弘 三尾 淳	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するために DLC 膜を施した編針の製造方法
131	第 6004528 号 (2012-186879)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H28. 9. 16 (H23. 8. 27)	渡辺洋人 ほか 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
132	第 6017431 号 (2013-533461)	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H28. 10. 7 (H23. 9. 15)	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法
133	第 6017175 号 (2012-103787)	尾てい骨保護下着	H28. 10. 7 (H24. 4. 27)	藤田薫子 ほか 1 名	尾てい骨を保護して、長時間の着用および着座が快適となる尾てい骨保護下着
134	第 6045273 号 (2012-214096)	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および押圧スイッチ	H28. 11. 25 (H24. 9. 27)	窪寺健吾 山本悦子 樋口英一 樋口明久	金属繊維と化学繊維等を撚り合わせてなる撚糸における金属繊維の張力の適切化を図ることができ、さらに金属繊維の張力が適切化された撚糸、そのような撚糸を製織してなる織物、そのような織物を使用した押圧スイッチ
135	第 6052958 号 (2012-151440)	相溶化剤、その相溶化剤により相溶されてなる複合体、相溶化剤の製造方法及びその相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法	H28. 12. 9 (H23. 7. 6)	梶山哲人 清水研一 林 孝星 安田 健	脂肪族ポリエステルと天然繊維とを相溶せしめる際に用いる相溶化剤およびその相溶化剤により相溶されてなる複合体、そして、相溶化剤の製造方法さらに、その相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法

平成29年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
136	第 6059957 号 (2012-241704)	鳥獣識別装置、鳥獣識別方法、及びプログラム	H28.12.16 (H24.11.1)	大平倫宏 富山真一	特定の空間領域に存在する鳥獣のうち羽ばたいている状態の鳥獣を識別することができる鳥獣識別装置等
137	第 6057569 号 (2012-150881)	冷却シート	H28.12.16 (H24.7.4)	飛澤泰樹 清水研一 ほか 1 名	冷却シートに関するもので、物体を省エネルギー的に冷却する冷却シート
138	第 6061483 号 (2012-068325)	冷却シート及びネッククーラー	H28.12.22 (H23.3.23)	清水研一 飛澤泰樹 ほか 1 名	冷却シートおよびネッククーラーに関するもので、物体を省エネルギー的に冷却する冷却基材、冷却シートおよびネッククーラー
139	第 6066600 号 (2012-154100)	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法	H29.1.6 (H23.7.7)	菅谷紘子 岩崎謙次	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関し、特に、衣服圧測定用の人体模型、当該人体模型を用いた衣服圧測定装置および衣服圧測定方法
140	第 6071468 号 (2012-256802)	コラーゲン水溶液及びそれから得られるゲル	H29.1.13 (H24.11.22)	柚木俊二 大藪淑美 畑山博哉	室温での流動性を長い時間保持でき、かつ、生体温度で速やかにゲル化することが可能なコラーゲン水溶液と、そのゲル
141	第 6080762 号 (2013-531434)	成形体の製造方法	H29.1.27 (H23.8.31)	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 ほか 2 名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法
142	第 6081156 号 (2012-251622)	ハイドロゲル	H29.1.27 (H24.11.15)	柚木俊二 大藪淑美 関口正之 ほか 1 名	持続的な抗菌作用を有し、かつ正常組織への刺激が少なく、生体適合性の高いハイドロゲル
143	第 6081781 号 (2012-255357)	高融点ゼラチン組成物、その製造方法、およびその用途	H29.1.27 (H24.11.21)	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉	一般的な細胞育成の温度条件においてゲル状態を維持することができる高融点ゼラチンと、その製造方法等
144	第 6108272 号 (2013-193718)	プラスチックのバイオマス由来判別方法	H29.3.17 (H25.9.19)	永川栄泰 柚木俊二 斎藤正明	固体プラスチックに含まれる放射性炭素( <sup>14</sup> C)を、LSC法を用いて固体のまま測定するプラスチックのバイオマス由来判別方法
145	第 6122706 号 (2013-125803)	配光測定装置および配光測定方法	H29.4.7 (H25.6.14)	横田浩之	面発光体の配光分布の測定を精度よく行うことを可能にしつつ、装置の大型化を回避可能にする配光測定装置等
146	第 6129078 号 (2013-540845)	制御システム	H29.4.21 (H23.10.28)	佐藤 研 佐野宏靖 ほか 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システム
147	第 6140607 号 (2013-531433)	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	H29.5.12 (H23.8.31)	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 ほか 2 名	漆、植物繊維といった天然資源(バイオマス)を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体
148	第 6140608 号 (2013-531435)	成形用材料と、これを用いた成形体	H29.5.12 (H23.8.31)	木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰	漆、植物繊維といった天然資源(バイオマス)を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体
149	第 6140999 号 (2012-275046)	骨結合性材料、人工骨並びに基材と自家骨との結合促進方法	H29.5.12 (H23.12.15)	寺西義一 ほか 1 名	所望の部位において自家骨との結合を促進させることができる骨結合性材料等
150	第 6157173 号 (2013-070640)	LED 照明の分光分布設計方法	H29.6.16 (H24.6.1)	岩永敏秀 中村広隆 ほか 4 名	基準光源との色みえの差が小さい分光分布を得ることができる、または、ある特定の色を鮮やかでかつ明るく見せる分光分布を得ることが可能となる LED 照明の分光分布設計方法
151	第 6158648 号 (2013-181647)	クロムフリー化成処理液および化成処理方法	H29.6.16 (H25.9.2)	浦崎香織里 ほか 1 名	クロムを用いずに、亜鉛や亜鉛合金の表面に耐食性のより高い化成皮膜を形成する化成処理液等
152	第 6163349 号 (2013-096087)	金属編地及びその製造方法	H29.6.23 (H25.4.30)	唐木由佑	通気性、光透過性に優れた金属編地およびその製造方法

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
153	第 6165937 号 (2016-141417)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法	H29. 6.30 (H23. 8.29)	渡辺洋人 ほか 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術
154	第 6169896 号 (2013-119604)	重金属吸着剤及び重金属回収方法	H29. 7. 7 (H24. 6. 7)	小沼ルミ 杉森博和 飯田孝彦 瓦田研介	液体中の金属、特に廃水中の重金属を迅速に吸着した後、効率よく回収できる吸着剤およびそれを用いた重金属の回収方法
155	第 6194226 号 (2013-224629)	三次元測定装置及び三次元測定方法	H29. 8.18 (H25.10.29)	紋川 亮 中西正一 阿部真也	測定対象物の三次元形状を測定する際の作業効率を格段に向上させることができる三次元測定装置
156	第 6195745 号 (2013-129077)	電気ニッケルめっき液および電気めっき方法	H29. 8.25 (H25. 6.19)	浦崎香織里 土井 正	ピット防止等のための添加剤やほう素を含まない、高速電気めっきのめっき液として用いた場合にも、耐食性および外観に優れためっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき液
157	第 6199662 号 (2013-172143)	照明器具の測光量測定安定性評価方法、測光量測定安定性評価装置、測光量測定安定性評価プログラム、およびその記録媒体	H29. 9. 1 (H25. 8.22)	澁谷孝幸 岩永敏秀 横田浩之	放熱構造が備えられた照明器具の光源特性を明確にすることができ、照明器具の測光量を測定する際の安定性の評価を精度よく行うことができる測光量測定安定性評価方法等に係る技術
158	第 6207132 号 (2012-181879)	補助布付きコート、補助布及びマフラー	H29. 9.15 (H24. 8.20)	加藤貴司	高い防寒性を確保でき、また、補助布をマフラーとして使用できるので、補助布を外しても邪魔にならず、防寒性をさらに向上できる補助布付きコート等
159	第 6210841 号 (2013-224627)	X 線三次元測定装置及び X 線三次元測定方法	H29. 9.22 (H25.10.29)	紋川 亮 中西正一 阿部真也	X 線 CT 画像を補正して測定対象物のエッジを精確に特定することができる X 線三次元測定装置
160	第 6216605 号 (2013-218054)	光学部材および光源装置	H29. 9.29 (H25.10.21)	横田浩之 ほか 1 名	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、必要十分な平行度の出射光を得ることを実現可能とする光源装置
161	第 222982 号 (2013-100737)	光源装置	H29.10.13 (H25. 5.10)	横田浩之 ほか 1 名	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、点光源を形成することを実現可能とする光源装置
162	第 6228176 号 (2015-207399)	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	H29.10.20 (H27.10.21)	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉 ほか 2 名	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法
163	第 6236245 号 (2013-159010)	飛行装置	H29.11. 2 (H25. 7.31)	益田俊樹 森田裕介 佐々木智典 島田茂伸 坂下和広	空気より軽い気体を充填した気嚢を用いた飛行装置の姿勢を自由に制御可能とするシステム
164	第 6245860 号 (2013-134031)	移動台車の制御装置及び移動台車の制御方法	H29.11.24 (H25. 6.26)	坂下和広	移動台車上に配設された構造体の向きを所定方向に制御しつつ任意の方向に移動可能な移動台車の制御装置
165	第 6262401 号 (2017-508416)	ロッカーボギー	H29.12.22 (H27. 3.24)	坂下和広 森田裕介 益田俊樹	機敏な動作と低コストを実現しつつ、なめるように障害物の踏破する機能も有する四輪構造のロッカーボギー
166	第 6270115 号 (2013-241895)	運動支援システム及び運動支援プログラム	H30. 1.12 (H25.11.22)	後濱龍太 ほか 1 名	内発的動機付けを促進するとともに、運動強度および運動部位が適切な範囲にある運動を行うことができるようにユーザーを支援することができる運動支援システムおよび運動支援プログラム
167	第 6280544 号 (2015-519944)	X 線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びに X 線三次元測定装置及び方法	H30. 1.26 (H25. 5. 9)	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	アーチファクト等を補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X 線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびに X 線三次元測定装置および方法
168	第 6308464 号 (2014-107600)	注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置及びそのプログラム	H30. 3.23 (H26. 5.23)	後濱龍太 ほか 1 名	半側空間無視患者に対するリハビリテーションを支援するための注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置およびそのプログラム

2) 外国特許登録

番号	登録番号	名称(和名)	登録年月日 (出願日)	発明者	内 容
1	韓国特許 第 10-1212393 号	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット 及びそのガラスペースト	H24.12.7 (H18.3.28)	田中 実 上部隆男 ほか 2 名	鉛加工物を用いずに、ほうけい酸塩系ガラス原料を利用して 580 以下の温度でガラス基板等への焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリット
2	米国特許 第 8729371 号	弦楽器、その製造方法及び装置	H26.5.20 (H20.9.2)	横山幸雄	積層造形法を適用した弦楽器、および弦楽器の製造作製方法等
3	中国特許 ZL 201180011994.1	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H27.6.24 (H24.9.3)	渡辺洋人 ほか 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ
4	韓国特許 第 10-1417009 号	絶縁層を形成するための無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びガラスペースト	H26.6.30 (H18.9.27)	田中 実 上部隆男 ほか 3 名	絶縁層を形成するガラス組成物中に PbO を含まない絶縁層形成用のガラスフリット
5	韓国特許 第 10-1502996 号	燃料電池用集電材	H27.3.10 (H22.9.30)	樋口明久 ほか 7 名	燃料電池用集電材
6	韓国特許 第 10-1609080 号	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H28.3.29 (H23.8.29)	渡辺洋人 ほか 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
7	中国特許 ZL 201280042513.8	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H28.8.24 (H23.8.29)	渡辺洋人 ほか 2 名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
8	米国特許 第 9,480,117 号	電力線を介して負荷を制御するための制御システム	H28.10.25 (H23.10.28)	佐藤 研 佐野宏靖 ほか 1 名	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システム
9	欧州特許 第 2757573 号	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H28.11.4 (H23.9.15)	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法
10	米国特許 第 9,645,113 号	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	H29.5.9 (H23.9.15)	平野康之 原本欽朗 吉田裕道	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法
11	韓国特許 第 10-1750584 号	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H29.6.19 (H23.3.3)	渡辺洋人 ほか 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
12	欧州特許 第 2752460 号	成形用材料と、これを用いた成形体	H30.1.10 (H26.2.27)	木下稔夫 三尾 淳 高橋千秋 城 照彰	漆、植物繊維といった天然資源(バイオマス)を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体

3) 実用新案登録

番号	登録番号	名称	登録年月日 (出願日)	考案者	内 容
1	第 3149562 号	モビール細工及びモビール	H21.3.11 (H21.1.20)	秋山 正 ほか 1 名	立体性を有し、かつより複雑な動作を現出し得るモビール細工
2	第 3170441 号	照明器具	H23.8.24 (H23.7.5)	上野明也 ほか 1 名	シェード部に設けられた模様板を光源が発する熱から保護し、インテリア性の高い照明器具
3	第 3171954 号	ブラジャー	H23.11.2 (H23.3.21)	藤田薫子 ほか 1 名	授乳者や、乳ガンにより乳房を切除した乳ガン患者などが使用する、各種パッドを装着可能な圧迫感の小さいブラジャー
4	第 3183799 号	注射器の針部取り外し器具ユニット	H25.5.8 (H25.3.21)	石堂 均 ほか 2 名	注射器使用の際の針刺し事故の防止と、自己注射器材のユーザビリティを追求するための注射器、特に、ペン型のインスリン自己注射器の針部材取り外し器具ユニット
5	第 3183939 号	炭素繊維強化樹脂製環状ばね	H25.5.15 (H25.3.27)	西川康博 佐野宏靖 小船諭史 岩田雄介	炭素繊維で補強された樹脂を環状に巻回して成る炭素繊維強化樹脂製環状ばね
6	第 3194598 号	装飾品及び照明器具	H26.11.12 (H26.7.4)	上野明也	希少なべっ甲を有効に利用しつつ、べっ甲が持つ風合いを活かした装飾品および照明器具

7	第 3195080 号	ブックスタンド、ブックエンド及びブックエンドユニット	H26.12. 3 (H26.10.15)	秋山 正	立て掛けて保管した書籍等の水平面でのズレを防止するとともに、ブックスタンド一対を相互に向かい合わせで連結させてブックエンドを構成する際、その連結を安定させることができ、また、ブックスタンドとブックエンドや、ブックエンド同士をそれぞれ安定的に連結させていくことができ、さらに、本の収納領域の段階的な間隔調整も容易に行えるブックスタンド、ブックエンドおよびブックエンドユニット
8	第 3195171 号	パンツ型着用物	H26.12.10 (H26.10.16)	平山明浩 ほか 1 名	日常生活における着用者の動作に追従し着用者の肌と密着して、吸収パッドからの漏れを抑制するパンツ型着用物

## 4) 意匠登録

番号	登録番号	意匠に係る物品	登録年月日	創作者	内 容
1	第 1433084 号	ランプシェード	H24. 1. 6	上野明也 ほか 1 名	LED などの光源を内部に収容して使用するシェード
2	第 1439104 号	ランプシェード	H24. 3.23	上野明也 ほか 1 名	LED などの光源を内部に収容して使用するシェードであり、六角形状の面の素材が透光性を有するもの
3	第 1546747 号	ランプシェード	H28. 2.26	上野明也	LED などの光源を内部に収容して使用するランプシェードであり、大きさの異なる 3 つの六角形の枠（大枠、中枠、小枠）から形成され、大枠正面に透光性を有する素材が配設されてなるもの
4	第 1571378 号	ロボット	H29. 2.10	小林祐介 村上真之 坂下和広	自律的に走行可能なロボットである。例えば、屋内または屋外の施設で、施設内巡回や施設利用者への案内等を行う
5	第 1596642 号	乗用自動車	H30. 1.12	上野明也 ほか 1 名	マイクロ EV キッチンカー

5) 国内商標登録

番号	登録番号	商 標	登録年月日	内 容
1	第 5358694 号		H22.10. 8	世界一高い電波塔東京スカイツリー、墨田区をモチーフにデザイン開発した墨田区発の子ども服中心のブランド
2	第 5424369 号	サスティーモ (標準文字)	H23. 7. 8	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料、そして、この材料を金型で加熱圧縮成形した漆器のブランド
3	第 5466219 号		H24. 1. 27	有毒物を含まずに赤色の発色を実現したガラスのブランド
4	第 5492668 号	merilabo	H24. 5. 11	メリヤス(ニット)の使い方を研究するというコンセプトのもと、メリヤスの「メリ」とラボラトリー(実験室)の「ラボ」から生まれたニットブランド
5	第 5663387 号		H26. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター
6	第 5663388 号	チリン (標準文字)	H26. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター名
7	第 5680841 号		H26. 6. 27	介護服の新ブランド
8	第 5689214 号		H26. 7. 25	都産技研のロゴマーク
9	第 5689215 号	東京都立産業技術 研究センター (標準文字)	H26. 7. 25	都産技研の名称
10	第 5689216 号	TIRI (標準文字)	H26. 7. 25	都産技研の英語略称

6) 外国商標登録

番号	登録番号	商 標	登録年月日	内 容
1	171101900 【タイ王国出願】		H29. 1. 20	都産技研のシンボルマーク 区分：第 41 類
2	171108525 【タイ王国出願】		H29. 3. 15	都産技研のシンボルマーク 区分：第 42 類

## (3) 出願案件 公報が発行されていない出願の内容は「未公開」と表記

## 1) 国内出願

番号	出願番号	名称	出願年月日 (優先日等)	発明者	内容
<b>平成 25 年度</b>					
1	2013-194199	ノード装置及びネットワークシステム	H25. 9. 19	中川善継	データの収集と、データフレームの転送とを同時に行うことができ、このためスループットの低下を抑制することができるノード装置およびネットワークシステム
2	2013-256516	反応物供給流路	H25. 12. 11	峯 英一 窪寺健吾 ほか 2 名	液体燃料に用いた場合にも発電性能が高く、簡便に製造できる、反応物供給流路
3	2014-001479 【優先権主張】 基礎出願 2013-001809	リグノセルロースからのセルロース抽出方法	H26. 1. 8 (H25. 1. 9)	濱野智子 飯田孝彦 小沼ルミ 水越厚史 瓦田研介	多量の廃棄物を生じるような高温高压処理等を必要としない、簡便な、植物系バイオマスまたはリグノセルロースからのセルロースの溶解および/または抽出方法、特に簡便で高効率な植物系バイオマスの糖化前処理技術
4	2014-031747	黒色合金メッキ皮膜	H26. 2. 21	水元和成 ほか 2 名	亜硫酸金塩およびパラジウム錯塩を含むメッキ液を用いて深味のある黒色調の金・パラジウム合金皮膜
5	2014-048017	信号検出装置及び信号検出方法	H26. 3. 11	村上真之 志水 匠	電磁ノイズを検出対象信号として誤検出することを防止することができる信号検出装置および信号検出方法
6	2014-052115 【優先権主張】 基礎出願 2013-052321	塩化物イオンの定量方法及び塩化物イオンの定量装置、並びに、塩素の定量方法	H26. 3. 14 (H25. 3. 14)	杉森博和 安藤恵理 田熊保彦 瓦田研介 荒川 豊	現場で使用可能な小型の装置に適用でき、安価であって、短時間に塩化物イオンを定量することが可能であり、かつ指針値に対して十分な感度を有している塩化物イオンの定量方法および塩化物イオンの定量装置等
<b>平成 26 年度</b>					
1	2014-092371 【優先権主張】 基礎出願 2013-095732	マグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法、そのマグネシウム粉末冶金焼結体およびマグネシウム粉末冶金材料	H26. 4. 28 (H25. 4. 30)	岩岡 拓	マグネシウム粉末冶金材料中のマグネシウム粉末同士間の結合力を強化し、当該材料の組織を維持したまま、その組織を緻密化したマグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法等
2	2014-124534	圧力測定用材料とその製造方法並びに圧力測定方法	H26. 6. 17	吉野 徹 山中寿行 大久保一宏 渡邊禎之	非晶質炭酸カルシウムと、水と反応して呈色する呈色剤とを有することを特徴とする圧力測定用材料
3	2014-144888 【優先権主張】 基礎出願 2013-147761	マイクロヒータ	H26. 7. 15 (H25. 7. 16)	山岡英彦	熱応力を抑制することができるマイクロヒータ
4	2014-168330	触媒	H26. 8. 21	渡辺洋人 ほか 2 名	触媒燃焼式で VOC、アンモニア、硫化水素、一酸化炭素等のガス状化合物の処理を行う際、触媒が熱触媒として活性を発揮する温度に達する前に触媒槽にガス状化合物が入って来ても処理することができる触媒
5	2014-189562 【優先権主張】 基礎出願 2013-195891	揮発性有機化合物検出センサ	H26. 9. 18 (H25. 9. 20)	紋川 亮 月精智子 城 照彰 ほか 3 名	酵素サイクリング反応による NADH 増幅によって生じるホルマジン色素の吸光度を測定することにより、測定対象ガスに含まれる揮発性有機化合物の成分量を選択的に高感度かつ、連続的に検出可能とする揮発性有機化合物成分量検出センサ
6	2014-192135	サンドイッチパネル用コア材、サンドイッチパネル用コアおよびサンドイッチパネル	H26. 9. 22	高橋俊也 西川康博 阿保友二郎	曲げ剛性が大きく、スキン材との接着力が強く、また十分な型抜き勾配が得られるサンドイッチパネル用コア材
7	2014-202048 【優先権主張】 基礎出願 2014-000573	成形体	H26. 9. 30 (H26. 1. 6)	寺西義一 ほか 2 名	強度に優れた成形体に關し、さらに詳細には、生体親和性、生体分解性、および強度に優れた医療用成形体や各種締結部材に最適な強度を有する成形体

平成29年度 年報

番号	出願番号	名 称	出願年月日 (優先日等)	発明者	内 容
8	2014-209085	遅延量測定回路および遅延量測定方法	H26.10.10	岡部 忠	測定することができる遅延量の大小を選択して広範な測定を実現でき、少ない回路リソースにより、省電力と小回路規模を実現することができる遅延量測定回路および遅延量測定方法
9	2014-210057	コラーゲン水溶液及びそれを用いたゲルの製造方法	H26.10.14	柚木俊二 畑山博哉 大藪淑美	「その場調製」が可能なほどに線維化の体温応答性が高いコラーゲン水溶液
10	2014-210060	コラーゲンゲルの作製方法及びコラーゲンゲル	H26.10.14	柚木俊二 畑山博哉 海老澤瑞枝	大きなスケールで立体的に成形された“線維束”を非破壊的に製造することができるコラーゲンゲルの作製方法
11	2014-211950 【優先権主張】 基礎出願 2013-215877 基礎出願 2014-125805	金属イオン捕集材	H26.10.16 (H26. 6.18)	梶山哲人 ほか1名	水溶液中の金属イオンを捕集でき、金属イオンによっては選択的に捕集できる地球環境に優しい金属イオン捕集材
12	2014-223328	量子ドット複合光触媒	H26.10.31	渡辺洋人 染川正一 ほか2名	量子ドットを用いた反応効率の高い光触媒
13	2014-230504	放熱性を向上させる塗装方法および塗装装置および塗料	H26.11.13	木下稔夫 ほか3名	被塗装物の放熱性を向上させることができる新規な塗装方法
14	2014-233373	多孔質シリカの製造方法	H26.11.18	渡辺洋人 ほか2名	特性の良好な多孔質シリカを作製する
15	2014-250421	ナノ粒子の製造方法	H26.12.10	川口雅弘 渡邊禎之 林 英男	組成を限定することなく、粒径が100nm以下のナノ粒子を簡便に製造することができるナノ粒子の製造方法を提供する
16	2014-259095	成形材料、成形体の製造方法、及び成形体	H26.12.22	上野明也 山中寿行	本物のべつ甲製品に近い独自の風合いを有する成形体を自由な形状で低コストで大量に製造することができる成形材料および成形体の製造方法、ならびに本物のべつ甲製品に近い独自の風合いを有する成形体
17	2015-006392	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、及び、かつら	H27. 1.16	唐木由佑 ほか2名	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、およびかつらにおいて、頭部装着体の装着感を良好にする
18	2015-039192 【優先権出願】 基礎出願 2014-039680	周波数変換器、計測システム及び計測方法	H27. 2.27 (H26. 2.28)	藤原康平 小林丈士	単純化した構成を有する周波数変換器、計測システムおよび計測方法
19	2015-060009	ダイヤモンド薄膜の製造方法、熱フィラメントCVD装置及びメカニカルシール	H27. 3.23	長坂浩志 ほか2名	ダイヤモンド薄膜を低コストで成膜するための、ダイヤモンド薄膜の製造方法
<b>平成 27 年度</b>					
1	2015-078027 【優先権主張】 基礎出願 2014-079717	局在表面プラズモン共鳴センサ、ガスセンサ及び製造方法	H27. 4. 6 (H26. 4. 8)	加澤エリト 紋川 亮	LSPRを用いたガスセンサの光学配置に起因する信号変動の回避を図り、広範囲なVOC濃度を適切に計測する
2	2015-080285	LED照明の分光分布設計方法	H27. 4. 9	岩永敏秀 中村広隆	基準光との色みえの差が十分に小さく、また特定の色の鮮やかさと明るさが十分に大きく、かつLED照明の光源効率が最大となる分光分布設計方法
3	2015-115101	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	H28. 6. 5	紋川 亮 中西正一 阿部真也	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
4	2015-110645	強度確知評価方法	H27. 5.29	川口雅弘 ほか1名	強化したガラスの色彩、平面形状、平滑性に左右されずに表面の強度および表面の深さ方向強度分布を直接確知評価できる強度確知評価方法
5	2015-116085	廃棄汚泥の減少方法	H27. 6. 8	田中真美 中澤亮二 小林宏輝 佐々木直里	原料ガラスからガラスカレットを製造する際に発生する廃棄汚泥を減少させる方法、特に微生物処理により廃棄汚泥を減少させる方法

番号	出願番号	名 称	出願年月日 (優先日等)	発明者	内 容
6	2015-120886	光電変換装置	H27. 6. 16	太田優一	光電変換装置、特に、中間準位を有するワイドギャップ半導体を用いた光電変換装置に適用して有効な技術
7	2015-121205 【優先権主張】 基礎出願 2014-125217	多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体、炭素粒子蛍光体、多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体の製造方法および炭素粒子蛍光体の製造方法	H27. 6. 16 (H26. 6. 18)	林 孝星 渡辺洋人 ほか2名	微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に炭素を内包させることにより得られる炭素粒子蛍光体
8	2015-132390	車輪構造体	H27. 7. 1	西川康博	所定の高さを有する段差等の障害物の乗り越えに労する力を低減でき、簡易な構造の車輪構造体
9	2015-140165	表面プラズモン共鳴測定装置及びそのチップ	H27. 7. 14	紋川 亮	ウイルスを高感度かつ迅速に検出可能な測定装置
10	2015-168867	微粒子凝集制御装置、微粒子凝集体生成方法、および微粒子凝集体	H27. 8. 28	海老澤瑞枝 山口隆志 寺西義一 磯田和貴	微粒子および溶媒・媒質に対して化学的な修飾をすることなく、凝集度を制御しつつ短時間に微粒子凝集体を生成する仕組みを安価かつ簡便に実現する
11	2015-172025	造形材料	H27. 9. 1	飛澤泰樹 小沼ルミ 村上祐一	常温で素手による造形が可能であり、硬化処理せずとも高い形状保持性を有する造形材料
12	2015-196042	局在表面プラズモン共鳴センサ	H27. 10. 1	加澤エリト	複雑な光学系を必要とせず、小型化が可能で、さらには検出精度の高い局在表面プラズモン共鳴センサ
13	2015-208371	ダイヤモンド結晶製造装置及びダイヤモンド結晶製造方法	H27. 10. 22	川口雅弘 ほか2名	小型であり、かつ所望の位置にダイヤモンドを製造できるダイヤモンド結晶製造装置およびダイヤモンド結晶製造方法
14	2016-008946	レーザーマイクロダイセクター及びレーザーマイクロダイセクション方法	H28. 1. 20	紋川 亮 ほか1名	試料の標的部分の周囲を正確に切断可能なレーザーマイクロダイセクターおよびレーザーマイクロダイセクション方法
15	2016-008947	レーザーマイクロダイセクター及びレーザーマイクロダイセクション方法	H28. 1. 20	紋川 亮 ほか1名	試料の標的部分の周囲を正確に切断可能なレーザーマイクロダイセクターおよびレーザーマイクロダイセクション方法
16	2016-019288 【優先権主張】 基礎出願 2015-019615	緊急停止方法、緊急停止システム及びその自己診断方法	H28. 2. 3 (H27. 2. 3)	村上真之	部品コストの増大と、機器全体の故障率の増加(すなわち、信頼性の低下)を最小限に抑え、緊急時に上位ユニットからの指令で下位ユニットを確実に停止させることができる緊急停止方法、緊急停止システムおよびその自己診断方法
17	2016-030300 【優先権主張】 基礎出願 2015-057992	積層造形装置を用いた積層造形方法	H28. 2. 19 (H27. 3. 20)	山内友貴	正確な変形のデータを算出するとともに、その算出したデータを設計データに反映させることで、造形させる造形パーツの変形を制御する積層造形装置を用いた積層造形方法
18	2016-068938	導電性繊維	H28. 3. 30	添田 心 古田博一 池田善光	繊維としての柔軟性を維持しながら、優れた導電性を有する導電性繊維
<b>平成 28 年度</b>					
1	2016-091317	光学特性測定装置および光学特性測定方法	H28. 4. 28	横田浩之	被測定物の光学特性を測定する光学特性測定装置および光学特性測定方法
2	2016-107468	ガス流路構造および流量センサ	H28. 5. 30	山岡英彦 ほか1名	流量負荷を増加させることなく、ガス流の脈動を軽減することのできるガス流路構造、および、ガス流の脈動による影響を受けることなく、高い精度で流量測定を行うことのできる小型の流量センサ
3	2016-112634	情報処理装置、情報処理方法、及びプログラム	H28. 6. 6	大平倫宏 富山真一	3次元状の被検査対象物に含まれる特性が異なる領域の迅速な特定に寄与することができる情報処理装置、情報処理方法、およびプログラム
4	2016-113048	物体追跡装置、物体追跡方法、及び物体追跡プログラム	H28. 6. 6	中村佳雅 吉村僚太 佐々木智典 武田有志 坂下和広	物体追跡装置が運動する場合であっても、正確に物体を追跡する物体追跡装置、物体追跡方法、および物体追跡プログラム

平成29年度 年報

番号	出願番号	名 称	出願年月日 (優先日等)	発明者	内 容
5	2016-119770 【優先権主張】 基礎出願 2015-125324	めっき付き樹脂成形体	H28. 6.16 (H27. 6.23)	竹村昌太 浦崎香織里 土井 正 桑原聡士 小野澤明良	非導電性である樹脂成形体にめっき層を形成しためっき付き樹脂成形体
6	2016-120703	アシスト装置装着用のウェアおよびアシストウェアシステム	H28. 6.17	加藤貴司 ほか1名	非外骨格型のアシスト装置を装着する作業を、装着者が一人で短時間のうちに簡単にできるアシスト装置装着用のウェア
7	2016-131911	非架橋ゼラチン、ゼラチン混合体、およびこれらを含む化粧料用または医薬用ゼラチン	H28. 7. 1	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉 ほか2名	30 を超える程度の比較的高い融点を有し、かつ生体温度付近でゾル-ゲル転移を起こすことのできる非架橋ゼラチン
8	2016-138685	6価クロム含有廃液の処理剤および処理方法	H28. 7.13	杉森博和	処理工程中の pH 調整を1回とすることが可能で、処理設備を簡素化でき、処理中に危険な薬品を使用する回数を減らすことのできる六価クロム含有廃液の処理剤および処理方法
9	2016-138896	ハイドロゲル及びハイドロゲルの製造方法	H28. 7.13	永川栄泰 柚木俊二 中川清子 関口正之	機械的強度を備え、かつ瞬発的吸水性に優れ、生体模倣モデルに適用可能なハイドロゲル
10	2016-151279	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	H28. 8. 1	平野康之 篠田 勉	揮発性有機物の濃度と拡散定数を判定し、揮発性有機物検出室内の内壁における荷電粒子の移動量を制御することで、揮発性有機物を含むガスの判別精度を向上させる揮発性有機物検出器および揮発性有機物検出方法
11	2016-153201 【優先権主張】 基礎出願 2015-158143	温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置、及び座標測定機	H28. 8. 3 (H27. 8.10)	大西 徹 村上祐一	目盛誤差をより低減することができる温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置および座標測定機
12	2016-155123	情報検索方法、情報検索プログラム、情報検索用端末および情報検索装置	H28. 8. 8	阿部真也 三木大輔 ほか2名	情報検索において非言語情報を入力に活用することで、言語格差をほとんど感じさせることなくユーザーが所望する観光などの情報を適切に検索・提供可能なシステム
13	2016-170665 【優先権主張】 基礎出願 2015-225399	フローセンサ及びその製造方法	H28. 9. 1 (H27.11.18)	山岡英彦 ほか1名	より効率的に流体を加熱することができるフローセンサおよびその製造方法
14	2016-172301 【優先権主張】 2015-201498	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器及びガス電子増幅器用電極の製造方法	H28.9.2 (H27.10.9)	小宮一毅 藤原康平 小林丈士 ほか5名	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器およびガス電子増幅器用電極の製造方法
15	2016-172118	白金担持体とそれを用いた酸素還元触媒およびその製造方法ならびに燃料電池、金属空気電池	H28. 9. 2	立花直樹 池田紗織 湯川泰之 川口雅弘	優れた酸素還元触媒活性を有し、かつ、製造コストおよび材料コストの両面から望ましい燃料電池や金属空気電池の空気極用に好適な白金担持体の製造方法および、優れた酸素還元触媒活性を有する新規な白金担持体とそれを用いた酸素還元触媒ならびに燃料電池、金属空気電池
16	出願中特許 【優先権主張】 基礎出願 2015-196152	回転体、回転機械及びポンプ	H28. 9. 8 (H27.10. 1)	小西 毅 平野康之	振動が少ない、低比速度の回転機械
17	出願中特許 【優先権主張】 基礎出願 2015-196039	通気性扉	H28.10. 3 (H27.10. 1)	渡辺茂幸 服部 遊 西沢啓子 宮入 徹 神田浩一	簡易な内部構造で高い遮音性能を発揮できる通気性扉
18	2016-197054	X線CT装置、画像補正方法及び画像補正プログラム	H28.10. 5	紋川 亮	点光源式のX線源と、フラットパネル式の検出器とを備えるX線CT装置において、フラットパネル式の検出器の端部における投影画像の誤差を精度よく補正する
19	出願中特許	止血材用スポンジ及びその製造方法	H28.10.31	成田武文 柚木俊二	未公開

番号	出願番号	名 称	出願年月日 (優先日等)	発明者	内 容
20	出願中特許	ノイズ源探査システムおよびノイズ源探査方法	H28.11.10	佐野宏靖 佐々木秀勝 金田泰昌	未公開
21	出願中特許	ガス電子増幅モジュール	H28.11.10	小宮一毅 小林丈士 藤原康平	未公開
22	出願中特許	生体組織孔閉鎖用、管腔状組織閉塞用及び潰瘍保護用ゾル	H28.11.17	柚木俊二 大藪淑美 成田武文 ほか2名	未公開
23	出願中特許	粘膜下局注用コラーゲンゾル	H28.11.17	柚木俊二 大藪淑美 成田武文 ほか2名	未公開
24	出願中特許	放射線量計測装置、放射線量計測方法及び放射線量計測システム	H28.11.29	中川善継 村上知里 ほか1名	未公開
25	出願中特許	車輪構造体及び車両	H28.12.9	益田俊樹	未公開
26	出願中特許	導波管マイクロストリップ線路変換器	H28.12.15	藤原康平 小林丈士	未公開
27	出願中特許	金属イオンを分離することのできる配位子とそれを用いた分離材	H29.1.31	梶山哲人 ほか1名	未公開
28	出願中特許	熱伝導式センサ	H29.2.3	豊島克久	未公開
29	出願中特許	保存対象物の保存方法、ゾルゲル転移体およびこれを含む保存剤	H29.2.8	大藪淑美 柚木俊二 藤井恭子 ほか3名	未公開
30	出願中特許	温度補正方法、温度補正プログラム、及び座標測定機	H29.2.8	大西 徹 村上祐一	未公開
31	出願中特許	LA-ICP-MS 装置を用いた定量分析方法および LA-ICP-MS 装置	H29.2.21	林 英男 川口雅弘 渡邊禎之	未公開
32	出願中特許	非接触給電構造およびこれを備えた駐輪施設	H29.2.28	秋山美郷 佐野宏靖 大森 学	未公開
33	2017-040525 【優先権主張】 基礎出願 2016-041375	成形体の製造方法	H29.3.3 (H28.3.3)	峯 英一 伊東洋一 小野澤明良	変形可能な基材の表面上に固化可能な流動体を塗布して第一塗膜を形成する第一塗布工程と、上記第一塗膜を固化して第一固化膜を得る第一固化工程と、上記基材を変形させることにより、上記第一固化膜を上記基材から剥離する剥離工程と、を備える成形体の製造方法
34	2017-040986 【優先権主張】 基礎出願 2016-044667	ダイヤモンドライクカーボン膜、摺動部材、加工部材及びダイヤモンドライクカーボン膜の製造方法	H29.3.3 (H28.3.8)	徳田祐樹 川口雅弘 ほか2名	低摩擦性および耐摩耗性に優れたダイヤモンドライクカーボン膜、摺動部材、加工部材およびダイヤモンドライクカーボン膜の製造方法
35	出願中特許	移動ロボット及び制御回路	H29.3.27	村上真之 坂下和広 佐藤 研 森田裕介	未公開
<b>平成 29 年度</b>					
1	出願中特許	マグネシウム合金の製造方法	H29.4.19	岩岡 拓	未公開
2	出願中特許	偏光光学特性の測定方法及び変更特性測定装置	H29.5.18	海老澤瑞枝	未公開
3	出願中特許	画像補正装置、画像補正方法、注目点認識装置、注目点認識方法及び異常システム	H29.5.29	三木大輔 阿部真也	未公開
4	出願中特許	音響信号処理装置・処理方法・処理プログラム、及び音響信号処理プログラムを記録した記録媒体	H29.5.31	鈴木 薫 武田有志	未公開

平成29年度 年報

番号	出願番号	名 称	出願年月日 (優先日等)	発明者	内 容
5	出願中特許	パーソナルトレーナースーツ、姿勢計測装置、姿勢計測方法、及びトレーニングシャツ	H29. 5. 31	後濱龍太 平山明浩	未公開
6	出願中特許	積層造形装置及び積層造形システム	H29. 6. 16	小林隆一	未公開
7	出願中特許	新規ポルフィリン誘導体、ポルフィリン誘導体の製造豊富、ドナー材料、光電変換装置、および光電変換装置の製造方法	H29. 6. 23	小汲佳祐 ほか1名	未公開
8	出願中特許	VOC処理用触媒	H29. 7. 5	井上研一郎 染川正一	未公開
9	出願中特許	反射構造体	H29. 6. 13	磯田和貴 海老澤瑞枝 永田晃基	未公開
10	出願中特許	機能性薄膜とその製造方法	H29. 7. 4	寺西義一 ほか1名	未公開
11	出願中特許	センサ保持基板及びセンサモジュール	H29. 7. 19	山岡英彦 小宮一毅	未公開
12	出願中特許	光学特性装置および光学特性測定方法	H29. 7. 19	横田浩之	未公開
13	2017-156749 【優先権主張】 基礎出願 2016-160254	機能性薄膜及びその製造方法、積層構造体及びその製造方法	H29. 8. 15 (H28. 8. 17)	寺西義一 ほか1名	表面粗さ(平滑性)、膜強度(硬度)、膜内部の引っ張りや圧縮(内部応力)などの膜特性がコントロールされた機能性薄膜及びその製造方法
14	出願中特許	研削砥石及び研削装置	H29. 8. 16	鈴木悠矢	未公開
15	出願中特許	ダイヤモンド研磨装置及びダイヤモンド研磨方法	H29. 8. 23	平野康之 中村健太 藤巻研吾 玉置賢次	未公開
16	出願中特許	温度補正方法、温度補正プログラム、及び座標測定器	H29. 8. 31	大西 徹	未公開
17	出願中特許	FRP成形品及びその製造方法	H29. 9. 4	武田浩司 西川博康	未公開
18	出願中特許	移動装置、駆動制御方法、及び駆動制御プログラム	H29. 6. 19	坂下和広 武田有志 益田俊樹	未公開
19	出願中特許	複層ガラス剥離方法及び剥離装置	H29. 9. 21	小林宏輝 中澤亮二	未公開
20	2017-183254 【優先権主張】 基礎出願 2016-202142	CT装置用校正器	H29. 9. 25 (H28. 10. 13)	竹澤 勉	CT装置による寸法測定と校正を同時に行うための校正器
21	2017-134886 【分割出願】 原出願 2013-159010	飛行装置及び駆動装置	H29. 7. 10 (H25. 7. 31)	益田俊樹 森田裕介 佐々木智典 坂下和広 島田茂伸	空気より軽い気体を充填した気嚢を用いた飛行装置に搭載できる、簡素かつ軽量の駆動装置
22	出願中特許 【優先権主張】 基礎出願 2016-213024	高分子多糖類又はタンパク質架橋用架橋剤及びその製造方法、架橋高分子多糖類又は架橋タンパク質形成用ゾル及びその製造方法	H29. 10. 31 (H28. 10. 31)	成田武文 柚木俊二 ほか1名	未公開
23	出願中特許	光暴露方法及び光暴露装置	H29. 11. 2	濱野智子 村井まどか 石田祐也 澁谷孝幸 ほか3名	未公開
24	出願中特許	炭酸カルシウム成形体の製造方法および炭酸カルシウム成形体	H29. 11. 2	吉野 徹	未公開
25	出願中特許	高配向コラーゲン繊維束及びその製造方法	H29. 11. 8	柚木俊二 海老澤瑞枝 ほか1名	未公開

番号	出願番号	名 称	出願年月日 (優先日等)	発明者	内 容
26	出願中特許	暗号システム、ユーザーシステム、暗号方法、及び暗号プログラム	H29.11.10	大平倫宏	未公開
27	出願中特許	デジタル処理、装置デジタル処理装置の製造方法及びプログラム	H29.11.17	岡部 忠	未公開
28	出願中特許	身体形状データ変換装置、身体形状データ変換方およびプログラム	H29.11.27	後濱龍太 島田茂伸 ほか3名	未公開
29	出願中特許	人体形状モデル可視化システム、人体形状モデル可視化方法およびプログラム	H29.11.27	後濱龍太 島田茂伸 ほか3名	未公開
30	出願中特許	チューブ状ハイドロゲル及び医療用ステント	H29.11.29	永川栄泰 柚木俊二 中川清子 ほか1名	未公開
31	出願中特許	亀裂検知センサー及び亀裂検知システム	H29.12.13	窪寺健吾 峯 英一 伊東洋一 ほか1名	未公開
32	出願中特許	撮影システム及び画像処理装置並びに画像処理方法	H29.12.28	海老澤瑞枝 磯田和貴 ほか1名	未公開
33	出願中特許	殺菌方法	H30.1.22	片岡憲昭 関口正之 河原大吾	未公開
34	出願中特許	演算装置、演算管理装置及びプログラム	H30.1.26	山口隆志 ほか1名	未公開
35	出願中特許 【優先権主張】 基礎出願 2017-162405	背景騒音下における対象音の近似官能評価方法および背景騒音下における対象音の近似官能評価システム	H30.2.7 (H29.8.25)	宮入 徹 服部 遊	未公開
36	出願中特許 【分割出願】 原出願 2015-508824	悪臭処理用担持触媒	H30.3.27 (H26.3.31)	染川正一 井上 潤 ほか1名	未公開

## 2) 外国出願（自国指定も含む）

番号	出願番号	名称（和名）	出願年月日 (優先日等)	発明者	内 容
1	11750758.2 【欧州移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	H24.9.27 (H22.3.4)	渡辺洋人 ほか2名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
2	2014-560827 【自国指定出願】 PCT/JP2014/052958	メカニカルシールおよびその製造方法	H26.2.7 (H25.2.7)	長坂浩志 渡部友太郎 寺西義一 ほか1名	メカニカルシールに要求される漏洩防止性能を満たしながら、優れた耐久性を有するダイヤモンド被膜面を有するメカニカルシールおよびその製造方法
3	14/241589 【米国移行出願】 PCT/JP2012/071699	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H26.2.27 (H23.8.29)	渡辺洋人 ほか2名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術
4	12828428.8 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072214	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	H26.2.27 (H23.8.31)	木下稔夫 神谷嘉美 上野博志 瓦田研介 ほか2名	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体
5	12828401.5 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/072216	成形体の製造方法	H26.2.27 (H23.8.31)	木下稔夫 村井まどか 神谷嘉美 清水研一 ほか2名	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外觀により一層優れた成形体を製造することができる製造方法

平成29年度 年報

番号	出願番号	名称（和名）	出願年月日 （優先日等）	発明者	内 容
6	12828309.0 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/071699	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	H26. 3. 12 (H23. 8. 29)	渡辺洋人 ほか2名	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術
7	2015-508824 【自国指定出願】 PCT/JP2014/59526	悪臭処理用担持触媒	H27. 8. 4 (H25. 3. 29)	染川正一 井上 潤 ほか1名	Co、Ce系酸化物担持触媒のさらなる高性能化、安定性の向上を図ることができ、長時間活性を有効に保持することのできる悪臭処理用の担持触媒
8	14/894,325 【米国移行出願】 PCT/JP2014/064330	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	H27. 12. 8 (H25. 5. 29)	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	従来問題になっていたアーチファクト等を補正により除去して、より高精度の画像再構成を実現することができるX線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
9	14804436.5 【欧州移行出願】 PCT/JP2014/064330	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	H27. 12. 15 (H25. 5. 29)	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	従来問題になっていたアーチファクト等を補正により除去して、より高精度の画像再構成を実現することができるX線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
10	16180850.6 【欧州分割出願】 PCT/JP2014/064330 親出願 14804436.5	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法	H28. 7. 22 (H25. 5. 29)	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	従来問題になっていたアーチファクト等を補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
11	15/674,396 【米国分割出願】 PCT/JP2014/064330 親出願 14/894,325	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	H29. 8. 10 (H25. 5. 29)	紋川 亮 中西正一 阿部真也 近藤幹也 原田 晃	従来問題になっていたアーチファクト等を補正により除去して、より高精度の画像再構成を実現することができるX線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
12	2016800011804.9 【中国移行出願】 PCT/JP2016/055825	周波数変換器、計測システム及び計測方法	H29. 8. 23 (H27. 2. 27)	藤原康平 小林丈士	単純化した構成を有する周波数変換器
13	16755691.9 【欧州移行出願】 PCT/JP2016/055825	周波数変換器、計測システム及び計測方法	H29. 8. 23 (H27. 2. 27)	藤原康平 小林丈士	単純化した構成を有する周波数変換器
14	15/553,365 【米国移行出願】 PCT/JP2016/055825	周波数変換器、計測システム及び計測方法	H29. 8. 23 (H27. 2. 27)	藤原康平 小林丈士	単純化した構成を有する周波数変換器
15	2,983,722 【カナダ移行出願】 PCT/JP2016/66539	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	H29. 10. 23 (H27. 6. 5)	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開
16	16803489.0 【欧州移行出願】 PCT/JP2016/66539	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	H29. 10. 27 (H27. 6. 5)	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開
17	10-2017-7034538 【韓国移行出願】 PCT/JP2016/66539	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	H29. 11. 29 (H27. 6. 5)	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開
18	201680032166.9 【中国移行出願】 PCT/JP2016/66539	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	H29. 12. 1 (H27. 6. 5)	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開
19	MX/a/2017/015731 【メキシコ移行出願】 PCT/JP2016/66539	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	H29. 12. 5 (H27. 6. 5)	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開
20	15/579,672 【米国移行出願】 PCT/JP2016/66539	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	H29. 12. 5 (H27. 6. 5)	紋川 亮 中西正一 阿部真也	未公開

## 3) PCT 出願

番号	出願番号	名 称	出願年月日 (優先日等)	発明者	内 容
1	PCT/JP2016/66539 【PCT 優先権出願】 基礎出願 2015-115101	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	H28. 6. 3 (H27. 6. 5)	紋川 亮 中西正一 阿部真也	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
2	PCT/JP2016/080829 【PCT 優先権出願】 基礎出願 2015-207399	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	H28.10.18 (H27.10.21)	大藪淑美 柚木俊二 畑山博哉 ほか 2 名	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法
3	PCT/JP2016/059352 【PCT 優先権出願】 基礎出願 US62/1337, 249	ロッカーボギー	H28. 3.24 (H27. 3.24)	坂下和広 森田裕介 益田俊樹	機敏な動作と低コストを実現しつつ、なめるように障害物を踏破する機能も有する四輪構造のロッカーボギー
4	PCT/JP2017/019888 【PCT 優先権出願】 基礎出願 2016-109516	多層グラフェン分散液および熱物性測定用黒化剤	H29. 5.29 (H28. 5.31)	柳 捷凡	試料表面に多層グラフェンを含む薄くて均一な塗膜を瞬時に作製できる多層グラフェン分散液、黒化効果に優れた熱物性測定用黒化剤、および離型・潤滑効果に優れた粉末焼結用離型剤・潤滑剤
5	PCT/JP2017/041238 【PCT 優先権出願】 基礎出願 2016-224255	生体組織孔閉鎖用、管腔状組織閉塞用及び潰瘍保護用ゾル	H29.11.16 (H28.11.17)	柚木俊二 大藪淑美 成田武文 ほか 2 名	未公開
6	PCT/JP2017/041244 【PCT 優先権出願】 基礎出願 2016-224258	粘膜下局注用コラーゲンゾル	H29.11.16 (H28.11.17)	柚木俊二 大藪淑美 成田武文 ほか 2 名	未公開
7	PCT/JP2017/045536	マグネシウム合金粉末の製造方法	H29.12.19	岩岡 拓 ほか 1 名	未公開

## 4) 実用新案登録出願

平成 29 年度はなし

## 5) 意匠登録出願

番号	出願番号	意匠に係る物品	出願年月日 (優先日等)	創作者	内 容
1	2017-018309	ロボットベース	H29. 8.25	小林祐介 益田俊樹	未公開
2	2017-018310 【部分意匠】	ロボットベース	H29. 8.25	小林祐介 益田俊樹	未公開

## 6) 商標登録出願

平成 29 年度はなし

## (4) 出願実績 権利満了や出願中に権利化を断念および放棄したもの

## 1) 国内出願

番号	出願番号 (登録番号)	名 称	出願日 (登録日)	発明者	内 容
1	平 06-180964 (第 3406390 号)	重水素の濃縮方法及び装置	H 6. 7. 8 (H15. 3. 7)	斎藤正明 ほか 3 名	原子力・放射線施設の安全性の判断、地下水系の測定等の指標として利用されている天然水中の重水素の分析に必須な濃縮方法とその装置
2	平 06-324046 (第 3122870 号)	交流用 LED 点灯回路	H 6.11.21 (H12.10.27)	上野武司 吉田裕道 宮島良一 佐藤正利	電源電圧および周波数の変動に対し、明るさの変動が少なく、ちらつきの少ない交流用 LED 点灯回路

平成29年度 年報

番号	出願番号 (登録番号)	名 称	出願日 (登録日)	発明者	内 容
3	平 07-321057 (第 3326546 号)	コンピュータシステムの故障 検知方法	H 7.11.15 (H14. 7.12)	坂巻佳壽美	コンピュータシステムの故障を自動的に 検知し、システムの信頼性を向上させる 方法
4	平 08-047151 (第 3354377 号)	レーザ溶射法による高耐食性 改質層の作製方法	H 8. 3. 5 (H14. 9.27)	一色洋二 藤木 栄	レーザ溶射法を利用した、鉄鋼材料表面 の耐食性の改善
5	平 08-327402 (第 3748304 号)	重水素の濃縮度算出決定装置	H 8.12. 9 (H17.12. 9)	斎藤正明	天然水中のトリチウムの分析に不可欠な 濃縮法で、従来の方法と比較して測定作 業を簡易化したうえ、正確な重水素濃縮 度を算出する方法および装置
6	平 09-131548 (第 3520505 号)	ポリオレフィン系プラスチック 廃棄物からの液体燃料回収 方法	H 9. 4.16 (H16. 2.13)	山本 真 中澤 敏	ポリオレフィン系プラスチック廃棄物 を、重油中固体触媒剤を使用して常圧で 熱分解し、ガソリン、灯油等の軽質留分 を生成しないで液体燃料を高収率で回収 する方法
7	平 09-131549 (第 3612659 号)	フミン酸の改質による吸水性 材料の製造方法	H 9. 4.16 (H16.11. 5)	山本 真 中澤 敏 ほか 2 名	草炭からアルカリ抽出したフミン酸に、 アクリロニトリルをグラフト重合させた 後、加水分解させることを特徴とする吸 水性材料の製造方法
8	平 09-273212 (第 3082911 号)	球状成型用凹凸金型盤による 網目構造の球状繊維成型物及 びその製造方法	H 9. 9. 1 (H12. 6.30)	樋口明久	種々の繊維に低融点繊維を均等に混合 し、球状に加熱加圧して得られた繊維成 型物
9	平 10-131320 (第 3719847 号)	摺動性材料及びその製造方法	H10. 4.24 (H17. 9.16)	三尾 淳 仁平宣弘	チタン表面層にイオン注入法で塩素を添 加することにより、潤滑材を使用しなく ても低摩擦かつ耐磨耗性に優れた新しい 硬質材料およびその製造方法
10	平 10-245288 (第 4126576 号)	鋳造用アルミニウム合金	H10. 8.31 (H20. 5.23)	佐藤健二 ほか 2 名	材料欠陥が少なく品質・強度が向上し、 かつ塑性加工しても製品の割れが発生し にくくなり加工工数の低減化と製品歩留 まりが向上する
11	平 10-347644 (第 3624394 号)	電解用活性陰極の製造方法	H10.12. 7 (H16.12.10)	田中慎一 榎木敏幸 広瀬徳豊	水溶液の電気分解による生産過程での電 力使用量の低減を可能とした電極の製法
12	平 11-325903 (第 4046450 号)	表面プラズモン共鳴センサ	H11.10.12 (H19.11.30)	上野武司 加澤エリト 佐々木智典 ほか 1 名	光の波長または光の入射角度を変化させ ることにより生じる表面プラズモン共鳴 現象を利用し、物質の濃度あるいは物質 の識別に用いられる、コンパクトで良好 な感度を有するセンサ
13	2000-282652 (第 3590932 号)	EMI プローブ	H12. 8.15 (H16. 9. 3)	大森 学 山田万寿雄	電子機器から放射されるノイズ(放射電 磁界)を 3 つの検出面を同軸上に互いに 60 度の角度で配置した EMI プローブを 用いて三次元方向の感度特性で検出する ため、ノイズ源を高確度かつ迅速に探索 できる
14	2001-024203 (第 3968413 号)	工作物に穴を形成する放電加 工方法	H13. 1.31 (H19. 4.11)	山崎 実 森 紀年 武井健三郎 国枝正典	直径数十ミクロンという微細な穴あけに 関する技術で、穿孔する穴径より太い電 極を用い、電極を+、加工物を-にし、 電極を回転させながら送りつつ放電加工 を行うと、電極の外周部が消耗しながら 微細な穴が形成できる
15	2001-392816 (第 3970021 号)	デジタル回路実験・実習遠 隔教育方法	H13.11.20 (H19. 6.15)	森 久直 坂巻佳壽美 ほか 4 名	デジタル回路に関する実験・実習を回 路を通じて行えるようにした遠隔教育シ ステム
16	2002-138469 (第 3992536 号)	ラドン等の放射性核種の濃度 測定方法とこの方法に用いる 装置	H14. 5.14 (H19. 7.24)	斎藤正明	遮光したチャンバー内にプラスチックシン チレータおよび光電子増倍管を対面配置 し、チャンバー内に連続的に流入させた試 料水または試料空気に含まれるラドンをシ ンチレータに吸収させるラドンの放射線エ ネルギーでシンチレータの蛍光剤が発光 し、その回数を増倍管で計数する
17	2002-312841 (第 4226875 号)	放電加工による素材の成形方 法	H14.10.28 (H20.12. 5)	山崎 実 鈴木岳美 森 紀年 国枝正典	放電加工により一度開けた穴を利用して、 直径数 μm の細い電極や断面形状 の複雑な電極を容易に作るができる

番号	出願番号 (登録番号)	名 称	出願日 (登録日)	発明者	内 容
18	2003-116330 (第 3963859 号)	電動自転車用電源供給装置	H15. 3.18 (H19. 5.22)	三上和正 小林丈士	電動自転車の始動時にバッテリーからモーターに流れる大きな電流を制限し、必要な電流を補助電源である「電気二重層コンデンサ」から供給することによりバッテリーの長寿命化を図る
19	2003-436038 (第 4125671 号)	ノイズ測定用多素子アンテナ	H15.11.28 (H20. 5.16)	寺井幸雄 天早隆志 清水康弘	屋外の都市空間ノイズを高感度に測定するための片手で持ち運びできる小型アンテナ
20	2005-016154 (第 4680612 号)	カーボンオニオンの製造方法	H17. 1.24 (H23. 2.10)	基 昭夫 片岡征二 後藤賢一 玉置賢次 ほか 8 名	容易な技術で、従来の方法に比べて簡便でかつ安易にカーボンオニオンを製造することができる実用的な方法
21	2005-104243	皮革のプリント方法	H17. 3.31	吉田弥生 吉田博一 池田善光 今井哲夫 福嶋彰男	皮革製品のプリント加工において、油脂を含有しない皮革が、乾燥状態で硬化・収縮変形しない前処理方法、および染料固着の湿熱処理で硬化・収縮変形せず、洗浄工程で図柄が崩れることなく、色落ちしないプリント染色方法
22	2005-292828	粗紡機	H17.10. 5	樋口明久 山本直文 橋本京子 ほか 1 名	バナナ繊維、カーボン、金属繊維などの硬繊維に対して、適切な粗紡を与える粗紡機の提供
23	2005-363983	草炭からの土壌改良材およびこれを用いた植物成長方法	H17.11.20	山本 真 陸井史子 ほか 1 名	環境保全のための屋上緑化に適した土壌改良用の吸水性にすぐれた土壌改良材を提供する
24	2006-003612	固体高分子電解質形燃料電池用の膜 / 電極接合体、その製造方法、および前記膜 / 電極接合体を用いた固体高分子電解質形燃料電池	H18. 1.11	上野博志 ほか 1 名	固体高分子電解質膜の両面に触媒層およびガス拡散層をそれぞれ形成した固体高分子電解質形燃料電池用の膜 / 電極接合体において、カソード側触媒層をマイクロオーダーの耐酸性粒子からなる形成助剤の表面に Pt 系触媒粒子を配置・被覆して形成した触媒粒子塊によって構成する
25	2006-071794	鉄スクラップからのリサイクル圧延鋼材の粒界浸潤性の評価および抑制方法	H18. 3.15	上本道久 長崎千裕	リサイクル圧延鋼材の表面割れに影響を及ぼす粒界浸潤性の評価方法およびそれに基づく表面割れ防止方法を提供する
26	2006-167178	木質ボードの製造方法	H18. 6.16	瓦田研介 飯田孝彦 ほか 3 名	リサイクル木質チップやリサイクル木質繊維を主原料として製造した木質ボードにおいて、その製品から放散するホルムアルデヒド量が建築基準法で規制された厳しい規制値に合格し、かつ MDI 系化合物を接着剤に使用したときの生産コストを低減し、地球環境改善効果を有する木質ボードの製造方法
27	2006-325233	紙テープカバリング系を用いたセラミック長繊維編物およびその製造方法	H18.12. 1	樋口明久 ほか 3 名	セラミック長繊維もしくはアルミナ長繊維前駆体の周囲に紙テープを無撚りの状態で螺旋状に巻き付けるカバリング工程、紙テープカバリング糸を編成する工程、紙テープを焼却除去するとともにアルミナ長繊維前駆体をアルミナ長繊維に変成する焼成工程を採用することにより、編成時糸が接触する編機部品のサビ発生を抑制することができた。また毛羽の発生も無くすることができた
28	2007-079315	アーク発光分光による材料中の微量成分分析法	H19. 3.26	佐々木幸夫	アーク発光分光分析装置にアルゴンと酸素の混合ガスを導入することによる金属材料中の炭素を主とした微量成分の定量分析
29	2007-303522	吸着槽交換時期を監視するシステム及びこれを具備する揮発性有機化合物廃ガス処理装置	H19.11.22	阪口文雄 武田有志	VOC ガス処理装置において、吸着体の効率的な交換や脱着が図ることのできる、吸着体による捕集不能となる状態の検出機構並びに検出方法
30	2008-018066	マイクロバルブを有する微細流路	H20. 1.29	伊東洋一 基 昭夫 ほか 2 名	微細流路内に磁力を用いて金属内包カーボンナノ粒子を固定・移動させることにより液体や気体の流れを制御(ON・OFF)させる技術

番号	出願番号 (登録番号)	名 称	出願日 (登録日)	発明者	内 容
31	2008-022789	面標示物の除去装置及び路面標示物の除去方法	H20. 2. 1	小池茂幸	道路路面標示塗料をヒーターにより溶かし、ローラーブラシでかきとり、しかも残渣を効率よく回収することのできる道路の路面表示物の消去方法および装置
32	2008-054596	ガス濃度測定装置および測定方法、累積ガス量測定装置および測定方法、ガス除去装置における除去剤の除去限界類推装置および類推方法	H20. 3. 5	武田有志 ほか 3 名	管内を通過する VOC ガスの累積ガス量を一つのセンサで計測する機構とその方法
33	2008-127030	トルエン検出センサシステム及びトルエンの検出方法	H20. 5. 14	月精智子 ほか 4 名	トルエンが空気中に存在することを高感度かつ簡便に検出することができるトルエン測定システムおよびトルエンの検出方法
34	2008-167551	多段式トリチウム濃縮装置、及びトリチウム濃縮方法	H20. 6. 26	斎藤正明 ほか 1 名	簡易な構造で試料水中のトリチウム濃度を効率的に所望の濃縮率にまで高めること
35	2008-332608	揮発性有機化合物ガス含有空気吸脱着装置及び吸脱着方法	H20. 12. 26	阪口文雄 武田有志 佐藤俊彦 ほか 1 名	VOC ガスを含有する大風量かつ低濃度の VOC ガス含有空気から VOC ガスを吸脱着して回収するにあたり、小型でありながら効率よく VOC を回収する装置
36	2008-303347	生地の加工方法	H20. 11. 28	木村千明 小林研吾 藤田 茂	合成繊維とセルロース系繊維とを組成繊維とする織物または編物から成る生地に透かし模様と凹凸模様とを同時形成するための生地の加工方法
37	2009-042030	マグネシウム合金部材のせん断加工用金型およびせん断加工方法	H21. 2. 25	基 昭夫 ほか 2 名	マグネシウム合金は、常温での延性が乏しくせん断面が荒れるため、最適加工条件や工具形状を開発し、現行品に使用されているアルミニウム合金と同等のせん断面平滑度を得た
38	2009-042804	織物及び編物のブリーツ性試験方法とその装置	H21. 2. 25	田中みどり 岩崎謙次	伸長法ブリーツ性試験方法の距離測定を目視から画像センサーによる方法に改善し、正確かつ効率的な試験が可能となる装置
39	2009-134114 【優先権主張】 基礎出願 2008-145511	編針及びその製造方法	H21. 6. 3	堀江 暁 森河和雄 三尾 淳 川口雅弘	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するために DLC 膜を施した編針とその製造方法
40	2009-213585	画像合成装置及び画像合成方法	H21. 9. 15	大平倫宏 ほか 1 名	取得順序未知の特徴に乏しい画像群に対するパノラマ画像合成装置および方法についての特許出願である。請求項では、合成後に取得漏れがあった際のアラーム機能についても記述
41	2009-285657	容量性リアクタンス素子と突入電流防止回路を組み合わせた高効率な交流 LED 点灯回路	H21. 11. 27	寺井幸雄 染谷克明 小林丈士	商用電源またはその他の交流電源を利用する高効率で高周波ノイズ発生のない、LED 点灯回路
42	2010-046922	活性炭及びその製造製法	H22. 3. 3	瓦田研介 井上 潤 萩原利哉 ほか 1 名	従来の煩雑な工程を経ずに容易な工程で、未利用バイオマス（特に、杉やひのき等の木質系未利用バイオマス）を原料として活用することができ、しかもコストパフォーマンスに優れた、高比表面積を有する活性炭およびその製造方法
43	2010-48371	多孔質シリカならびにその製造方法および集合体	H22. 3. 4	渡辺洋人 ほか 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用して有効な技術
44	2010-71902	揮発性有機化合物分解反応器	H22. 3. 26	紋川 亮 杉森博和 秋山恭子 ほか 1 名	VOC 分解反応器をガスの流れが均一になるような構造にすることで、分解反応に寄与しないデッドゾーンが生じることを回避することで分解効率を上げ、さらに反応器自体の製造コストを抑えることを可能とする VOC 分解反応器
45	2010-72806	工場排気ガス処理装置	H22. 3. 26	小島正行 平野康之 ほか 2 名	印刷工場、塗装工場、金属表面処理工場等から排出される、光化学スモッグの原因となる微小粒子物質、特に VOC および塗料、インクなどの高沸点有機化合物ならびにダスト等を、ろ布に担持した吸着剤を使って除去する。ハンドリング性に優れ、かつ吸着剤の消費量が少なく、また、吸着剤の再生が容易な排気ガス処理装置

番号	出願番号 (登録番号)	名 称	出願日 (登録日)	発明者	内 容
46	2010-72807	工場排気ガスの2層ろ過装置	H22. 3.26	小島正行 ほか2名	塗装、めっき、印刷等の各種工場の排気ガスに含まれるミスト、VOC、ダストなどの有害成分を、ろ布と2種類のろ過補助材を使って捕集する。ろ過補助材は未利用資源である木材を有効利用し、適宜回収、再生することで経済的なプロセスを確立
47	2010-163584	フィールド機器用データストレージシステム	H22. 7.21	金田泰昌 入月康晴 佐野宏靖 ほか6名	記録済みのデータが外部から改変あるいは削除されたりする可能性を低減できる、フィールド機器用データストレージシステム
48	2010-248770	塗装物のパッチ式乾燥装置及びその操作方法	H22.11. 5	小島正行 染川正一 秋山恭子 萩原利哉 ほか2名	判定作業の効率化を図り、被測定用半導体材料を面的にPN判定する
49	2011-038925	オゾン濃度測定装置	H23. 2.24	中村広隆 ほか6名	測定セルを通過する試料ガスが長い透過距離を移動すると透過中にオゾンが何度も紫外線に照射され、正しいオゾン濃度測定ができない。このため、窒化物系深紫外線半導体素子を使用した、正しい測定値が得られ、装置へのダメージを排除するオゾン濃度測定装置
50	2011-124782	有害化学物質低減木質ボードの製造方法及び有害化学物質低減木質ボード	H23. 6. 3	濱野智子 瓦田研介 ほか2名	木質ボードにおいて、フェノール樹脂、メラミン樹脂、ユリア樹脂、イソシアネート樹脂等の石油系樹脂を接着剤に使用しながら接着耐久性や操作性を確保しつつシックハウス症候群の原因である有害化学物質を有意義な程度まで低減した木質ボード
51	2011-220895	塗装物の乾燥・焼付炉	H23.10. 5	小島正行 藤井恭子 染川正一 萩原利哉 ほか1名	塗装物の乾燥・焼付炉に係り、特に中小規模の塗装工場内へ好ましく設置することができ、装置コストの低減および塗装物を乾燥・焼付する際の省エネに寄与する技術
52	2012-143083	テトラフルオロエチレンにより化学修飾されたポリエチレンおよびその製造方法	H24. 6.26	榎本一郎 ほか3名	機能性プラスチックに関し、特に撥水性に優れた機能性ポリエチレン
53	2012-180829 【分割出願】 親出願 2008-131617	高強度ダイヤモンド膜工具	H24. 8.17	横澤 毅 寺西義一 玉置賢次 片岡征二 ほか1名	耐久損性を向上させることで破壊強度と耐摩耗性に優れ、かつ放電加工等の電気加工を主体とした研磨加工が可能な多結晶・単結晶の高強度ダイヤモンド膜工具やコーティング工具
54	2012-227142 【分割出願】 親出願 2009-520544	燃料用電池用セパレータプレートの製造方法及びそれを利用した燃料電池	H24.10.12	伊東洋一 上野博志 ほか1名	燃料電池のセパレータプレートにおける反応ガスの流通経路のパターンをスクリーン印刷により非印刷部分を設けつつ高精度に形成する
55	2012-257432	ライトパイプ	H24.11.26	横田浩之	発光の形状を点状に近似させ、発光の位置を任意とすることで、LEDを光源としてつつフィラメント素子との相違を解消させてフィラメント素子の配光に近似させることができるライトパイプに関する
56	2013-192629	オゾン濃度測定装置	H25. 9.18	武田有志 中村広隆 ほか3名	固体発光素子をチョップ発信させ計測する紫外線吸収式オゾン濃度測定装置

2) 外国特許出願

番号	出願番号 (登録番号)	名称(和名)	登録年月日	発明者	内 容
1	米国特許 第 5203901 号	結晶化ガラスの製造方法	H 5. 4.20	鈴木 蕃	下水汚泥焼却灰を原料に、天然の御影石 または大理石より優れた特性を備えた結 晶化ガラスを製造する方法
2	13/582112 【米国移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法およ び多孔質シリカ	H24. 8.31	渡辺洋人 ほか 2 名	多孔質シリカの製造方法および多孔質シ リカに適用する有効な技術

3) PCT 出願

番号	出願番号	名 称	出願年月日	発明者	内 容
1	PCT/JP2009/058891 【PCT 優先権出願】 基礎出願 2008-127030	トルエン検出センサシステ ム及びトルエンの検出方法	H21. 7.17	月精智子 ほか 4 名	トルエン検出センサシステムおよびトル エンの検出方法に関し、特に高感度かつ 簡便にトルエンを検出することができ る、トルエン検出センサシステムおよび トルエンの検出方法

(4) 実施許諾

番号	項目	番号	名称	実施許諾 企業数
1	特許	特許第 3812783 号	超音波振動付加型摩擦試験機	1
2	特許	特許第 4791746 号 韓国第 10-2006-28002	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	1
3	特許	特許第 4394050 号	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	1
4	特許	特許第 5604094 号	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	1
5	特許	特許第 3292239 号	鋳造用すず合金	1
6	特許	特許第 3779290 号	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られ る漆 / 植物繊維成形体	1
7	特許	特許第 5560066 号	防護服	1
8	特許	特許第 5302860 号	家畜骨残渣の処理方法	2
9	特許	特許第 5883287 号	防護帽、防護帽の使用法、防護服及び防護装置	1
10	特許	特許第 5892485 号	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	2
11	特許	特許第 5107571 号	LED 制御方法	1
12	特許	特許第 5308608 号	締結体締付け力安定化剤、これを用いた締付け力安定化法、安定化剤を 付着した締結体構成部品	1
13	特許	特許第 3261676 号	電気ニッケルめっき浴	1
14	特許	特許第 4599529 号	放射線照射判別方法および放射線判別システム	1
15	特許	特許第 6081156 号	ハイドロゲル	1
16	特許	特許第 5422320 号	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	1
17	特許	特許第 5414719 号	無機酸化物成形触媒とその製造方法	1
18	特許	特許第 4359537 号	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	1
19	特許	特許第 5572459 号	4 種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	1
20	特許	特許第 5717491 号	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	1
21	特許	特願 2013-074842	悪臭処理用担持触媒	1
22	特許	特許第 5579644 号	赤色ガラス	1
23	特許	特願 2014-031747	黒色合金メッキ皮膜	1
24	特許	特願 2012-214096	リング撚糸機、撚糸製造方法、織物製造方法、撚糸、織物および 押圧スイッチ	1
25	特許	特許第 6157173 号	LED 照明の分光分布設計方法	2
26	特許	特願 2015-158143	温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置、及び座標測定機	1
27	特許	特願 2016-109516	多層グラフェン分散液並びに熱物性測定用黒化剤	1
28	特許	特願 2015-115101	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	1

番号	項目	番号	名称	実施許諾 企業数
29	特許	特願 2016-197054	X線 CT 装置、画像補正方法及び画像補正プログラム	1
30	特許	特許第 5388304 号	掲示板のための照明装置	1
31	特許	特許第 5803003 号	熱フィラメント CVD 装置及び成膜方法	1
32	特許	特願 2014-560827	メカニカルシールおよびその製造方法	1
33	特許	特願 2015-060009	ダイヤモンド薄膜の製造方法、熱フィラメント CVD 装置及びメカニカルシール	1
34	特許	特願 2017-021470	温度補正方法、温度補正プログラム、及び座標測定機	1
35	特許	特許第 6140607 号	成形用材料及びその製造方法	1
36	特許	特許第 6140608 号	成形用材料	1
37	特許	特願 2016-172301	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器及びガス電子増幅器用電極の製造方法	1
38	実用新案	登録第 3149562 号	モビール細工及びモビール	1
39	実用新案	登録第 3170441 号	照明器具	1
40	実用新案	登録第 3171954 号	ブラジャー	1
41	意匠	登録第 1433084 号	ランプシェード	1
42	意匠	登録第 1439104 号	ランプシェード	1
43	意匠	登録第 1546747 号	ランプシェード	1
44	意匠	登録第 1596642 号	乗用自動車	1
45	商標	登録第 5358694 号		1
46	商標	登録第 5424369 号	サスティーモ【標準文字】	1

## (5) 著作権の許諾

都産技研が発行する著作物の記事利用について以下のとおり掲載申請を許諾した。

著作物	許諾先	掲載先
東京都立産業技術研究センター 『TIRI NEWS 12月号(平成28年度)』 (平成28年12月1日発行)、表紙およびpp.2~3 「摺動部品の低摩擦化を実現する塩素含有DLC膜の共同研究」	(株)フジメタル	共同研究による「塩素含有DLC膜」のPRチラシ
東京都立産業技術研究センター 『都産技研活用事例集(平成28年度)』 (平成29年1月31日発行)、表紙およびpp.6~7 「株式会社生出『地球環境にやさしい』をキーワードに21世紀型の製品開発にチャレンジ」	(株)生出	(株)生出ウェブサイト
東京都立産業技術研究センター 『TIRI NEWS 10月号(平成28年度)』 (平成28年10月1日発行)、p.10 「TIRI NEWS EYE『ELID鏡面研削』」	ELID研削研究会	ELID研削研究会報 Vol.78 平成29年7月配布
東京都立産業技術研究センター 『TIRI NEWS 9月号(平成19年度)』 (平成19年9月1日発行)、p.5 「技術解説 接触式温度計の校正とトレーサビリティ 図2『定点校正と比較校正』」	横河レンタ・リース(株)	横河レンタ・リース(株) ウェブサイト TechEyesOnline
東京都立産業技術研究センター 『研究報告』	(国研)科学技術振興機構	「J-GLOBAL」および「JDream」
東京都立産業技術研究センター 『研究報告 第9号(平成26年度)』 (平成26年9月19日発行)、PP.110-111 表2、図4、図5 「布の風合い評価における触荷重特性」 山田 巧、小柴多佳子	(株)東レリサーチセンター	「風合いの付与と評価」

また、著作物の複写（コピー）を適正に取り扱うために、平成19年度より公益社団法人日本複製権センターと契約している。

### 3.8.2 技術審査

都産技研では、東京都や公益財団法人東京都中小企業振興公社、区市、商工団体等から依頼を受け、新製品・新技術開発などの助成事業、技術表彰、認定等の技術審査のため、書類審査および審査委員の派遣を行っている。

平成29年度は31団体からの依頼により62事業の審査に携わり、延べ5,508件の技術審査を行った。

	実施主体	審査件名	延べ件数
東京都	産業労働局商工部	経営革新計画等承認審査会	398
	産業労働局商工部	世界発信コンペティション（製品・技術（ベンチャー技術）部門）	567
	産業労働局商工部	新事業分野開拓者認定（トライアル発注）	183
	産業労働局商工部	文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞	78
	その他		148
	小計（比率%）		1,374(24.9%)
(公財)東京都中小企業振興公社	助成課	(公財)東京都中小企業振興公社助成事業	1,453
	設備支援課	革新的事業展開設備投資支援事業	266
	取引振興課	医療機器産業参入促進助成事業	28
	その他		346
	小計（比率%）		2,093(38.0%)
区市	(公財)大田区産業振興協会	新製品・新技術支援事業	126
		大田区中小企業新製品新技術コンクール	256
	北区	新製品・新技術支援事業	23
	品川区	メイドイン品川PR事業	13
		新製品・新技術開発促進事業等	74
	港区	新製品・新技術開発支援事業	21
	府中市	新製品・新事業支援	8
	その他		286
小計（比率%）		807(14.7%)	
団体等	東京商工会議所	勇気ある経営大賞等	74
	(公財)日本発明振興協会	発明大賞表彰	216
	(一財)機械振興協会	新機械振興賞	17
	東京都中小企業団体中央会	受注型中小製造業競争力強化支援事業	479
	多摩信用金庫	多摩ブルー・グリーン賞	180
	その他		268
	小計（比率%）		1,234(22.4%)
	合計（比率%）		5,508(100%)

### 3.8.3 海外展開技術支援

#### (1) 国際規格対応支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）

広域首都圏輸出製品技術支援センター（以下、「MTEP（エムテップ）」という。）は、1都10県1市の運営機関が連携して中小企業のための海外展開支援サービスを提供する。運営機関：都産技研、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所、新潟県工業技術総合研究所、山梨県産業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所、横浜市工業技術支援センター

中小企業の海外規格対応への支援について円滑かつ適切な運営を進めるために、以下のとおり運営機関による会議を開催した。

No.	開催日	開催場所	会議等名	内容
1	7月12日	都産技研 本部	第11回 MTEP 事務局会議	・ MTEP 共同運営機関の海外展開支援の状況 ・ MTEP5 周年記念事業について
2	10月25日	都産技研 本部	第2回海外展開支援分科会	・ 技術分野ごとの課題・支援事例紹介
3	2月23日	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 (溝の口支所)	第6回 MTEP 運営委員会	・ MTEP 運営方針について ・ 各機関海外展開支援事例報告

#### 1) 専門相談員による技術相談

都産技研では、次の17名の専門相談員を置き、相談に対応した。

専門相談員氏名	技術分野
生島 博	知的財産全般、権利取得・管理・活用
石井 満	CE マーキング、各国認証制度、取扱説明書
板谷雅樹	航空機関連、宇宙衛星機器関連、米国規格
井原房雄	CE マーキング、低電圧指令、EMC 指令
岡野雅一	RoHS 指令、REACH 規則
奥野克幸	中国規格、安全規格
忍足光史	各国薬事法規制
金田光範	機能安全（自動車・電子機器）
木村隆夫 <sup>1</sup>	化学物質管理・法規制、SDS
元 淑華	EMC・安全・無線の各国認証
小西 穎	CE マーキング、医療機器指令
篠崎厚志	EMC、CE マーキング
福井 寛	EU 化粧品規制
松浦徹也	RoHS 指令、REACH 規則、WEEE 指令
松尾 渉	CE マーキング、低電圧指令、EMC 指令
森 浄	CE マーキング、低電圧指令、EMC 指令
吉川 保	CE マーキング、機械指令

1 平成29年 6月から

2) 普及啓発活動

技術セミナー

都産技研主催の技術セミナーを 39 件開催した(5.1 技術セミナー、講習会一覧参照)。

- ・グローバル人材育成セミナー 8 件
- ・現場で役立つシリーズ 5 件
- ・海外規格精通シリーズ 2 件
- ・世界に通用するものづくりセミナー 3 件
- ・MTEP ミニ講座など 15 件
- ・MTEP V-learning 6 件

MTEP 共同運営機関との連携セミナーおよびパートナーグループ会議

・MTEP 共同運営機関へ専門相談員を派遣し、連携セミナーを 4 件開催した。

No.	開催日	実施場所	名称
1	7 月 24 日	栃木県産業技術センター	平成 29 年度海外規格セミナー 「REACH 規則の基礎と最新動向」
2	10 月 26 日	かながわサイエンスパーク	【MTEP ミニ講座】「CE マーキング超入門」
3	11 月 2 日	新潟県工業技術総合研究所	海外規格セミナー 「CE マーキング入門 + 安全に関する指令及び RoHS 指令解説」
4	2 月 20 日	新潟県工業技術総合研究所	海外規格セミナー CE マーキング 「機械指令とリスクアセスメント」

・海外規格・規制の中でも、特に「EMC」「RoHS」の最新動向や課題等について、MTEP 共同運営機関と協議および意見交換をするため、パートナーグループ会議を 2 件開催した。

No.	開催日	実施場所	名称
1	1 月 19 日	山梨県産業技術センター	MTEP EMC パートナーグループ会議
2	1 月 31 日	都産技研本部	MTEP RoHS パートナーグループ会議

他機関主催・共催イベントでの講演等

他機関主催・共催イベントへ専門相談員や都産技研職員を派遣し、セミナーを 8 件実施した。

No.	開催日	主催者	実施先の名称	実施場所
1	4 月 6 日	(独)日本貿易振興機構	新輸出大国コンソーシアム事業会議 (第 4 回)	日本貿易振興機構本部
2	4 月 26 日	(一社)表面技術協会 めっき部会	めっき部会 4 月例会 - 世界の環境施策動向 Part10 -	HORIBA 東京分析センター
3	5 月 22 日	(一社)日・タイ経済協力協会	日・タイ経済協力セミナー	都産技研 本部
4	6 月 14 日	(独)日本貿易振興機構	輸出のための認証取得ワークショップ (第 1 回)	都産技研 本部
5	6 月 21 日	(独)日本貿易振興機構	輸出のための認証取得ワークショップ (第 2 回)	都産技研 城東支所
6	6 月 28 日	(独)日本貿易振興機構	輸出のための認証取得ワークショップ (第 3 回)	日本貿易振興機構本部
7	9 月 7 日	(一社)東京環境経営研究所	RoHS/REACH 対応のマネジメントシステムの構築 (JASIS2017)	幕張メッセ
8	2 月 16 日	都産技研 / 港区	欧州向け製品輸出入門・中小企業人材育成塾グローバル研修	港区立商工会館

## 海外規格情報の閲覧サービス

Web サーバーまたは冊子にて海外規格情報の閲覧サービスを提供した。改正・更改した海外規格についても対応した。

- ・Web サーバーにて閲覧できる海外規格 IEC、ISO、JIS
- ・冊子にて閲覧できる海外規格 AMS、ASTM、EN、IEC、ISO、MIL など

## MTEP メールニュース

海外規格セミナーや各種イベントの情報など、海外展開支援情報を提供する MTEP メールニュースを配信した。

配信回数 計 6 回

配信登録数 約 2,770 件

## 3) 相談実績

相談実績は以下のとおりである。

## 相談方法別（件）

相談方法		件数
技術相談	来所	509
	電話	252
	メール	716
	その他（テレビ会議など）	18
	小計	1,495
実地支援 A		13
実地支援 C		9
オーダーメイドセミナー		9
合計		1,526

## 相談企業所在地別（件）

	東京都	茨城県	群馬県	栃木県	埼玉県	千葉県
件数	1,048	13	18	2	87	22

	神奈川県 (内、横浜市)	山梨県	長野県	静岡県	新潟県	その他
件数	157(61)	11	28	24	20	96

## 相談企業規模別（件）

中小企業	1,138
大企業	351
その他	37
合計	1,526

## 4) 刊行物

中小企業への技術情報提供のため、海外規格の概要をまとめた「海外規格テキスト」

など、以下の刊行物を発行した。

また、平成 29 年度発行の最新刊の一部は、「ウェブブック」の形式にて公開した。

海外規格テキスト

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
1	フタル酸エステル類規制への対応	平成30年 3月	500 部

東京都 平成 29 年度 海外展開技術支援「海外規格適合化の普及啓発」事業  
海外規格解説ガイドブックシリーズ

No.	タイトル	発行年月	
1	MTEP Guidebook Series No.7 医療機器指令 (MDD) から医療機器規則 (MDR) へ	平成30年 1月	ウェブブック 公開
2	MTEP Guidebook Series No.8 CPR 建築資材規則	平成30年 3月	ウェブブック 公開
3	MTEP Guidebook Series No.9 PPER 個人保護具規則	平成30年 3月	ウェブブック 公開

海外展開支援事例集

No.	タイトル	発行年月	部数(部)
1	平成 28 年度 都産技研 MTEP による海外展開事例集 (増刷)	平成29年11月	1,500
2	平成 29 年度 都産技研 MTEP による海外展開事例集	平成30年 3月	1,000

(2) 海外支援拠点 (バンコク支所)

平成 27 年 4 月に設立した都産技研初の海外拠点であるバンコク支所では、ASEAN に展開する日系中小企業へ技術相談や技術セミナーを実施している。技術相談では都産技研本部とのテレビ会議システムなどを活用し、多様な技術的課題の解決を図った。

1) 技術相談

試験規格、製品不具合の改善方法やタイの試験機関の紹介など、多様な相談に対応した。より専門的な相談内容については、本部職員を交えてテレビ会議システムを活用し解決を図った。技術相談を 284 件実施した。

主な相談事例

- ・ 金属や高分子材料を含む製品の評価方法に関すること
- ・ 金属材料の品質管理や不具合対策、成分分析に関すること
- ・ タイ国内で受託可能な試験機関に関すること
- ・ タイ国内の製品規格に関すること

2) 産業人材の育成

技術セミナー

日系中小企業からの開催要望が多いテーマに関して、バンコク支所職員が講師となるセミナーや本部とのテレビ会議システムを活用したセミナーを実施した (5.1 技術セミナー・講習会参照)。

## タイにおける試験機関の見学会

現地日系企業から要望の多いタイ国内試験機関の見学会を6回開催した。

回数	実施機関名	参加者数	開催日
第1回	コベルコ科研	16名	10月17日
第2回	Thai-German Institute	12名	10月20日
第3回	IS Industrie (Thailand) Ltd	9名	12月14日
第4回	IMV (Thailand) Co., Ltd.	6名	12月19日
第5回	TÜV RHEINLAND THAILAND LTD.	11名	1月18日
第6回	ESPEC ENGINEERING (THAILAND) CO., LTD.	4名	3月15日

## 連携セミナー（首都大学東京）

首都大学東京と連携し、タイ語逐次通訳セミナー「サービス工学と文脈中心設計入門」を2会場（バンコク、アユタヤ）で開催した。

## 3) 展示会での周知活動

バンコク支所事業の周知活動としてタイ国内開催の展示会に出展した。

- ・ Manufacturing EXPO 併設 Mfair 2017（ものづくり商談会） 6月
- ・ METALEX 2017 11月

## 4) 産業交流事業

## 企業交流会

東京都中小企業振興公社タイ事務所と連携し企業交流会を計4回開催した。バンコク支所では、タイ国内試験機関の見学会として、「タイにおける試験機関の活用“BOKEN、SGS(Thailand)”」と、タイの製造現場の改善へのアプローチとして、「タイにおける現場改善と現地化・モチベーションアップ」に関する技術セミナーを開催した。

## ものづくり企業交流会

現地日系企業への情報提供や交流推進を目的に都産技研の業務協定締結機関である公益財団法人東京都中小企業振興公社と連携し、「ものづくり企業交流会 2018 in バンコク」を開催した。（参加者50名）

第1部では、技術の高度化に基づく競争力の強化に対応するために、IoTやサービスロボットに関する産業動向、また、タイにおけるものづくり人材育成の最新情報を紹介した。第2部では、参加者の活動紹介に加え名刺交換会などのビジネス交流会を開催した。

## (3) 医療機器等の海外展開支援（国際化推進室）

平成29年11月にドイツ連邦共和国 デュッセルドルフで開催された医療機器技術・部品展「COMPAMED 2017」への出展企業に対し、東京都からの委託事業として技術支援を実施した。主な活動は以下のとおりである。

1) 出展企業選定審査会への委員派遣

面接審査会 5月17、18日 会場：都産技研 本部

総合審査会 5月24日 会場：東京都庁

2) 出展企業との技術相談

出展企業との技術相談で、医療機器に求められる試験方法やその性能評価方法、認証制度などについて対応した。

技術相談対応件数 39件

依頼試験件数 413件

オーダーメイド開発支援 4件

3) 医療機器技術・部品展「COMPAMED 2017」への職員派遣

展示会に職員を派遣し、出展企業からの技術相談などに対応した。

## 4. 多様な主体による連携

## 4.1 産学公金連携

## 4.1.1 東京イノベーションハブの活用

都産技研では、中小企業間の交流、企業と大学、学協会、研究機関などと交流・連携し、新たなビジネスを創出する場として約 400 m<sup>2</sup>のオープンスペースを本部に配置している。都産技研が主催する情報発信事業のほか、学協会が有するシーズや研究成果などを都内中小企業の製品化・事業化へ生かすための学協会連携事業などを開催し、産学公金連携事業を推進した。平成 29 年度の取り組みは以下のとおりである。

## (1) 都産技研主催

開催年月日	催事名
平成29年 5月22日	日・タイ経済協力セミナー
平成29年 6月 8～ 9日	TIRI クロスミーティング 2017
平成29年 7月25日	【グローバル人材育成 欧州編】 CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門 第1弾
平成29年 7月26日	東京 TY フィナンシャルグループ見学会
平成29年 8月 9日	INNOVESTA!2017 ファミリーデー
平成29年 9月 8日	INNOVESTA!2017 ビジネスデー
平成29年 9月25日	経済産業省セミナー（日・タイ経済協力協会）
平成29年10月13日	都立産技研医療機器産業参入支援事業 キックオフ記念セミナー 「ライフサイエンス イノベーション発信セミナー」
平成29年10月25日	【MTEP 5周年記念特別セミナー】 起こせイノベーション！海外展開成功へのアプローチ
平成29年11月24日	航空機産業支援室開設プレセミナー (航空機産業に係る国際規格対応の試験設備の導入など)
平成29年11月27日	世界に通用するものづくりセミナー 医療機器指令(MDR)へ～欧州の医療機器-現在と未来-～
平成29年12月 4日	【グローバル人材育成 欧州編】 CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門 第2弾
平成29年12月 6日	東京ベイイノベーションフォーラム
平成29年12月15日	技術セミナー「プラスチックの話」
平成29年12月27日	医工連携会議
平成30年 1月24日	技術セミナー 「フレキシブルデバイスの開発動向と都産技研の支援機器」
平成30年 2月 2日	東京イノベーション発信交流会
平成30年 2月13日	【海外規格精通シリーズ】新・製品安全規格 IEC 62368-1
平成30年 2月20日	第33回 東京都異業種交流会合同交流会
平成30年 3月14日	丸のこ等取り扱い作業従事者教育
平成30年 3月16日	タイ工業省視察

## 平成29年度 年報

### (2) 都産技研共催

開催年月日	催事名	他主催者
平成29年 6月15日	第29回木材塗装基礎講座	木材塗装研究会
平成29年 7月13～14日	2017年次総会及び研究発表会	マテリアルライフ学会
平成29年 8月25～26日	真菌アレルギー及び食中毒の異物に関するシンポジウム (第44回カビ毒研究連絡会)	カビ毒研究連絡会
平成29年 8月29日	第1回保守検査部門ミニシンポジウム	(一社)日本非破壊検査協会
平成29年 8月30日	新たな機能性フィルム創製シンポジウム	機能性フィルム研究会
平成29年10月27日	セラミックス材料のリサイクル ー技術とシステムの確立の視点からー	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連材料部会
平成29年12月 8日	東京都立産業技術研究センター・電気学会セミナー	(一社)電気学会
平成30年 1月23日	第53回日本食品照射研究協議会 教育講演会/研究発表会	日本食品照射研究協議会

### (3) 都産技研後援

開催年月日	催事名	主催者
平成29年 5月11日	電気化学界面シミュレーションコンソーシアム第1回研究会	(国研)産業技術総合研究所
平成29年 6月29日	デュポンタイバック製カーゴカバーセミナー	旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ(株)
平成29年11月30日～ 12月 1日	第12回日本プラグファスト「HDMI インターフェースの相互運用性向上を目的とした接続検証イベント」	(一社)組込みシステム技術協会

### (4) 都産技研連携機関との催事

開催年月日	催事名	主催者
平成29年11月 2日	中小企業のためのサイバーセキュリティイベント	警視庁

#### 4.1.2 マッチングの場の提供

企業が新たな顧客と出会う機会を提供し、製品化や事業化を促進することを目的に、ビジネスマッチング交流会「東京イノベーション発信交流会 2018」を開催した。都産技研の利用企業および都産技研と業務連携協定を締結している大学・研究機関、支援機関、行政機関、金融機関から推薦された企業が出展した。

日時：平成30年2月2日（木）10:00～17:00

会場：都産技研本部

後援：公益財団法人東京都中小企業振興公社

出展企業：55社 来場者：303名

## ◆プログラム概要◆

【基調講演】 10:00～11:00

【展示会】 11:00～17:00 出展企業 55 社が自社製品・技術を紹介

【技術シーズ発表会】 13:15～17:45 都産技研および東京海洋大学、産業技術大学院大学、芝浦工業大学、首都大学東京、東京農工大学が保有技術シーズを紹介したほか、公益財団法人東京都中小企業振興公社による助成事業の紹介を行った。

## 4.1.3 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。こうした交流を促進するために、新しい異業種交流グループを発足させる「グループ形成支援」と、既存グループ間の連携を促進する「グループ間交流支援」を行った。

## (1) グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）を昭和 59 年度から毎年発足させ、現在 28 グループ約 400 社の会員が活動している。平成 29 年度は課題解決型異業種交流グループの会員を新たに募集し、専門の助言者を配置して、平成 29 年 7 月から平成 30 年 3 月まで毎月 1 回の交流会を開催した。活動内容は、自社紹介、グループワーク、都産技研施設の見学、講演会などである。また、平成 28 年度に立ち上げた製品開発型異業種交流グループ（高齢者支援機器の開発）への活動支援も引き続き実施した。

異業種交流グループ名	開催日	開催回数	参加者数（延べ人数）
H29 グループ（課題解決型）	7 月～3 月、各 1 回	9	122
高齢者支援機器開発グループ（製品開発型）	4 月～3 月、各 1 回	12	66

## (2) グループ間交流支援

## 1) グループ協議会

既存グループが活動状況や計画を紹介することでグループ間相互の交流を促進するとともに、合同交流会の実施について検討し、第 33 回合同交流会の開催を決定した。

会議名	開催日	参加グループ数（参加者数）
グループ協議会	6 月 2 日	17 (22)

## 2) 合同交流会および合同交流会実行委員会

各グループ会員の交流を深めるために、都産技研異業種交流グループの全グループ会員が一堂に会する第 33 回合同交流会を、平成 30 年 2 月 20 日、本部にて開催した。開催に向けて、各グループから選任された委員による合同交流会実行委員会を設置し、実施内容を検討した。平成 29 年度はより幅広い連携交流を図るため、公益財団法人東京都中小企業振興公社異業種交流グループおよび都産技研技術研究会の会員も参加し、

「今こそ 個の力 和のちから 世界発信」のテーマのもと、製品展示会（39 社）と分科会（①人の承継、②知的財産、③IoT セキュリティ、④サステナビリティ/CSR、⑤社会的課題解決に向けての連携、⑥拡販の具体的事例）を実施した。合同交流会および実行委員会の開催実績は以下のとおりである。

会 議 名（開催日）	開催回数	参加者数（延べ人数）
第 33 回合同交流会（2 月 20 日）	1	196
合同交流会実行委員会等	4	69

また、多摩テクノプラザを拠点として活動している 6 グループが、中小企業大学校・東京校を会場に、平成 29 年 9 月 1 日、第 5 回多摩グループ合同交流会を開催し、36 名が参加した。

### 3) 既存グループへの支援

自主運営に移行している既存の 27 グループに対し、会議室の利用、講演依頼への対応、情報の提供などのグループ活動への支援を行うとともに、グループ会員からの相談に対応した。既存異業種交流グループが都産技研において定例会などを開催した実績は、以下のとおりである。

会 議 名	利用回数	参加者数（延べ人数）
定例会など	94	860

## 4.1.4 業種別交流会

業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、各事業に反映するために業種別交流会を開催している。中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

No.	業 界 名	開催年月日	企業等参加者数 (都産技研参加者数)	内 容
1	多摩・区内繊維関連業界	平成 29 年 8 月 9 日	25 (11)	都産技研、東京都産業労働局商工部、(公財)東京都中小企業振興公社の事業説明。業界の現状、課題、計画および要望等を受けた後、意見交換。生活技術開発セクター見学。
2	東部金属熱処理工業組合	平成 29 年 9 月 13 日	23 (8)	金属熱処理業界の近況報告、都産技研の航空機産業支援紹介、中核人材インターンシップ実施の報告後、意見交換。非破壊検査関係機器見学。
3	東京温度検出端工業会	平成 29 年 10 月 20 日	25 (5)	都産技研事業の紹介および業界支援と今後の取り組みに向けた意見交換。業界要望に対する都産技研の対応を説明。
4	東京鼈甲組合連合会	平成 30 年 3 月 9 日	19 (3)	平成 29 年度東京都受託研究を報告後、業界支援と今後の取り組みに向けた要望を受け、意見交換。城東支所の施設見学。

## 4.1.5 技術研究会

技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の技術者とともに、製品開発など技術情報の交換を積極的に行った。

No.	名 称	設立年月	活 動 目 的	企業延べ参加者数 (都産技研)	開催回数
1	化学技術研究会	昭和 61 年 10 月	化学技術の向上、相互の技術交換	54 (10)	4
2	静電植毛加工技術研究会	昭和 62 年 4 月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会などの開催、技術資料の収集	9 (3)	1
3	超音波応用懇談会	昭和 63 年 3 月	超音波および周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流など	78 (19)	6
4	PC 情報研究会	平成元年 7 月	パソコンを主体とする情報機器の高度利用技術の研究、講習会の開催など	117 (46)	24
5	締結問題研究会	平成 6 年 2 月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会などの開催、技術資料の収集	64 (9)	5
6	トライボコーティング技術研究会	平成 6 年 11 月	表面改質技術およびその評価法についての情報収集、情報交換、共同研究	248 (10)	4
7	東京都健康福祉研究会	平成 8 年 4 月	健康・福祉に関する機器・用具・用品の技術と応用、管理運用についての研究	72 (24)	6
8	信頼性安全技術研究会	平成 9 年 4 月	信頼性技術の向上、研究討論会・講演会などの開催、技術情報交換	93 (12)	7
9	粉末冶金技術研究会	平成 9 年 4 月	粉末冶金全般に関する技術について、情報収集、情報交換、共同研究などを実施	79 (3)	2
10	表面科学交流会	平成 10 年 4 月	めっき会社を中心とした企業の連携を強化し表面科学に関する見聞を広める	31 (3)	3
11	ユニバーサルファッション製品の企画開発研究会	平成 13 年 10 月	ユニバーサルファッション製品および高齢者対応製品の開発支援・情報交換	96 (18)	11
12	循環型技術研究会	平成 14 年 7 月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公連携による技術開発の場として活動する	236 (10)	8
13	八王子産地オリジナル製品開発研究会	平成 14 年 8 月	八王子産地オリジナル製品開発のためのデザイン情報の交換、販路の開拓等の勉強会を行う	20 (2)	1
14	東京温度検出端工業会技術懇談会	平成 18 年 4 月	温度センサーおよび貴金属メーカー間の技術交換、最新情報の共有	30 (5)	1
15	デザインマーケティング技術研究会	平成 23 年 4 月	デザイナーのセルフマーケティングについて研究。地域地場産業との合同プロジェクト体制や営業技術の研究	34 (10)	3
16	東京都ロボット研究会	平成 23 年 4 月	サービスロボットやその類似技術における技術面、ビジネスモデル、ブランド確立に向けた連携	167 (23)	8
17	塗膜性能評価研究会	平成 23 年 10 月	航空宇宙産業におけるサプライヤーチェーンの構築、マーケットの獲得	31 (13)	4
18	ガラス技術交流会	平成 24 年 3 月	広くガラス技術に関して、会員相互の交流や国際交流を推進することによる、技術者の活性化や新技術の理解習得など	169 (30)	6
19	感性工学研究会	平成 25 年 1 月	新しい工学技術分野としての感性工学について理解を深め、企業や研究者による製品の感性評価や感性工学技術の情報交換、会員相互による研究の協力体制の確立など	188 (32)	6
20	TIRI 情報セキュリティ研究会	平成 27 年 4 月	サイバー攻撃の実態調査、生活ロボットへの組込みシステム、中小企業向けセキュリティ簡易診断法開発、情報セキュリティに関する勉強会や普及促進活動	148 (37)	14

## 平成29年度 年報

No.	名 称	設立 年月	活 動 目 的	企業延べ 参加者数 (都産技研)	開催 回数
21	保存修復開発研究会	平成 27 年 7 月	新材料を修復技術に応用することを目的とし、情報収集、情報交換、共同調査・研究を実施し、相互の技術力と経営力を向上させる	7 (4)	1
22	金属加工の潤滑技術研究会	平成 28 年 1 月	金属加工に用いられる潤滑剤の効果について議論・検証し、中小企業が抱える潤滑技術の課題を、相互の技術と知識により解決する	45 (11)	4
23	フィルム物性研究会	平成 30 年 2 月	新たな機能・価値を付与したフィルムプロダクトを創出し、ものづくりの現場の活性化を目指す	21 (5)	1

以下の技術研究会を、平成 29 年度に廃止した。

東京都ロボット研究会（平成 30 年 3 月 31 日）

以下の技術研究会を、平成 29 年度に新規設立した。

フィルム物性研究会（平成 30 年 2 月 1 日）

## 4.2 行政等支援機関連携

### 4.2.1 協定・覚書締結一覧

大学研究機関、産業支援機関、行政機関、金融機関と協定、覚書などを締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下のとおりである（平成 30 年 3 月 31 日現在）。

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
1	(公財)東京都中小企業振興公社	協定書	平成18年 4月 1日
		覚書	平成19年 1月 4日
2	(一社)コラボ産学官	協定書	平成18年 8月10日
		秘密保持契約書	平成18年 9月 1日
3	産業技術大学院大学	協定書	平成19年 2月26日
4	首都大学東京	業務協定書	平成19年 3月15日
5	東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	平成20年 4月 1日
6	長岡技術科学大学	協定書	平成20年 8月26日
		覚書	平成21年 8月 6日
7	新宿区	協定書	平成20年 9月22日
8	東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	平成20年10月14日
9	芝浦工業大学	協定書	平成21年 3月12日
		教育研究協力に関する協定	平成21年11月10日
10	板橋区	業務連携に関する覚書	平成21年 6月 3日
11	港区	協定書	平成21年 7月16日
12	多摩信用金庫	たましん事業支援センターの 活用に関する覚書	平成21年 7月16日
13	府中市	覚書	平成22年 5月13日
14	(国研)産業技術総合研究所	協定書	平成22年11月24日
15	北区	覚書	平成23年 2月21日
16	(公財)まちみらい千代田	覚書	平成23年 4月14日
17	品川区	協定書	平成23年 6月 1日
18	東京都立産業技術高等専門学校	協定書	平成23年 9月12日
19	江東区	協定書	平成23年 9月14日

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日
20	朝日信用金庫	協定書	平成24年 1月27日
21	(一財)機械振興協会	協定書	平成24年 3月 8日
22	(公財)日本発明振興協会	協定書	平成24年 4月 9日
23	江東信用組合	協定書	平成24年 6月 6日
24	東京電機大学	協定書	平成24年 7月23日
25	明星学苑明星大学	協定書	平成24年10月12日
26	(公財)東京都農林水産振興財団	協定書	平成24年12月 7日
27	日野市	覚書	平成25年 2月26日
28	昭島市	協定書	平成25年 3月12日
29	城南信用金庫	覚書	平成25年 3月13日
30	(一財)化学研究評価機構	協定書	平成25年 3月21日
31	さわやか信用金庫	協定書	平成25年 4月 1日
32	(一社)東京工業団体連合会	協定書	平成25年 9月 5日
33	東京都商工会連合会	協定書	平成25年10月22日
34	西武信用金庫	協定書	平成25年10月28日
35	東京理科大学	協定書	平成25年11月 5日
36	葛飾区	協定書	平成25年11月26日
37	東京工業高等専門学校	協定書	平成26年 3月26日
38	法政大学	協定書	平成26年 4月11日
39	東京東信用金庫	協定書	平成26年 6月 3日
40	芝信用金庫	協定書	平成26年 6月11日
41	東京商工会議所	協定書	平成26年 7月14日
42	青梅市	協定書	平成26年 8月26日
43	青梅商工会議所	協定書	平成26年 8月26日
44	千葉工業大学	協定書	平成26年 9月30日
45	墨田区	協定書	平成26年11月13日
46	タイ工業省	協定書	平成26年11月25日
47	電気通信大学	協定書	平成26年12月09日
48	荒川区	協定書	平成27年 3月03日
49	泰日経済技術振興協会	協定書	平成27年 4月24日
50	(一社)組込みシステム技術協会	協定書	平成27年10月19日
51	(公財)台東区産業振興事業団	協定書	平成27年11月05日
52	泰日工業大学	協定書	平成28年 2月04日
53	亀有信用金庫	協定書	平成28年 2月17日
54	信州大学	協定書	平成28年 3月10日
		覚書	平成28年 5月31日
55	(株)東京 TY フィナンシャルグループ	協定書	平成28年 5月27日
56	江戸川区	協定書	平成29年 3月29日
57	東京海洋大学	協定書	平成29年 3月30日
58	東京農工大学	協定書	平成29年 9月13日

## 個別部署での協定締結

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日	連携部署
1	(株)日本政策金融公庫 大森支店	覚書	平成25年10月01日	城南支所
2	(株)日本政策金融公庫 立川支店	覚書	平成25年10月30日	多摩テクノプラザ
3	(株)日本政策金融公庫 千住支店	覚書	平成25年12月18日	城東支所
4	(株)日本政策金融公庫 江東支店	覚書	平成26年 1月17日	墨田支所

#### 4.2.2 区市町村などとの連携

地域の中小企業を支援している区市町村などとの連携強化に努め、産学公連携に関する技術相談支援の拡大をはじめ、都産技研利用企業への利用料助成制度の実施など、企業支援の充実を図った。平成29年度の主な取り組みは以下のとおりである。

##### (1) 区部での連携

##### 1) 城東地域

機関名	連携事業
台東区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)台東区産業振興事業団による都産技研利用助成の継続「試験研究機関活用支援助成金」</li> <li>・台東デザイナーズビレッジの施設公開を見学(5月)</li> <li>・新製品新技術開発支援事業面接審査委員会へ委員派遣(7月)</li> </ul>
墨田区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研利用助成の継続「依頼試験等利用補助」</li> <li>・すみだビジネスサポートセンターへ訪問・見学、都産技研事業案内等の配架を依頼(4月)</li> <li>・すみだモダン2016発表会を見学(5月：渋谷ロフト間坂ステージ)</li> <li>・スミファ(すみだファクトリーめぐり)参加企業ミーティングへ出席(6月、8月)</li> <li>・スミファ(すみだファクトリーめぐり)の取材・対談に対応(8月)</li> <li>・技術セミナー「『におい』をどうとらえるか」のPR協力を依頼(9月：都産技研墨田支所)</li> <li>・墨田区産学官金連携推進会議へ出席(9月、実務者会議10月)</li> </ul>
江東区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研利用助成の継続「都立産業技術研究センター利用料の一部補助」</li> <li>&lt;委員派遣&gt;</li> <li>・江東ブランド認定審査会(8月/2回)</li> <li>・新製品・新技術開発補助金面接審査会(9月)</li> <li>・共同研究補助金面接審査会(9月)</li> <li>&lt;事業紹介&gt;</li> <li>・中小企業(製造業)向け「補助金・助成金制度説明会」に協力し、事業紹介(2月：テレコムセンター)</li> </ul>
荒川区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研利用助成の継続「試験研究機関活用支援事業」</li> <li>・平成29年度「荒川区地域産業活性化研究補助金」に採択された研究提案「亜鉛めっき排水規制に対する新規脱脂洗浄方法の確立」を実施</li> <li>・連携会議および見学会を開催(5月)</li> <li>・「豊島区・北区・荒川区 起業家交流会」のPRに協力(8月：北とぴあ)</li> </ul>
足立区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研利用助成の継続「技術支援補助金」、「研究開発補助金」</li> <li>&lt;委員派遣&gt;</li> <li>・足立ブランド認定事業(11月/2回)</li> </ul>
葛飾区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研利用助成の継続「製品性能試験費用補助事業」</li> <li>&lt;委員派遣&gt;</li> <li>・葛飾区新製品・新技術開発等審査委員会(7月)</li> <li>・葛飾ブランド認定審査会(8月)</li> <li>・葛飾区工業振興会議(9月、2月)</li> <li>・葛飾区産学公連携推進会議(3回)</li> <li>・第33回葛飾区産業フェア実行委員会(7回)</li> <li>・「葛飾町工場物語」認定審査委員会(8月)</li> <li>・葛飾区優良工場・優良技能士認定審査委員会(1月、2月)</li> <li>&lt;出展&gt;</li> <li>・第4回町工場見本市2018(2月：東京国際フォーラム)</li> </ul>
江戸川区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研利用助成の継続「産技研依頼試験等利用助成金」</li> <li>・TIRI NEWS10月号の特集「協定締結機関紹介・江戸川区」にて「自治体と連携した中小企業のものづくり支援」を紹介</li> <li>・「第19回産業ときめきフェア in EDOGAWA」を後援し、出展(11月：船堀ホール)</li> <li>・区内企業に対する実地技術相談の要請を受け、実施(1月/2社4件)</li> </ul>

## 2) 城南地域

機関名	連携事業
品川区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研利用助成の継続「東京都立産業技術研究センター利用料等助成」</li> <li>・連携会議および見学会を開催(5月)</li> <li>・品川区の科学技術交流事業へ協力し、INNOVESTA!2017 ビジネスデーにて、モンゴル国高等専門学校の見学を対応(9月/学生9名、教員1名)</li> <li>・品川区、目黒区、板橋区、江戸川区、北区合同開催「ものづくり商談会」へ出展し、事業紹介および技術相談対応(9月：品川産業支援交流施設「SHIP」)</li> <li>・初開催の「品川情報クラスターフェア 2018」を後援し、都産技研のチリンロボットを出展(2月：大崎プライドコア)</li> </ul>
目黒区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目黒区異業種交流会が都産技研本部を見学(6名)</li> </ul>
大田区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽田地区物流センターにおける3Dものづくりの説明会に参加(7月)</li> <li>・「大田区加工技術展示商談会」へ出展し、事業紹介(7月)</li> <li>・大田区役所および東邦大学が城南支所を見学(8月/15名)</li> <li>・「おおた商い観光展」にて都産技研ロボットの実演(10月：大田区産業プラザPi0)</li> <li>・「第7回おおた研究・開発フェア」を後援し、出展(10月：大田区産業プラザPi0)</li> <li>・「おおた工業フェア」へ出展し、事業紹介および技術相談対応(2月：大田区産業プラザPi0)</li> </ul>

## 3) 城北地域

機関名	連携事業
北区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研利用助成の継続「依頼試験等補助事業」、「産学連携研究開発支援事業」</li> <li>・板橋区・北区・都産技研共催セミナー「中小企業のための売れるブランドづくり」にて事業紹介(8月：板橋区役所)</li> </ul>
板橋区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)板橋区産業振興公社による都産技研利用助成の継続「依頼試験等補助事業」、「産学連携研究開発支援事業」</li> <li>・板橋区連携相談を受け、実地技術支援を実施(6月)</li> <li>・板橋区・北区・都産技研共催セミナー「中小企業のための売れるブランドづくり」にて事業紹介(8月：板橋区役所)</li> <li>・「第21回いたばし産業見本市」実行委員会へ委員派遣し、出展(11月)</li> </ul>

## 4) 城西地域

機関名	連携事業
世田谷区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研利用助成の継続「東京都立産業技術研究センター利用補助金」</li> </ul>
練馬区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練馬産業見本市「ねりま EXP02017」へ初出展し、事業紹介および技術相談に対応(10月：としまえん屋内館)</li> </ul>

## 5) 都心・副都心地域

機関名	連携事業
千代田区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)まちみらい千代田による都産技研利用助成の継続「マネジメント・サポートデスク」</li> <li>・「第11回千代田ビジネス大賞」を後援</li> </ul>
港区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規に都産技研利用に対する助成を開始(4月より)</li> </ul>
文京区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文京区「中小企業サポートブック 2017」に、都産技研を支援機関として紹介</li> </ul>

## (2) 多摩地域での連携

機関名	連携事業
八王子市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研利用助成の継続「小規模企業産学連携促進補助金」、「産学連携による研究・開発費等補助金」</li> </ul>

機関名	連携事業
青梅市	・おうめものづくり支援事業専門家会議へ委員派遣(7月) ・「第50回青梅産業観光まつり」へ出展(11月：永山公園グラウンド)
府中市	・第28回府中市工業技術展「ふちゅうテクノフェア」へ出展(10月：府中市市民会館)
昭島市	・都産技研利用助成の継続「ものづくり産業技術支援事業補助金」 ・「第49回昭島市産業まつり」へ出展(11月：昭島市民会館)
日野市	・都産技研利用助成の継続「ものづくり産業開発支援事業」、「専門家派遣費用補助事業」
羽村市	・都産技研利用助成の継続「地域イノベーション創出事業助成制度」

#### 4.2.3 金融機関との連携

機関名	連携事業
多摩信用金庫	・第15回多摩ブルー・グリーン賞選考委員会へ委員派遣し(3回)、表彰式に参加(12月) ・第17回たま工業交流展出展企業説明会および施設見学会(1月)
さわやか信用金庫	・「INNOVESTA!ビジネスデー」にてコンサルティングセンター調査役が金融機関による支援事業を紹介(9月) ・「ビジネスフェア」へ出展(10月) 都産技研チリンロボットの実演およびマッチングを実施(2件)、地域小学校社会科見学に対応し、事業紹介
朝日信用金庫	・「東京イノベーション発信交流会2018」へのPR協力(12月) ・情報誌 Asahi News にて、都産技研事業紹介のほか、「城東支所リニューアル」、「航空機産業支援」を紹介(2月) ・東京都異業種交流グループ「合同交流会」にて情報交換(2月)
江東信用組合	・「東京イノベーション発信交流会2018」への出展企業推薦(1社)
城南信用金庫	・「2017“よい仕事おこし”フェア」へ出展(8月) ・ものづくりコンシェルジュと連携し、同業種交流会を見学
西武信用金庫	・「第18回ビジネスフェア from TAMA」出展(11月：東京ドームシティアプリズムホール)
東京東信用金庫	・連携技術相談対応(1件) ・「ひがしんビジネスフェア2017」(11月)を後援し、初出展で事業紹介および技術相談対応 ・「METALEX2017」にて都産技研ブース内に東信推薦企業が出展(10月：バンコク BITEC)
芝信用金庫	・「東京イノベーション発信交流会2018」へのPR協力(1月)
亀有信用金庫	・連携技術相談対応(1件) ・「東京イノベーション発信交流会2018」へのPR協力(1月)
東京TYフィナンシャルグループ	・専用相談シートによる連携相談(18件) ・新任行員の見学(4月/見学者5名) ・東京TYFG・(公財)東京都中小企業振興公社・川崎市主催「知的財産マッチング会」(5月：大田区産業プラザPi0) 都産技研シーズ紹介(3件)および個別相談に職員を5名派遣し、3社を対応 ・行員向け都産技研本部見学会を実施(7月/見学者55名) ・東京TYFG主催、(公財)東京都中小企業振興公社・都産技研共催「事業承継セミナー(城南地区)」にて講演「都産技研城南支所について」(9月：大田区産業プラザPi0) ・行員向け都産技研多摩テクノプラザ見学会を実施(12月/見学者30名)
昭和信用金庫	・「ビジネスマッチング交流会'17」へ出展(7月)
青梅信用金庫	・「第17回 あおしん ビジネス支援マッチング大会」出展し、事業紹介および技術相談に対応
シグマバンクグループ	・「第9回ビジネス交流会」へ出展(8月)
(一社)東京都信用金庫協会	・平成29年度優良企業表彰制度へ選考委員を派遣
(株)日本政策金融公庫	・大森支店と連携を強化し、セミナーや施設公開などの情報を提供

## 4.2.4 大学・研究機関等との連携

大学や研究機関などと各種事業や共同研究に取り組み、連携事業を推進した。

機関名	連携事業
首都大学東京	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研多摩テクノプラザ見学会を開催し、共同研究に向けての機器・設備の説明などを実施(4月/見学者5名)</li> <li>・IoT 関連セミナー「サービス工学と文脈中心設計入門」を共催(7月、8月：都産技研バンコク支所/受講者40名程度)</li> <li>・子ども化学技術教室へ大学より講師3名派遣(8月/参加者30名程度)</li> <li>・「首都大学東京 技術懇親会(機械工学編)」を後援し、職員3名参加(9月：南大沢キャンパス)</li> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「技術シーズ発表会」にて主席 URA が講演「サービスロボット分野の技術シーズ紹介」(2月)</li> </ul>
産業技術大学院大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「オープンインスティテュート(OPI)企画経営委員会」へ委員派遣(月1回程度)</li> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「技術シーズ発表会」にて教授が講演「IoT 時代における監視カメラシステムのプライバシー保護」(2月)</li> <li>・「第11回臨海地区産学官連携フォーラム」にて教授が講演「AI・IoT・ビッグデータ時代のセキュリティとプライバシー」(2月：(国研)産業技術総合研究所臨海副都心センター)</li> </ul>
東京都立産業技術高等専門学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都立産技高専運営協力者委員を派遣</li> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「連携機関の支援事業紹介」にてポスター展示および資料配布(2月)</li> </ul>
東京理科大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理科大と共同研究している中小企業への技術支援について、葛飾区産学公連携会議にて情報交換</li> </ul>
電気通信大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)東京都中小企業振興公社多摩支社との共催セミナー「第1回産業セミナー 自動運転技術と中小企業の可能性」に、教授が基調講演「自動運転技術の現状と未来」(6月：(公財)東京都中小企業振興公社 多摩支社/参加者108名)</li> </ul>
東京電機大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術習得が目的の研究生1名が6月より基盤研究にも携わるようになった</li> </ul>
千葉工業大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉工業大学附属研究所「研究活動報告会」へ参加(9月)</li> <li>・千葉工業大学学生向け見学会を実施(10月/見学者19名)</li> </ul>
芝浦工業大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第9回臨海地区産学官連携フォーラム」にて教授が講演「安心・快適・わくわく感の計測」(5月：(国研)産業技術総合研究所臨海副都心センター)</li> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「技術シーズ発表会」にてコーディネータが講演「芝浦工業大学の産学連携に関する紹介」(2月)</li> </ul>
信州大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信州大学大学院医学系研究科が都産技研本部を見学(7月/見学者2名)</li> </ul>
東京海洋大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第10回臨海地区産学官連携フォーラム」にて URA が講演「東京海洋大学の研究と産学・地域連携」(10月)</li> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「技術シーズ発表会」にて URA が講演「水産・海洋分野の技術シーズ紹介」(2月)</li> </ul>
東京農工大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」の「技術シーズ発表会」にて特任教授が講演「東京農工大学の技術シーズ紹介」(2月)</li> <li>・共同研究を目指した研究者マッチングを推進中(5件)</li> <li>・東京農工大学の教員を招いて都産技研職員向けの技術研修を実施(2月)</li> <li>・都産技研の技術相談エキスパートシステムに東京農工大学教員の情報を登録し、共同技術相談を開始(2月)</li> </ul>
東京工業大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携技術相談(2件)</li> </ul>
東邦大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部と都産技研が内視鏡の共同開発を開始(8月)</li> </ul>
埼玉大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術セミナー「『におい』をどうとらえるか」にて教員が講演「多数の香気成分からなる素材の香気の特徴をどうとらえるか」</li> </ul>

機関名	連携事業
(国研)産業技術総合研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第9回臨海地区産学官連携フォーラム」を共同主催(5月:(国研)産業技術総合研究所臨海副都心センター)</li> <li>・城東地域中小企業との懇談会を共同主催(9月:都産技研墨田支所)</li> <li>・「第10回臨海地区産学官連携フォーラム」を共同主催(10月)(都産技研での初開催)</li> <li>・「東京ベイイノベーションフォーラム」を共同主催(12月/参加企業9社:東京イノベーションハブ)</li> <li>・「第11回臨海地区産学官連携フォーラム」を共同主催(2月:(国研)産業技術総合研究所臨海副都心センター)</li> </ul>
(公財)東京都農林水産振興財団	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携会議にて研究連携紹介、技術分野紹介、意見交換を実施(4月/農林財団12名、都産技研19名参加)</li> </ul>
(一財)機械振興協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「INNOVESTA!2017 ビジネスデー」の「連携機関の紹介」にてパネル展示・資料配布(9月)</li> </ul>
(一財)化学研究評価機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「JCII 標準化調査研究成果発表会」を後援し、職員4名聴講(8月:御茶ノ水ソラシティ)</li> <li>・意見交換会を開催(8月、11月)</li> </ul>
(一社)組込みシステム技術協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」へ出展企業1社推薦</li> </ul>
(一社)コロボ産学官	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「えどがわ産学官金連携推進フォーラム」を後援し、千葉工業大学人工知能・ソフトウェア技術研究センターの主任研究員を講師として紹介(9月:タワーホール船堀)</li> <li>・「INNOVESTA!2017 ビジネスデー」連携機関の紹介にてパネル展示・資料配布(9月)</li> <li>・「えどがわ産学官金連携推進フォーラム」を後援し、PRに協力(3月:タワーホール船堀)</li> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」への出展企業2社推薦を受け、技術優位性の「見える化」支援のための企業訪問に同行(1月)</li> </ul>
東京都商工会連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」へ出展企業推薦(1社)</li> </ul>
東京商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「産学公連携相談窓口」事業の継続連携相談対応(5件)および参画機関会議へ出席し、意見交換(3月)</li> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」のPR協力として、「東商テクノネット事業・メール情報」にて配信</li> </ul>
青梅商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」へ出展企業推薦(2社)</li> </ul>

#### 4.2.5 首都圏公設試験研究機関との連携

平成14年度、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県が連携し、都県域の枠にとらわれず、域内中小企業の技術支援を行うために、首都圏公設試験研究機関連携体(以下、「TKF」という。)を設立した。平成20年度からは横浜市も参加し、5機関体制となった。また、公設試では平成23年度より長野県、平成25年度より栃木県、群馬県、山梨県、山梨県富士工業技術センター、さらに平成26年度には茨城県、静岡県、平成27年度には新潟県がオブザーバー機関として参加している。

連携5機関：都産技研、埼玉県産業技術総合センター、千葉県産業支援技術研究所、地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所、横浜市工業技術支援センター

オブザーバー機関：関東経済産業局、東京都産業労働局商工部、国立研究開発法人産業技術総合研究所、茨城県工業技術センター、栃木県産業技術センター、群馬県立産業技術センター、新潟県工業技術総合研究所、山梨県産業技術センター、長野県工業技術総合センター、静岡県工業技術研究所

TKF ではウェブサイト「首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ」の運営や、「IT・情報」、「微細加工技術」、「高分子材料」、「デザイン」、「バイオ技術」、「ロボット技術」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動、研究員の相互派遣活動（TKF ミニインターンシップ）を通じて、相互の交流を進めている。

#### (1) 首都圏公設試連携推進会議

連携の具体的な方向性などを検討するために、定期的に首都圏公設試連携推進会議を開催している。また、年に1度 TKF 事業の成果発表の場として TKF フォーラムを開催し、連携の充実を図ってきた。平成 27 年度からは TKF フォーラムを一般公開し（TKF オープンフォーラム）、中小企業に対する情報提供の場、交流の場としている。

No.	開催年月日	開催場所	参加機関	出席者数
1	平成 29 年 7 月 12 日	都産技研	連携 5 機関、オブザーバー機関	41 名
2	平成 29 年 9 月 27 日※	埼玉県産業技術総合センター	連携 5 機関、オブザーバー機関、一般参加者	150 名
3	平成 30 年 2 月 23 日	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 溝の口支所	連携 5 機関、オブザーバー機関	42 名

※TKF オープンフォーラムとして開催した。

#### (2) 他機関での発表

他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行った。発表実績は以下のとおりである。

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	主催機関	大会等の名称
1	平成 29 年 7 月 26 日	吸水後に拡張および硬化するゼラチンスポンジの開発	成田武文	千葉県産業支援技術研究所	平成 29 年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会
2	平成 29 年 7 月 26 日	金属空気電池および燃料電池のための窒素ドーブ多孔性カーボンナノ粒子触媒を用いた高出力酸素電極	立花直樹	千葉県産業支援技術研究所	平成 29 年度千葉県産業支援技術研究所研究成果発表会
3	平成 29 年 9 月 27 日	視線制御型雲台システムの開発	大島浩幸	埼玉県産業技術総合センター	平成 29 年度オープンラボ
4	平成 29 年 9 月 27 日	都産技研のデザイン支援について	加藤貴司	埼玉県産業技術総合センター	平成 29 年度オープンラボ
5	平成 29 年 11 月 10 日	屋外用 T 型ロボットベース「Taurus」の開発	益田俊樹	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	平成 29 年度神奈川県ものづくり技術交流会
6	平成 29 年 11 月 10 日	ビルの強化ガラスの破損事故解析	宮宅ゆみ子	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	平成 29 年度神奈川県ものづくり技術交流会
7	平成 29 年 11 月 10 日	ステンレス鋼 17-4PH 積層造形材の機械的性質に及ぼす熱処理の影響	大久保 智	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	平成 29 年度神奈川県ものづくり技術交流会

#### 4.2.6 公益財団法人東京都中小企業振興公社等との連携

##### (1) 公益財団法人東京都中小企業振興公社との連携

都内中小企業の振興を図るため、平成 18 年、公益財団法人東京都中小企業振興公社と協定を締結し、各種事業を協力して実施している。

都産技研の城東、城南の各支所長がそれぞれ東京都城東地域中小企業振興センター、東京城南地域中小企業振興センターのセンター長を兼任し、技術支援および経営支援を統轄する体制を整えている。また、産業サポートスクエア・TAMA では、「産業サポートスクエア・TAMA 運営協議会」を設置し、中小企業振興の総合的支援および事業運営を協力して実施している。

種別	連携事業
講座・セミナー・フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公社 多摩支社と「第 1 回産業セミナー 自動運転技術と中小企業の可能性」を共催（6 月：多摩支社/参加者 108 名）</li> <li>・第 3 回 IoT セミナーを共催し、東京都 IoT 研究会総会キックオフ（11 月：参加者 93 名）</li> <li>・第 4 回 IoT セミナーを共催し、東京都 IoT 研究会総会を開催（2 月：参加者 84 名）</li> </ul>
交流会・マッチング会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業交流会 in バンコク交流会を共催（4 回）</li> <li>・ものづくり企業交流会 2018 in バンコクを共催（3 月）</li> <li>・「TIRI クロスミーティング 2017」に公社がブース出展し、世界発信 PT 事業説明（6 月）</li> <li>・「東京イノベーション発信交流会 2018」（2 月） 公社より出展企業 3 社推薦および公社ナビゲーター、コーディネーターがマッチングに協力</li> </ul>
連携支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携技術相談（3 件）</li> <li>・都産技研・（国研）産業技術総合研究所共同技術支援プロジェクトへ公社から企業推薦</li> <li>・東京 TYFG・公社・川崎市主催「知的財産マッチング会」（5 月：大田区産業プラザ Pi0） 都産技研シーズ 3 件紹介および個別相談に職員 5 名派遣し、3 社を対応</li> <li>・「東京手仕事」プロジェクトへ商品開発アドバイザーを派遣し、伝統工芸品の商品開発を支援</li> <li>・「事業化チャレンジ道場」事業に協力し、溶融積層造形装置による試作品造形に関するオーダーメイド開発支援を実施（5 件）</li> </ul>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新任研修の一環として、都産技研事業説明および城南支所見学を実施（5 月：都産技研城南支所/公社新任職員 15 名参加）</li> <li>・東京都知的財産総合センターが講師を派遣し、都産技研職員を対象に専門研修「技術審査に役立つ特許調査の方法」を共同開催（10 月/参加者 14 名）</li> </ul>
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都産技研メールニュースに公社事業の記事を 20 回掲載</li> <li>・公社メールマガジンに都産技研事業の記事を 12 回掲載</li> <li>・公社アーガス・ビジネスサポート TOKYO「印刷物送付サービス」を利用（4 月）</li> <li>・「TOKYO ネットクラブまがじん」および広域多摩イノベーションプラットフォーム（IPF）のメール配信による「東京イノベーション発信交流会 2018」への PR 協力</li> </ul>

※表中の「公社」は、公益財団法人東京都中小企業振興公社を指す。

##### (2) 医療機器産業参入支援

都産技研は、平成 29 年度からものづくり中小企業が医療機器開発・事業化を技術面で支援する医工連携事業を推進している。都産技研の医工連携コーディネーターが臨床機関および研究機関のシーズに基づき、ものづくり企業とのマッチング支援や、医療機器開発に必要な技術情報を提供するセミナー開催などを実施している。

本事業は、都産技研、東京都医工連携 HUB 機構、公益財団法人東京都中小企業振興公社の 3 機関が協力し、各機関の特徴を活かした活動を進めている。対象機関を限定せず臨床



(医工連携事業スキーム)

や研究機関、製販企業など医療関連機関からのシーズ、ニーズを、ものづくり中小企業に展開することを支援している。

コーディネーターの活動として、企業訪問や連携会議などを実施している。既存製品の医療機器への応用を検討している企業を訪問し、課題解決に向けたアドバイスを実施している。3 機関による連携会議では、ものづくり中小企業に対し、医療機関から提供されるニーズの展開の可能性について協議したり、ものづくり中小企業からシーズに関するプレゼンテーションを受け、今後の製品開発に向けた支援体制の確認などを実施している。

#### 4.2.7 産業技術連携推進会議

産業技術連携推進会議は、全国の公設試および国が相互に連携し、効率的な事業運営を図るために、機関相互の情報交換や連絡調整、国への要望などの議題で開催されている。産業技術連携推進会議の組織には、技術分野別の部会、分科会、研究会があり、技術情報の交換、共同研究、現地研修、研究発表などの活動が行われている。

平成 29 年度の参加実績および各会議において、都産技研の事業紹介や研究成果発表などを行った発表実績は以下のとおりである。

##### (1) 参加実績

No.	開催年月日	会議名	開催場所
1	平成 29 年 5 月 19 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東・東北地域連絡会総会	新潟県工業技術総合研究所
2	平成 29 年 6 月 1 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	プラザホテル吉翠苑 (京都府)
3	平成 29 年 6 月 8～ 9 日	製造プロセス部会 表面技術分科会 DLC 技術研究会	かごしま県民交流センター
4	平成 29 年 6 月 15～16 日	ライフサイエンス部会 第 21 回デザイン分科会	長崎県美術館

平成29年度 年報

No.	開催年月日	会議名	開催場所
5	平成 29 年 6 月 21 日	製造プロセス部会 第 7 回 3D ものづくり特別分科会	都産技研本部
6	平成 29 年 9 月 21～22 日	ナノテクノロジー・材料部会 セラミックス分科会 第 64 回総会	ピアザ淡海（滋賀県）
7	平成 29 年 10 月 2～3 日	ナノテクノロジー・材料部会 ガラス材料技術分科会 第 11 回ガラス材料技術分科会総会・研修会	鳥取県衛生環境研究所
8	平成 29 年 10 月 5～6 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 繊維技術研究会	玉島市民交流センター（岡山県）
9	平成 29 年 10 月 12～13 日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会情報通信研究会	(国研)産業技術総合研究所 臨海副都心センター
10	平成 29 年 10 月 19～20 日	製造プロセス部会 第 25 回塗装工学分科会	石川県工業試験場
11	平成 29 年 10 月 19～20 日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 第 11 回音・振動研究会	福井県工業技術センター
12	平成 29 年 10 月 26～27 日	第 22 回電磁環境分科会 第 27 回 EMC 研究会	東葛テクノプラザ（千葉県）
13	平成 29 年 10 月 26～27 日	情報通信・エレクトロニクス部会 電子技術分科会 高機能材料・デバイス研究会/実装・信頼性 技術研究会	都産技研本部
14	平成 29 年 10 月 31 日～11 月 1 日	ライフサイエンス部会 医療福祉技術分科会 人間工学研究会	M ウィング文化センター（長野県）
15	平成 29 年 11 月 13～14 日	情報通信・エレクトロニクス部会 情報技術分科会 組込み技術研究会	埼玉県産業技術総合センター
16	平成 29 年 11 月 16～17 日	ナノテクノロジー・材料部会 木質科学分科会	松江テルサ（島根県）
17	平成 29 年 11 月 16～17 日	ナノテクノロジー・材料部会 高分子分科会	福井市地域交流プラザ
18	平成 29 年 11 月 17 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 関東・東北地域連絡会 生産・測定技術研究会	新潟県工業技術総合研究所
19	平成 29 年 11 月 21～22 日	製造プロセス部会 第 8 回 3D ものづくり特別分科会	ハピリンホール（福井県）
20	平成 29 年 12 月 6～8 日	知的基盤部会 第 12 回総会 計測分科会 第 2 回光放射計測研究会、形状計測 研究会 第 49 回温度・熱研究会	兵庫県立工業技術センター
21	平成 29 年 12 月 7～8 日	ライフサイエンス部会 第 22 回デザイン分科会	静岡市文化・クリエイティブ 産業振興センター
22	平成 30 年 1 月 19 日	知的基盤部会 電磁環境分科会	山梨県産業技術センター 甲府技術支援センター
23	平成 30 年 1 月 25 日	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会幹事会	都産技研本部
24	平成 30 年 2 月 13 日～14 日	ナノテクノロジー・材料部会総会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター
25	平成 30 年 2 月 13 日～14 日	製造プロセス部会総会	(国研)産業技術総合研究所 つくばセンター
26	平成 30 年 2 月 13 日～14 日	環境・エネルギー部会・分科会・研究会合同総 会	都産技研本部

## (2) 発表実績

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
1	平成 29 年 6 月 9 日	平成 28 年度技術向上支援事業 報告	川口雅弘	かごしま県民交 流センター	製造プロセス部会 表面技 術分科会 DLC 技術研究会
2	平成 29 年 6 月 15 日	べっ甲ランプシェードのデザ イン開発	上野明也	長崎県美術館	ライフサイエンス部会 第 21 回デザイン分科会
3	平成 29 年 6 月 15 日	装着のしやすい 下肢動作支援ロボットの開発	加藤貴司	長崎県美術館	ライフサイエンス部会 第 21 回デザイン分科会
4	平成 29 年 10 月 2 日	飛行時間型二次イオン質量分析 による分析事例	樋口智寛	鳥取県衛生環境 研究所	ナノテクノロジー・材料 部会 ガラス材料技術分科 会 第 11 回ガラス材料技 術分科会総会・研修会
5	平成 29 年 10 月 2 日	茜硝子の現状と製品展開事例紹 介	大久保一宏	鳥取県衛生環境 研究所	ナノテクノロジー・材料 部会 ガラス材料技術分科 会 第 11 回ガラス材料技 術分科会総会・研修会
6	平成 29 年 10 月 5 日	東京都立産業技術研究センター の産地状況報告	唐木由佑	玉島市民交流セ ンター（岡山 県）	ナノテクノロジー・材料 部会 繊維分科会 繊維技 術研究会
7	平成 29 年 10 月 12 日	高速通信試験の紹介	吉次なぎ	(国研)産業技術 総合研究所 臨海 副都心センター	情報通信・エレクトロニ クス部会 情報技術分科会 情報通信研究会
8	平成 29 年 10 月 19 日	塗装した熱処理木材の耐候性	村井まどか	石川県工業試験 場	製造プロセス部会 第 25 回塗装工学分科会
9	平成 29 年 10 月 19 日	振動試験機による NAS3350 試験 の実施について	福田良司	福井県工業技術 センター	情報通信・エレクトロニ クス部会 情報技術分科会 第 11 回 音・振動研究会
10	平成 29 年 10 月 19 日	都産技研における損失係数測定 と支援事例	渡辺茂幸	福井県工業技術 センター	情報通信・エレクトロニ クス部会 情報技術分科会 第 11 回 音・振動研究会
11	平成 29 年 10 月 26 日	都産技研における製品安全の取 り組み	上野武司	都産技研本部	情報通信・エレクトロニ クス部会 電子技術分科会 高機能材料・デバイス研 究会/実装・信頼性技術研 究会
12	平成 29 年 10 月 26 日	雷インパルス電流発生装置	新井宏章	都産技研本部	情報通信・エレクトロニ クス部会 電子技術分科会 高機能材料・デバイス研 究会/実装・信頼性技術研 究会
13	平成 29 年 10 月 26 日	極細白金線を用いた熱伝導式湿 度センサの高湿度環境での特性 評価とその応用	豊島克久	都産技研本部	情報通信・エレクトロニ クス部会 電子技術分科会 高機能材料・デバイス研 究会/実装・信頼性技術研 究会
14	平成 29 年 10 月 31 日	公設試験研究機関人間生活工学 機器データベース DHuLE	大島浩幸	M ウィング文化 センター（長野 県）	ライフサイエンス部会 医 療福祉技術分科会 人間工 学研究会
15	平成 29 年 11 月 13 日	施設園芸向け無線統合環境 制御システムの開発	仲村将司	埼玉県産業技術 総合センター	情報通信・エレクトロニ クス部会 情報技術分科会 組込み技術研究会
16	平成 29 年 11 月 16 日	担子菌およびイオン液体を併用 した高効率セルロース抽出法の 開発	濱野智子	松江テルサ（島 根県）	ナノテクノロジー・材料 部会 木質科学分科会

## 平成29年度 年報

No.	開催年月日	発表タイトル	発表者	場所	会議の名称
17	平成 29 年 11 月 17 日	東京都立産業技術研究センター の産地状況報告	小柴多佳子	新潟県工業技術 総合研究所	ナノテクノロジー・材料 部会 繊維分科会 関東・ 東北地域連絡会 生産・測 定技術研究会
18	平成 29 年 11 月 21 日	セラミック AM の紹介	小林隆一	ハピリンホール (福井県)	製造プロセス部会 第 8 回 3D ものづくり特別分科会
19	平成 29 年 12 月 6 日	CMM の測定戦略の違いによる不 確かさの検証	三浦由佳	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会
20	平成 29 年 12 月 6 日	現場環境における三次元測定機 の高度化 -低熱膨張ステップ ゲージを用いた温度補正の評価-	大西 徹	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会 計測分科会 形状計測研究会
21	平成 29 年 12 月 7 日	多点温度センサの開発	倉持幸佑	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会計測分科会 第 49 回温度・熱研究会
22	平成 29 年 12 月 7 日	ハイパースペクトルカメラへの 分光放射輝度の値付け方法	秋葉拓也	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会計測分科会 第 2 回光放射計測研究会
23	平成 29 年 12 月 7 日	照明の規格動向 -CIE S025 等 について-	岩永敏秀	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会計測分科会 第 2 回光放射計測研究会
24	平成 29 年 12 月 7 日	都産技研における熱分析事例	林 孝星	兵庫県立工業技 術センター	知的基盤部会計測分科会 第 49 回温度・熱研究会
25	平成 29 年 12 月 7 日	日本の生活関連製品に対する外 国人の潜在的ニーズ抽出検討	橋本みゆき	静岡市文化・ク リエイティブ産 業振興センター	ライフサイエンス部会 第 22 回デザイン分科会
26	平成 30 年 1 月 19 日	東京都立産業技術研究センター の近況報告	佐々木秀勝	山梨県産業技術 センター 甲府技 術支援センター	知的基盤部会 電磁環境分 科会
27	平成 30 年 2 月 13 日	都産技研の研究開発事業につい て	堀江 暁	都産技研本部	環境・エネルギー部会・ 分科会・研究会合同総会

### 4.2.8 学協会連携事業

学協会が有するシーズを都内中小企業のものづくりに生かすため、中小企業と学協会との連携を推進する学協会連携事業を実施した。平成 29 年度に実施した事業は以下のとおりである。

No.	開催年月日	連携学協会	連携事業
1	平成 29 年 4 月 28 日	薄膜第 131 委員会	第 278 回委員会・第 284 回研究会
2	平成 29 年 5 月 18 日	表面技術協会 材料機能ドライプロセス 部会	第 103 回例会「ドライプロセスによる薄膜応 用」
3	平成 29 年 5 月 26 日	(一社)表面技術協会 ライトメタル表 面技術部会	第 316 回例会
4	平成 29 年 6 月 15 日	木材塗装研究会 (色材協会・木材加工 技術協会)	第 29 回木材塗装基礎講座
5	平成 29 年 7 月 13～14 日	マテリアルライフ学会	2017 年度総及び研究発表会
6	平成 29 年 8 月 25～26 日	カビ毒研究連絡会	真菌アレルギー及び食中毒の異物に関するシ ンポジウム
7	平成 29 年 8 月 29 日	(一社)日本非破壊検査協会	第 1 回保守検査部門ミニシンポジウム
8	平成 29 年 8 月 30 日	機能性フィルム研究会	第 2 回新たな機能性フィルム創製のシンポジ ウム

No.	開催年月日	連携学協会	連携事業
9	平成 29 年 9 月 27 日	日本機械学会関東支部 東京ブロック	第 3 回ラウンドイブニングセミナー
10	平成 29 年 10 月 3 日	マテリアルライフ学会	表面－界面物性研究会 2017 秋期講演会
11	平成 29 年 10 月 27 日	(公社)日本セラミックス協会 資源・環境関連部会	セラミックス材料のリサイクル －技術とシステムの確立の視点から－
12	平成 29 年 11 月 22 日	(一社)日本繊維機械学会 関東支部	繊維系研究機関シンポジウム 2017
13	平成 29 年 12 月 7～ 8 日	制振工学研究会	制振工学研究会設立 30 周年記念技術交流会 「技術者のための音響材料計測評価、解析、 適用方法及び感性と振動、騒音」
14	平成 29 年 12 月 8 日	(一社)電気学会	安全で省エネな社会の構築と中小企業支援
15	平成 29 年 12 月 26～27 日	(特非)パルテノン研究会	ハードウェア設計自動化技術に関する研究発表、 およびハードウェア記述言語 NSL 講習会
16	平成 30 年 1 月 10 日	(公財)大原記念労働科学研究所	消費者製品の化学物質管理の在り方に関する 共催セミナー
17	平成 30 年 1 月 19 日	(特非)FPGA コンソーシアム	東京 FPGA カンファレンス 2018 with プログラマデバイスプラザ
18	平成 30 年 1 月 23 日	日本食品照射研究会協議会	第 53 回日本食品照射研究会 教育講演会/ 研究発表会
19	平成 30 年 1 月 25～26 日	(一社)日本非破壊検査協会	第 25 回超音波による非破壊検査評価シンポジウム
20	平成 30 年 1 月 26 日	(一社)表面技術協会表面技術とものづくり研究部会	表面技術とものづくり研究部会 第 21 回例会
21	平成 30 年 1 月 26 日	(株)トリマティス (都産技研 製品開発支援ラボ入居)	アクアフォーラム
22	平成 30 年 1 月 26 日	日本材料試験技術協会	平成 29 年度硬さ懇話会/第 274 回材料試験 技術シンポジウム
23	平成 30 年 2 月 1～ 2 日	(一社)日本非破壊検査協会	第 11 回放射線による非破壊評価シンポジウム
24	平成 30 年 2 月 19 日	(一社)日本非破壊検査協会	超音波研究会
25	平成 30 年 3 月 6 日	マテリアルライフ学会	表面－界面物性研究会 2018 春期講演会

## 5. 東京の産業を支える産業人材の育成

## 5.1 技術セミナー・講習会

中小企業等の技術力向上と振興を図ることを目的として、環境・エネルギー、生活技術・ヘルスケア、機能性材料、安全・安心、ものづくり要素技術などの各分野の最新技術、トピックスをテーマとした各種技術セミナー・講習会を開催した。

## (1) 技術セミナー・講習会

名称	担当部署	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
●技術セミナー					
環境・エネルギー					
光学計測の基礎	光音技術 G	20	1	4	12/8
騒音の基礎-測定から評価まで- (測定実習なし)	光音技術 G	10	1	3	7/4
測光の基礎の基礎 照明製品スペックシートの読み方から照度シミュレータの簡単な使い方まで	光音技術 G	22	1	3	7/5
シミュレーションを活用した音響材料の開発	光音技術 G	15	1	4	7/31
ファインバブルの基礎と今後の展開	環境技術 G	14	1	4	11/28
ガラス製品の基礎知識	環境技術 G	27	1	2	3/6
生活技術・ヘルスケア					
化粧品の安全性とレオロジーの基礎	バイオ応用技術 G	63	1	2.5	8/8
「におい」をどうとらえるか -成分特性・生理心理・評価方法を知る-	生活技術開発 S	28	1	3.5	9/5
赤外線サーモグラフィの基本～適切かつ効果的に熱画像を使用するために～	生活技術開発 S	16	1	3	10/13
機能性材料分野					
プラスチックの話	表面・化学技術 G	49	1	4	12/15
フレキシブルデバイスの開発動向と都産技研の支援機器	先端材料開発 S	32	1	4	1/24
安全・安心分野					
【電気安全・開発支援セミナー】 製品安全の考え方と進め方	電子・機械 G	16	1	3.5	9/27
営業で役立つ ものづくり基礎の基礎 振動試験編	機械技術 G	16	1	3.5	2/23
なぜその対策が効かないのか？ 原理から理解するイミュニティ向上の手順	電子・機械 G	56	1	3.3	3/6
ものづくり要素技術					
「ジュネーブモーターショー 2017」「ミラノサローネ 2017」から読み解く加飾の素材・加工・デザイン動向	デザイン技術 G	25	1	4	5/23
2018 春夏レディースファッショントレンド情報	デザイン技術 G	41	1	4	6/8
基礎講座「鉄鋼材料とその熱処理 (第1回)」	複合素材開発 S	31	1	4	7/13
基礎講座「鉄鋼材料とその熱処理 (第2回)」	複合素材開発 S	21	1	3.5	9/8

名称	担当部署	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
基礎講座「鋼鉄材料とその熱処理（第3回）」	複合素材開発 S	14	1	3.5	11/10
基礎講座「鉄鋼材料とその熱処理（第4回）」	複合素材開発 S	18	1	3.5	1/19
基礎講座「鉄鋼材料とその熱処理（第5回）」	複合素材開発 S	17	1	3.3	3/9
中小企業のための「売れるブランドづくり」	デザイン技術 G	61	1	3.5	8/25
初心者のためのやさしい破断面の見方	城南支所	16	1	4	8/25
若手技術者のための金属加工技術シリーズ 第1回 図面の基礎と金属材料編	機械技術 G	36	1	3	9/15
各種材料の劣化とその対策 ープラスチックからめっき品までー	城南支所	25	1	3.3	9/29
「フランクフルトモーターショー 2017」から読み解く加 飾の素材・加工・デザイン動向	デザイン技術 G	21	1	3.5	10/12
3D ものづくりプロセスの新潮流	3D ものづくり S	22	1	4	11/1
秋冬レディースファッショントレンド情報	デザイン技術 G	29	1	4	11/15
ソリューション(課題解決)型製造業のための設計生産技術	城南支所	14	1	3.5	1/31
機器分析の基礎	城南支所	25	1	3	3/23
自社で考える展示会を成功させる仕組みづくり	デザイン技術 G	33	1	4	3/5
技術セミナー	31 件	833	31	108.9	
●講習会					
環境・エネルギー					
騒音の基礎-測定から評価まで-（測定実習あり）	光音技術 G	10	1	6	7/4
熱設計と数値シミュレーション	情報技術 G	19	1	6	8/4
質量分析の現状 ～水素ガス分析、VOC 分析、添加剤分析などを例にして～	環境技術 G	4	1	2.5	11/22
生活技術・ヘルスケア					
化粧品の評価に活用できるデータのとり方	バイオ応用技術 G	9	1	3.5	2/16
現場で役立つシリーズ 初心者のための顕微鏡活用法 ～繊維素材の観察法～	生活技術開発 S	5	1	2.5	1/16
機能性材料					
プラスチックの基礎と成形・物性測定実習	表面・化学技術 G	8	1	5	7/12
プラスチック射出成形シミュレーション入門	表面・化学技術 G	18	1	5	9/14
オートクレーブを用いた CFRP 成形の基礎	複合素材開発 S	7	1	3.5	11/10
真空を用いた成膜技術と機能性薄膜～金属・無機薄膜～	先端材料開発 S	5	1	7	12/1
ナノ材料計測技術～粒度分布・細孔構造解析～	先端材料開発 S	5	1	3	2/28
安全・安心					
振動試験規格と振動試験の進め方(第1回)	機械技術 G	10	1	5	6/2
【多摩テクノプラザで入門（EMC 試験編）】 イミュニティ測定	電子・機械 G	7	1	4	7/7
ロボット用ミドルウェアを活用したソフトウェア開発入門	ロボット開発 S	10	1	4	7/20

平成29年度 年報

名称	担当部署	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
【多摩テクノプラザで入門（EMC 試験編）】 エミッション測定	電子・機械 G	15	1	3.5	9/22
重大事故防止のためのねじ締結体設計の基礎	実証試験 S	8	1	3	9/26
非破壊検査入門	機械技術 G	12	1	7	10/20
振動試験規格と振動試験の進め方(第2回)	機械技術 G	10	1	6	11/30
RoHS 指令に対応した六価クロム測定実習	環境技術 G	4	1	4	12/7
金属材料の硬さ試験入門	実証試験 S	5	1	3	12/13
【多摩テクノプラザでレベルアップ（電子製品開発編）】 電子回路基板のノイズ源を探る近傍界ノイズ測定と解析	電子・機械 G	6	1	4	12/15
電気製品の試験方法	電気電子技術 G	10	1	2	2/16
雷対策入門	電気電子技術 G	9	1	3	2/22
体験で学ぶはじめての材料分析	表面・化学技術 G	9	1	6	2/23
ものづくり要素技術					
3D-CAD 入門（第1回）	3D ものづくり S	10	1	5.5	4/19
MEMS 技術 I リソグラフィ	電気電子技術 G	4	1	4	5/25
3D-CAD 入門（第2回）	3D ものづくり S	10	1	5.5	5/31
デザイン思考を活用した商品開発基礎講座	デザイン技術 G	36	2	12	6/6
【多摩テクノプラザ（機械設計連続講習会）】 機械材料と材料試験の基本	電子・機械 G	4	1	5	6/14
製品開発のための製品・材料の強度評価法入門(第1回)	実証試験 S	10	1	4	6/29
【多摩テクノプラザ（機械設計連続講習会）】 粗さ測定スタートアップ	電子・機械 G	6	1	4	6/29
形状評価入門	城南支所	5	1	3	7/5
【多摩テクノプラザ（機械設計連続講習会）】 3D-CAD スタートアップ	電子・機械 G	6	1	4	7/5
現場で役立つ人間中心のプロジェクトマネジメント	情報技術 G	21	1	6	7/7
【多摩テクノプラザで入門（電子製品開発編）】 はじめての電子回路設計	電子・機械 G	11	1	4	7/7
帯電性評価-繊維製品を中心として-	複合素材開発 S	6	1	3	7/7
デザインソフトを使ったチラシデザイン	デザイン技術 G	7	1	4	7/13
ガラス製品の破損事故解析（第1回）	環境技術 G	19	1	4.5	7/13
【多摩テクノプラザ（機械設計連続講習会）】 現場環境における三次元測定	電子・機械 G	5	1	4	7/14
ヒット商品にするための仕組みづくり	デザイン技術 G	22	1	6	7/21
【多摩テクノプラザで入門（電子製品開発編）】 基板設計入門	電子・機械 G	11	1	4	7/21
MEMS 技術 II エッチング	電気電子技術 G	4	1	4	7/27
生体計測による製品評価入門	生活技術開発 S	6	1	3	7/28
第一原理計算による電子状態計算入門	電気電子技術 G	5	1	6	8/9

名称	担当部署	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
Power Point で作るチラシ講習会	デザイン技術 G	9	1	4	8/23
熱拡散率測定	実証試験 S	20	1	4	8/29
3D-CAD 入門 (第 3 回)	3D ものづくり S	10	1	5.5	9/6
ホームページ作成講座入門編	デザイン技術 G	6	1	4	9/14
鉛フリーはんだ付け講習会(技術者・監督者向け)	電気電子技術 G	15	1	5.5	9/14
展示会を成功させる仕組みづくりとブースデザイン	デザイン技術 G	33	1	5	9/20
若手技術者のための金属加工技術シリーズ 第 2 回 切削・研削と塑性加工編	機械技術 G	22	1	4	9/22
若手技術者のための金属加工技術シリーズ 第 3 回 溶接・接合と金属熱処理編	機械技術 G	20	1	4	9/29
若手技術者のための金属加工技術シリーズ 第 4 回 表面処理と潤滑技術編	機械技術 G	25	1	4	10/6
品質工学による製品開発期間の短縮	情報技術 G	23	1	6	10/17
ホームページ作成講座入門編	デザイン技術 G	6	1	4	10/20
3D-CAD 入門 (第 4 回)	3D ものづくり S	10	1	5.5	10/25
デザインソフトを使った展示会パネルデザイン	デザイン技術 G	9	1	4	10/26
パッケージデザイン入門	デザイン技術 G	9	1	4	11/1
測定器具の使用方法和精度管理	3D ものづくり S	11	1	6	11/22
-ホームページ作成講座中級編- ホームページを見直して新規客を増やそう!	デザイン技術 G	8	1	5	11/22
Word で作るチラシデザイン	デザイン技術 G	6	1	4	11/30
設計から営業まで役立つ実践型木工塗装技術	表面・化学技術 G	5	2	12	12/5
分析機能付き簡易型電子顕微鏡 (SEM-EDS) 入門	城東支所	8	1	3	12/8
3D-CAD 入門 (第 5 回)	3D ものづくり S	10	1	5.5	12/20
商品企画のためのパッケージデザイン入門	デザイン技術 G	24	1	4	1/24
熱拡散率測定	実証試験 S	15	1	5.5	1/30
CAE 入門	3D ものづくり S	3	1	5	1/31
3D-CAD 入門 (第 6 回)	3D ものづくり S	9	1	5.5	2/7
発注者のためのめっき入門-めっきの品質管理-	表面・化学技術 G	5	1	6	2/9
製品開発のための製品・材料の強度評価法入門(第 2 回)	実証試験 S	9	1	4	3/19
営業で役立つものづくり基礎の基礎 薄膜評価編	表面・化学技術 G	2	1	2.5	3/23
現場で役立つ SoC 向けデジタル回路設計入門	情報技術 G	5	1	6	3/28
講習会	71 件	750	73	331.5	

平成29年度 年報

(2) 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP) セミナー

名称	担当部署	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第1回)	国際化推進室	27	1	2	4/28
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第1回)	国際化推進室	25	1	2	5/22
【グローバル人材育成 知財編】 海外ビジネスのための知財戦略	国際化推進室	14	1	2	5/24
【グローバル人材育成 欧州編】 EU 化粧品規制	国際化推進室	24	1	2	6/5
輸出のための認証取得支援ワークショップ	国際化推進室	154	3	3.5	6/14
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第2回)	国際化推進室	16	1	2	6/23
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第2回)	国際化推進室	19	1	2	7/3
【グローバル人材育成 欧州編】 CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門 第1弾	国際化推進室	61	1	4	7/25
【現場で役立つシリーズ】 実践 RoHS 指令が求める技術文書作成方法	国際化推進室	24	1	4	8/28
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第3回)	国際化推進室	11	1	2	8/30
INNOVESTA!2017 MTEP 海外展開特別セミナー 「インドネシア市場の魅力と多様性」	国際化推進室	26	1	2.3	9/8
MTEP ミニ講座 RoHS 指令入門 (第3回)	国際化推進室	18	1	3	9/21
【現場で役立つシリーズ】 実践 CE マーキング 機械指令とリスクアセスメント	国際化推進室	8	1	4	10/12
【海外規格精通セミナー】 医療機械 QMS ISO13485	国際化推進室	23	1	2	10/16
【MTEP 5周年記念特別セミナー】 起こせイノベーション! 海外展開成功へのアプローチ	国際化推進室	72	1	2	10/25
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第3回)	国際化推進室	49	1	4	10/26
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第4回)	国際化推進室	17	1	2	11/22
世界に通用するものづくりセミナー 医療機器指令(MDD)から医療機器規制(MDR)へ～欧州の医療機器-現在と未来～	国際化推進室	63	1	3	11/27
【グローバル人材育成 欧州編】 CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門 第2弾	国際化推進室	44	1	4	12/4
【グローバル人材育成 知財編】 海外ビジネスのための知財戦略	国際化推進室	6	1	2	12/8
【グローバル人材育成 欧州編】 CE マーキング 新 EMC 指令	国際化推進室	23	1	2	12/14
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第5回)	国際化推進室	13	1	2	1/10
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第5回)	国際化推進室	19	1	2	1/24
【現場で役立つシリーズ】 実践 設計者のための IEC 60204-1	国際化推進室	9	1	4	2/1
【海外規格精通シリーズ】 新・製品安全規格 IEC 62368-1	国際化推進室	50	1	3	2/13
【グローバル人材育成 欧州編】 欧州向け製品輸出入門・中小企業人材育成塾グローバル研修「CE マーキング入門+改正 RoHS 指令入門」	国際化推進室	41	1	4.5	2/16

名称	担当部署	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
【現場で役立つシリーズ】 実践 RoHS 指令が求める技術文書作成方法	国際化推進室	15	1	4	2/21
MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第6回)	国際化推進室	11	1	2	2/28
【現場で役立つシリーズ】 実践 設計者のための IEC 61010-1	国際化推進室	23	1	4	3/9
MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第6回)	国際化推進室	14	1	2	3/14
世界に通用するものづくりセミナー 国際標準化を活用した海外展開戦略	国際化推進室	49	1	4	3/22
【グローバル人材育成 アジア編】 マレーシア、シンガポール、タイの認証制度	国際化推進室	4	1	2	3/27
世界に通用するものづくりセミナー フタル酸エステル類規制への対応	国際化推進室	127	1	4	3/28
MTEP V-learning CE マーキング入門	国際化推進室	20	1	1.5	-
MTEP V-learning EMC 指令入門 (EMC 指令の入門と事例)	国際化推進室	17	1	1.5	-
MTEP V-learning 機械指令入門 (欧州 CE マーキングの制度へ機械指令 2006/42/EC)	国際化推進室	15	1	1.5	-
MTEP V-learning 低電圧指令入門	国際化推進室	19	1	1.5	-
MTEP V-learning RoHS 指令入門	国際化推進室	18	1	1.5	-
MTEP V-learning 中国規格入門	国際化推進室	15	1	1.5	-
MTEP セミナー	39 件	1,203	41	102.3	

## (3) その他のセミナー

名称	担当部署	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
● バンコクセミナー					
サービス工学と文脈中心設計入門 (第1回)	バンコク支所	22	1	3	7/31
サービス工学と文脈中心設計入門 (第2回)	バンコク支所	18	1	3	8/1
RoHS 規制の基本およびその対応方法	バンコク支所	35	1	3	9/26
タイにおける試験機関の活用 -BOKEN, SGS (Thailand)-	バンコク支所	22	1	2	9/29
タイにおける試験機関の活用 -コベルコ科研-	バンコク支所	16	1	2	10/17
タイにおける試験機関の活用 -Thai-German Institute-	バンコク支所	12	1	2.5	10/20
金属製品の防錆対策	バンコク支所	7	1	2	12/8
鉄鋼材料の基礎～材料の使い方から基本的な性質～	バンコク支所	13	1	2.5	12/12
タイにおける試験機関の活用 “IS Industrie (Thailand) Ltd.”	バンコク支所	9	1	2	12/14
タイにおける試験機関の活用 “IMV(Thailand) Co., Ltd.”	バンコク支所	7	1	2.5	12/19
金型への表面処理適用の現状とポイント	バンコク支所	4	1	3.5	1/1

平成29年度 年報

名称	担当部署	受講 (名)	規模		
			日数	時間	開催 初日
タイにおける試験機関の活用 “TUV RHEINLAND THAILAND LTD.”	バンコク支所	8	1	2	1/25
品質管理と“人”資源の活用	バンコク支所	16	1	2.5	2/1
プラスチック材料の基礎	バンコク支所	7	1	2.5	2/8
タイにおける現場改善と現地化、モチベーションアップ	バンコク支所	19	1	3	2/8
品質管理のための振動試験	バンコク支所	6	1	2	2/28
ものづくり企業交流会 in バンコク	バンコク支所	50	1	4	3/9
タイにおける試験機関の活用 “ESPEC ENGINEERING (THAILAND) CO., LTD.”	バンコク支所	4	1	2	3/15
めっき技術の基礎	バンコク支所	13	1	3	3/22
●開設記念セミナー					
デザインスタジオ・ものづくりスタジオ開設プレセミナー (ねじの事故例とその原因に見る事故を未然防止するための方策)	城東支所	36	1	1.5	9/21
デザインスタジオ・ものづくりスタジオ第1回開設記念 セミナー (活用から学ぶ最適な3Dプリンターの選び方)	城東支所	29	1	2	11/30
デザインスタジオ・ものづくりスタジオ第2回開設記念 セミナー (デザインのチカラでものづくりの一步先へ)	城東支所	25	1	2	1/23
●連携セミナー・イノベーション発信交流会・ロボット産業活性化事業セミナー					
平成29年度 第1回ロボット産業活性化事業セミナー 「サービスロボット」「協働ロボット」の安全性	プロジェクト企画室	131	1	3.5	3/1
平成29年度第3回IoTセミナー	プロジェクト企画室	93	1	3	11/21
平成29年度第4回IoTセミナー	プロジェクト企画室	82	1	2.5	2/27
航空機産業支援室開設プレセミナー(航空機産業に係る国 際規格対応の試験設備の導入など)	プロジェクト企画室	42	1	3.5	11/24
中小企業のためのサイバーセキュリティイベント	経営企画室	131	1	4	11/2
生産工程のモットイナイ改善	技術経営支援室	8	1	6	12/7
平成29年度 第2回 ロボット産業活性化事業セミナー ロボットと創る未来～物流・接客ロボットの進化～	プロジェクト企画室	204	1	3.5	3/14
戦略的マーケティング入門 (製品提供型企業からソリューション提供型企業へ)	技術経営支援室	13	2	6	1/24
東京イノベーション発信交流会	交流連携室	290	1	4	2/2
医療用電気機器の通則 JIS T 0601-1:2017	交流連携室	84	1	4	3/5
都産技研医療機器産業参入支援事業 キックオフ記念セ ミナー ライフサイエンス イノベーション発信セミナー	交流連携室	34	1	7	11/13
日・タイ経済協力セミナー	国際化推進室	75	1	2	5/22
日・タイ経済協力セミナー第2回	国際化推進室	38	1	2	9/25
その他セミナー	35件	1,603	36	105.5	

※「G」グループの略、「S」セクターの略

## 5.2 オーダーメイドセミナー

時期・内容など、個別企業等の依頼者のニーズに合わせ、随時セミナーを実施した。  
平成29年度は89件実施した。

担当	実施 件数	主な指導内容
IoT 開発セクター	2	Arduino 開発入門、PIC のデバッグ方法
国際化推進室	9	改正 RoHS 指令、CE マーキング、ISO に基づいた機械安全 マネジメントシステム、環境
電気電子技術グループ	1	鉛フリーはんだ付け講習
機械技術グループ	8	金属熱処理スーパーマイスタープログラム、トライボロ ジーの基礎、非破壊検査
光音技術グループ	2	卓上型会話支援システム
表面・化学技術グループ	6	粉砕機の使用方法和体験、VOC 排出抑制に関する知識およ び技術の習得、発注者のためのめっき入門-めっき技術の 基礎-
環境技術グループ	7	RoHS2 指令の概要と対策、REACH 規則の概要と対策
バイオ応用技術グループ	1	照射食品検知法
デザイン技術グループ	14	自社ブランド育成講座、TOKYO 起業塾、アパレル生産工程 の体験、ホームページの改善
生活技術開発セクター	2	繊維製品の評価
3D ものづくりセクター	2	計測機器の使用方法和、管理および校正と図面表記
先端材料開発セクター	4	ビーズミルの原理と微粉砕技術、高分解能走査電子顕微鏡 による亜鉛ダイカストの材料解析
総合支援課	6	特許情報調査セミナー、事業化チャレンジ道場
電子・機械グループ	2	自動運転装置の基本設計・回路の説明および作製
複合素材開発セクター	17	繊維の基礎と繊維製品の製造工程、テキスタイルアドバイ ザー実習
情報技術グループ	2	FPGA の基礎
プロジェクト事業化推進室	3	要求仕様のまとめ方、プログラミング入門・ソフトデバッ グ入門
城東支所	1	赤外分光分析実習
計	89	

## 5.3 講師・委員等の派遣

### 5.3.1 委員等の派遣

高度な専門知識を持つ職員を、大学、学術団体、産業界、行政機関などへ評価委員や専門委員として、89 機関合計 151 名を派遣した。

主な派遣機関は以下のとおりである。

内閣府

国立研究開発法人産業技術総合研究所

公益財団法人日本発明振興協会

一般社団法人日本繊維機械学会

一般社団法人日本トライボロジー学会

一般社団法人日本マグネシウム協会

一般財団法人日本規格協会

一般財団法人機械振興協会

公益財団法人東京都中小企業振興公社

独立行政法人日本学術振興会 など

### 5.3.2 講師等の派遣

大学との連携強化や社会への知的貢献を目的として、高度な専門知識を持つ職員を大学、学術団体、産業界、行政機関などへ非常勤講師や指導員として、41 機関合計 54 名を派遣した。

主な派遣機関は以下のとおりである。

環境省

法政大学

明治大学

山梨大学

東京学芸大学

首都大学東京

東京都立産業技術高等専門学校

東京都鍍金工業組合

公益社団法人日本分析化学会

一般社団法人日本熱処理技術協会

地方独立行政法人大阪産業技術研究所 など

## 5.4 インターンシップなどの受け入れ

## 5.4.1 インターンシップの受け入れ

職業体験による職業意識の向上と、公設試の業務について理解を深めてもらうことを目的にインターンシップを実施し、2 大学、1 高等専門学校、1 高等学校より 11 名を受け入れた。

	受け入れ相手先		人数	受け入れ部署	受け入れ期間
1	東京理科大学 工学部 機械工学科		1	機械技術グループ	平成29年 8月21日 ～平成29年 9月 5日
2	首都大学 東京	都市教養学部理工学系物理学コース	1	生活技術開発セクター	平成29年 8月17日 ～平成29年 8月23日
		システムデザイン学部知能機械システムコース	1	城南支所	平成29年 8月28日 ～平成29年 9月 1日
		システムデザイン学部航空宇宙システム工学コース	1	城南支所	平成29年 8月28日 ～平成29年 9月 1日
		都市教養学部理工学系物理学コース	1	光音技術グループ	平成29年 8月28日 ～平成29年 9月 1日
		都市教養学部理工学系化学コース	1	環境技術グループ	平成29年 9月 4日 ～平成29年 9月 8日
		システムデザイン学部航空宇宙システム工学コース	1		
3	東京都立 産業技術 高等専門 学校	専攻科創造工学専攻電気電子工学コース	1	電気電子技術グループ	平成29年 9月 7日 ～平成29年 9月21日
		ものづくり工学科医療福祉工学コース	1		
4	東京都立多摩工業高等学校		2	多摩テクノプラザ	平成30年 2月 7日 ～平成30年 2月 9日

## 5.4.2 研修学生の受け入れ

大学・大学院の学生を一定期間受け入れ、人材育成や専門技術の習得に寄与した。平成29年度は7大学より15名の研修学生を受け入れた。

	受け入れ相手先	人数	受け入れ部署	受け入れ期間
1	芝浦工業大学大学院 理工学研究科工学専攻	1	機械技術グループ	平成28年 4月15日 ～平成30年 3月31日
2	東京電機大学 理工学部	1	バイオ応用技術グループ	平成29年 4月13日 ～平成29年 6月30日
3	成蹊大学 理工学部	1	表面・化学技術グループ	平成29年 4月13日 ～平成30年 3月31日
4	千葉工業大学 工学部	4	表面・化学技術グループ	平成29年 5月25日 ～平成30年 3月31日
5	東京理科大学大学院 総合化学研究科	1	城南支所	平成29年 6月21日 ～平成30年 3月31日
6	東京電機大学 理工学部	1	バイオ応用技術グループ	平成29年 7月10日 ～平成30年 3月31日
7	立教大学大学院 理学研究科	2	経営情報室	平成29年 8月 8日 ～平成30年 3月31日
8	東京大学大学院 工学系研究科	1	表面・化学技術グループ	平成29年10月4日 ～平成30年 9月30日
9	東京大学大学院 工学系研究科	1	表面・化学技術グループ	平成29年10月 4日 ～平成30年 2月28日
10	成蹊大学 理工学部	2	環境技術グループ	平成29年11月 8日 ～平成30年 3月31日

## 6. 情報発信・情報提供の推進

## 6.1 イベント開催

研究・技術開発により得られた成果および企業と共同で行った製品化の結果などを広く中小企業や都民に紹介するために、施設公開や講演会などを開催した。

## 6.1.1 TIRI クロスミーティング

都産技研の技術シーズや研究成果を発信する「TIRI クロスミーティング」を平成 29 年 6 月 8 日・9 日に開催した。都産技研だけでなく、企業や他機関と実施した共同研究成果や連携機関からの発表などを行った。2 日間で基調講演・特別発表等を 7 テーマ、パネルディスカッションを 1 テーマ、口頭発表を 81 テーマ、616 名の参加があった。口頭発表後には、パネルおよび成果品の展示を行い、来場者と発表者の交流を図った。6 月 8 日は、中小企業の IoT 化支援事業および障害者スポーツ研究開発推進事業の公募型共同研究事業説明会を併せて実施した。

平成 29 年 6 月 8 日（木）

<環境・エネルギー> 研修室 241・研修室 243・研修室 244

題 目	所 属	発表者名
絆創膏サイズのフレキシブル電流センサ	(国研)産業技術総合研究所	山下崇博
印刷技術で製造可能なフレキシブルシート状熱電変換素子	(国研)産業技術総合研究所	末森浩司
固体高分子形燃料電池の膜電極作製と評価	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	国松昌幸
亜鉛めっき排水中のアンモニア成分の除去方法の検討	環境技術グループ	森久保 諭
黒雲母を利用した成分徐放-局所沈殿による六価クロム排水処理法の開発	複合素材開発セクター	杉森博和
天然物を利用した金属イオン捕集法の検討	表面・化学技術グループ	木下健司
高効率無機/有機ハイブリッド太陽電池	東京電機大学	佐藤慶介
マグネシウム蓄電池の開発	埼玉県産業技術総合センター	栗原英紀
金属空気電池および燃料電池のための窒素ドーブ多孔性カーボンナノ粒子触媒を用いた高出力酸素電極	先端材料開発セクター	立花直樹
拡散係数計測型光イオン化検出器の安定化	城南支所	平野康之
GD-MS 分析を用いたレアメタル金属中の微量成分の定量	城南支所	山田健太郎
RoHS指令に対応した樹脂に含有する六価クロム分析方法の改良	環境技術グループ	中澤亮二
レーザーアブレーションによって生じる試料エアロゾルのサイズ分布と元素構成の解明	城南支所	林 英男
アルミナ単体で構成される、金属光沢・低熱伝導性メソポーラス膜	(国研)産業技術総合研究所	小平哲也
産業用繊維資材の汚染ガスと光による複合試験	複合素材開発セクター	岡田明子
塗料スラッジのエネルギーリサイクルに関する検討	開発企画室	田熊保彦
熱電対校正の高温領域への拡大	実証試験セクター	沼尻治彦
多点式温度センサの開発	実証試験セクター	沼尻治彦
放熱シートにおける熱伝導率と実際の放熱効果	(公財)鉄道総合技術研究所	上條弘貴
コードレス炉内温度測定方法の開発	(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	藤井 寿

## 平成29年度 年報

### <生活技術・ヘルスケア> 会議室 531

題 目	所 属	発表者名
【特別発表】 「重さをはかる」から「健康をはかる」へ ー健康を「見える化」するタニタの商品開発ー	(株)タニタ 企画開発部 主任研究員	西澤美幸 氏
【特別発表】 サイエンスとテクノロジーから競技スポーツにイノベーションを起こす	東京工業大学 工学院 システム制御系 教授	中島 求 氏
視線による遠隔位置制御手法の開発とそのシステム化	生活技術開発セクター	大島浩幸
導電性テキスタイルを活用した生体情報モニタリングウェアの開発	生活技術開発セクター	添田 心
パーソナルトレナーズーツ ー着用により上半身の筋力トレーニングを計測ー	生活技術開発セクター	後濱龍太
装着のしやすい下肢動作支援ロボットの開発	デザイン技術グループ	加藤貴司

### <安全・安心> 研修室 241

題 目	所 属	発表者名
高精細画像のクラック自動抽出による構造物調査システム FOCUS- $\alpha$	(株)アルファ・プロダクト	原 徹
SH波による外面からのドラム缶内面欠損調査システム SHEED	(株)アルファ・プロダクト	原 徹
3次元画像からの空隙率測定方法の開発	情報技術グループ	大平倫宏

### <IoT> 講堂・研修室 244・会議室 233

題 目	所 属	発表者名
【基調講演】 IoT時代のビジネス・イノベーション ー日本の新たなモノづくりをどう方向付けるかー	東京大学 政策ビジョン研究 センター シニア・リサーチャー	小川絃一 氏
IoTテストベッドの概要およびOPC UAとクラウドを利用した制御実験	(地独)神奈川県立産業技術総合 研究所	奥田 誠
AIIT PBL「ウェブ上のデータを活用した混雑分析及び予測システムの開発」	産業技術大学院大学	中野美由紀
IoT環境とヒトのインタラクションを媒介し情報伝達を効率化する認知支援技術	(国研)産業技術総合研究所	大山潤爾
IoR(Internet of Robots) : ICTの利活用による複数台ロボットサービスの研究開発	芝浦工業大学	菅谷みどり
ぼけ・地色・裏写りに対応した劣化画像から鮮明な画像への復元技術	東京理科大学	田邊 造
著作権管理可能なP2P配信技術	東京電機大学	小川猛志
興味関心推定に向けたiBeaconとスマートフォンセンサによる人の行動認識に関する研究	首都大学東京	下川原英理
広角監視カメラ映像からの人物動作認識手法の開発	情報技術グループ	三木大輔
FPGAの内部リソースを使った高性能A/D変換器の開発	情報技術グループ	岡部 忠
レーザ光を用いた水中測距技術への取り組み	(株)トリマティス	野田健太
東京型統合環境制御生産システムの開発	(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター	中村圭亨
施設園芸向け無線統合環境制御システムの開発	IoT 開発セクター	仲村将司
データベースの秘匿検索技術	(国研)産業技術総合研究所	縫田光司

平成 29 年 6 月 9 日 (金)

### <環境・エネルギー> 研修室 244

題 目	所 属	発表者名
知財から見たエネルギー技術の動向と今後のビジネス	明星大学	石田隆張
宇宙用プラズマ推進機の研究開発	首都大学東京	渡邊裕樹
イオン伝導性ナノファイバーの燃料電池、二次電池応用	首都大学東京	田中 学

## &lt;生活技術・ヘルスケア&gt; 会議室 531

題 目	所 属	発表者名
<b>【特別発表】</b> 化粧品の開発と評価 ー化粧品の変異の解明から機能性粉体へー	福井技術士事務所 代表	福井 寛 氏
においの可視化技術による評価方法	生活技術開発セクター	佐々木直里
生体活性ナノ材料の迅速形成技術	(国研)産業技術総合研究所	大矢根綾子
高ゲル化温度ゼラチンの再生医療における細胞輸送への応用	バイオ応用技術グループ	大藪淑美
吸水後に膨潤および硬化するゼラチンスポンジの開発	バイオ応用技術グループ	成田武文
汎用インフルエンザ検査チップの開発	バイオ応用技術グループ	紋川 亮
タンパク質凝集ならびに関連疾患解析・診断への画期的新手法の開発	バイオ応用技術グループ	八谷如美

## &lt;機能性材料&gt; 講堂・研修室 243・会議室 233

題 目	所 属	発表者名
<b>【基調講演】</b> 自動車におけるCFRTPの現状と成形加工における課題	長岡国際技術士事務所 所長	長岡 猛 氏
連続炭素繊維強化ポリアミド6のオゾン酸化処理による強度向上	埼玉県産業技術総合センター	小熊広之
ポリビニルアルコール材料表面を簡便に機能化できる化学修飾剤の開発	首都大学東京	西藪隆平
新規バイオポリエステル合成系構築の検討	複合素材開発セクター	渡辺世利子
純チタンの成形限界測定およびデータベース構築	機械技術グループ	奥出裕亮
アークアシストグロー放電による鉄鋼の表面窒化	機械技術グループ	中村 勲
多孔質シリカ内の酸化チタン系光触媒活性の向上	先端材料開発セクター	染川正一
ナノポーラスシリカを用いたナノグラフェンの蛍光増強効果	先端材料開発セクター	藤巻康人
金属ナノ構造配列の形成とプラズモン応用	首都大学東京	近藤敏彰
共役高分子の合成とケミカルセンサへの応用	東京電機大学	足立直也
光機能性シリカ系材料	首都大学東京	梶原浩一
環境調和型分子変換を可能にする担持合金ナノ粒子触媒の開発	首都大学東京	三浦大樹

## &lt;安全・安心&gt; 研修室 241

題 目	所 属	発表者名
放射線誘起化学反応の応用 ーOHラジカル消去能評価システムの開発ー	バイオ応用技術グループ	中川清子
放射線遮へい材の遮へい能解析に基づいた複合遮へいシートの開発	バイオ応用技術グループ	河原大吾
高電圧試験時における隔離距離に関する一考察	電気電子技術グループ	黒澤大樹
EFT/Bの波形観測と耐性向上の検討	電子・機械グループ	佐々木秀勝
時間一周波数解析を用いた放射ノイズ源推定方法の検討	電子・機械グループ	佐野宏靖
プラズモン共鳴デバイスの開発	電気電子技術グループ	永田晃基
廉価な60GHzIEEE802.11ad用測定ソリューションの共同開発	電気電子技術グループ	藤原康平

## &lt;ロボット&gt; 東京イノベーションハブ

題 目	所 属	発表者名
<b>【特別発表】</b> 実用化に向けた点検ロボットの開発について	(株)イクスリサーチ 代表取締役	山崎文敬 氏
<b>【特別発表】</b> 業務効率化を目的とした自律移動型ロボット導入の可能性について	日本ユニシス(株) 上級コンサルタント	原 広仁 氏

平成29年度 年報

題 目	所 属	発表者名
【パネルディスカッション】 ロボット産業活性化ー開発から事業フェーズへー	日本ユニシス(株) 上級コンサルタント	原 広仁 氏 ほか3名
屋外用T型ロボットベース「Taurus (トールス)」の研究 開発	プロジェクト事業化推進室	益田俊樹
安全性を考慮したT型ロボットベース制御基板の開発	プロジェクト事業化推進室	吉村僚太
通訳ロボット実現のための音声処理の開発	プロジェクト事業化推進室	鈴木 薫
移動作業型ロボットの安定性に関する設計と評価	プロジェクト事業化推進室	森田裕介

<ものづくり要素技術> 研修室 243・研修室 244

題 目	所 属	発表者名
新型リフレクトメータの開発	デザイン技術グループ	酒井日出子
伸び計測器の違いが金属材料0.2%耐力測定に及ぼす影響	実証試験セクター	新垣 翔
多孔質円盤を用いた流体機械装置への応用事例	機械技術グループ	小西 毅
3次元デジタル計測による円形ダイス鋼材の焼入れ前 後の変形性状	城東支所	木暮尊志
17-4PH粉末積層造形材の機械的性質に及ぼす熱処理の影響	3Dものづくりセクター	大久保 智
金属積層造形における内部欠陥および機械的性質に及ぼ す造形入熱条件の影響	3Dものづくりセクター	千葉浩行
船舶用扉のルーバーによる遮音性能低下の改善	光音技術グループ	渡辺茂幸
紙のばねによる輸送振動の低減	機械技術グループ	岩田雄介
CFRP製振動試験用加振治具の開発 (中間報告)	千葉県産業支援技術研究所	新保栄一
複数の加振器を用いた高周波振動試験手法の検討	機械技術グループ	福田良司

### 6.1.2 施設公開

都産技研の主要施設、設備を中小企業および都民に公開し、各種事業の理解を得るとともに、産業技術の普及を図ることを目的に各事業所で施設公開を開催している。

城東支所は葛飾区の産業イベント、城南支所は大田区の産業イベントと同時開催した。多摩テクノプラザは、産業サポートスクエア・TAMA の各支援機関のイベントと同時開催した。墨田支所は、墨田区内企業への認知度向上と地域貢献を目的に「スミファ」へ初参加した。

本部、墨田支所および多摩テクノプラザでは、入場者の職層、年齢層を設定し、ビジネスデー、ファミリーデーとして、内容を変えて開催した。本部のファミリーデーは要望の多かった夏休み開催とし、自由研究に役立つ工作教室を中心に実施した。

事業所	公開日	日数	入場者数(名)
本部 (INNOVESTA! 2017) ビジネスデー	平成29年 9月 8日(金)	1 日間	377
本部 (INNOVESTA! 2017) ファミリーデー in 夏休み	平成29年 8月10日(木)	1 日間	341
城東支所	平成29年10月20日(金)～22日(日)	3 日間	2,400
墨田支所 生活技術開発セクター	平成29年11月24日(金)～25日(日)	2 日間	135
城南支所	平成29年10月26日(木)～27日(金)	2 日間	288
多摩テクノプラザ (多摩テクノフェア)	平成29年10月27日(金)～28日(土)	2 日間	2,170
	計	11 日	5,711

#### (1) 本部 (INNOVESTA! 2017)

##### 1) ビジネスデー (9月8日)

特別講演 (3 テーマ)、海外展開特別セミナー (1 テーマ)、ワークショップ (11 テーマ)、製品化支援ラボ入居企業の紹介 (5 企業)、連携機関 (ポスター展示 16 件、資料配布 18 件)、見学 17 テーマ、実演 17 テーマなど

##### 2) ファミリーデー in 夏休み (8月10日)

工作教室 (5 テーマ×2 回)、サイエンスショー (2 公演)、ワークショップ (2 テーマ)、見学ツアー (3 コース×3 回) など

##### 3) 両日開催

ロボット開発セクター開発ロボット展示

#### (2) 城東支所

##### 1) 展示・実演・体験

工作機械の展示、顕微鏡観察、アメリカンフラワー作り、デザインスタジオでのオリジナルカレンダー・キーホルダー作り

##### 2) クイズラリーによる装置等の見学 (記念品贈呈)

##### 3) 同時開催

第33回葛飾区産業フェア「がんばってます! 葛飾」(工業・商業・観光展)

主催: 葛飾区、葛飾区産業フェア運営委員会、東京商工会議所葛飾支部

(3) 墨田支所 生活技術開発セクター

1) ビジネスデー (11月24日)

無料セミナー「被験者試験 はじめの一步～温熱的快適性を評価しよう～」

機器紹介(体験)：サーモグラフィ、bodySCAN、マイクロスコープ

実験室公開：日射フィールド試験室、生活環境試験室、被服科学試験室、生活科学試験室、生活製品開発ラボ、生活空間計測スタジオ

2) ファミリーデー (11月25日)

施設見学：日射フィールド試験室(サーモグラフィデモ)、生活環境試験室、被服科学試験室、生活科学試験室、高度観察システム室、生活製品開発ラボ(レーザー加工機デモ)、生活空間計測スタジオ(bodySCANデモ)

ワークショップ：熱転写プリント

3) 同時開催

スミファ ーすみだの町工場でお会いしよう！ー

主催：スミファ実行委員会(11月25、26日開催。都産技研は25日のみ参加)

共催：墨田区

(4) 城南支所

1) 展示・実演・体験

三次元レーザー加工機で製作した試作品の提供、光造形システムのテクノロジー、電子顕微鏡での50万倍の世界、恒温恒湿室による低温環境の体験など

2) スタンプラリーによる装置の見学(記念品贈呈)

3) 同時開催

第7回おおた研究・開発フェア

主催：大田区、公益財団法人大田区産業振興協会

(5) 多摩テクノプラザ(多摩テクノフェア)

1) ビジネスデー(10月27日)

記念講演「VR2.0の世界」、特別セミナー「VCCI 新規定への対応」、わいわいテクノカフェ、ミニセミナー(6テーマ)、研究成果、試験機器のデモ・紹介

2) ファミリーデー(10月28日)

ドーム上映「いのち探検I」、サイエンスショー(2回)、講演会「超人スポーツが描く未来～スポーツ×テクノロジーが生み出す人機一体～」

3) 「産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー」企画(10月28日)

各施設を回るスタンプラリー(記念品贈呈)、各支援機関紹介パネル展示(正門隣ポケットパーク)

4) 同時開催

産業サポートスクエア・TAMA ウェルカムデー

主催：公益財団法人東京都中小企業振興公社多摩支社、東京都商工会連合会、

公益財団法人東京都農林水産振興財団、東京都立多摩職業能力開発センター

### 6.1.3 産業交流展

産業交流展は、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に事業所を有する中小企業などの優れた技術や製品を、分野を越えて一堂に展示する首都圏最大規模の見本市であり、国内外への販路開拓による受発注の拡大、情報収集・情報交換などを促進することを目的とする展示会である。実行委員会の一員として企画運営に参画するとともに、出展を行った。

開催日：平成29年11月15日（水）～11月17日（金）

会場：東京ビッグサイト西1・3・4ホール

同時開催：世界発信コンペティション表彰式、東京都経営革新優秀賞表彰式、  
東京の中小企業魅力発見ツアー、九都県市合同商談会2017など

主催：産業交流展2017実行委員会

出展内容：首都圏テクノネットワークゾーン

事業および成果の展示紹介、製品開発支援ラボ入居企業5社出展

TKF、つくば市ほか連携機関の出展

次世代ロボットゾーン

ロボット産業活性化事業の紹介、案内ロボットのデモンストレーション

### 6.1.4 その他イベント

#### (1) サイエンスアゴラ2017

「サイエンスアゴラ2017」に出展し、タッチラリーに協力するとともに、以下のプログラムを実施した。

開催日：平成29年11月24日（金）～26日（日）

※都産技研は24日（金）、25日（土）参加

会場：テレコムセンタービル

プログラム：観光案内ロボットの実演

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

#### (2) 子ども科学技術教室

小中学生と同伴する大人（都内在住もしくは在学）を対象とする体験型イベントを実施した。

開催日：平成29年8月3日（木）、4日（金）

会場：多摩テクノプラザ

参加者：75組172名

内容：各日2テーマ

## 6.2 見学

都内の中小企業、商工関連業界、学校、自治体等からの要望に応じて、見学・視察を受け入れた。都産技研の役割および各種事業や研究成果、機器等を紹介し、知名度向上と産業技術の普及に努めている。

平成 29 年度施設見学受け入れ件数・見学者数

庁舎	本部	城東	墨田	城南	多摩テクノプラザ	合計
件数 (件)	100	17	48	18	26	209
見学者数 (名)	1,815	246	383	128	464	3,036

## 6.3 展示会出展およびセミナーの開催

### 6.3.1 展示会出展

研究開発・技術開発の成果および企業と共同して行った製品化事例などを、広く中小企業や都民に紹介するため、都産技研は展示会や講演会などを主催するとともに、外部の展示会にも出展した。パネル展示、試作品、デモ実演、模型などを活用し、技術移転を推進した。加えて、依頼試験や機器利用など事業紹介を行い、都産技研の認知度向上および利用拡大に努めた。

#### (1) 東京都・区市関連

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
1	Tokyo ふしぎ祭 (サイ) エンス 2017	東京都	4月23日	日本科学未来館	ホバークラフト工作教室
2	第10回大田区加工技術展示商談会	大田区、(公財)大田区産業振興協会、(一社)大田工業連合会	7月7日	大田区産業プラザ Pi0	事業・設備等の紹介、プレゼン「先端計測加工ラボの活用によるものづくり支援」
3	ものづくり・匠の技の祭典 2017	ものづくり・匠の技の祭典 2017 実行委員会 (産業労働局雇用就業部)	8月9～11日	東京国際フォーラム	城東支所、墨田支所、城南支所が行っている技術支援の紹介や試験機器の実演
4	ものづくり商談会	品川区、江東区、目黒区、板橋区、江戸川区	9月5日	品川区産業支援交流施設	事業・設備等の紹介
5	千葉工業大学研究発表会	千葉工業大学	9月7日	千葉工業大学津田沼キャンパス	事業・技術シーズの紹介
6	第28回 府中市工業技術展 ふちゅうテクノフェア	府中市	10月13～14日	府中市市民会館	多摩テクノプラザ事業紹介
7	おおた商い (AKINAI)・観光展 2017	大田区、(公財)大田区産業振興協会、(一社)大田工業連合会	10月14～15日	大田区産業プラザ Pi0	チリンロボットによるイベント紹介(プロジェクト事業推進部)、都産技研紹介(城南支所)
8	練馬産業見本市 ねりま EXP02017	練馬区	10月15日	としまえん屋内館	事業・設備等の紹介
9	第33回葛飾区産業フェア	葛飾区、東京商工会議所葛飾支部、葛飾区産業フェア運営委員会	10月20～22日	テクノプラザかつしか/東京都城東地域中小企業振興センター	城東支所事業紹介

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
10	第7回おおた研究開発フェア	大田区、(公財)大田区産業振興協会	10月26～27日	大田区産業プラザPi0	事業・研究等の紹介、支所施設公開同時開催
11	第50回青梅産業観光まつり	青梅商工会議所	11月4～5日	青梅市永山公園グラウンド	工作教室
12	第21回いたばし産業見本市	いたばし産業見本市実行委員会	11月9～10日	板橋区立東板橋体育館	城東支所、ロボット産業活性化事業
13	第49回昭島市産業まつり	昭島市	11月11～12日	KOTORI ホール(市民会館)・公民館	多摩テクノプラザ事業紹介
14	第19回産業ときめきフェア in EDOGAWA	江戸川区	11月17～18日	タワーホール船堀	城東支所紹介
15	第22回 高度技術・技能展 おおた工業フェア	大田区、(公財)大田区産業振興協会、(一社)大田工業連合会	1月31日～2月2日	大田区産業プラザPi0	城南支所事業・設備等の紹介
16	品川情報クラスターフェア2018	品川情報クラスター実行委員会、品川区	2月2日	大崎ブライトコアホール	ロボット事業紹介、ロボットデモ
17	ライフ・ワーク・バランスフェスタ東京2018	東京都	2月8日	東京国際フォーラム	デザイングループ製品化事例、ロボットデモ
18	第4回 町工場見本市 2018	葛飾区、東京商工会議所葛飾支部	2月8～9日	東京国際フォーラム	城東支所事業紹介
19	第17回たま工業交流展	たま工業交流展実行委員会(立川商工会議所)	2月22～23日	東京都立多摩職業能力開発センター	多摩テクノプラザ事業紹介

## (2) 金融機関関連

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
1	ビジネスマッチング交流会'17	昭和信用金庫	7月14日	新宿 NS ビル	事業・設備等の紹介
2	第9回シグマバンクグループビジネス交流会	シグマバンクグループ	8月4日	東武ホテルレバント東京	事業・設備等の紹介
3	2017 "よい仕事おこし"フェア	城南信用金庫	8月22～23日	東京国際フォーラム	事業・設備等の紹介
4	江戸・TOKYO 技とテクノロジーの融合展 2017	東京信用保証協会	9月28日	東京国際フォーラム	生活技術開発セクター研究紹介等
5	さわやか信用金庫 第13回ビジネスフェア 第8回物産展	さわやか信用金庫	10月19日	大田区産業プラザPi0	ビジネスマッチング2件、小学校社会科見学で都産技研紹介(城南支所)およびチリンロボット実演(プロジェクト推進室)
6	ひがしんビジネスフェア 2017	東京東信用金庫	11月10日	両国国技館	事業・設備等の紹介

## (3) 民間団体その他

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
1	ワイヤレス・テクノロジー・パーク 2017	(国研)情報通信研究機構、YRP研究開発推進協会 ほか	5月24～26日	東京ビッグサイト	研究開発紹介
2	第24回燃料電池シンポジウム	(一社)燃料電池開発情報センター	5月25～26日	タワーホール船堀	研究開発紹介
3	JPCA Show 2017	(一社)日本電子回路工業会	6月7～9日	東京ビッグサイト	研究開発紹介

平成29年度 年報

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
4	第4回 Mfair バンコク 2017 ものづくり商談会	Factory Network Asia (Thailand)Co., Ltd./Reed Tradex Co., Ltd.	6月21～23日	Bangkok International Trade & Exhibition Centre (BITEC)	事業紹介、設備紹介
5	ロジスティクスソリューションフェア 2017	(公社)日本ロジ スティクスシス テム協会	8月29～30日	東京ビッグサイト	ロボット事業紹介、ロボッ トデモ
6	エヌプラス	(一社)プラスチ ック工業技術研 究会	9月13～15日	東京ビッグサイト	複合素材開発サイト成果事 例、事業紹介
7	ツーリズム EXPO ジャパン 2017	(公社)日本観光 振興協会、(一 社)日本旅行業 協会 (JATA)、 日本政府観光局 (JNTO)	9月21～24日	東京ビッグサイト	ロボット事業紹介、ロボッ トデモ
8	CEATEC JAPAN 2017	CEATEC JAPAN 実施協議会	10月 3～ 6日	幕張メッセ	情報技術グループ研究紹介
9	Bio Japan 2017	(株)JTB コミュ ニケーションデ ザイン ほか	10月11～13日	パシフィコ横浜	バイオ応用技術グループ研 究紹介
10	IGEM2017	Malaysian Exhibition Services Sdn Bhd	10月11～13日	KLCC (Kuala Lumpur Convention Centre)	事業紹介、開発製品の品質 や性能を見える化
11	CSJ 化学フェスタ	(公社)日本化学会	10月17～19日	タワーホール船堀	先端材料開発セクター研究 紹介、事業紹介
12	けいはんな情報通信フェア 2017	けいはんな情報 通信フェア実行 委員会	10月26～28日	けいはんなプラザ	「チリンロボット」による 会話・案内機能のデモ
13	62nd FRP CON-EX2017	(一社)強化プラ スチック協会	11月13～14日	コラッセふくしま	複合素材開発セクター事業 紹介
14	Embedded Technology 2017	(一社)組込みシ ステム技術協会	11月15～17日	パシフィコ横浜	情報技術グループ、電子・ 機械グループ研究紹介
15	HOSPEX Japan 2017	(一社)日本医療 福祉設備協会、 (一社)日本能率 協会	11月20～22日	東京ビッグサイト	ロボット事業紹介、ロボッ トデモ
16	METALEX 2017	ReedTradex Co.,Ltd	11月22～25日	Bangkok International Trade & Exhibition Centre (BITEC)	バンコク支所事業紹介
17	2017 国際ロボット展	(一社)日本ロボ ット工業会、 (株)日刊工業新 聞社	11月29日～ 12月 2日	東京ビッグサイト	ロボット事業紹介、ロボッ トデモ
18	第8回クルマの軽量化技術 展	リード エグジ ビジョン ジャ パン(株)	1月17～19日	東京ビッグサイト	多摩テクノプラザ研究紹介
19	東京 FPGA カンファレンス 2018 with プログラマブ ルデバイスプラザ	(特非)FPGA コ ンソーシアム	1月19日	都産技研 本部	都産技研事業紹介、FPGA 研 究紹介
20	第8回化粧品開発展	リード エグジ ビジョン ジャ パン(株)	1月24～26日	幕張メッセ	化粧品開発支援事業紹介

No.	展示会名	主催	開催月日	場所	出展内容
21	3D PRINTING 2018	(株)JTB コミュニケーションデザイン	2月14～16日	東京ビッグサイト	3Dものづくりセクターを中心とした3D造形事業紹介
22	SURTECH 2018	(株)JTB コミュニケーションデザイン	2月14～16日	東京ビッグサイト	表面・化学技術グループ、環境技術グループ研究紹介
23	インバウンドマーケット EXPO 2018	(一社)日本能率協会、(一社)日本ホテル協会、(一社)日本旅館協会、(一社)国際観光日本レストラン協会、(公社)国際観光施設協会	2月20～23日	東京ビッグサイト	ロボット事業紹介、ロボットデモ

航空機産業への参入支援事業における展示会出展情報は、「2.4.4 航空機産業への参入支援事業」を参照。

### 6.3.2 ものづくりセミナー

区市町村との連携を深め、地域に密着した産業振興・技術支援を行うため、展示会において、都産技研の研究成果や事業を普及する「ものづくりセミナー」を開催した。

[ものづくりセミナー in 府中]

第28回府中市工業技術展 ふちゅうテクノフェアにおいて、「ロボット開発を支援する都産技研の取り組み」をテーマに開催した。

開催日：平成29年10月13日（金）

会場：ルミエール府中（府中市市民会館）1階 第1・第2会議室

No.	題目	発表者名	所属
1	サービスロボットの移動基盤と会話機能による事業化支援	武田有志	ロボット開発セクター
2	安全規格に基づいたサービスロボットの開発と製品認証	村上真之	プロジェクト事業化推進室
3	開発事例「電動アシスト人力車」	佐藤 研	プロジェクト事業化推進室
4	都産技研の支援事業紹介（1）ロボット開発を支援する事業紹介	高橋千秋	プロジェクト企画室
5	都産技研の支援事業紹介（2）ロボットに活用できる複合素材の開発支援	谷口昌平	複合素材開発セクター

## 6.4 刊行物

都産技研で発行する刊行物は、技術移転、成果の普及など情報の発信機能を果たし、中小企業などへの技術情報提供に貢献している。研究発表の要旨を記載した「TIRI クロスミーティング 2017 要旨集」などの刊行物や研究事業の普及に向けた各種冊子およびリーフレットを発行した。

### 6.4.1 刊行物

#### (1) 冊子

平成 29 年度に発行した冊子は以下のとおりである。

登録番号	タイトル	発行年月	部数 (増刷含む)
28 (本) 24	平成 28 年度都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書	平成29年 4月	200
都産技 29-1	事業案内 (冊子) の改訂	平成29年 4月	1,300
都産技 29-4	事業案内 (冊子) の改訂	平成29年 6月	5,000
都産技 29-2	TIRI クロスミーティング 2017 要旨集	平成29年 6月	1,000
都産技 29-3	平成 28 年度年報	平成29年 6月	400
都産技 29-9	城東支所案内の改訂	平成29年10月	6,000
都産技 29-10	都産技研医療機器産業参入支援事業 キックオフ記念セミナーライフサイエンス イノベーション発信セミナー要旨集	平成29年10月	300
都産技 29-5	航空機産業支援事例のご紹介 2017	平成29年10月	2,000
都産技 29-6	医療機器産業向け支援事例のご紹介 2017	平成29年10月	2,000
都産技 29-12	事業案内 (冊子) の改訂	平成29年11月	7,000
都産技 29-13	都産技研技術相談ご利用ガイド	平成29年11月	2,000
都産技 29-14	平成 29 年度技術シーズ集	平成29年11月	2,300
都産技 29-15	(国研) 産業技術総合研究所 (地独) 東京都立産業技術 研究センター技術カタログ (平成 29 年度)	平成29年11月	50
都産技 29-11	医療・福祉・介護産業用 IoT センサーモジュール開発支援サービスのご紹介	平成29年11月	2,000
都産技 29-8	中小企業の IoT 化支援事業	平成29年11月	2,000
都産技 29-7	東京都異業種交流グループ 平成 29 年度グループ交流カルテ	平成29年11月	30
都産技 29-16	東京イノベーション発信交流会 2018 出展企業ガイドブック	平成29年12月	1,500
都産技 29-20	多摩テクノプラザ研究成果事例集【機械技術偏】	平成30年 1月	200
都産技 29-19	デザイン技術グループ成果事例集	平成30年 1月	2,000
都産技 29-18	実証試験セクター 依頼試験・機器利用ハンドブック 第 2 版	平成30年 3月	2,500
都産技 29-21	事業案内 (冊子) の改訂	平成30年 3月	1,000
都産技 29-24	城南支所 先端計測加工ラボ活用事例集	平成30年 3月	500
都産技 29-25	平成 29 年度都産技研 MTEP 海外展開事例集	平成30年 3月	1,000
都産技 29-23	平成 29 年度東京都異業種交流グループ 活動報告&会員名簿	平成30年 3月	400
都産技 29-26	フタル酸エステル類規制への対応	平成30年 3月	500
都産技 29-17	平成 29 年度都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書	平成30年 3月	200
都産技 29-22	平成 29 年度都産技研活用事例集	平成30年 3月	4,000

(発行年月順)

(2) リーフレット

平成 29 年度に発行した主なリーフレットは以下のとおりである。

事業案内リーフレット（改訂）、総合支援窓口案内、セクター案内（3D ものづくりセクター、実証試験セクター、先端材料開発セクター）、ロボット産業活性化事業、ブランド試験（改訂）

#### 6.4.2 年報

前年度に実施した試験・研究・調査の成果や普及・技術移転業務の実績などを公開・報告するために平成 28 年度の年報を発行した。

#### 6.4.3 TIRI NEWS

「TIRI NEWS」は、都産技研が保有する技術シーズや幅広い支援事業の発信を目的に発行する技術情報誌である。A4 判、12 ページ、カラー印刷で、毎月約 4,600 部を発行している。中小企業および各関係機関 731 件（平成 30 年 3 月号）へ送付したほか、各種展示会やイベント、施設見学者等に配布した。また、ウェブサイトには、ウェブブックおよび PDF 資料として掲載している。

平成 29 年度は、各重点研究分野の研究成果や支援等の具体的な事例の紹介を中心に、設備紹介や技術情報を掲載する「TIRI NEWS EYE」の継続など、内容の充実に努めた。

## 6.5 都産技研ウェブサイト

都産技研は、事業・成果を広く紹介するために、ウェブサイトによる情報発信を行っている。随時内容を更新して効果的な情報提供と使いやすさの向上に努めた。コンテンツマネジメントシステムの活用により、コンテンツの迅速な更新を行うとともに、アクセシビリティに配慮したページ作成を実施している。平成29年度は、新たに以下の取り組みを行った。

### (1) ウェブアクセシビリティ

総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2016年版）」に基づき、都産技研ウェブサイトにて公開されているHTMLページについて、ウェブアクセシビリティの検証を継続的に行うこととした。JIS X 8341-3「高齢者・障害者等配慮設計指針—情報通信における機器、ソフトウェア及びサービス—第3部：ウェブコンテンツ」に基づく試験を実施し、ウェブサイト上で結果を公開した。試験の結果「部分適合」「不適合」となった項目については、今後計画的に修正を行う予定である。

試験内容および結果については以下のウェブページにて公開している。

<http://www.iri-tokyo.jp/site/accessibility/>

### (2) 動画コンテンツの掲載

都産技研ウェブサイト内にて、所有する設備・機器の紹介を行う動画コンテンツの掲載を開始した。動画の投稿にYouTube®を使用することで、ウェブページへの埋め込みのみでなく、展示会や施設見学時の説明資料としても単独で利用できるようにした。



3Dものづくりセクターの設備を紹介する動画と、ウェブページへの埋め込みイメージ

なお、都産技研が所有しているドメインは以下のとおりである。

東京都立産業技術研究センター	URL <a href="http://www.iri-tokyo.jp/">http://www.iri-tokyo.jp/</a>
採用情報サイト	URL <a href="http://saiyou.iri-tokyo.jp/">http://saiyou.iri-tokyo.jp/</a>
首都圏テクノナレッジフリーウェイ	URL <a href="http://tkm.iri-tokyo.jp/">http://tkm.iri-tokyo.jp/</a>
DHule（デューレ）	URL <a href="http://www.dhule.jp/">http://www.dhule.jp/</a>
ロボット実用化プロモーション	URL <a href="http://tiri-robot.jp/">http://tiri-robot.jp/</a>
INNOVESTA！	URL <a href="http://tiri-innovesta.jp/">http://tiri-innovesta.jp/</a>
TIRI クロスミーティング	URL <a href="http://www.tosangiken-seika.jp/">http://www.tosangiken-seika.jp/</a>

## 6.6 都産技研メールニュース

都産技研メールニュースを週1回程度配信し、技術セミナー・講習会の募集や刊行物の紹介、各種イベント開催案内、連携機関からのお知らせなど、最新の技術支援情報を提供している。技術セミナー受講者やイベント参加者などから配信希望を募り、登録を随時行っている。

配 信 数：約 14,500 件（平成 30 年 3 月 30 日現在）

発行回数：49 回

## 6.7 マスコミ報道

平成 29 年度の各種マスコミ報道は以下のとおりである。

### (1) プレス発表

No.	発表日	発表内容
1	4月13日	中小企業と技術の出会いの場 「TIRI クロスミーティング 2017」 開催
2	4月13日	(H29 年度) 東京都ロボット産業活性化事業 共同開発テーマの募集説明会を開催
3	5月11日	(H29 年度) 中小企業の IoT 化支援事業 公募型共同研究 事業説明会の開催
4	5月11日	(H29 年度) 障害者スポーツ研究開発推進事業 公募型共同研究 事業説明会の開催
5	7月 4日	職員の懲戒処分等について
6	7月 6日	INNOVESTA! 2017 開催 都産技研施設公開イノベスタ (Innovation+Festa)
7	8月 1日	城東・城北地域ものづくり支援強化 城東支所「デザインスタジオ」「ものづくりスタジオ」開設
8	8月 1日	平成 29 年度東京都異業種交流グループ発足
9	8月22日	個人情報の流出について
10	8月24日	胎児治療用内視鏡の共同開発を開始 医工連携による医療器具の開発
11	8月29日	東京都立産業技術研究センターと東京農工大学が協定を締結
12	9月29日	東京都ロボット産業活性化事業 公募型共同研究開発事業 テーマ決定
13	9月29日	中小企業の IoT 化支援事業 公募型共同研究 テーマ決定
14	9月29日	障害者スポーツ研究開発推進事業 公募型共同研究 テーマ決定
15	10月12日	航空機産業参入支援事業 航空機産業に係る国際規格対応の試験設備の導入など「航空機産業支援室開設プレセミナー」の開催
16	10月16日	(H29 年度) 中小企業の IoT 化支援事業 公募型共同研究追加募集説明会の開催
17	10月24日	(H29 年度) 東京都ロボット産業活性化事業 「警備ロボット」または「運搬ロボット」開発テーマ募集説明会を開催
18	11月 1日	中小企業の IoT 化支援事業 都産技研の IoT 化支援事業がいよいよ始動 IoT セミナーを開催
19	11月22日	中小企業の IoT 化支援事業 都産技研が「東京都 IoT 研究会」の参加者を募集
20	12月 7日	動作する人体をアーカイヴする方法を開発 ―VR コンテンツの制作に活用―
21	12月25日	(H29 年度) 東京都ロボット産業活性化事業「警備ロボット」と「運搬ロボット」開発・実証事業者の決定
22	12月25日	(H29 年度) 中小企業の IoT 化支援事業 公募型共同研究追加公募テーマ決定
23	12月25日	東京都異業種交流グループ 第 33 回合同交流会の開催
24	2月 2日	航空機産業参入支援事業 TMAN 一貫生産 試作品「シンガポール・エアショー2018」に出展
25	3月16日	INNOVESTA! 2018 ビジネスデー開催 都産技研 施設公開 イノベスタ (Innovation+Festa)

### (2) テレビ・ラジオ報道

No.	報道日	放送局	番組名	内容
1	8月20日	東京ベイネットワーク(株)(江東区役所広報広聴課)	江東ワイドスクエア	INNOVESTA! ファミリーデー当日の様子
2	11月 1日	TOKYO MX	東京 JOBS	#83「産業技術」3D プリンターで企業のものづくりを応援する 山内友貴

No.	報道日	放送局	番組名	内容
3	11月 8日	TOKYO MX	東京 JOBS	#84「産業技術」質のいい繊維製品を世に送り出す 岡田明子
4	11月15日	TOKYO MX	東京 JOBS	#85「産業技術」人間の特性を活かしたものづくりを支える 大島浩幸
5	11月22日	TOKYO MX	東京 JOBS	#86「産業技術」デザインのチカラでものづくりの現場を支える 上野明也
6	11月29日	TOKYO MX	東京 JOBS	#87「産業技術」中小企業のロボット開発をアシストする 中村佳雅
7	3月 8日	フジテレビ	THE NEWS α	3D Printing で取材を受けた様子

## (3) 撮影協力

No.	報道日	放送局	番組名	内容
1	4月23日	日本テレビ	真相報道バンキシャ!	X線 CT で札の入ったスーツケースを透視する実験を実施
2	7月22日	TBS テレビ	新・情報7days ニュースキャスター	落雷実験の様子を撮影
3	8月 5日	日本テレビ	世界一受けたい授業	落雷実験の様子を撮影
4	8月20日	CBC テレビ	健康カプセル! ゲンキの時間	同じ温湿度で日射が有る場合と無い場合における人体への影響の違いを測定
5	8月22日	フジテレビ	とくダネ!	落雷実験の様子を撮影
6	8月22日	フジテレビ	直撃 LIVE グッディ!	落雷実験の様子を撮影
7	10月30日	NHK	超絶! 凄ワザ!	アーチェリーの試作品について、振動試験による精度検証を実施
8	12月 3日	テレビ愛知	データで解析! サンデージャーナル	桐たんすの湿度影響のデータ提供

## (4) 新聞報道

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
1	4月 1日	MK 新聞	連載 グローバル・ビジネス・レポート【48】 実務訓練報告: 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
2	4月 4日	建通新聞	都 久留米特支、産業交流拠点の実設計着手
3	4月13日	日刊木材新聞	6月15日に 木材塗装基礎講座 木材塗装研究会
4	4月14日	日刊工業新聞	ロボ開発で説明会 東京都立産業技術研究センター
5	4月24日	日刊工業新聞	新たな成長展望 航空関連参入 東京圏中小連合/技術・品質・資質磨く/都支援社員の士気向上
6	4月24日	鉄鋼新聞	溶接協会/協会賞受賞者を決定/功績賞に宮田前会長
7	4月24日	日刊建設工業新聞	文科省/ナショナルトレセン拡充棟新営設備(東京都北区)2件/大成設備らに
8	4月26日	日刊工業新聞	研究開発で中小と併走 新「大阪産技研」理事長・中許昌美氏/技術融合、利便性高める
9	4月28日	長崎新聞	4カ国語案内ロボ開発中/日本ビジネスソフトなど/ホテル日航ハウステンボスで運用
10	5月 1日	工団連	東京都立産業技術研究センターからのお知らせ 中小企業と技術の出会いの場 TIRI クロスミーティング2017開催
11	5月 4日	日刊工業新聞	技術シーズ80件 ロボ分野など研究成果発表 都産技研
12	5月 7日	秋田魁新報	大潟村「ワールド・エコノ・ムーブ」秋工「燃料電池」4連覇
13	5月18日	日刊工業新聞	IoT 共同開発研究公募 都産技研 来月2会場で説明会

平成29年度 年報

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
14	5月23日	日刊工業新聞	パラ競技用具開発 東京都立産業技術研究センター
15	6月7日	日本経済新聞	共同研究 産学金で 東商が中小支援拡充 16 金融機関と連携 大学・研究機関も 3倍に
16	6月9日	日刊工業新聞	自動運転技術の展望・事例紹介 都中小振興公社多摩支社が 16日
17	6月13日	読売新聞	メダル量産へ新拠点 第2トレーニングセンター
18	6月17日	日本経済新聞	パリ国際航空ショー出展 都の中小企業組織 受注機会の拡大狙う
19	6月19日	電波新聞	JECA FAIR 製品コンクールに過去最多 60社 各大臣賞など 13製品決まる
20	6月19日	電気新聞	電設展、きんでんに国交大臣賞／受賞製品 13点を発表
21	6月19日	建設通信新聞	電設工業展製品コンクール きんでんに国交大臣賞
22	6月19日	日本建設工業新聞	電設協／電設工業展製品コンクール／入賞作品決定、7月4日に都内で表彰式
23	6月20日	日本経済新聞	インドネシアに拠点開設 都中小公社 官民連携で進出支援 タイ拠点とも相互協力
24	6月23日	日刊工業新聞	航空機産業 新潮流 下 防衛装備品の輸出に期待 中小企業 販路開拓に挑む
25	6月30日	日刊工業新聞	開発支援に全力
26	7月3日	塗料界新報	木材着色の奥深さを 第24回木材塗装基礎講座満席に
27	7月3日	金属産業新聞	都産技研がクロスミーティング「紙製ばね」の技術講演 輸送振動の低減と容易な後処理
28	7月4日	電気新聞	[特集] 第65回電設工業展・第56回製品コンクール (3)
29	7月4日	日刊工業新聞	JECA FAIR2017 製品コンクール 設電技術の向上へ きょう表彰式
30	7月4日	電材流通新聞	JECA FAIR2017 製品コンクール受賞製品を発表
31	7月12日	日刊工業新聞	出力10倍 電子銃開発 パラム、電流密度100アンペア実現 電子線描画装置など高度化
32	7月21日	日刊工業新聞	[企画特集] 世界へ東京の魅力発信 五輪・パラ3年後に控え産業界と行政動く
33	7月24日	日刊工業新聞	中小の航空機産業参入 都が支援 「TMAN」海外出展
34	7月31日	日刊工業新聞	東京の国際競争力高める 小池都知事就任1年／事業承継支援 早めの計画促す
35	8月1日	医理産業新聞	INNOVESTA! 2017 9/8 (金) ビジネスデー
36	8月5日	東京新聞	INNOVESTA (イノベスタ)! 2017 ファミリーデーin 夏休み
37	8月7日	東京新聞	イノベスタ 2017 ファミリーデーin 夏休み
38	8月14日	日刊工業新聞	新生大阪技術研が出帆 府産技研と市工研 統合4カ月
39	8月28日	東京新聞	モンゴル高専生招いて技術指導 品川区、来月4日から 製造業の人材確保へ
40	9月1日	工団連	INNOVESTA!2017 ビジネスデーを開催 都産技研を一般公開、産業交流展2017を開催
41	9月4日	読売新聞	北核実験 都が対策会議 知事、的確な情報発信指示
42	9月5日	東京新聞	INNOVESTA (イノベスタ)!2017 ビジネスデー
43	9月6日	産経新聞	「首都大など順調」都評価委が実績報告
44	9月11日	包装タイムス	ロボット産業の普及促す 東京都立産業技術研究センター 中小企業の参入を強力に支援
45	9月14日	日刊工業新聞	ロボやバイオに連携分野を拡大 都産技研・東京農工大が協定
46	9月21日	日刊工業新聞	デザインスタジオ 東京都立産業技術研究センター

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
47	9月27日	日刊工業新聞	リハビリロボ 信州大がプレ量産モデル 腰・両膝に装着 歩行支援
48	10月1日	医理産業新聞	セミナー案内 ライフサイエンス 10月13日 東京 品質工学 10月17日 東京 ほか
49	10月9日	日刊工業新聞	キックオフ講演会 東京都立産業技術研究センター
50	10月10日	都政新報	都立産業技術研究センター「中小企業の大きな夢を実現するために」サービス分野 ロボットの実用化支援 中小企業のIoT化支援事業の開始
51	10月10日	都政新報	産業交流展 2017 東京ビッグサイトで開催 11月15日～17日 首都圏・全国の中小 企業、東京に集う！ 今回で20回目
52	10月12日	日本経済新聞	中小デザイン・試作支援拠点 最新設備を導入 都産技研
53	10月12日	日刊工業新聞	東京発のサービスロボ使って 都産技研が導入相談窓口 20年度めど 10事業を事業 化
54	10月12日	静岡新聞	伊豆総合高・静岡理工科大チームV 燃料電池車 沼津で大会
55	10月15日	医理産業新聞	胎児治療用内視鏡の共同開発を開始 医工連携による医療器具の開発
56	10月15日	医理産業新聞	セミナー案内 MTEP5周年記念特別セミナー 10月25日東京
57	10月16日	日刊工業新聞	ロボットの開発加速 中小開発現場最前線 都産技研・共同事業 3年目 実機紹介 HP 開設
58	10月26日	日刊工業新聞	ロボ開発説明会 東京都立産業技術研究センター
59	10月27日	ファスニング ジャーナル	都産技研の城東支所リニューアル 締結問題研究会 プレセミナーに参加
60	11月1日	工団連	第19回 産業ときめきフェア in EDOGAWA 11月17・18日開催
61	11月1日	医理産業新聞	産業交流展 11月15日～17日 東京ビッグサイト
62	11月6日	FujiSankei Business i	東京都 庁舎内や観光名所想定 多言語対応ロボの実証実験
63	11月6日	中部経済新聞	土井製作所／中部圏で売上高3億円へ／20年めど電力インフラ開拓
64	11月10日	朝日新聞	都庁 AI ある おもてなし
65	11月10日	日刊工業新聞	ロボ、都庁を案内 5体実証
66	11月10日	読売新聞	外国語案内シマス 東京五輪へロボ実験
67	11月10日	日本経済新聞	英語や中国語など多言語で観光案内を行うロボットが9日、東京都庁でお披露目
68	11月10日	産経新聞	おもてなし ロボの手も借りたい 実証実験前にお披露目、知事と英語で会話
69	11月12日	毎日新聞	都庁の高さ どれくらい？ 多言語対応ロボ実証実験
70	11月17日	東京新聞	都庁に多言語ロボ 五輪向け実証実験
71	11月17日	日刊工業新聞	航空機参入支援を説明 都立産業技術研究センター
72	11月17日	西多摩新聞	家族イベント ものづくり体験人気 産業サポート TAMA
73	11月17日	ファスニング ジャーナル	城東支所リニューアルオープン 都産技研 機能の専門性強化
74	11月23日	日本経済新聞	航空機産業への参入支援 都産技研 中小向けに新組織
75	11月23日	日刊工業新聞	IoT研参加募集 東京都立産業技術研究センター
76	11月23日	商経機械新聞	29日から 2017 国際ロボット展 過去最大規模 612社・団体 2775小間に出展アピー ル
77	11月23日	電子デバイス産業新聞	パルコ 独自開発ロボによる実証を実施 ICT技術と商業施設を融合へ
78	11月28日	日刊工業新聞	2017 国際ロボット展 出展者ワークショップ一覽

平成29年度 年報

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
79	11月30日	日刊工業新聞	国際ロボット展／ヒトとロボの新しい関係 システムクラフト ランドセル背負い避難所でお手伝い
80	11月30日	電子デバイス産業新聞	日立製作所 人型案内ロボット 東京都庁舎で実証
81	12月1日	医理産業新聞	セミナー案内 都産技研 モッタイナイ改善 12月7日 東京
82	12月6日	日刊工業新聞	都中小公社、多摩で新プログラム 創業支援、製造業に特化 研究者らの独立を後押し
83	12月12日	日刊工業新聞	人の形状・動作データ統合 VRで全角度観察 都産技研など
84	12月12日	建通新聞	ロボット活用で安全教育
85	12月14日	建通新聞	プラネックス 「おーい」2回目の実証実験
86	1月3日	朝日新聞	東京五輪 ロボ前面 AIで観光案内・審判めざす
87	1月4日	日刊工業新聞	東京都知事・小池 百合子氏 ロボ技術で中小に商機
88	1月6日	日本経済新聞	中小のIoT活用促進 都産技研が支援組織設立
89	1月9日	日経産業新聞	監視映像の人物近距離でも認識 都産技研、AI深層学習で魚眼レンズのゆがみ補正
90	1月11日	日刊工業新聞	IoT研究2社採択 都産技研追加公募 製造現場の課題解決
91	1月11日	繊維ニュース	メンズセミナー3月開催 KFC
92	1月15日	日刊工業新聞	電動アシスト人力車開発 府中技研など 公道観光を省力化
93	1月16日	日刊工業新聞	異業種グループ合同技術交流会 都産技研が来月
94	1月18日	日刊工業新聞	警備・運搬ロボ実証で2テーマ 都産技研が採択
95	1月19日	日本経済新聞	館内案内 ロボにおまかせ 都産技研が実証実験 都内中小と共同開発
96	1月24日	日刊工業新聞	海の光技術勉強会 トリマティス
97	2月1日	医理産業新聞	都産技研 3D-CAD入門 2月7日 東京
98	2月7日	茨城新聞	アストロン ロボット飛行船開発 五輪向け都から受託
99	2月21日	WING	東京都立産業技術研究センター 航空機産業育成へ「航空機産業支援室」を開設
100	3月1日	塗料報知	各地で新年会開く 東京塗装工芸組合 新組合長に金子雅一氏
101	3月7日	塗料報知	東京工業塗装協同組合 ホームページ活用を
102	3月8日	埼玉新聞	不審者など検知、通報する警備ロボット開発へ 西武鉄道など3社
103	3月9日	日刊工業新聞	ロボやAIで組織横断研究 都産技研、技術連携促す 製品化中小に売り込み
104	3月9日	日刊工業新聞	独の医療機器展、都が出展を補助
105	3月13日	日刊工業新聞	警備ロボ 駅構内で実証 アースアイズ 都産技研と開発
106	3月15日	医理産業新聞	都産技研 「東京都IoT研究会」参加者募る 新ビジネスモデル創出目指す
107	3月15日	医理産業新聞	COMPAMED2018 東京パビリオン出展企業募集 都内中小企業の海外展開促進へ
108	3月16日	FujiSankei Business i	アースアイズ 西武鉄道、日本ユニシスと共同実験 AI搭載ロボット、駅構内を監視
109	3月27日	日経産業新聞	エポック社 西野晃一 キュートな人形 3D技術 イメージ、直感で形に
110	3月29日	日刊工業新聞	東京産業界特集 東京ブランド 世界へ発信 東京都立産業技術研究センター 6つのCでチーム一丸
111	3月29日	日刊建設産業新聞	民間活力を積極活用／2020改革プラン提示／施設魅力向上プロ展開へ

No.	掲載日	掲載紙・掲載誌	記事タイトル・内容など
112	3月30日	日本経済新聞	スバル・IHI×中小×自治体 航空産業浮揚へ連携
113	3月30日	建通新聞	東京都18年4月1日付人事

## (5) 雑誌・広報誌報道

No.	発行日	掲載誌	出版社	掲載号	掲載ページ	記事タイトル・内容など
1	4月2日	モノ・マガジン	(株)ワールドフォトプレス	No. 780	p. 58	漆器 [TUGI TUGI] (総力特集 違いのわかる大人の傑作品)
2	4月15日	工業材料	(株)日刊工業出版プロダクション	Vol. 65(5)	p. 48	中小企業と技術の出会いの場「TIRIクロスミーティング2017」開催
3	5月9日	ARGUS	(公財)東京都中小企業振興公社	5月号 No. 462	p. 10	見えないものを見る技術 ガラスの「ひずみ」を見る
4	5月9日	ARGUS	(公財)東京都中小企業振興公社	5月号 No. 462	p. 14	関係機関からのお知らせ 中小企業と技術の出会いの場「TIRIクロスミーティング2017」を開催します
5	5月9日	ARGUS	(公財)東京都中小企業振興公社	5月号 No. 462	p. 15	関係機関からのお知らせ 東京都異業種交流グループ参加者募集
6	5月11日	こうとう区報	江東区	No. 1929	p. 8	TIRIクロスミーティング
7	5月20日	塗布と塗膜	(株)塗料報知新聞社	5月号 Vol. 6(2)	pp. 16-20	めっきによるナイロン樹脂 AM (3Dプリンター) モデルへの意匠性付与
8	6月10日	ARGUS	(公財)東京都中小企業振興公社	6月号 No. 463	p. 15	第20回産業交流展2017 出展企業募集
9	7月20日	まちみらいニュース	(公財)まちみらい千代田	Vol. 148	表紙	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017ファミリーデー in 夏休み開催
10	8月5日	OHM [オーム]	(株)オーム社	Vol. 104(8)	p. 1	トップの原点ここにあり! 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター理事長 奥村次徳
11	8月5日	街の便利帳	(株)クリエイト	8月号 Vol. 092	表紙	江東区イベント情報8/10 INNOVESTA (イノベスタ) !2017～ファミリーデーin夏休み～
12	8月10日	ARGUS	(公財)東京都中小企業振興公社	8月号 Vol. 465	p. 10	見えないものを見る技術 騒音源を探る -音源探査の技術-
13	8月20日	まちみらいニュース	(公財)まちみらい千代田	Vol. 149	表紙	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017ビジネスデー開催
14	10月5日	産業と教育	(公財)産業教育振興中央会	10月 No. 780	pp. 44-49	実地研修報告 平成29年度専門広告教員産業実地研修報告(1)産業実地研修をとおして
15	10月14日	リビング多摩	サンケイリビング新聞	2017年10月 14日号	p. 12	10/28は「多摩テクノフェア」へ
16	10月18日	Vague (日塗検ニュース)	(一社)日本塗料検査協会	No. 139	p. 55	ニュース 塗料試験方法研究会勉強会
17	11月1日	塗装技術	(株)理工出版社	Vol. 56(12)	p. 34	NEWS 表面-界面物性研究会を開催 マテリアルライフ学会
18	11月10日	ARGUS	(公財)東京都中小企業振興公社	11月号 No. 468	p. 10	見えないものを見る技術 電磁波を「見える化」する
19	11月10日	日本MRSニュース	(一社)日本MRS事務局	Vol. 29(4)	pp. 2-3	東京ロボット支援産業プラザ
20	11月10日	日本MRSニュース	(一社)日本MRS事務局	Vol. 29(4)	pp. 4-5	熱フィラメントCVD法によるメカニカルシール用多結晶ダイヤモンド膜の成長速度と摩擦特性
21	11月21日	週刊エコノミスト	毎日新聞出版(株)	2017年11月 21日号	pp. 75-77	東京都 巨大な官僚機構にメス 意外にも高収益企業が続々 東京都の出資会社は改革を

## 平成29年度 年報

No.	発行日	掲載誌	出版社	掲載号	掲載ページ	記事タイトル・内容など
22	12月 1日	広報 東京都	東京都	No. 868	p. 8	東京 2020 大会に向け 都庁に案内ロボットが登場！
23	12月25日	TOKYO SEASIDE STORY	(株)産経新聞社	1月号 Vol. 262	p. 4	「都庁舎サービスロボット実証実験」実施中
24	1月20日	ロボット	(一社)日本ロボット工業会	No. 240	pp. 37-42	ショッピングセンターPARCO のロボット活用
25	2月10日	ARGUS	(公財)東京都中小企業振興公社	2月号 No. 471	p. 10	見えないものを見る技術 数値で見る化粧品の「機能」
26	2月21日	こうとう区報	江東区	No. 1959	p. 8	都立産業技術研究センター 利用料補助
27	3月16日	組合広報	東京都鍍金工業組合・東京鍍金公害防止協同組合	No. 615	p. 27	表面技術環境部会第 69 回講演会

### (6) ウェブ報道

No.	日付	サイト名	見出し
1	4月 3日	J-Net21	TIRI News 最新号
2	4月 3日	J-Net21	広域首都圏輸出製品技術支援センター専門相談員スケジュール
3	4月 3日	J-Net21	東京都立産業技術研究センターと江戸川区が協定を締結
4	4月 3日	J-Net21	東京都立産業技術研究センターと東京海洋大学が協定を締結
5	4月11日	マチパブ	北区新庁舎建設予定地の選定
6	4月13日	Jpubb	International Paris Air Show に初出展
7	4月13日	マチパブ	International Paris Air Show に初出展
8	4月13日	イプロス製造業	中小企業と技術の出会いの場「TIRI クロスミーティング 2017」開催
9	4月14日	J-Net21	セミナー：商品開発を目指す企業のデザイン開発技術
10	4月14日	J-Net21	研究開発を支援
11	4月14日	J-Net21	細胞自動計測装置運用停止のお知らせ
12	4月14日	J-Net21	産技研依頼試験等利用助成金
13	4月14日	J-Net21	試験研究機関活用支援 助成金
14	4月14日	J-Net21	製品開発支援ラボ
15	4月14日	J-Net21	多摩テクノプラザ利用料助成
16	4月14日	日刊工業新聞	都産技研、来月ロボ開発テーマ募集説明会
17	4月14日	J-Net21	都立産業技術研究センター利用料の一部補助
18	4月14日	FlyTeam	東京都、パリ・エアショーに初出展 中小企業のコミュニティで参加
19	4月14日	J-Net21	東京都立産業技術研究センター利用料等助成
20	4月14日	財経新聞	産技研依頼試験等利用助成金
21	4月14日	財経新聞	試験研究機関活用支援 助成金
22	4月14日	NewsPicks	都産技研、来月ロボ開発テーマ募集説明会
23	4月14日	財経新聞	都立産業技術研究センター利用料の一部補助

No.	日付	サイト名	見出し
24	4月14日	財経新聞	東京都立産業技術研究センター利用料等助成
25	4月17日	創業手帳 Web	【江戸川区】「産技研依頼試験等利用助成金」
26	4月17日	創業手帳 Web	【江東区】「都立産業技術研究センター利用料の一部補助」
27	4月17日	創業手帳 Web	【台東区】「試験研究機関活用支援 助成金」
28	4月17日	創業手帳 Web	【日野市】「ものづくり産業開発支援事業」補助金
29	4月17日	創業手帳 Web	【品川区】「東京都立産業技術研究センター利用料等助成」
30	4月24日	新建ハウジング	第29回「木材塗装基礎講座」
31	4月27日	ファスニング ジャーナル	締結問題研究会 第87回定例会を開催、幾何公差のポイント学ぶ
32	5月 2日	J-Net21	TIRI News 最新号
33	5月 2日	J-Net21	キセノンランプ式促進耐光試験の停止のお知らせ
34	5月 2日	J-Net21	セミナー：「ジュネーブモーターショー2017」・「ミラノサローネ 2017」から読み解く
35	5月 2日	J-Net21	セミナー：測光の基礎の基礎 照明製品スペックシートの読み方から照度シミュレータの簡単な使い方まで
36	5月 2日	J-Net21	講座：2018年春夏レディースファッショントレンド情報
37	5月 2日	J-Net21	講座：MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門（第1回）
38	5月 2日	J-Net21	講座：デザイン思考を活用した商品開発基礎講座
39	5月 2日	J-Net21	城東支所 機器利用等の一時停止のお知らせ
40	5月 2日	J-Net21	総合支援窓口専門相談員（5月・6月）スケジュールを掲載しました
41	5月 4日	日刊工業新聞	都産技研、ロボ分野など研究成果発表－技術シーズ80件
42	5月15日	日経テクノロジー オンライン	航空機産業の企業コミュニティ「TMAN」、パリエアショー初出展
43	5月15日	J-Net21	起業塾：平成29年度 TOKYO 起業塾「ものづくり創業プログラム」
44	5月17日	J-Net21	ワークショップ：輸出のための認証取得ワークショップ 第1回
45	5月18日	日刊工業新聞	都産技研、IoT 共同開発研究公募－来月2会場で説明会
46	5月19日	J-Net21	セミナー：【グローバル人材育成 欧州編】EU化粧品規制入門
47	5月19日	J-Net21	セミナー：【グローバル人材育成 知財編】海外ビジネスのための知財戦略
48	5月19日	J-Net21	セミナー：現場で役立つ 人間中心のプロジェクトマネジメント
49	5月19日	J-Net21	セミナー：第1回産業セミナー「自動運転技術と中小企業の可能性」
50	5月23日	日刊工業新聞	都産技研、バラ競技用具開発公募
51	6月 6日	J-Net21	セミナー：MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門（第2回）
52	6月 6日	財経新聞 ほか1件	ロボット産業活性化事業「公募型共同研究開発事業」
53	6月 6日	J-Net21	講習会：騒音の基礎～測定から評価まで～
54	6月 6日	J-Net21	城東支所1階技術開発支援室の機器利用停止期間変更のお知らせ
55	6月 6日	J-Net21	総合支援窓口専門相談
56	6月 6日	J-Net21	放射イミュニティ（1～3GHz）故障による運用停止のお知らせ

平成29年度 年報

No.	日付	サイト名	見出し
57	6月 7日	日本経済新聞	東商、共同研究産学金で 16 金融機関と新たに連携
58	6月15日	マチパブ	【販路拡大のチャンスに!】「産業交流展 2017」(東京都主催)への出展募集を行っています!
59	6月19日	建設通信新聞	電設工業展製品コンクール/きんでんに国交大臣賞/経産大臣賞は佐鳥電機と昭電
60	6月20日	J-Net21	セミナー: シミュレーションを活用した音響材料の開発
61	6月20日	J-Net21	セミナー: 化粧品の安全性とレオロジーの基礎
62	6月20日	J-Net21	セミナー: 鉄鋼材料とその熱処理 (第1回)
63	6月20日	J-Net21	講座: MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第2回)
64	6月20日	J-Net21	講習会: ガラス製品の破損事故解析
65	6月20日	J-Net21	講習会: ヒット商品にするための仕組みづくり
66	6月20日	J-Net21	多摩テクノプラザ EMC サイトの校正およびメンテナンスによる一時運用休止のお知らせ
67	6月20日	J-Net21 ほか1件	製品開発支援ラボ 入居者募集
68	6月20日	日経テクノロジー オンライン	京大発ベンチャーのティエムファクトリ、透明断熱材事業を加速
69	6月20日	中小企業 NEWS	自動運転技術の将来を解説: 都産技研などがセミナー
70	6月20日	イプロス製造業	人の力を活用することで点検ロボットを実用化へ イクシスリサーチの取り組み TIRI クロスミーティング 2017 レポート
71	6月20日	日本経済新聞	都中小公社、インドネシアに拠点開設 進出支援
72	6月27日	Jpubb ほか1件	29年度第1回試験研究分科会を開催
73	6月27日	イプロス製造業	評価指標を決めて商談に臨むべし 日本ユニシスによるロボット導入 TIRI クロスミーティング 2017 レポート
74	6月30日	J-Net21	セミナー: 中小企業のための売れるブランドづくり
75	6月30日	J-Net21	セミナー: 熱設計と数値シミュレーション
76	6月30日	J-Net21	放射エミッション測定/雑音端子電圧測定/雑音電力測定 故障による機器利用停止のお知らせ
77	6月30日	日刊工業新聞	経営ひと言/都立産技研多摩テクノプラザ所長の澤近洋史さん「開発支援に全力」
78	7月 3日	Aviation Wire	都もパリ航空ショー初出展 特別塗装機のデカール手掛ける企業も
79	7月 6日	イベントナビ ほか3件	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ファミリーデー in 夏休み
80	7月 7日	いこーよ ほか1件	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ファミリーデー in 夏休み
81	7月11日	Yahoo! ロコ	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ファミリーデー in 夏休み
82	7月 7日	BIGLOBE 旅行 ほか5件	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ファミリーデー in 夏休み
83	7月13日	PR TIMES ほか1件	日本全国の伝統的な匠の技が見られる、ものづくりを体感できる 3日間 ものづくり・匠の技の祭典 2017
84	7月13日	Value Press ほか1件	「工作教室」や「サイエンスショー」など、都産技研の施設公開イベント「INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ファミリーデー in 夏休み」8月10日開催!
85	7月18日	江東お出かけ情報局	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ファミリーデー in 夏休み
86	7月18日	J-Net21	TIRI News 最新号
87	7月18日	J-Net21	TIRI クロスミーティング

No.	日付	サイト名	見出し
88	7月18日	J-Net21	広域首都圏輸出製品技術支援センター専門相談員スケジュール
89	7月18日	Jpubb ほか2件	平成29年度第2回試験研究分科会を開催
90	7月18日	(一社)東京工業団体連合会	(地独)都産技研から「イノベスタ2017」開催のお知らせ
91	7月19日	Walkerplus (KADOKAWA)	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ファミリーデー in 夏休み
92	7月19日	ことさが	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ビジネスデー
93	7月19日	イベントナビ	都産技研の施設公開「INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ビジネスデー」9月8日開催
94	7月19日	こくちーず	〈参加無料〉INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ビジネスデー
95	7月20日	J-Net21	イベント: INNOVESTA!2017 [ビジネスデー]
96	7月23日	AEROPRES	「工作教室」や「サイエンスショー」など、都産技研の施設公開イベント「INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ファミリーデー in 夏休み」8月10日開催!
97	7月27日	EZナビウォーク	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ファミリーデー in 夏休み
98	7月27日	朝日信用金庫	【平成29年9月8日開催】都産技研主催 INNOVESTA!2017 開催のご案内
99	7月27日	J-Net21	セミナー:【電気安全・開発支援セミナー】製品安全の考え方と進め方
100	7月27日	J-Net21	セミナー: MTEP ミニ講座 CE マーキング超入門 (第3回)
101	7月27日	J-Net21	セミナー: 各種材料の劣化と対処法ープラスチックからめっき品までー
102	7月27日	J-Net21	セミナー: 実践 RoHS 指令が求める技術文書作成方法
103	7月27日	J-Net21	セミナー: 初心者のためのやさしい破断面の見方
104	7月27日	J-Net21	セミナー: 鉄鋼材料とその熱処理 (第2回)
105	7月27日	J-Net21	講習会: 品質工学による製品開発期間の短縮
106	7月27日	J-Net21	年報 (平成28年度)
107	7月28日	Jpubb ほか8件	事業承継セミナーの開催について (城南地区)
108	7月28日	Jpubb ほか2件	平成29年度第3回試験研究分科会を開催
109	7月31日	ニュースイッチ ほか2件	小池知事、就任1年。「東京」にイノベーションハブの芽
110	8月1日	PR TIMES	ハードウェアスタートアップの体感型プログラム「Tokyo IoT Monozukuri College 2017」DEMODOY
111	8月2日	アバホテル ほか3件	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ファミリーデー in 夏休み
112	8月2日	お台場ネット	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ビジネスデー<東京都立産業技術研究センター>
113	8月2日	ファスニングジャーナル ほか1件	締結問題研究会 総会と加工実習を開催、渡辺会長が留任
114	8月2日	Yahoo!ニュース	都内99%の出番がやってきた!小池知事 就任1年、国際競争力向上へ中小支援が本番
115	8月4日	J-Net21	「ロボット産業活性化事業ホームページ」を開設しました
116	8月4日	J-Net21	TIRI News 最新号
117	8月4日	J-Net21	共同研究募集
118	8月4日	J-Net21	城東・城北地域ものづくり支援強化 城東支所「デザインスタジオ」「ものづくりスタジオ」開設

平成29年度 年報

No.	日付	サイト名	見出し
119	8月 4日	イベントカレンダー +ログ ほか4件	都産技研「INNOVESTA!2017 ビジネスデー」【無料】講演、ワークショップなど
120	8月 7日	プレスリリースゼロ ほか2件	施設公開「INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ビジネスデー」9月8日開催「イグノーベル賞」受賞 馬淵清資氏、将棋プログラム「ponanza」開発者 山本一成氏の特別講演など
121	8月 7日	創業手帳 Web	東京都立産業技術研究センター「共同研究」募集
122	8月 7日	N+ News Release	「INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ビジネスデー」9月8日開催! 「イグノーベル賞」受賞者、将棋プログラム「Ponanza」開発者の特別講演など
123	8月 7日	イノベーションズアイ	9/8「INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ビジネスデー」《無料》科学技術・AI の講演など
124	8月 7日	オープンプレス	《参加無料》9/8 (金)「INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ビジネスデー」科学技術・AI・Iot の特別講演など
125	8月 7日	サイエンスポータル	INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ビジネスデー (サイトへのリンク)
126	8月 8日	J-Net21	セミナー: 「にょい」をどうとらえるかー成分特性・生理心理・評価方法を知るー
127	8月 8日	J-Net21	セミナー: 若手技術者のための金属加工技術シリーズ (第 1 回) 図面の基礎と金属材料編
128	8月 8日	J-Net21	講習会: 若手技術者のための金属加工技術シリーズ (第 2 回) 塑性加工と切削・研削編
129	8月 8日	J-Net21	講習会: 若手技術者のための金属加工技術シリーズ (第 3 回) 溶接・接合と金属熱処理編
130	8月 8日	J-Net21	講習会: 若手技術者のための金属加工技術シリーズ (第 4 回) 潤滑技術と表面処理編
131	8月 8日	J-Net21	講習会: 展示会を成功させる仕組みづくりとブースデザイン
132	8月 8日	ナイスの住まい情報 サイト	8月10日(木)、9月8日(金) INNOVESTA! 2017
133	8月17日	マイナビニュース ほか10件	都産技研、ビジネス向け施設公開イベント開催-イグノーベル賞受賞者の講演も
134	8月22日	日経テクノロジー オンライン	【技術紹介】60年蓄積した金属加工技術でお客様の“ものづくり”にゆえ続ける (名取製作所)
135	8月22日	J-Net21	バイオ応用技術グループ (本部) デジタルマイクロスコープ機器利用一部休止のお知らせ
136	8月22日	J-Net21	実証試験セクター (本部) 環境試験室電気試験設備の校正による一時利用休止のお知らせ
137	8月22日	J-Net21	城南支所磁気シールドルームの機器利用廃止について
138	8月22日	J-Net21	電気電子技術グループ (本部) EMC サイトの校正およびメンテナンスによる一時運用休止のお知らせ
139	8月23日	fabcross	教育関係者向けのものづくり 9/8「INNOVESTA! (イノベスタ) 2017 ビジネスデー
140	8月24日	日本経済新聞	東邦大など、「一絨毛膜双胎における双胎間輸血症候群の低侵襲外科治療用胎児鏡の開発」を開始
141	8月24日	PR TIMES	『除菌剤も断捨離の時代』シンプルだと色々使えて便利! 安心な成分でクリーンな環境を極める除菌・消臭スプレー新発売。
142	8月24日	マチパブ	【9月8日】えどがわ産学官金連携推進フォーラム「未来を紡ぐ研究・技術の芽」を開催します
143	8月25日	J-Net21	胎児治療用内視鏡の共同開発を開始~医工連携による医療器具の開発
144	8月28日	J-Net21	セミナー: MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第3回)
145	8月28日	J-Net21 ほか1件	共同研究募集 平成29年度第2回募集
146	9月 4日	J-Net21	TIRI News 最新号
147	9月 4日	YOMIURI ONLINE	北核実験 都が対策会議

No.	日付	サイト名	見出し
148	9月 5日	Jpubb ほか 3 件	地方独立行政法人の業務実績評価結果
149	9月 6日	とちょう-i	地方独立行政法人に係る業務実績評価報告
150	9月 6日	産経ニュース ほか 2 件	「首都大など順調」都評価委が実績報告
151	9月 6日	Jpubb ほか 3 件	産業サポートスクエア・TAMA でウェルカムデー開催
152	9月 7日	J-Net21	セミナー：「デザインスタジオ・ものづくりスタジオ」開設プレセミナー
153	9月 7日	J-Net21	イベント：城南支所「施設公開」
154	9月 7日	J-Net21	セミナー：赤外線サーモグラフィの基本―適切かつ効果的に熱画像を使用するために―
155	9月 7日	J-Net21	セミナー：「フランクフルトモーターショー2017」から読み解く加飾の素材・加工・デザイン動向
156	9月11日	マイナビニュース ほか 9 件	バナナの滑りから考える、科学技術と価値観のイノベーション-イノベスタ 2017 北里大・馬淵名誉教授特別講演
157	9月11日	J-Net21	専門相談員スケジュールを更新しました
158	9月12日	中小企業 NEWS	将棋プログラム「Ponanza」の強さを語る：都産技研セミナーで開発者の山本氏が講演
159	9月14日	日刊工業新聞 ほか 1 件	都産技研・東京農工大、ロボ・バイオ連携拡大で協定
160	9月19日	J-Net21	協定等締結機関情報を更新しました
161	9月19日	J-Net21	セミナー：鉄鋼材料とその熱処理（第3回）
162	9月19日	J-Net21	セミナー：ライフサイエンス イノベーション発信セミナー
163	9月21日	J-Net21	イベント：多摩テクノフェア
164	9月21日	日刊工業新聞	都産技研、城東支所にデザインスタジオ開設
165	9月27日	J-Net21	セミナー：【MTEP 5 周年記念特別セミナー】起こせイノベーション!海外展開成功へのアプローチ
166	9月27日	Yahoo!ニュース	信州大、装着型歩行支援ロボ「クララ」のブレ量産モデル開発
167	9月28日	化学工業日報	東京都立産業技術研究センター プリントでCFRPに機能付加
168	10月 2日	PR TIMES	ウフル、都産技研の「中小企業の IoT 化支援事業」公募型共同研究のテーマに採択されました
169	10月 2日	ロボスタドットイン フォ	2017年10月02日 ロボット業界ニュースヘッドライン
170	10月 4日	J-Net21	セミナー：【海外規格精通シリーズ】医療機器 QMS ISO13485
171	10月 4日	J-Net21	セミナー：3Dものづくりプロセスの新潮流
172	10月 4日	J-Net21	セミナー：MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門
173	10月 4日	J-Net21	総合支援窓口専門相談
174	10月 9日	日刊工業新聞 ほか 1 件	都産技研、13日に医療機器参入支援キックオフ講演会
175	10月12日	リビングWeb	【昭島】10/28(土)は子どもといっしょに「多摩テクノフェア」へ
176	10月12日	J-Net21	イベント：中小企業のためのサイバーセキュリティイベント
177	10月12日	J-Net21	セミナー：被験者試験 はじめの一步～温熱的快適性を評価しよう～
178	10月12日	日本経済新聞	中小デザイン・試作支援拠点 最新設備を導入 都産技研
179	10月12日	日本経済新聞	都産技研、中小デザイン・試作支援拠点 最新設備を導入

平成29年度 年報

No.	日付	サイト名	見出し
180	10月12日	日刊工業新聞	東京発のサービスロボ、使って!都産技研が導入相談窓口
181	10月14日	マチパブ	イベント・セミナー 技術セミナー
182	10月16日	日刊工業新聞	中小開発現場最前線ー都産技研・共同事業3年目、ロボットの開発加速
183	10月16日	日本経済新聞 ほか10件	パルコと日本ユニシスなど、純国産自走式案内ロボット「Siriusbot」が店舗案内と在庫確認業務を行う実証実験を開始
184	10月17日	Value Press ほか2件	《参加費無料》VR(仮想現実)の講演や技術セミナーなど「多摩テクノフェア ビジネスデー」を10月27日(金)に開催します
185	10月17日	流通 NEWS	パルコ/池袋店で店内案内と棚卸補助するロボットの実証実験
186	10月17日	TechRepublic Japan	池袋パルコでロボットの実証実験ー来店客を店舗まで誘導、RFIDタグで在庫確認
187	10月18日	J-Net21	セミナー:現場技術者による製品の信頼性・安全性確保のための基礎セミナー
188	10月18日	J-Net21	セミナー:平成29年度 第3回IoTセミナー
189	10月18日	セミナーチャンネル ほか1件	《参加費無料》特別講演「VR2.0の世界」技術セミナーなど「多摩テクノフェア ビジネスデー」10/27開催
190	10月19日	VR Inside ほか7件	「多摩テクノフェア ビジネスデー」廣瀬通孝氏による講演「VR2.0の世界」や技術セミナーを開催
191	10月19日	池袋経済新聞 ほか4件	池袋パルコでロボット実証実験 走行し客案内、棚卸業務も
192	10月20日	MONOist ほか1件	国際ロボット展が過去最大規模で開催、「人にやさしい」ロボットに注目
193	10月23日	BCN RETAIL ほか13件	池袋PARCOにて、ロボットが来店客の案内や業務補助を行う実証実験を実施
194	10月24日	AEROPRES	《参加費無料》VRの第一人者、廣瀬通孝氏の講演や技術セミナーなど、技術系イベント「多摩テクノフェア ビジネスデー」を10月27日(金)に開催します
195	10月26日	J-Net21	イベント:中小企業のためのサイバーセキュリティイベント
196	10月26日	日刊工業新聞	都産技研、来月6日にロボ開発説明会
197	10月27日	PR TIMES	『第21回いたばし産業見本市 製造と加工技術展2017』
198	10月27日	東洋経済オンライン	東京からビジネスの明日がひらく理由 日本各地と東京がクロスし産業振興が加速_3
199	10月30日	J-Net21	セミナー:ファインパブルの基礎と今後の展開
200	10月30日	J-Net21	セミナー:世界に通用するものづくりセミナー 医療機器指令(MDD)から医療機器規則(MDR)へー欧州の医療機器ー現在と近未来ー
201	10月30日	J-Net21	研修:光計測の基礎
202	10月30日	J-Net21	産業交流展2017 首都圏テクノネットワークゾーン出展
203	10月30日	J-Net21	説明会:「警備ロボット」または「運搬ロボット」開発テーマ募集説明会
204	10月31日	J-Net21	セミナー:2018年秋冬レディースファッショントレンド情報
205	10月31日	J-Net21	講座:ホームページ作成講座中級編 ホームページを見直して新規客を増やそう!
206	11月1日	ビジネス+IT ほか2件	パルコも導入、ユニシスが自律移動ロボット「Siriusbot」を開発する理由
207	11月2日	ロボスタドットイン フォ	「東京都庁」のロボット実証実験採択の、5社5体のロボットが発表。11月13日よりスタート
208	11月2日	J-Net21	セミナー:「ものづくりスタジオ・デザインスタジオ」第1回開設記念セミナー
209	11月2日	J-Net21	セミナー:MTEPミニ講座 RoHS指令超入門(第4回)
210	11月2日	J-Net21	セミナー:プラスチックの話
211	11月2日	Jpubb ほか2件	都庁舎サービスロボット実証実験を実施

No.	日付	サイト名	見出し
212	11月 6日	日経企業活動情報	東京都は「都庁舎サービスロボット実証実験」を開始
213	11月 7日	Value Press	東京都『中小企業のIoT化支援事業 公募型共同研究』の申請サポート開始
214	11月 7日	SankeiBiz ほか3件	東京都が多言語対応ロボの実証実験 庁舎内や観光名所想定
215	11月 8日	こくちーず ほか2件	《無料イベント》都産技研 墨田支所「施設公開 2017」ビジネスデー
216	11月 9日	朝日新聞デジタル ほか8件	おもてなしロボ、都庁に登場 英語で「小笠原諸島です」
217	11月10日	MSN ニュース	おもてなしロボ、都庁に登場 英語で「小笠原諸島です」
218	11月14日	展示会と MICE	612社が出展し過去最大規模に～2017 国際ロボット展【展示会開催情報】
219	11月15日	J-Net21	セミナー：【グローバル人材育成 欧州編】CE マーケティング入門+改正 RoHS 指令入門 第2弾
220	11月15日	J-Net21	セミナー：生産工程のモッタイナイ改善
221	11月15日	J-Net21	セミナー：鉄鋼材料とその熱処理（第4回）
222	11月17日	日本経済新聞	SCREEN グループ、再補正可能な超高演色性 LED 照明を発売
223	11月17日	Jpubb ほか3件	業界初、再補正可能な超高演色性 LED 照明を発売 ～ LED で自然光に近い色評価が可能に～
224	11月17日	日刊工業新聞 ほか1件	都産技研、24日に航空機参入支援策の説明会
225	11月22日	BIGLOBE 旅行 ほか4件	都産技研 墨田支所「施設公開 2017 ビジネスデー」
226	11月22日	BIGLOBE 旅行 ほか5件	都産技研 墨田支所「施設公開 2017 ファミリーデー」
227	11月22日	大唐建託 いい暮らしナビ ほか1件	都産技研 墨田支所「施設公開 2017 ビジネスデー」/都産技研 墨田支所「施設公開 2017 ファミリーデー」
228	11月22日	日本経済新聞	航空機産業参入支援で新組織 都産技研が12月創設
229	11月22日	J-Net21	総合支援窓口専門相談
230	11月23日	日本経済新聞 ほか1件	航空機産業への参入支援 都産技研 中小向けに新組織
231	11月23日	日刊工業新聞 ほか1件	東京都立産業技術研究センター、IoT研究会の参加募集
232	11月24日	日本物流新聞	「2017 国際ロボット展」開幕直前特集
233	11月24日	ドリームニュース	～遠隔ロボットを新しい集客・接客・プロモーションが始まります～ 双方向通信で遠隔観光・オンラインショッピングがぐっとリアルに！今いる場所からタッチひとつで世界へ誘うテレプレゼンスロボットアプリ
234	11月27日	Jpubb ほか2件	産業交流展 2017 の開催結果
235	11月28日	ZAKZAK	【デジフジ mini】外国語も OK、5種類のロボットが都庁で案内 東京五輪に向け可能性検証
236	11月28日	TOKYO MX+ ほか1件	運動能力のアップも夢じゃない!? 「生活技術開発」最前線
237	11月28日	ゴムタイムス WEB	葛飾ゴム工業会 見学会・忘年会開催
238	11月28日	J-Net21	研修：生産工程のモッタイナイ改善
239	11月29日	J-Net21	セミナー：フレキシブルデバイスの開発動向と都産技研の支援機器
240	11月30日	ニュースイッチ ほか4件	開幕したロボット展、まるっと早わかり！動画もあります
241	11月30日	日刊工業新聞	国際ロボット展／トヨタなど、ヒトとロボの新しい関係提案（動画あり）

平成29年度 年報

No.	日付	サイト名	見出し
242	12月 1日	J-Net21	TIRI News 最新号
243	12月 1日	日刊工業新聞	日刊工業新聞社の担当記者による、今年の「国際ロボット展」 見どころ紹介・サービスロボット (SR) 編
244	12月 2日	ニュースイッチ ほか4件	ロボット展最終日、居残り組は少しだけタフに
245	12月 4日	ファスニング ジャーナル ほか1件	締結問題研究会 都産技研の城東支所リニューアル、定例会兼ねてプレセミナーに参加
246	12月 6日	マチパブ	町工場見本市 2018
247	12月 7日	J-Net21	講習会：商品企画のためのパッケージデザイン入門
248	12月 8日	J-Net21	動作する人体をアーカイヴする方法を開発—VR コンテンツの制作に活用—
249	12月11日	J-Net21	東京都 IoT 研究会 参加者募集・申込のご案内
250	12月12日	日刊工業新聞 ほか1件	VR で全角度観察 都産技研など、人の形状・動作を仮想空間に再現
251	12月12日	J-Net21	セミナー：MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門（第5回）
252	12月12日	J-Net21	セミナー：MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門（第5回）
253	12月12日	建通新聞	ロボット活用で安全教育
254	12月13日	J-Net21	製品開発支援ラボ 入居者募集（本部 IT 系 1 室）
255	12月13日	J-Net21	イベント：東京イノベーション発信交流会
256	12月13日	J-Net21	平成 29 年度版技術シーズ集
257	12月14日	Minkabu ニュース ほか1件	ブラネックス「おーい」2 回目の実証実験
258	12月14日	J-Net21	航空機産業支援室／Aviation Industry Support Laboratory
259	12月20日	J-Net21	（城南支所）光造形装置の機器利用サービス一時停止のお知らせ
260	12月20日	J-Net21	セミナー：【現場で役立つシリーズ】実践 設計者のための IEC 60204-1
261	12月20日	J-Net21	セミナー：自社で考える展示会を成功させる仕組みづくり
262	12月20日	ファスニング ジャーナル ほか1件	東京都立産業技術センター 城東支所リニューアルで施設機能の専門性強化
263	12月22日	マチパブ	技術セミナー（北区・板橋区・都立産技研共催セミナー）
264	12月25日	J-Net21	イベント：東京都異業種交流グループ～第 33 回合同交流会
265	12月25日	J-Net21	中小企業の IoT 化支援事業 公募型共同研究 追加公募 テーマ決定
266	12月25日	J-Net21	平成 29 年度 東京都ロボット産業 活性化事業「警備ロボット」と運搬「警備ロボット」と「運搬ロボット」開発・実証事業者の決定
267	12月26日	J-Net21	セミナー：宇宙をあなたの手の上に—中小企業のための宇宙開発・宇宙ビジネス—
268	1月 4日	J-Net21	TIRI News 最新号
269	1月 4日	J-Net21	セミナー：ソリューション（課題解決）型製造業のための設計生産技術
270	1月 4日	J-Net21	新年のごあいさつ
271	1月 4日	日経テクノロジー オンライン	「航空機産業支援室」プレセミナーを開催・都産技研本部に開設
272	1月 5日	日本経済新聞	IoT で中小支援組織 都産技研が設立

No.	日付	サイト名	見出し
273	1月 5日	J-Net21	言語バリアフリーの観光ポータルサイトの開発
274	1月 5日	ニュースイッチ ほか 3 件	五輪まであと 2 年。「新しい東京」を小池知事はどう作る？
275	1月 6日	日本経済新聞	中小の IoT 活用促進
276	1月 7日	ITmedia オルタナティブ・ブログ	情報通信政策に関する記事のまとめ「IoT で中小支援組織 都産技研が設立：日本経済新聞」
277	1月 7日	Yahoo!ニュース	東京都知事・小池百合子氏「ロボ技術で中小に商機」
278	1月 9日	J-Net21	生活技術開発セクター（墨田）サーモグラフィの機器利用一時停止のお知らせ
279	1月14日	朝日新聞デジタル ほか 10 件	ロボットが警備、AI で体操ひねり判定…東京五輪へ検討
280	1月15日	日刊工業新聞	公道走れる電動アシスト付き人力車 府中技研など 5 社が開発
281	1月16日	Yahoo!ニュース	公道走れる電動アシスト付き人力車 府中技研など 5 社が開発
282	1月16日	ニュースイッチ ほか 3 件	公道走れる電動アシスト付き人力車 車夫の引く力をセンサーで検知
283	1月16日	J-Net21	専門相談員スケジュールを更新しました
284	1月16日	日刊工業新聞 ほか 1 件	都産技研、来月 20 日に異業種グループ合同技術交流会
285	1月18日	日経テクノロジー オンライン	航空機産業の企業コミュニティ「TMAN」、シンガポール・エアショー2018 に出展
286	1月18日	日刊工業新聞 ほか 1 件	都産技研、警備ロボ・運搬ロボ実証で 2 テーマ採択
287	1月18日	Digital PR Platform ほか 1 件	複数種のロボットの連携運用を目指すモニタリングシステムの基礎実験に成功～多種多様なロボットが活躍するためのネットワークアーキテクチャ～芝浦工業大学・産業技術大学院大学
288	1月19日	日本経済新聞	館内案内 ロボにおまかせ 都産技研が実証実験
289	1月19日	ロボスタドットイン フォ	2018 年 01 月 19 日 ロボット業界ニュースヘッドライン
290	1月19日	J-Net21	セミナー：【海外規格精通シリーズ】新・製品安全規格 IEC 62368-1
291	1月19日	J-Net21	セミナー：ガラス製品の基礎知識
292	1月19日	J-Net21	セミナー：なぜその対策が効かないのか？原理から理解するイミュニティ向上の手順
293	1月19日	J-Net21	セミナー：欧州向け製品輸出入門・中小企業人材育成塾グローバル研修「CE マーケティング入門 + 改正 RoHS 指令入門」
294	1月25日	Value Press	3 月 1 日～3 日に開催される「としま MONO づくりメッセ」に出展致します
295	1月26日	マチパブ	ものづくり振興
296	1月29日	日経テクノロジー オンライン	【コア技術紹介】シンガポール・エアショー2018 TMAN 出展企業 vol.1
297	1月31日	ASCII.jp ほか 2 件	8 兆円のビジネスチャンスに挑む商材が集結 「インバウンドマーケット EXPO2018」
298	1月31日	J-Net21	セミナー：【現場で役立つシリーズ】実践 RoHS 指令が求める技術文書作成方法
299	1月31日	J-Net21	セミナー：MTEP ミニ講座 CE マーケティング超入門（第 6 回）
300	1月31日	J-Net21	セミナー：営業で役立つものづくり基礎の基礎／振動試験編
301	1月31日	J-Net21	セミナー：鉄鋼材料とその熱処理（第 5 回）
302	1月31日	J-Net21	セミナー：平成 29 年度 第 4 回 IoT セミナー×東京都 IoT 研究会総会 中小企業 IoT 活用最前線

平成29年度 年報

No.	日付	サイト名	見出し
303	2月 1日	マチパブ	催 (※本文タイトルは「中小企業 (製造業) 向け補助金・助成金制度説明会 (2月 28 日)」)
304	2月 2日	J-Net21	共同研究募集
305	2月 5日	創業手帳 Web	【東京】「共同研究募集」補助金
306	2月 5日	日経テクノロジー オンライン	TMAN 一貫生産試作品「シンガポール・エアショー2018」にて展示
307	2月 5日	SANPOWEB	第 25 回 UT シンポに 110 人参加＝JSNDI
308	2月 6日	J-Net21	セミナー：【現場で役立つシリーズ】実践 設計者のための IEC 61010-1
309	2月 6日	J-Net21	セミナー：MTEP ミニ講座 RoHS 指令超入門 (第 6 回)
310	2月 7日	茨城新聞 ほか 4 件	アストロン ロボット飛行船開発 五輪向け都から受託
311	2月 8日	PR TIMES	日タイ企業交流会『Tokyo-Thailand Business Connecting 2018』パネルディスカッション登壇決定!
312	2月16日	J-Net21	セミナー：第 1 回ロボット産業活性化事業セミナー～「サービスロボット」「協働ロボット」の安全性
313	2月19日	Jpubb ほか 6 件	IoT セキュリティの標準化に向けたコンソーシアムを設立
314	2月19日	Jpubb ほか 2 件	地方独立行政法人評価委員会第 4 回試験研究分科会を開催
315	2月20日	週刊 BCN+ ほか 3 件	アイビーシー、IoT セキュリティの標準化でコンソーシアムを設立
316	2月20日	SANPOWEB	最新の撮像など詳細説明＝JSNDI・RT シンポ
317	2月21日	マチパブ	【3月 9 日】えどがわ産学官金連携推進フォーラム「中小企業の医療機器分野への参入」
318	2月21日	bp-Affairs	IoT セキュリティに関する技術の開発・実証、標準化を推進
319	2月26日	Value Press	「としまものづくりメッセ」でデスマスク発売決定!
320	3月 1日	金属産業新聞社	締結研、中島顧問が再使用可能なアンカーの講演
321	3月 2日	J-Net21	セミナー：世界に通用するものづくりセミナー国際標準化を活用した海外展開戦略
322	3月 2日	J-Net21	セミナー：第 2 回 ロボット産業活性化事業セミナー「ロボットと創る未来～物流・接客ロボットの進化～」
323	3月 6日	CNET Japan ほか 1 件	サービス産業の課題を解決するロボットや機器が集結—写真で見る HCJ2018
324	3月 7日	日本経済新聞 ほか 46 件	日本ユニシスなど、西武鉄道駅構内でロボットを使った実証実験を実施—安全性向上・駅係員負荷軽減を実現
325	3月 7日	Jpubb ほか 2 件	国際医療機器技術・部品展への出展企業を募集
326	3月 8日	マイナビニュース ほか 19 件	ユニシスら、自律走行する巡回ロボットで駅の不審者を検知する実証実験
327	3月 8日	J-Net21	セミナー：機器分析の基礎 (異物分析を中心に)
328	3月 8日	J-Net21	セミナー：世界に通用するものづくりセミナー フタル酸エステル類規制への対応
329	3月 9日	ものあす	2018 年 3 月 9 日 (金) 日刊工業新聞紙面インデックス
330	3月 9日	@IT ほか 1 件	自立走行型ロボットが鉄道の駅を警備—アースアイズが 2018 年秋に実証実験を開始
331	3月 9日	日刊工業新聞 ほか 1 件	都産技研、ロボや AI で組織横断研究 技術連携で製品化促す
332	3月 12日	mixi ニュース ほか 1 件	自立走行型ロボットが鉄道の駅を整備—アースアイズが 2018 年秋に実証実験を開始
333	3月 13日	ものあす	2018 年 3 月 13 日 (火) 付日刊工業新聞紙面インデックス

No.	日付	サイト名	見出し
334	3月13日	日刊工業新聞 ほか1件	警備ロボ、私鉄駅構内で実証 アースアイズ・都産技研が開発
335	3月15日	Jpubb ほか2件	平成30年度科学技術週間 東京都特別行事のお知らせ
336	3月16日	dメニュー ほか5件	AI搭載ロボット、駅構内を監視 アースアイズ
337	3月16日	Grape ほか2件	洗濯したはずなのになぜか臭う!それ、もしかしたら『逆汚染』かも…
338	3月23日	J-Net21	フタル酸エステル類の規制関連のFAQ
339	3月23日	Jpubb ほか2件	東京都立産業技術研究センター 理事長及び監事の再任
340	3月26日	Jpubb ほか2件	「都への提言、要望等の状況」月例報告(2月分)
341	3月26日	Jpubb ほか4件	IoTセキュリティ基盤サービスのパートナーライセンスを販売開始
342	3月27日	日本インタビュー新聞 ほか1件	IBCがIoTセキュリティ基盤サービスのパートナーライセンスを販売開始
343	3月28日	ファスニングジャーナル ほか1件	締結問題研究会 第90回定例会を開催、中島顧問を講師に研究開発の講演会
344	3月29日	Jpubb ほか2件	地域未来投資促進法に基づく連携支援計画を承認しました
345	3月30日	日本経済新聞	スバル・IHI×中小×自治体 航空産業浮揚へ連携 経産局主導 まず物流を効率化
346	3月30日	日本経済新聞	関東経産局、航空機産業強化へ官民連携基盤

(合計 628 件)

月別の Web 掲載件数は以下のとおりである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	31	19	30	57	57	40	77	75	34	56	32	120	628

## 6.8 図書室

試験、研究、相談などの事業実施において、技術資料の収集・活用は不可欠である。都産技研では、国内外の専門誌・図書・技術文献等を購入するとともに、2ヶ月に1回程度企画展示を行い、蔵書の充実を行っている。平成29年度は、新たに城東支所・城南支所の所蔵図書の登録を開始したほか、本部所蔵図書のうち、カビ被害のあった約3,500冊の蔵書クリーニングを実施した。

また、本部図書室は中小企業者らに公開して、調査研究活動に活用されている。外部利用者数は、延べ587名であった。図書システムで登録・管理している蔵書数は次のとおりである。

平成29年度図書管理数

蔵書種類	本部（城東・城南を含む）	多摩テクノプラザ	墨田支所
和書（冊）	16,147	3,660	2,738
洋書（冊）	1,236	76	119
和文雑誌（種）	508	82	93
欧文雑誌（種）	35	14	15

\*平成30年1月 多摩テクノプラザから本部へ図書の移動を実施

\*平成30年3月 墨田支所から本部へ雑誌の移動を実施

\*城東支所・城南支所の所蔵図書は本部図書室管理となる。

## 平成29年度 年報

ほかに、欧文雑誌電子ジャーナル版 10 誌を平成 28 年度に引き続き、年間契約した。

企画展示図書の内容は以下のとおりである。

平成 29 年度企画展示図書

4 月	次世代自動車を考える
5 月	
6 月	6 月～7 月の新着図書紹介
7 月	
8 月	個人情報保護法について
9 月	
10 月	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの商品開発
11 月	
12 月	ヘルスケア事業分野の開発
1 月	
2 月	航空機産業参入と中小企業
3 月	

## 7. 業務運営

### 7.1 組織運営

平成 28 年度からの第三期中期計画の着実な実施と、都産技研の業務運営および中小企業の動向を踏まえ、新たな組織体制での平成 29 年度版「都産技研戦略ロードマップ」を策定し、ウェブサイトで公開した。また、効率的な事業運営のための業務改革の推進や、職員育成のための各種研修を行った。

#### 7.1.1 都産技研戦略ロードマップ

中小企業の技術支援を通じた産業振興を図り、技術支援の実施にあたってきめ細かいサービスを提供することを目的として、中長期的な視点に立った戦略的な事業展開のための「都産技研戦略ロードマップ」を策定し、公開版をウェブサイトに掲載した。

また、第三期中期計画の着実な達成を目指し、研究開発活動の強化による中小企業の新事業展開を見据えた改訂を行った。

- (1) 事業戦略ロードマップ：現行事業と今後新たに取り組むべき事業を明確にしたもの
- (2) 事業運営ロードマップ：都産技研の運営に関わる取り組みを明確にしたもの
- (3) 技術分野ロードマップ：現行技術と今後注力する技術分野を明確にしたもの

#### 7.1.2 業務改革

所内各部門が業務運営の改善および効率化を図るための業務改革活動に取り組んだ。管理部門への要望なども含め、合計 36 件について取り組みを実施した。実施済みおよび継続中の代表的な取り組み内容は以下のとおりである。

代表的な取り組み内容

事業	取り組み内容
依頼試験	依頼試験ハンドブックの作成および配布、電気安全試験の対応範囲拡充と品質向上
機器利用	機器操作簡単マニュアルの作成、お客さまの利便性向上に向けたウェブサイトの見直し
研究推進	職務発明審査会の効率化、講義形式の基礎学習の実施
管理運営	薬品管理の効率化、文書ファイリングシステムの導入

### 7.1.3 人材育成

職員の能力開発を促進するため、各種職員研修を実施した。

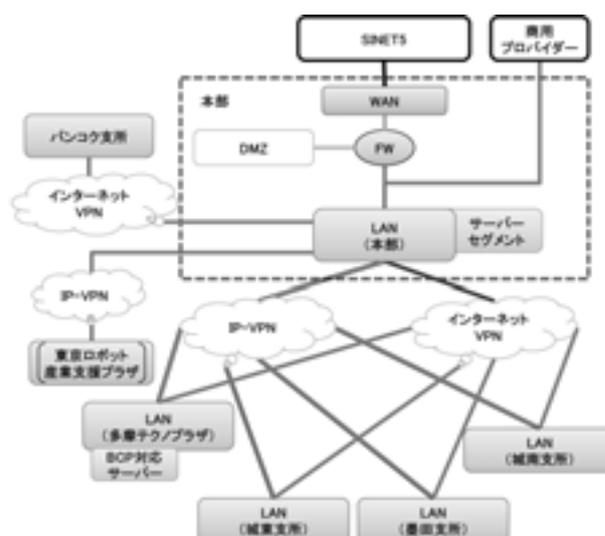
- (1) 新任研修：新規採用および転入職員に対する事業説明など受講者 22名、11日
- (2) 職層別研修：職層ごとに必要な知識の習得や実務研修など受講者 90名、28日
- (3) 専門研修：職務上必要な専門知識の習得 51回
- (4) 派遣研修：中小企業大学校など外部機関における研修 201名  
大学院博士課程 2件
- (5) 出向研修：東京都庁への派遣 1件

## 7.2 都産技研情報システム

### 7.2.1 概要

情報ネットワークの基盤とともに、ウェブ閲覧、メール、ファイル共有、ファイル転送などのサービスを提供した。

本部、多摩テクノプラザ、城東支所、墨田支所、城南支所、バンコク支所および東京ロボット産業支援プラザをネットワークで接続している。組織全体でサービスを共有することにより、試験・研究・技術支援などの産業支援業務および各種事務の効率向上に寄与した。



### 7.2.2 業務運営

#### (1) ネットワーク機能の概要

学術情報ネットワーク（SINET5）および民間プロバイダー経由のインターネット接続、5拠点をつなぐ拠点間通信網で構成されており、ウィルス対策、不正侵入対策、不正端末対策などの機能を有している。

#### (2) 提供サービスの概要

- ・一般ユーザ環境（ファイル共有サーバー、ウェブサイト閲覧、メール、認証印刷、ファイル転送機能など）
- ・グループウェア（予定表、施設予約、掲示板、汎用申請機能など）
- ・メールアーカイブシステム
- ・メール受付共有システム
- ・内部向け情報サーバー（簡易利用手順、FAQなどの掲載）
- ・産業支援業務システム（技術相談・依頼試験・機器利用等事業管理）
- ・首都圏テクノナレッジフリーウェイ (<http://tkm.iri-tokyo.jp/>)
- ・外部公開サイト (<http://www.iri-tokyo.jp/>)
- ・東京都地域結集型研究開発プログラム成果報告サイト (<http://create.iri-tokyo.jp/>)
- ・採用情報サイト (<http://saiyou.iri-tokyo.jp/>)
- ・予約状況表示システム、環境試験機オンライン予約
- ・図書管理システム（蔵書検索、NACSIS連携）
- ・総務システム（庶務事務・人事管理事務）
- ・財務システム（購買・資産管理事務）
- ・拠点間テレビ会議・映像配信システム
- ・薬品管理システム

#### (3) その他

- ・アカウント数 約490アカウント
- ・ネットワーク接続情報端末数 約2,000台、スタンドアロン情報端末数 約800台

## 7.3 業務実績報告書と業務実績評価

### 7.3.1 業務実績報告書の提出

平成 28 年度における業務実績報告書を、東京都が設立する地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの業務運営並びに財務及び会計に関する規則第六条に基づき、平成 29 年 6 月 29 日に東京都地方独立行政法人評価委員会へ提出した。

### 7.3.2 業務実績評価

東京都地方独立行政法人評価委員会は、地方独立行政法人法第二十八条の規定に基づき、東京都が設立した地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターについて、平成 28 年度における業務の実績に関する事業年度評価を行った。

全体評価の総評は以下のとおりであった。

#### ○平成 28 年度業務実績評価

##### 総 評

中期計画の達成に向け、業務全体が優れた進捗状況にある。

第三期中期目標期間の初年度を迎えた東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）は、ロボット産業や生活関連産業の支援強化や開発型中小企業の支援拡充のため、組織を改編し新たな体制を整備するとともに、様々な支援事業において製品化につながる成果が生まれており、順調に事業をスタートさせた。

なかでも、成長産業分野であるロボット産業への中小企業参入支援では、平成 28 年 4 月に東京ロボット産業支援プラザを開設し、試作開発から安全性評価までの体制が整った。公募型共同研究開発事業等を通じ多様なロボットの開発が見込まれている。今後、社会的にインパクトのあるロボットの実用化を期待する。

また、3D 技術やリバースエンジニアリングを活用した製品開発を総合的に支援するため、3D ものづくりセクターを本部に開設した。中小企業による高付加価値な製品開発の支援を開始し、製品化の実績を上げており、高く評価できる。

基盤研究では、今後の成長が期待される「環境・エネルギー」、「生活技術・ヘルスケア」、「機能性材料」、「安全・安心」の 4 つの技術分野を新たに重点分野と位置付け、研究開発の推進に取り組んでいる。研究成果から共同研究や外部資金獲得へ展開した事例が出始めており、今後は更に都内中小企業の製品化・事業化に展開することを期待する。

依頼試験では、高い水準の利用実績を維持している。また、利用者の利便性向上及び業務効率化を図るため、依頼試験から機器利用サービスに移行を促しており、機器利用サービスでは過去最高の実績が出ている。

中小企業の海外展開のための技術支援では、広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）で高い相談実績を維持するとともに、CE マーク取得などの海外展開の事例が増えている。

このように、都産技研は地方独立行政法人のメリットを活かし、産業動向を見据えた機動性の高い組織運営や、中小企業ニーズに合致した柔軟な業務運営を積極的に図り、成果を上げていることは評価できる。

今後も、都産技研の基本理念である、ニーズオリエンティッドな事業運営、事業化を見据えた技術支援、産業育成に直結する研究開発の 3 本柱に基づき、中小企業の製品化・事業化につながる研究開発の推進及び国内外の市場ニーズを的確に捉えた製品開発を支える技術支援の拡充により、中小企業の発展に寄与することを期待する。

なお、第三期中期目標期間の評価にあたり、新たな中期計画が始まったことを踏まえ、利用実績や実施件数等の達成状況、取り組みの内容や事業成果、中小企業への貢献度に加え、都産技研に求められる役割を総合的に勘案して評価を行った。

## 7.4 施設整備

都内中小企業の技術の向上とその成果の普及を図る上で、事業実施のために必要となる施設の整備を行った。本部においては、平成28年4月から5ヶ年の第三期中期計画の実施にあたり各種施設整備を実施した。

### 7.4.1 本部

施設整備・修繕工事 合計 37 件

1	2N03、2C03 航空機産業支援室整備建築	20	2N01、1C22 圧縮空気配管分岐改修
2	2N03 航空機産業支援室電気設備改修	21	倉庫 161 改修
3	航空機産業支援室等整備衛生設備	22	空気圧縮機修繕
4	航空機産業支援室等整備空調設備	23	3C19 衛生設備改修
5	航空機産業支援室電気設備改修その2	24	空冷式モジュールチラー修繕
6	(仮称) IoT 支援サイト建築整備その1	25	1C03 上部空調ドレン管修繕
7	(仮称) IoT 支援サイト電気設備整備その1	26	図書室コンセント増設
8	(仮称) IoT 支援サイト電話設備整備	27	1E02 ほかどアクローザ増設
9	2E04 品質保証推進センター整備	28	2E07 塩水噴霧試験室レイアウト変更対応
10	2N05 他特殊ガス設置対応	29	2C13 可動柵ストッパー設置
11	シリンダーキャビネット計装用窒素ガス減圧供給設備修繕	30	中央監視室系統空調機温湿度センサ修繕
12	3N01 スプレーブース導入	31	外壁面安全ネット撤去
13	2N01 ドラフトチャンバー修繕	32	自動火災報知設備室名変更
14	2E04・4S04 電気設備改修	33	分電盤 MCB 増設および回路変更等電気設備
15	1C23 摩擦試験機導入対応	34	室名変更サイン工事
16	純水製造装置電磁弁交換	35	1E05-20A 床復旧
17	2N01 室パスボックス扉ガラス修繕	36	各室転倒防止設置その他
18	3N07(ラボ 319)積算電力量計取替	37	東京ロボット産業支援プラザ産業ロボット移設対応電気設備
19	非常放送設備バッテリー交換		

### 7.4.2 城東支所

施設整備・修繕工事 合計 20 件

1	製品開発スタジオ整備	11	水道メータ取替
2	受変電設備改修	12	3階女子トイレ洗浄便座取替修繕
3	冷却管漏水修理	13	給湯器交換
4	デザイン室雨漏り補修	14	全熱交換器Vベルト交換修理
5	電気設備改修	15	防水改修その他
6	防水改修	16	火災報知設備の受信機用予備電池の交換
7	加圧給水装置圧力タンク等交換修理	17	機械室ドレンポンプキッド交換
8	ファンコイル交換修理	18	排煙測定器用メータの修理
9	冷却塔関連部品の交換修理	19	ブラインド取替
10	1階トイレ手洗い水栓および排水管修理	20	ファンコイル系配管漏水修理

### 7.4.3 墨田支所 生活技術開発セクター

施設整備・修繕工事 合計 4 件

1	恒温恒湿室自動ドア部品交換	3	電話交換機バッテリーおよびUPS バッテリー交換
2	排気ファンのブーリーおよびベアリング交換	4	脱臭装置用差圧計修理

### 7.4.4 城南支所

施設整備・修繕工事 合計 6 件

1	光造形装置導入対応工事	4	地下1階化学試験室給水配管漏水補修修理
2	クリーンルーム CR-1 配管の修理	5	研修室音響設備の修理
3	廃水処理設備移送ポンプの修理	6	磁気シールドルーム解体

### 7.4.5 多摩テクノプラザ

施設整備・修繕工事 合計 25 件

1	塩水噴霧試験室空調設備改修	14	監視装置バックアップ用蓄電池取替
2	D棟 GH 室外機の圧縮機取替	15	4棟排煙装置点検補修
3	加湿用ポンプユニット補修	16	正門扉補修
4	2階エアコンスイッチ補修	17	GHP 屋外動力電源盤ブレーカ取替
5	恒温恒湿室加湿器シリンダー取替	18	2階薬品庫空調機補修
6	雨水ろ過装置補修	19	塩水噴霧試験室天井ファンコイルドレン管補修
7	網入り型ガラス交換	20	ダイキン GH 室外機定期点検および圧縮機取替
8	洗濯性能評価室蒸気漏補修	21	A・B棟非常照明蓄電池取替
9	電気給湯器電磁弁取替	22	D棟インターホン補修
10	非常放送設備蓄電池取替	23	排気ダクト移設
11	A・B・D棟加湿器取替	24	除湿用室外機補修
12	非常照明蓄電池取替	25	D棟 305号室ロスナイ補修
13	ガス湯沸かし器の補修		

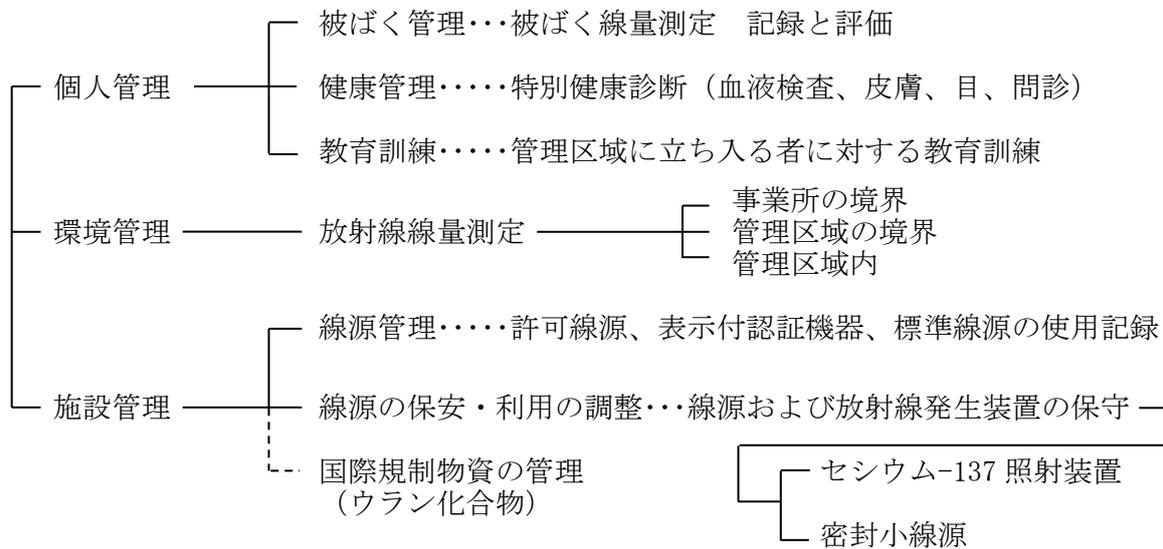
※城東支所、城南支所、多摩テクノプラザは、東京都から建物管理を受託しており、受託費により施設整備を行っている。

## 7.5 安全衛生管理

### 7.5.1 放射線安全管理

放射性同位元素・放射線を取り扱う公設事業所として、職員の安全確保と社会的責任を果たすため、放射線障害防止法関連法令の規定に基づく個人管理、施設・線源管理、環境測定などの放射線管理を実施した。

#### (1) 本部放射線施設における放射線管理の概要



#### (2) 本部における放射線施設の概要

##### 1) 使用許可 平成 23 年 1 月 17 日付許可済み（許可証番号 使第 5725 号）

許可内容

放射線管理区域：第一非破壊検査室、第二非破壊検査室

許可線源：4 種（6 個）

ガンマ線照射装置（Cs-137:81.4 TBq×3 個）

（未保有）密封小線源（Co-60:370 MBq、Co-60:37 MBq、Cs-137:37 MBq）

（平成 30 年 3 月現在）

##### 2) 表示付認証機器（平成 23 年 10 月 27 日届出）

ガンマ線標準照射線量線源 Co-60:10 MBq、Cs-137:10 MBq、Cf-252:3.7 MBq

ガスクロマトグラフ用線源 Ni-63:370 MBq

#### (3) 個人管理

##### 1) 被ばく管理

##### ① 放射線管理対象者

単位：人

	職 員	外来者	合 計
放射線業務従事者	22	0	22
一時立入者	6	580	586
合 計	28	580	608

② 被ばく測定結果

全員 0.1 ミリシーベルト未満であった。

【参考】法定被ばく限度 放射線業務従事者： 50 ミリシーベルト/年  
 100 ミリシーベルト/5年  
 一時立入者： 1 ミリシーベルト/年

2) 放射線健康診断

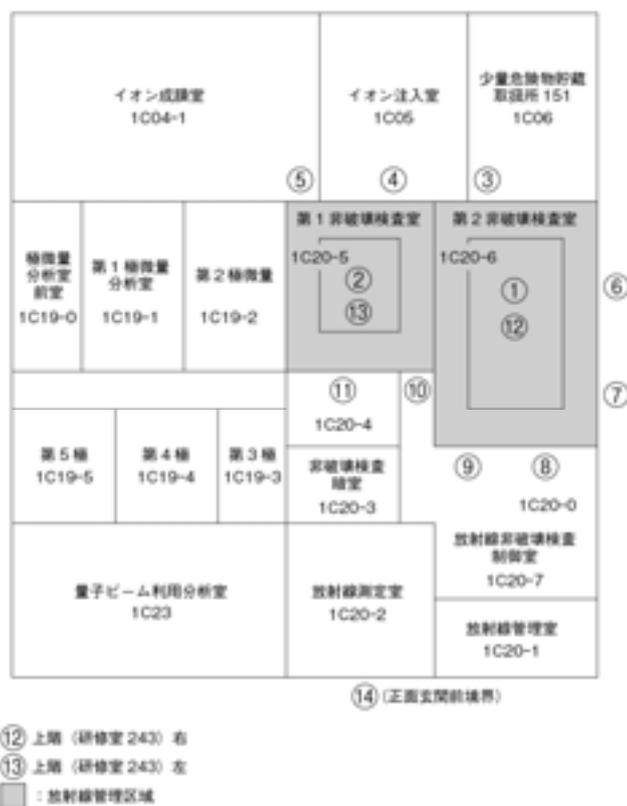
放射線業務従事者を対象に法定項目について実施したところ、全員異常は認められなかった。

3) 教育訓練

- ① 初めて管理区域に立ち入る前の教育訓練・・・7人
  - ② 管理区域に立ち入った後の教育訓練（再教育）・・・15人
- 訓練内容
- ・放射線の基礎
  - ・放射線安全取り扱いに関する法律
  - ・放射線の人体影響
  - ・放射線安全取り扱いの実際

(4) 環境測定

毎月 1 回、ガンマ線照射装置を稼働状態にして、管理区域内（下図①、②）、管理区域境界（③～⑬）、事業所境界（⑭）における 1 センチメートル線量当量率を測定した。測定結果はいずれの月も測定点①～⑬については 0.5 マイクロシーベルト/h 以下、⑭については 0.1 マイクロシーベルト/h 以下であった。



## 【参考】

- (1) 人が常時立ち入る場所（管理区域内）における線量限度：  
実効線量で1ミリシーベルト/週（40 h）＝25 マイクロシーベルト/h
- (2) 管理区域の境界における線量限度：  
実効線量で1.3ミリシーベルト/3月（40 h×13週）＝2.5 マイクロシーベルト/h
- (3) 事業所の境界における線量限度：  
実効線量で250 マイクロシーベルト/3月＝0.116 マイクロシーベルト/h
- (5) 線源などの使用管理
  - 1) 線源等の搬入および搬出：実績なし
  - 2) 線源等使用状況

照射装置名	使用件数		
	研究等	依頼試験等	計
ガンマ線照射装置	66	48	114
表示付認証機器（ガンマ線源）	0	32	32
ガスクロマトグラフ用線源	0	0	0

- (6) 安全点検  
管理区域について以下の安全点検を実施し、安全が確保されていることを確認した。
  - 1) 線源等使用者による始業・終業時における日常点検（毎日）
  - 2) 線源の保管状況の点検（毎週）
  - 3) 放射線取扱主任者および安全管理責任者による施設・設備、線源の管理状況、法定帳簿の記帳・保管など、放射線管理全般についての点検（6月ごと）
  - 4) 地震（震度4以上）直後の安全点検（平成29年度は該当なし）

## 7.5.2 安全衛生管理

- (1) 安全衛生委員会  
本部において、安全衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、安全衛生委員会を開催した。
- (2) 衛生委員会  
多摩テクノプラザにおいて、衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、衛生委員会を開催した。
- (3) 安全衛生推進部会  
安全衛生推進部会ごとに職場の状況に応じた自主的な安全衛生活動を実施した。

<安全衛生推進部会>

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| ① 技術経営支援部会       | ⑥ 城東部会       |
| ② プロジェクト事業推進部会   | ⑦ 墨田部会       |
| ③ 開発第一部・第二部会     | ⑧ 城南部会       |
| ④ 開発第三部・技術開発支援部会 | ⑨ 多摩テクノプラザ部会 |
| ⑤ 企画・総務部会        |              |

【構成員】

・部会長

- |                               |
|-------------------------------|
| ①～⑤：各部の部長、室長、上席研究員、課長の中から1名選出 |
| ⑥～⑧：各支所長                      |
| ⑨：多摩テクノプラザ 総合支援課長             |

・安全衛生推進員

- |  |
|--|
| ①～⑤：各部内の室・グループ・セクター・課ごとに1名ずつ選出           |
| ⑥～⑧：各支所の管理係から1名、技術支援係（放射線安全係）から1～3名程度選出  |
| ⑨：総合支援課から1名、電子・機械グループ、複合素材開発セクターから1名ずつ選出 |
- ・その他部会長が指名した者

【活動内容】

- ・月1回以上、安全衛生推進部会を開催
- ・災害ポテンシャルの摘出と排除を実施
- ・安全衛生上の課題検討と排除を実施

(4) 安全衛生手帳

安全衛生手帳を活用して安全に関する基本的な知識を習得し、日常業務の安全化に努めた。

(5) 法令などに基づく活動

労働安全衛生関係法令に基づき、健康診断、ストレスチェック、健康相談、保護具の適正配布、作業主任者らの適正配置、作業環境測定、施設整備などを実施した。

(6) 健康づくり活動

職員の健康促進のため、健康習慣のきっかけづくりを支援する「健康づくり活動」を2回実施した（6月1日～30日、10月1日～31日）。平成29年度は全職員対象に「階段等の積極的な活用」を推奨し、職員の健康状態把握のきっかけづくりを支援した。

(7) メンタルヘルス

管理職向けのストレスマネジメント研修を行った。

(8) 安全な作業に関する研修

新規採用者向けに、実験室等で安全に業務に取り組むための基本的な研修を実施した。

### 7.5.3 リスクマネジメント

平成 27 年度に制定した「中期計画（平成 28～32 年度の 5 ヶ年計画）」に基づき、リスクマネジメント活動を実施している。

平成 29 年度は、平成 25 年度に制定した都産技研事業継続計画（BCP）地震編の内容を全体的に見直して改訂するとともに、墨田支所および城東支所の被災を想定した対応策を追加した。

### 7.5.4 化学物質等管理

#### (1) 化学物質等の管理

平成 20 年度より運用されている薬品管理支援システム（IASO）で管理している。

化学物質等を保管しているすべての部署に対し安全点検を行い、保管状況について確認した（5月18日～6月27日）。

在庫管理のための薬品棚卸しを実施した（3月5日～3月23日）。

#### (2) 化学物質等のリスクアセスメント

労働安全衛生法によるリスクアセスメント対象物質（663 物質）を扱う際には、事前にリスクアセスメントを実施している（総数 1,284 件）。

平成 29 年度は 563 件のリスクアセスメントを実施した。

#### (3) 取扱者向け研修

化学物質等取扱者研修「化学物質のリスクアセスメントおよび薬品類の取り扱い方法」を実施した。（12月5日）・・・78人

## 7.6 情報開示

「東京都情報公開条例」（第二条）、「東京都個人情報の保護に関する条例」（第二条）に基づき、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが行う情報公開事務に関する要綱」および「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター保有個人情報開示・訂正・利用停止事務取扱要綱」等を制定・施行している。

平成 29 年度は、情報公開請求 1 件、個人情報の開示請求 0 件であった。また、「東京都個人情報の保護に関する条例」の改正に伴い、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが行う情報公開事務に関する要綱」および「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター保有個人情報開示・訂正・利用停止事務取扱要綱」等の一部改正を行った。

## 資 料

### 1 沿革

大正10年10月	東京府立東京商工奨励館（東京都立工業奨励館の前身）設立
大正13年 8月	東京市電気研究所（東京都電気研究所の前身）設立
昭和 2年 3月	東京府立染色試験場（東京都立繊維工業試験場の前身）設立
昭和34年 7月	東京都立アイソトープ総合研究所設立
昭和45年12月	東京都立工業奨励館と東京都電気研究所を統合し、東京都立工業技術センター設立
平成 3年 7月	城東地域中小企業振興センター発足
平成 8年 2月	城南地域中小企業振興センター発足
平成 9年 4月	東京都立産業技術研究所と東京都立工業技術センターと東京都立アイソトープ総合研究所を統合し、東京都立産業技術研究所として発足し、東京都立産業技術研究所として発足
平成12年 4月	東京都立産業技術研究所に東京都立繊維工業試験場を統合
平成14年 4月	多摩中小企業振興センター発足
平成18年 4月	城東地域中小企業振興センター、城南地域中小企業振興センター、多摩中小企業振興センターの技術支援部門を統合し、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとして発足
平成22年 2月	多摩テクノプラザ開設 多摩支所および八王子支所閉鎖
平成23年 3月	駒沢支所閉鎖
平成23年 9月	西が丘本部閉鎖
平成23年10月	本部を江東区青海に移転
平成27年 4月	バンコク支所開設

## 2 施設

(1) 本部（平成23年10月3日業務開始）

所在地 東京都江東区青海二丁目4番10号

敷地面積 14,519.35 m<sup>2</sup>

建築面積 8,573.38 m<sup>2</sup>

延床面積 33,129.80 m<sup>2</sup>（本体建屋：33,032.30 m<sup>2</sup>、付属建屋：97.50 m<sup>2</sup>）

### 1階

総合受付

総合支援窓口

払込窓口

コーディネーター室

相談室

AM（3Dプリンター）ラボ1



### 2階

東京イノベーションハブ

研修室・会議室

実証試験セクター



### 3階

創作実験ギャラリー

製品開発支援ラボ

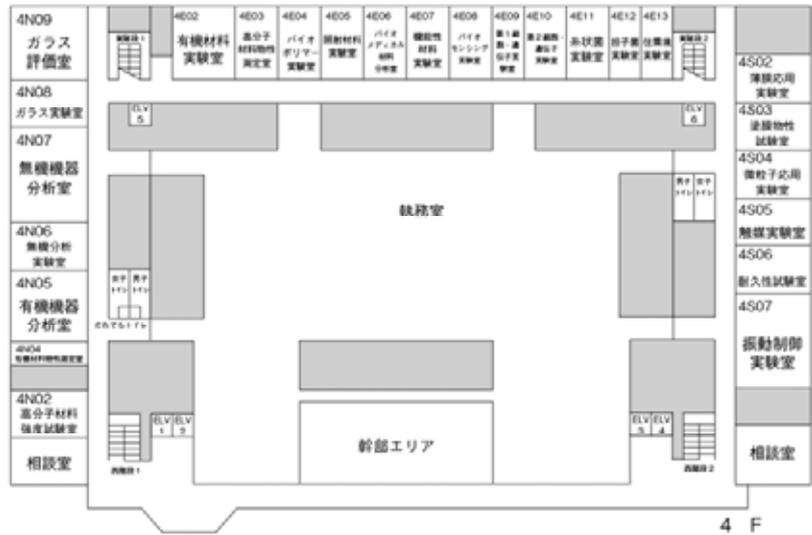
共同研究開発室

輸出製品技術支援センター

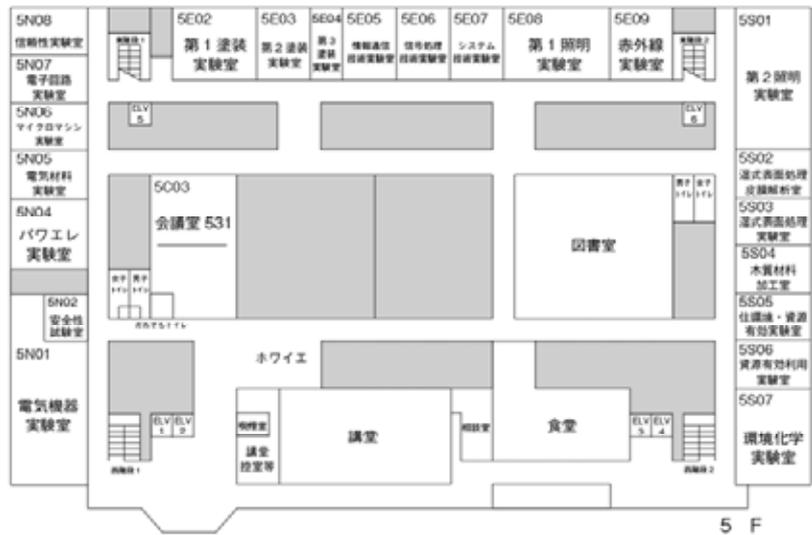
AM（3Dプリンター）ラボ2



4階  
執務室  
相談室



5階  
講堂  
図書室  
会議室  
相談室  
食堂



本部建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
塔屋	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部、鉄骨造)	121.95 m <sup>2</sup>	機械室など
5階		6,397.80 m <sup>2</sup>	講堂、図書室、会議室、食堂など
4階		6,719.04 m <sup>2</sup>	執務室など
3階		6,352.55 m <sup>2</sup>	製品開発支援ラボ、AMラボ2など
2階		6,170.43 m <sup>2</sup>	東京イノベーションハブ、実証試験セクターなど
1階		7,081.91 m <sup>2</sup>	総合支援窓口、AMラボ1など
地階		188.62 m <sup>2</sup>	一般廃棄物処理施設など
付属建屋		鉄筋コンクリート造	97.50 m <sup>2</sup>
合計		33,129.80 m <sup>2</sup>	

<東京ロボット産業支援プラザ>

所在地 東京都江東区青海二丁目5番10号(テレコムセンター内)

使用面積 2,334.46 m<sup>2</sup> 延床面積 158,050.18 m<sup>2</sup>

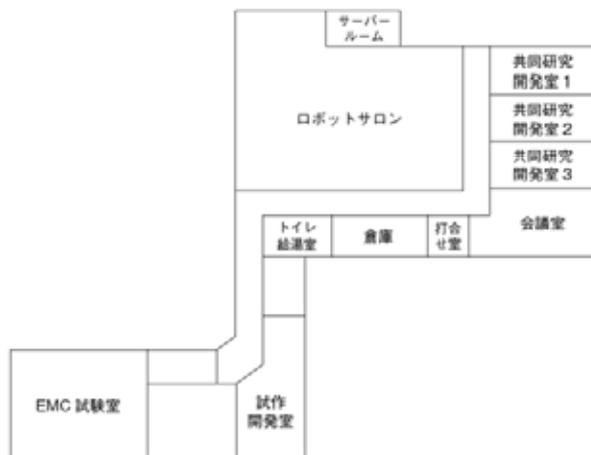
1階



2階



3階



○東京ロボット産業支援プラザ建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
3階	鉄筋コンクリート造	882.62 m <sup>2</sup>	EMC試験室、試作開発室、会議室、共同研究開発室
2階	鉄筋コンクリート造	524.18 m <sup>2</sup>	執務室、疑似実証実験スペース
1階	鉄筋コンクリート造	927.66 m <sup>2</sup>	走行試験エリア、強度試験エリア
合計		2334.46 m <sup>2</sup>	

< IoT 支援サイト (仮称) >

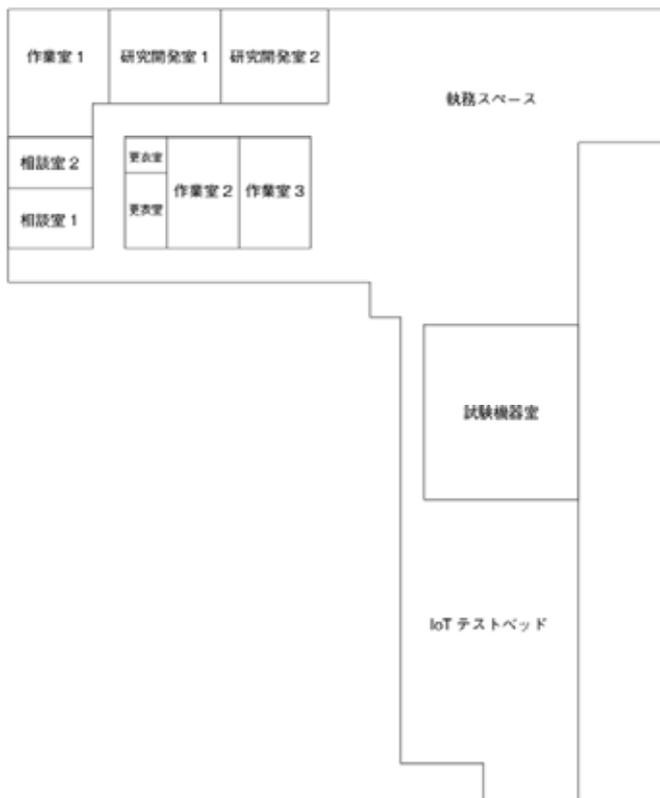
所在地 東京都江東区青海二丁目5番10号(テレコムセンター内)

使用面積 954.25 m<sup>2</sup> 延床面積 158,050.18 m<sup>2</sup>

2階



3階



○IoT 支援サイト (仮称) 建物内訳

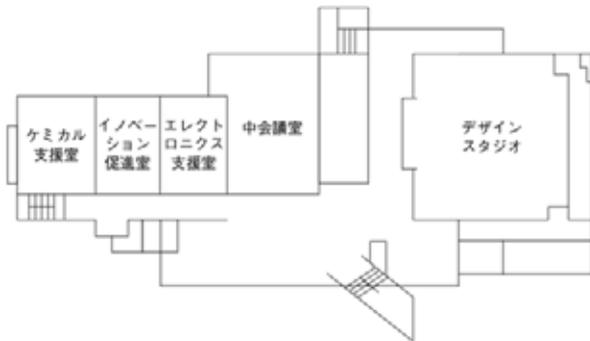
名称	建物		内容
	構造	面積	
3階	鉄筋コンクリート造	705.08 m <sup>2</sup>	執務スペース、研究開発室、相談室、試験機器室、IoTテストベッド
2階	鉄筋コンクリート造	249.17 m <sup>2</sup>	セミナースペース
合計		954.25 m <sup>2</sup>	

(2) 城東支所

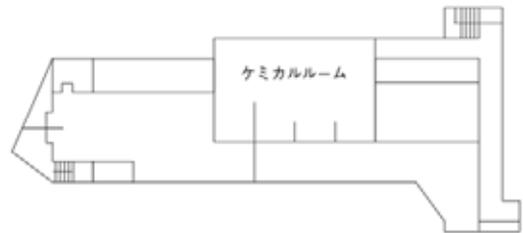
所在地 東京都葛飾区青戸七丁目2番5号(城東地域中小企業振興センター内)

使用面積 1,564.82 m<sup>2</sup> 延床面積 4,402.90 m<sup>2</sup>

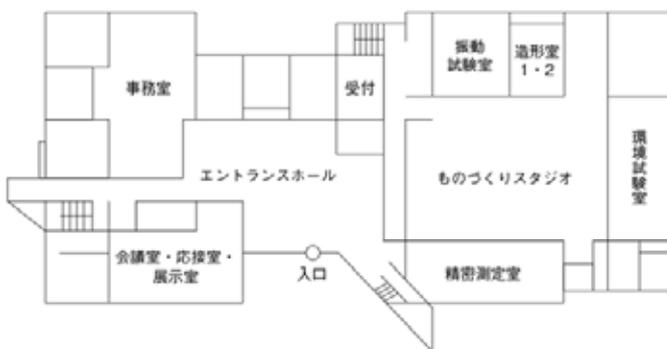
2階



地階



1階



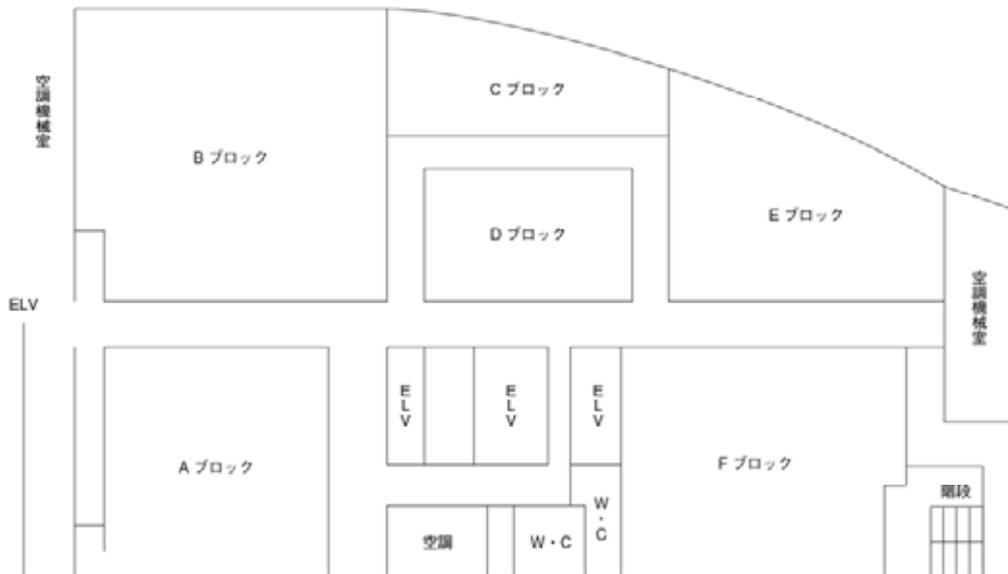
城東支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
2階	鉄筋コンクリート造	654.02 m <sup>2</sup>	デザインスタジオ、中会議室、エレクトロニクス支援室、イノベーション促進室、ケミカル支援室
1階	鉄筋コンクリート造	728.80 m <sup>2</sup>	事務室、会議室・応接室、ものづくりスタジオ、エレクトロニクス測定室、精密測定室、環境試験室
地階	鉄筋コンクリート造	182.00 m <sup>2</sup>	ケミカルルーム
合計		1,564.82 m <sup>2</sup>	

(3) 墨田支所 生活技術開発セクター

所在地 東京都墨田区横網一丁目6番1号(国際ファッションセンタービル12階)

使用面積 1,920.02 m<sup>2</sup> 延床面積 47,565.60 m<sup>2</sup>



墨田支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
Aブロック	鉄骨	296.46 m <sup>2</sup>	総合受付、相談コーナー、図書室、応接室、会議室、セミナー室
Bブロック	鉄骨	417.65 m <sup>2</sup>	生活空間計測スタジオ、生活製品開発ラボ、染色加工試験室、品質評価試験室、安全技術評価室、耐光性試験室、クリーニング試験室
Cブロック	鉄骨	118.62 m <sup>2</sup>	高度観察システム室、生活科学試験室
Dブロック	鉄骨	123.00 m <sup>2</sup>	恒温恒湿室、官能検査室、デザイン室
Eブロック	鉄骨	218.31 m <sup>2</sup>	被服科学試験室、生活環境試験室、日射フィールド試験室
Fブロック	鉄骨	310.49 m <sup>2</sup>	執務室、アパレル設計室
その他		435.49 m <sup>2</sup>	通路、空調機械室など
合計		1,920.02 m <sup>2</sup>	

(4) 城南支所

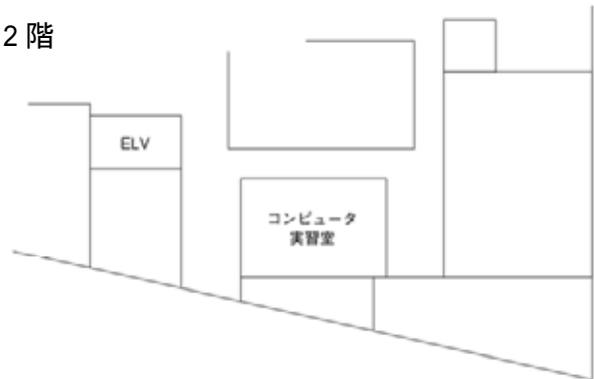
所在地 東京都大田区南蒲田一丁目 20 番 20 号 (城南地域中小企業振興センター内)

使用面積 2,668.52 m<sup>2</sup> 延床面積 8,054.61 m<sup>2</sup>

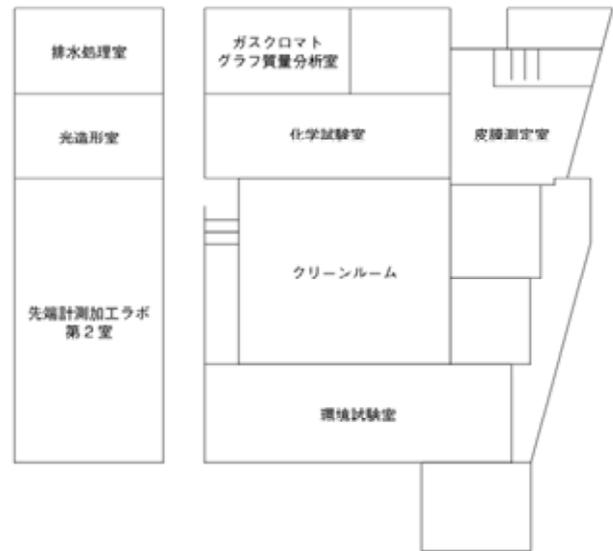
1 階



2 階



地階



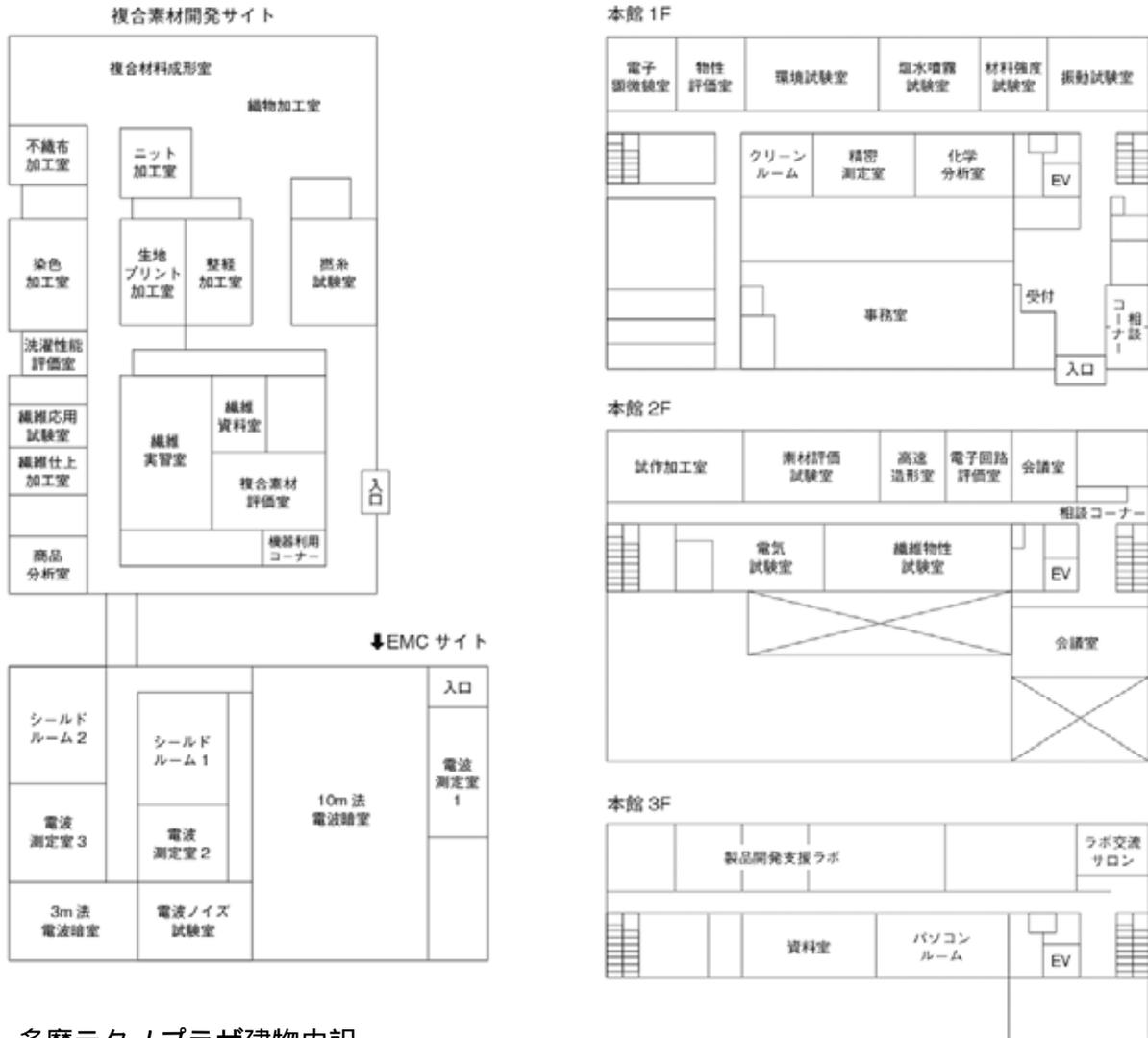
城南支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
3 階	鉄筋コンクリート造	246.94 m <sup>2</sup>	事務室など
2 階	鉄筋コンクリート造	108.24 m <sup>2</sup>	コンピュータ実習室
1 階	鉄筋コンクリート造	1,292.68 m <sup>2</sup>	受付、先端計測加工ラボ第一室、電子顕微鏡室、機器分析室、磁気遮蔽室、各種実験室、研究員室
地階	鉄筋コンクリート造	1,020.66 m <sup>2</sup>	先端計測加工ラボ第二室、光造形室、ガスクロマトグラフ質量分析室、化学試験室、皮膜測定室、クリーンルーム、環境試験室
合計		2,668.52 m <sup>2</sup>	

(5) 多摩テクノプラザ

所在地 東京都昭島市東町三丁目6番1号（産業サポートスクエア・TAMA内）

使用面積 6,120.10 m<sup>2</sup>（産業サポートスクエア・TAMA延床面積9,258.64 m<sup>2</sup>）



多摩テクノプラザ建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
テクノプラザ本館 (A棟)	鉄筋コンクリート造 地上3階建	3,353.53 m <sup>2</sup>	事務室、振動試験室、環境試験室、塩水噴霧試験室、精密測定室、電子顕微鏡室、化学分析室、高速造形室、素材評価試験室、会議室、製品開発支援ラボ
複合素材開発サイト EMCサイト (B棟)	鉄骨造 地上1階建	2,766.57 m <sup>2</sup>	染色加工室、複合材料成形室、複合素材評価室、繊維実習室、10m法電波暗室、3m法電波暗室、シールドルーム、電波ノイズ試験室
合計		6,120.10 m <sup>2</sup>	

C棟：東京都商工会連合会 D棟：(公財)東京都中小企業振興公社多摩支社

### 3 東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会

東京都地方独立行政法人評価委員会は、東京都が設立する地方独立行政法人の業務実績に関する評価などを行う組織であり、そのうち試験研究分科会は、都産技研についての評価を行う。平成29年度、試験研究分科会が4回開催された。

#### 平成29年度試験研究分科会開催概要

	開催年月日	概 要
第1回	平成29年7月4日	・平成28年度業務実績報告について都産技研から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。
第2回	平成29年7月25日	・平成28年度業務実績評価(案)について事務局から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。
第3回	平成29年8月4日	・平成28年度業務実績評価(案)について事務局から説明し、評価案のとおり決定した。 ・平成28年度財務諸表および利益処分(案)について事務局から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。
第4回	平成30年2月28日	・「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターの業務実績評価方針及び評価方法について」の廃止について事務局から説明し、分科会において決定した。 ・平成30年度年度計画について都産技研から説明し、質疑応答ならびに意見聴取した。

#### 4 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章

都産技研が社会において活動していく上で、法人の考え方や姿勢を明確にするために、基本理念とその理念を実現するための行動指針ならびに行動基準を「憲章」として、平成19年12月1日に策定した。役職員に憲章を印刷したカードを携帯させ、都産技研全体のものとする活動を進め、憲章の精神を実現するために精励して業務に取り組んでいる。

##### 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章

「明日の暮らしと産業を支えるために」

###### < 基本理念 >

###### - 私たちの使命 -

産業を担う東京の中小企業を科学技術で支え、すべての人々の生活に貢献することが私たちの使命です

###### - 私たちの理想 -

地球を取り巻く課題を常に意識し、未来を見つめ、日々の努力と英知をもって果敢に挑みつづけることが私たちの理想です

###### - 私たちの信条 -

すべての人々の喜びと安心を大切にし、豊かな創造力と優れた技術に基づく公正なサービスを提供することが私たちの信条です

###### < 行動指針 >

私たちは、基本理念の精神を実現するために、以下の指針に従って行動します

1. 誠実であり続けます（誠実）
2. 科学技術で社会に貢献します（技術）
3. 環境保護に取り組みます（環境）
4. 活気に満ちた健全な職場をつくります（活力）
5. 自らの向上に努めます（研鑽）
6. 適正に業務を行います（適正）
7. 情報を適切に取り扱います（情報）

役員は、率先垂範して憲章を実現するために行動します

## 5 環境方針

都産技研は環境に配慮した業務運営の指針となる環境方針を、平成 21 年 1 月 1 日に制定した。環境にとってよい活動やサービスの提供、継続的取り組み、環境負荷の低減、法令遵守、環境目標などについて、それを行う意思を明らかにした。

### 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター環境方針

「技術の力で環境改善と産業の発展を支えます」

#### < 基本理念 >

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターは、健康で安全な環境と持続的発展可能な社会を次世代に継承するため、環境への配慮を経営上の最重要課題のひとつと位置付け、日々の努力と英知をもって環境改善に取り組みます。

#### < 基本方針 >

1. 環境負荷の低減、環境改善につながる研究開発・技術支援を積極的に行います。
2. 省資源・省エネルギー化を推進し、CO<sub>2</sub>と廃棄物の削減に努めます。
3. 職員全員の環境問題に関する意識の向上を図ります。
4. 環境に関する法令、条例、規則等を遵守します。
5. 環境目標を策定し、定期的な見直しを行うことにより、継続的に改善を進めます。

この環境方針を内外に公表し、都民・中小企業の理解と協力を得ながら実施していきます。

## 6 リスクマネジメントに関する基本方針

都産技研におけるリスクマネジメントに関して必要な事項を定め、リスク顕在化防止および危機対応等を行い、都産技研の事業運営の堅実化およびステークホルダーの損失の最小化を図るため、平成23年1月23日、リスクマネジメントに関する基本方針を制定した。

### リスクマネジメントに関する基本方針

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、都内中小企業のニーズに対応した技術支援を行い、もって都民生活の向上に寄与するために、都民の皆様からのご理解と高い信頼が得られるよう、高品質な経営の確立を目指します。

適正かつ効率的な経営を実現するために、都産技研は有効な内部管理体制を構築し、事業に関連する危機及び災害などの様々なリスクに対応するためのリスクマネジメントに関する体制を整備し、その充実、強化に努めていきます。

リスクとは、それが顕在化することによって、事業目的の達成に望ましくない影響を与える可能性、または可能性のある要因と定義します。

都産技研のリスクマネジメントは、以下の事項を達成目標として活動します。

1. 役職員一人ひとりが、高い業務品質の維持・改善を通じて、リスクの顕在化防止に努めます。（品質）
2. リスクを特定、評価し、適切に対策を行うことでリスクの顕在化を未然に防ぎます。（防止）
3. リスクが顕在化した場合は、責任ある行動により、被害の最小化及び速やかな回復を図ります。（回復）
4. リスクマネジメントを通じて、リスク対応能力の継続的向上を図ります。（向上）
5. 都産技研に関係する全ての人や組織の安全及び健康に配慮した業務を行います。（安全）
6. 高い倫理感を持って業務を遂行し、法令、規程類及びそれらの精神を理解し遵守します。（遵守）

理事長はリスクマネジメント活動の責任者として、これを統括します。

都産技研では、以上の方針及びリスクマネジメントに関係する諸規程に基づき、リスクマネジメントを確実に実行することで、都内中小企業への技術支援に貢献してまいります。

## 7 第三期中期計画

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 26 条の規定に基づき、東京都知事から指示を受けた平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの 5 年間における地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）の中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を、以下のとおり定める。

都産技研は、平成 18 年 4 月地方公設試験研究機関で初めて地方独立行政法人化し、デザインセンターや企業の要望に応じたオーダーメイド型の支援事業を新たに展開するなど事業の幅を広げるとともに、こうした技術支援に適した組織変更を行うなど、法人の経営判断に基づく機動性の高い組織運営や柔軟かつ迅速な業務運営を積極的に推進し東京の産業の発展と都民生活の向上に寄与してきた。

第二期中期計画期間では、平成 23 年度江東区青海に開設の本部において高度な技術開発に対する支援を新たに開始するなど事業を拡充・強化して都内中小企業の製品化や事業化などものづくり中小企業の総合的支援を行った。

第三期中期計画期間では、第二期中期計画期間で得られた事業成果を有効活用しつつ、研究開発活動によって東京の成長産業支援を図るとともに、開発型中小企業支援をより充実させる。第二期に開設した広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）事業並びに海外拠点事業により、都内中小企業の海外展開等に対する技術支援をさらに推し進めていく。

具体的には、

### 1 研究開発活動による東京の成長産業支援

東京の将来の活力を支える成長産業分野である「環境・エネルギー」、「生活技術・ヘルスケア」、「機能性材料」、「安全・安心」の 4 分野の研究開発活動によって中小企業の新事業への展開などを促進する。また、今後の少子高齢化対策並びに生活の質の向上対策として期待されているロボット産業の活性化事業を推進する。

### 2 プロダクトイノベーションの推進による開発型中小企業の支援

3D デジタル技術を活用した高度なものづくり支援及び新製品開発の要となる材料技術開発を支援する。また、急激に発展する技術革新に対応する取組として、開発期間の短縮を求められている都内中小企業に対し効率的な製品開発ができる場を提供することにより、製品開発や事業化のスピードアップに貢献する。

### 3 中小企業の海外展開を支える技術支援

経済のグローバル化等への中小企業の対応を支援するため、国際規格に即した製品開発等に関する情報提供や相談体制の確保に努めるとともに、海外展開する中小企業に対する現地技術支援を進め、都内中小企業の国際競争力の強化や海外展開に貢献する。

#### 4 多様な機関との交流連携の推進

産学公連携によって中小企業と大学、学協会、研究機関との連携を推進する。公設試験研究機関が相互に連携・補完して広域的に中小企業の技術支援を実施する。中小企業振興公社等の経営支援機関と連携して技術と経営の両面から総合的な支援に努める。

#### 5 高度な産業人材の育成

新製品・新技術開発、高度化する研究開発や製造技術において、ものづくりの上流工程である製品の企画・設計を担う中小企業の技術者の育成を行う。中小企業の海外展開事業必須となるグローバル人材の育成に着手する。

住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

#### 1 東京の産業発展と成長を支える研究開発の推進

##### 1-1 基盤研究

機械、電気・電子、情報、化学、バイオ等の基盤技術分野に対する基盤研究を着実に実施するとともに、中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術課題の解決に役立つ技術シーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の充実、都民生活の向上に資する研究を基盤研究として取り組む。

なかでも、今後の成長が期待される4つの技術分野を重点として、新産業育成を図る研究に取り組み、都内中小企業による新しいサービスの創出に貢献する。

##### ア) 環境・エネルギー分野

大都市特有の課題である環境浄化に関する技術開発に取り組み、国際競争力を有する環境浄化技術を開発するとともに、再生可能エネルギーなどの研究開発により新エネルギー創出に貢献する。

##### イ) 生活技術・ヘルスケア分野

感性工学などに基づいた生活技術を応用して、サービス産業の支援を行う。東京に集積している健康・医療・福祉機器産業に対して、先端技術を活用した研究開発によって支援を行う。

##### ウ) 機能性材料分野

幅広い産業への波及効果が高い高機能性材料の開発に取り組み、航空機産業や素材産業などの成長産業に対する中小企業の参入を支援する。

##### エ) 安全・安心分野

システム安全に基づいた高信頼性技術の開発を行い、製品の安全性向上を支援する。少子高齢化社会で必要となるサービスロボットの安全性評価技術を開発し、信頼性の高いロボット開発を支援する。

基盤研究の成果は、都産技研の技術レベルの向上、対応技術分野の充実、新たな依頼試験項目の追加など中小企業への技術支援につなげていくほか、中小企業との共同研究の実施や外部資金導入研究にも発展させていく。基盤研究の成果を基に、事業化・製品化された件数、

共同研究に発展した件数、外部資金導入研究に採択された件数を合わせて、第三期中期計画期間中に100件を目標とする。

#### 1-2 共同研究

基盤研究で得られた研究成果を効率的かつ効果的に実用化へつなげていくため、独自の技術やノウハウを有し意欲のある中小企業や業界団体、大学、研究機関と協力して、共同研究に積極的に取り組む。共同研究の実施により、第三期中期計画期間中に製品化又は事業化に至った件数については、33件を目標とする。

共同研究機関の共同研究による製品化・事業化を把握できる仕組みを導入する。

#### 1-3 外部資金導入研究・調査

都産技研が保有する研究成果を基に、科学技術研究費や産業振興を目的とする外部資金等に積極的に応募し採択を目指す。外部資金を導入した研究・調査を実施した成果をもって、中小企業のニーズや社会的ニーズの解決に応えていく。外部資金導入研究・調査の採択件数については、第三期中期計画期間中に70件を目標とする。

#### 1-4 ロボット産業活性化事業

今後の少子高齢化対策並びに生活の質の向上対策として期待されているロボット産業の活性化事業を実施し、中小企業や大学との共同研究を通じた事業化・産業化を推進する。また、ロボット産業の活性化に必要な産業人材を育成する。

#### 1-5 生活関連産業の支援

クールジャパン製品に代表されるように、生活関連製品の付加価値向上の重要性が増していることから、感性工学など新たな産業技術にもとづく開発促進および製品評価に係る技術支援サービスを実施する。

### 2 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

#### 2-1 技術的課題の解決のための支援

##### (1) 技術相談

ものづくりの基盤的技術分野の技術支援ニーズのみならず、環境、生活技術、安全・安心など都市課題の解決に向けた幅広い技術支援に取り組む。

本部に設置した総合支援窓口の取組みを継続し、複数技術分野にまたがる相談への一括対応などサービス機能の総合化を図り、お客様へのワンストップサービスを継続する。

中小企業の現場での支援が必要な場合は、職員や専門家を現地に派遣する実地技術支援を実施する。都産技研が保有していない技術分野の相談があった場合は、専門家への委嘱あるいは他の試験研究機関や大学へ紹介するなどお客様の利便性向上に努める。

技術相談件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成32年度の年間実績120,000件を目標とする。

## (2) 依頼試験

製品の品質・性能証明や事故原因究明など都内中小企業の技術的課題の解決及び高品質、高性能、高安全性など付加価値の高いものづくりを支援できるよう、依頼試験の充実を図るとともに、効果的な技術的アドバイスを実施する。JIS等に定めのない分析・評価など、お客様の個別の試験ニーズに対しては、オーダーメイド試験により柔軟に対応する。

膨大かつ多様な試験ニーズに対応するため、首都圏公設試験研究機関連携体（以下「TKF」という。）に参加している近隣の公設試験研究機関と連携し、お客様の相互紹介を行うなどのサービスを実施する。

中小企業の海外取引の拡大や高度化する製品開発に伴って必要となる品質証明に関するニーズに対応し、公的試験研究機関としての信頼の維持向上を図るため、機器の保守・更新、校正管理をより適切に行う。試験所認定を受けた登録分野の技術支援を実施することで、依頼試験の高品質化を進める。

高付加価値な製品の開発に必要な高度かつ多様な試験ニーズに対応するため、試験項目の追加等を適宜行うとともに、全国の公設試験研究機関にはない都産技研の特徴ある技術分野（非破壊透視試験、音響試験、照明試験等）については、試験精度の向上や試験内容の充実を図るなど一層高品質なサービスの提供に努める。都産技研の特徴ある技術分野が依頼試験全体に占める割合については、第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績で 23%を目標とする。

## 2-2 開発型中小企業の支援

### (1) 機器利用サービスの提供

中小企業では導入が困難な測定機器や分析機器を整備し、中小企業における新製品・新技術開発のために機器の直接利用のサービスを提供する。利用に際しては、職員の豊富な知識を活かして、的確な機器利用に関する指導・助言を行う。

高度な先端機器についても、利用方法習得セミナーを開催して機器利用ライセンスを発行する制度により、中小企業の機器利用の促進を図る。

都産技研ホームページ（以下、「都産技研 HP」という。）を活用し、利用可能情報を提供するなど、機器利用に際しての利便性向上を図る取り組みを継続する。

### (2) 高付加価値製品の開発支援

アディティブマニュファクチャリング設備による試作・製作支援、三次元 CAD データ作成等のデジタルエンジニアリング支援を行うための「3D ものづくりセクター」を開設し、3D 技術やリバーシブルエンジニアリングを活用した製品開発を総合的に支援する。「3D ものづくりセクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績 21,100 件を目標とする。

機能性材料、環境対応製品など先端材料製品の開発に用いる高度先端機器を集中配置した「先端材料開発セクター」を開設し、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。「先端材料開発セクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績 7,600 件を目標とする。

産業用繊維や炭素繊維などの複合素材の開発を支援するため、多摩テクノプラザに「複合素材開発セクター」を開設し、成長産業へ参入を希望する中小企業の支援を行う。「複合素材開発セクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績 19,500 件を目標とする。

中小企業が自社製品を開発する際の上流工程の技術課題解決に対応するため、オーダーメイド開発支援を実施し、新製品や新技術の開発を支援する。オーダーメイド開発支援の件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績 450 件を目標とする。

新製品・新技術開発を目指す中小企業の研究・実験スペースへのニーズに対応するため、本部の製品開発支援ラボ 19 室に加えて多摩テクノプラザの製品開発支援ラボ 5 室を引き続き利用に供する。

共同研究企業が無料で利用可能な共同研究開発室を 3 室設置し、共同研究の成果を活用した迅速な製品の開発を促進する。

### (3) 製品の品質評価支援

中小企業の安全で信頼性の高い製品開発のために必要な温湿度、振動、衝撃、劣化、ノイズ等の試験を行う際に、技術相談、依頼試験、機器利用を一貫して支援することができるよう、環境試験機器を「実証試験セクター」に集約し、迅速かつ効率的な試験サービスを提供する。「実証試験セクター」における依頼試験と機器利用の総件数については、第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績 48,000 件を目標とする。

## 2-3 新事業展開、新分野開拓のための支援

### (1) 技術経営への支援

中小企業が自社の「技術力」を強力な経営基盤として活用し、戦略的な事業展開や技術経営手法の導入等に活かしていけるよう、公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「中小企業振興公社」という。）などの経営支援機関と連携して、セミナーの開催や企業への実地技術支援等を行う。

都産技研の成果として蓄積した優れた新技術や技術的知見を、中小企業の技術開発や製品開発に活かすため、知的財産権の出願やそれらを活用する使用許諾を推進する。第三期中期計画期間中に都産技研の知的財産権を中小企業等へ実施許諾する件数については、30 件を目標とする。

### (2) 技術審査への貢献

東京都や自治体、経営支援機関等が実施する中小企業等への助成や表彰などの際に行われる技術審査に積極的に協力する。

公的試験研究機関として公平・公正・中立な審査を効率的に行えるよう、学会や展示会などでの最新の技術情報の収集・研究や研修等の実施により審査スキルの向上に努める。

## 2-4 中小企業の海外展開を支える技術支援

### (1) 国際規格対応への支援

中小企業が製品輸出や海外進出などを行う際に、相手国の規格への適合性を確認するための測定や分析の必要性などの情報が中小企業に十分に提供されていない現状を踏まえ、国際規格に関する相談や国際規格の動向に関するセミナーを実施し、海外展開を目指す都内中小企業を支援する。

中小企業の海外展開等で必要となる国際規格に対応した試験により都内中小企業の海外展開支援をすすめる。第三期中期計画期間の最終年度である平成 32 年度の年間実績 4,000 件を目標とする。

### (2) 海外支援拠点による支援

今後の市場拡大が期待される海外に展開する中小企業に対し現地技術支援を実施するとともに、海外の現地情報を都内中小企業へ情報提供し海外展開支援を実施する。

## 3 多様な主体による連携の推進

### 3-1 産学公金連携による支援

本部に開設した「東京イノベーションハブ」において、中小企業と大学、学協会、研究機関との連携を促進するセミナーや交流会、展示会を開催し、産学公連携支援を推進する。

公立大学法人首都大学東京（以下「首都大学東京」という。）など豊富な技術シーズを有する大学や研究機関と中小企業とのマッチングの場を提供する。

企業同士の連携に意欲のある企業に対して、異業種交流会や技術研究会の設立支援、業界団体との業種別交流会の開催等を継続実施し、単独企業では困難な技術的課題の解決や新製品・新技術開発を促進する。

中小企業の製品開発や事業化が円滑に進むよう、金融機関など支援機関と連携した取り組みを行う。

### 3-2 行政及び他の支援機関との連携による支援

区市町村やそれらの自治体が運営する中小企業支援機関が開催する展示会及びセミナーへの参加の要請や、職員派遣の要請等にきめ細かく対応することで、地域における産業振興の取組みに貢献するとともに都産技研の利用促進を図る。

公設試験研究機関が相互に連携・補完して広域的に中小企業の支援を実施している TKF の活動を継続することにより、広域的なワンストップサービスを確保し、中小企業への技術支援の充実を図る。

都産技研を利用した中小企業において、製品化や事業化の際に生じる開発資金の調達、販路の開拓などが円滑に進められるよう、中小企業振興公社等の経営支援機関と連携して技術と経営の両面から総合的な支援に努める。

## 4 東京の産業を支える産業人材の育成

### 4-1 技術者の育成

新技術、産業動向、国際化対応などに関するセミナーや実践に役立つ講習会の開催により、中小企業の新製品・新サービスの創出を担う人材育成を進めるとともに、研究開発や製造技術の高度化を担う中小企業の産業人材の育成を支援する。

### 4-2 関係機関との連携による人材育成

首都大学東京をはじめとする大学、学術団体、業界団体、行政機関等が実施している産業人材育成の取組みに対して、職員の講師派遣、インターンシップによる学生の受入れなどで積極的に協力する。

サービス業や卸売業・小売業においても、製品の製造や品質管理に関する知識を有する人材育成が必要となっていることを踏まえ、都産技研の設備や人材を活かした実践的なセミナーを実施する。

個別企業や業界団体等の人材育成ニーズに対して、希望に対応したカリキュラムを編成するオーダーメイドセミナーを実施し、人材育成ニーズにきめ細かく対応する。

### 4-3 海外展開に必要なグローバル人材の育成

中小企業が海外へ事業を展開する際には現地の経営環境や市場動向に詳しい人材の育成が必要であることを踏まえ、金融機関などの連携締結機関の情報や他の産業支援機関を活用した実践的なセミナーを実施する。

## 5 情報発信・情報提供の推進

### 5-1 情報発信

東京都、区市町村、中小企業振興公社、商工会議所、商工会などの支援機関等が実施する講演会、イベント・展示会への参加を通じ、都産技研の事業を積極的に PR し利用拡大につなげる。

都産技研が開催する研究発表会と、TKF 参加の各公設試験研究機関等が行う研究発表会の間で、相互に発表者を派遣し合うなど、多様な連携により研究機関が保有する技術シーズや研究成果を広く中小企業に発信する。

### 5-2 情報提供

中小企業の製品開発や生産活動に役立つ以下の情報をインターネットや技術情報誌等の広報媒体により速やかに提供する。

- ・ 研究開発の成果
- ・ 保有する技術情報やノウハウ
- ・ 依頼試験や設備機器の利用に関する情報
- ・ 産業人材育成に関するセミナー開催情報
- ・ 共同研究や受託研究の公募に関する情報
- ・ 最近の国内外の技術動向等に関する情報

## 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### 1 組織体制及び運営

#### 1-1 機動性の高い組織体制の確保

都内各地の産業特性を考慮しながら、社会経済情勢や中小企業の変化する技術ニーズに的確に対応できる機動性の高い執行体制を確保するため、地方独立行政法人のメリットを活かした柔軟かつ迅速な経営判断により、組織体制を弾力的に見直していく。

#### 1-2 適正な組織運営の確保

地方独立行政法人法の主旨に則った事業経費の適切な執行管理を行うとともに、事業別のセグメント管理により、各事業において投入した経営資源と事業効果を検証し、技術支援事業と研究開発事業とのバランスの取れた事業執行をめざすなど、都内中小企業に対して高品質な技術支援サービスを安定的かつ継続的に提供する適切な組織運営を実施する。

#### 1-3 職員の確保・育成

技術革新の著しい産業や技術に対し将来を見据えた中長期的な視点に立って、必要とされる技術を適時に中小企業に対して提供できるよう、大学訪問などの積極的なリクルート活動により優秀な研究職員を計画的に採用する。

地方独立行政法人の機動的で柔軟な組織運営に必要な事務職員についても、計画的に確保していく。

地方独立行政法人の任用・給与制度の特徴を活かして、公平な業績評価とその昇給等への適切な反映により、職員一人ひとりのモチベーションを高めるとともにそのレベルアップを進め、組織運営の効率化や、技術支援及び研究開発の水準の向上を図る。

中小企業のグローバル化を適切に支援していくため、職員の海外での学会参加による情報収集などを通じて国際規格の相談に対応できる職員の確保・育成に努める。

#### 1-4 情報システム化の推進・情報セキュリティ対策の徹底

ネットワークやインターネット、人事・庶務システムなどの都産技研の業務運営に欠かせない情報システム基盤を活用し、情報システムの利便性向上、業務の効率化、セキュリティの向上等を図る。

テレビ会議システムによる遠隔相談等を実施し、お客様へのサービスの向上に努める。

海外展開を支援する海外支所とのネットワーク化を推進し、利便性及びセキュリティの向上を図る。

### 2 業務運営の効率化と経費節減

#### 2-1 業務改革の推進

お客様へのサービスの向上、業務の効率化、経費の削減等を目的として、組織と職員からの提案による業務内容や処理手続きの見直し等の業務改革を推進し、外部機関や専門家の活用も含め高い経営品質の実現や利用者満足度の向上を目指す。

## 2-2 財政運営の効率化

標準運営費交付金（プロジェクト的経費を除く。）を充当して行う業務については、中小企業ニーズの低下した業務の見直しや複数年契約の推進等により、毎年度平均で前年度比一パーセントの財政運営の効率化を図る。

### 財務内容の改善に関する事項

#### 1 資産の適正な管理運用

安全かつ効率的な資金運用管理を推進し、建物、施設については、計画的な維持管理を行うとともに、設備機器については校正・保守・点検を的確に行うことにより国内規格や国際規格に適合する測定等が確実に実施できるよう管理運用する。

#### 2 剰余金の適切な活用

的確な経営判断に基づき、新しい事業の開始、研究開発の推進、設備の更新・導入などにより、都内中小企業に提供するサービス水準の向上を図るとともに、事業実績や成果の向上につながるよう、剰余金を有効に活用する。

予算（人件費の見積りを含む。）収支計画及び資金計画  
別紙

### 短期借入金の限度額

#### 1 短期借入金の限度額

15 億円

#### 2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅滞及び予見できなかった不測の事態の発生等により、緊急に借入れの必要が生じることが想定される。

重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画  
なし

### 剰余金及び積立金の使途

#### 1 剰余金の使途

当該中期目標期間の決算において剰余金が発生した場合、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

#### 2 積立金の使途

前期中期目標期間の最終年度において地方独立行政法人法第 40 条第 1 項又は第 2 項の処理を行ってなお積立金があるときは、その額に相当する金額のうち設立団体の長の承認を受けた金額について、中期計画の剰余金の使途に規定されている、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

## その他業務運営に関する重要事項

### 1 施設・設備の整備と活用

業務の確実な実施と機能向上のための施設・設備の整備を計画的に実施する。

実施に当たっては、東京都からの施設整備補助金等の財源を確保し、先端技術への対応や省エネルギー対策を含めた総合的・長期的観点に立った整備・更新を適切に行う。

### 2 危機管理対策の推進

個人情報や企業情報、また製品開発等の職務上知り得た秘密については、適正な取扱いと確実な漏洩防止を図るために、全職員の受講を必須とする研修を実施する。

健全な事業活動の確保や事故・事件の未然防止を図るため、環境保全や規制物質管理、労働安全衛生に関する法令を遵守し、危険物、毒劇物の管理と取扱い、災害に対する管理体制を確保するとともに、防災訓練等の実施や職員に対する意識向上のための研修を実施する。

震災の発生や新興感染症の流行などに備え、対応策を定めるとともに、万が一発生した場合には、被害拡大の防止に向けた対策を実施する。

緊急事態の発生を想定し、対策委員会の設置、緊急連絡網の設定、通報訓練の実施等をマニュアルとしてまとめるなど、迅速な情報伝達・意思決定に向けた管理体制の整備を図る。

### 3 社会的責任

#### 3-1 情報公開

公共性を有する法人として、運営状況の一層の透明性を確保するため、都産技研 HP や刊行物の発行等により経営情報の公開に取り組む。

事業内容や事業運営状況に関する情報開示請求については、規則に基づき迅速かつ適正に対応する。

#### 3-2 環境への配慮

法人の社会的責任を踏まえ、省エネルギー対策の推進、CO<sub>2</sub>削減等、「環境方針」に沿った取組により環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営を行う。

#### 3-3 法人倫理

都民から高い信頼性を得られるよう、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章」等を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、職務執行に対する中立性と公平性を確保しつつ、高い倫理観を持って業務を行う。

## 予算（人件費の見積を含む。）収支計画および資金計画

## 1. 予算

## 平成 28 年度～平成 32 年度予算

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	30,665
（うち標準運営費交付金効率化係数対象分）	22,875
（うち標準運営費交付金効率化係数対象外分）	984
（うち特定運営費交付金分）	6,806
施設整備費補助金	50
自己収入	6,216
事業収入	3,536
補助金収入	300
外部資金研究費等	500
その他収入	1,880
積立金取崩	462
計	37,393
支出	
業務費	27,523
試験研究経費	8,124
外部資金研究経費等	500
東京緊急対策	61
ロボット産業活性化	3,603
役職員人件費	15,234
一般管理費	9,870
計	37,393

## [人件費の見積り]

中期目標期間中、総額 14,823 百万円支出する。（退職手当は除く。）

金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 2. 収支計画

## 平成 28 年度 ~ 平成 32 年度収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	39,548
經常費用	39,548
業務費	23,798
試験研究経費	5,062
外部資金研究経費等	500
役職員人件費	15,234
東京緊急対策	61
ロボット産業活性化	2,940
一般管理費	9,172
減価償却費	6,579
収入の部	39,548
經常収益	39,548
運営費交付金収益	27,003
事業収益	3,536
外部資金研究費等収益	500
補助金収益	50
その他収益	1,880
資産見返運営費交付金等戻入	6,331
資産見返補助金等戻入	233
資産見返物品受贈額戻入	1
資産見返寄付金等戻入	13
純利益	0
総利益	0

金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 3 . 資金計画

## 平成 28 年度 ~ 平成 32 年度資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	37,393
業務活動による支出	32,969
投資活動による支出	4,424
資金収入	37,393
業務活動による収入	36,931
運営費交付金による収入	30,665
事業収入	3,536
外部資金研究費等による収入	500
補助金等による収入	350
その他の収入	1,880
前期中期目標期間よりの繰越金	462

金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 8 平成 29 年度計画

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）第 26 条の規定に基づき、東京都知事から認可を受けた平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日までの 5 年間における地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）の中期計画を達成するための平成 29 年度の業務運営に関する計画を、以下のとおり定める。

住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

### 1 東京の産業発展と成長を支える研究開発の推進

#### 1-1 基盤研究

機械、電気・電子、情報、化学、バイオ等の基盤技術分野に対する基盤研究を着実に実施するとともに、中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術課題の解決に役立つ技術シーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する研究を基盤研究として取り組む。

なかでも、今後の成長が期待される環境・エネルギー、生活技術・ヘルスケア、機能性材料、安全・安心技術分野を重点研究として取り組み、都内中小企業による新しいサービスの創出に貢献する。

また、これまでの基盤研究において得られた研究成果を事業化・製品化及び共同研究への実施や外部資金導入研究の採択へ発展させる。

#### 1-2 共同研究

##### (1) 実用化を見据えた共同研究の実施

基盤研究で得られた研究成果を効率的かつ効果的に実用化へつなげていくため、独自の技術やノウハウを有し意欲のある中小企業や業界団体、大学、研究機関と協力して、共同研究に積極的に取り組むとともに、成果展開へつなげる。

具体的には、年度当初及び年度途中で研究テーマを公募により設定し、研究を実施する。また、共同研究機関の共同研究による製品化・事業化を把握する取組みを継続する。

##### (2) 中小企業への IoT 化支援事業

IoT 技術の中小企業への導入・普及を図るため、中小企業との共同研究を通して、工場等への IoT 技術の導入や IoT 関連製品の開発による新規事業参入を支援する。

#### 1-3 外部資金導入研究・調査

都産技研が保有する研究成果を基に、科学技術研究費や産業振興を目的とする外部資金等に積極的に応募し採択を目指す。

##### (1) 提案公募型研究

技術開発の要素が大きい経済産業省や文部科学省などの提案公募型事業へ積極的に応募し、採択を目指すとともに、採択された研究を確実に実施する。

未利用外部資金の調査を行い、申請可能なものを抽出して積極的に申請する。

##### (2) 地域結集型研究

第二期に完了した製品化研究に基づき、これまでに得られた研究成果の事業化を推進する。

#### 1-4 ロボット産業活性化事業

今後の少子高齢化対策並びに生活の質の向上対策として期待されているロボット産業の活性化事業を実施し、中小企業や大学との共同研究を通じた事業化・産業化を推進する。

公募型研究開発事業を推進し、ロボット技術の製品化・事業化を促進する。

#### 1-5 生活関連産業の支援

生活関連産業の付加価値向上を目的とした技術支援サービスを拡充するため、人間の特性や感性に考慮した生活支援製品の開発を実施する。

### 2 中小企業の製品・技術開発、新事業展開を支える技術支援

#### 2-1 技術的課題の解決のための支援

##### (1) 技術相談

中小企業等に対し、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図る。

お客様への確かな技術相談を提供するため、本部の実施体制を継続する。

総合支援窓口の取組みにより、料金収納及び成績証明書の発行窓口の統合や複数技術分野にまたがる相談への一括対応などサービス機能の総合化を継続する。

幅広い技術相談ニーズに的確に対応するため専門相談員を設置し、中小企業の技術開発を支援する。

ものづくりに関連するサービス産業等の技術分野の相談について積極的に対応する。

中小企業の現場での支援が必要な場合は、職員や専門家を現地に派遣する実地技術支援を実施する。

都産技研の保有していない技術については、他の試験研究機関や大学、専門知識を有する外部専門家を活用して課題の解決を図り、利用者の要望に応える。

協定締結機関と連携した技術相談体制を継続および拡充する。

震災による電力不足に対応するため、都内および被災地中小企業の節電や省エネルギーに関する技術相談や実地技術支援を継続実施する。

##### (2) 依頼試験

製品等の品質・性能の評価や、事故原因究明など中小企業の生産活動に伴う技術課題の解決を目的として、依頼試験を実施する。

導入した機器を活用し、高品質、高性能、高安全性など付加価値の高いものづくりを支援できるよう、依頼試験の充実を図る。

JIS 等に定めのない分析・評価など、お客様の個別の試験ニーズに対しては、オーダーメイド試験により柔軟に対応する。

首都圏公設試験研究機関連携体（以下、「TKF」という。）に参加している近隣の公設試験研究機関と連携した試験実施体制を継続する。

本部において、電気、温度、長さの3分野についての計量法認定事業者（JCSS）として試験業務を継続実施する。

多摩テクノプラザ EMC サイトにおいて、EMC 分野の試験所認定事業者（VLAC）として試験業務を

継続実施する。

本部において、照明分野の試験所認定事業者（JNLA）として試験業務を継続実施する。また、鉄鋼分野の試験所認定事業者（JNLA）として試験業務を継続実施する。

都産技研の特徴的な技術分野である非破壊検査、照明、音響、高電圧、ガラス技術、環境・防かび、放射線技術、高速通信、めっき・塗装複合試験、光学特性計測技術分野において、試験精度の向上や試験範囲の拡充など一層高品質なサービスを実施する。

中小企業ニーズ及び最新の技術動向等に基づき、試験・研究設備及び機器の導入・更新を実施する。

公的試験研究機関としての信頼の維持向上を図るため、機器の保守・更新、校正管理をより適切に行う。

震災による電力不足に対応するため、中小企業の省エネルギー、高効率化に関する製品開発を促進する依頼試験を継続実施する。

原子力発電所の事故に伴い、工業製品等の放射線量測定試験を継続実施する。

## 2-2 製品開発、品質評価のための支援

### (1) 機器利用サービスの提供

中小企業では導入が困難な測定機器や分析機器を整備し、中小企業における新製品・新技術開発のために機器利用のサービスを提供する。

機器の操作方法のアドバイスや、測定データの説明、課題解決のための的確な指導・助言を行う。

高度な先端機器は利用方法習得セミナーを開催して、機器利用ライセンス制度により利用可能な機器を拡張する。

都産技研ホームページを活用し、機器利用可能情報の提供を継続する。また、インターネット経由での予約申し込み受付の対象機器を拡大する。

城東支所においては小規模事業者等の新たなものづくりを支援し、墨田支所においてはサービス産業等への技術支援サービスを継続し、城南支所においては先端ものづくり産業支援を継続するなど、地域の特徴を活かす支援を実施する。

### (2) 高付加価値製品の開発支援

アディティブマニファクチャリング設備による試作・製作支援、三次元 CAD データ作成等のデジタルエンジニアリング支援を行うため、本部の「3D ものづくりセクター」を拠点とし、3D 技術やリバーエンジニアリングを活用した製品開発を総合的に支援する。

機能性材料、環境対応製品など先端材料製品の開発に用いる高度先端機器を集中配置した本部の「先端材料開発セクター」を拠点とし、中小企業による高度な研究開発や技術課題の解決を支援する。

産業用繊維や炭素繊維などの複合素材の開発を支援する多摩テクノプラザの「複合素材開発セクター」を拠点とし、成長産業へ参入を希望する中小企業の支援を行う。

中小企業が自社製品を開発する際の上流工程の技術課題解決に対応するため、オーダーメイド開発支援を継続する。

新製品・新技術開発を目指す中小企業に対する支援施設として「製品開発支援ラボ」を本部に 19 室、多摩テクノプラザに 5 室を引き続き提供する。

共同研究企業が無料で利用可能な共同研究開発室を 3 室引き続き提供し、迅速な製品の開発を促進する。

製品開発支援ラボと共同研究開発室の入居者による製品化・事業化を支援するため、共同利用の試作加工室を提供するとともに、技術経営相談などにも幅広く対応できる人材を配置する。

### (3)製品の品質評価支援

本部において、「実証試験セクター」を活用し、中小企業の安全で信頼性の高い製品開発を支援するために、技術相談、依頼試験、機器利用をワンストップで効率的に技術支援する。

特に、温湿度、機械、電気試験分野において、各種規格に対応した質の高い試験を継続させる。

## 2-3 新事業展開、新分野開拓のための支援

### (1)技術経営への支援

公益財団法人東京都中小企業振興公社（以下、「中小企業振興公社」という。）の経営支援部門等他の機関との連携を活用して、新事業分野への展開を図るとともに、セミナーの開催や企業への実地技術支援等を行う。

研究の成果として得た新技術に関して知的財産の出願に努めるとともに、使用許諾を推進し中小企業支援に活用する。

### (2)技術審査への貢献

東京都や自治体、経営支援機関等が実施する中小企業等への助成や表彰などの際に行われる技術審査に積極的に協力する。

審査・評価の公平かつ中立な実施と、精度の維持向上を図るため、最新の技術情報の収集・研究や研修等の実施により審査スキルの向上に努める。

技術審査事業を通じた産業振興への貢献度把握を継続する。

## 2-4 中小企業の海外展開を支える技術支援

### (1)国際規格対応への支援

広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）を支援拠点として、中小企業が製品輸出や海外進出を行う際に必要な国際規格への適合性などの技術情報を提供する。

海外展開を目指す中小企業を支援するため、輸出製品に関する相談体制や情報提供を拡充するとともに、海外取引に関する技術セミナーを開催する。

中小企業の海外展開等で必要となる国際規格に対応した試験により、航空機産業をはじめとする都内中小企業の海外展開支援を進める。

### (2)海外支援拠点による支援

タイ王国に開設したバンコク支所で海外進出した企業への現地技術支援事業を実施する。

海外の現地情報を都内中小企業へ情報提供し、海外展開支援を実施する。

## 3 多様な主体による連携の推進

### 3-1 産学公金連携による支援

本部において、産学公連携の拠点となる「東京イノベーションハブ」を活用し、中小企業と大学、学協会、研究機関等との連携を促進するセミナーや交流会、展示会を開催する。

公立大学法人首都大学東京（以下、「首都大学東京」という。）など豊富な技術シーズを有する大学や研究機関と中小企業とのマッチングの場を提供する。

企業同士の連携に意欲のある企業に対して、異業種交流会を1グループ立ち上げるとともに、既存グループの活動支援を実施する。

業界団体との業種別交流会を開催し、研究成果や新技術等の情報提供及び技術ニーズの収集を行う。

中小企業の技術者等で構成する技術研究会を通じて、共同で技術的課題の解決を図る。

### 3-2 行政及び他の支援機関との連携による支援

区市町村との連携強化に努め、地域における産業振興の取組みに貢献するとともに都産技研の利用促進を図る。

首都圏の公設試験研究機関が相互に連携・補完して広域的に中小企業の支援を実施している TKF の活動を継続することにより、広域的なワンストップサービスを確保し、中小企業への技術支援の充実を図る。

都産技研を利用した中小企業において、製品化や事業化の際に生じる開発資金の調達、販路の開拓などが円滑に進められるよう、中小企業振興公社等の経営支援機関と連携した事業を実施する。

東京都との「放射性物質等による災害時等対応に関する協定」に基づき、放射能測定試験を継続実施する。

## 4 東京の産業を支える産業人材の育成

### 4-1 技術者の育成

新技術、産業動向、国際化対応などに関するセミナーや実践に役立つ講習会の開催により、中小企業の新製品・新サービスの創出を担う人材育成を進めるとともに、整備した機器を活用し、研究開発や製造技術の高度化を担う中小企業の産業人材の育成を支援する。

### 4-2 関係機関との連携による人材育成

首都大学東京をはじめとする大学、学術団体、業界団体、行政機関等が実施している産業人材育成の取組みに対して、職員の講師派遣、インターンシップによる学生の受入れなどで積極的に協力する。

サービス業や卸売業・小売業の従事者向けにおいても、都産技研の設備や人材を活かした実践的なセミナーを実施する。

個別企業や業界団体等の人材育成ニーズに対して、希望に対応したカリキュラムを編成するオーダーメイドセミナーを実施し、人材育成ニーズにきめ細かく対応する。

### 4-3 海外展開に必要なグローバル人材の育成

中小企業が海外へ事業を展開する際には現地の経営環境や市場動向に詳しい人材の育成が必要であることを踏まえ、金融機関などの連携締結機関の情報や他の産業支援機関を活用した実践的なセミナーを試行する。

## 5 情報発信・情報提供の推進

### 5-1 情報発信

東京都、区市町村、中小企業振興公社、商工会議所、商工会などの支援機関等が実施する講演会、イベント・展示会への参加を通じ、都産技研の事業を積極的にPRし利用拡大につなげる。

都産技研が開催する研究発表会と、首都大学東京やTKF参加の各公設試験研究機関等が行う研究発表会の中で、相互に発表者を派遣し合うなど、多様な連携により研究機関が保有する技術シーズや研究成果を広く中小企業に発信する。

### 5-2 情報提供

研究開発の成果や最近の技術動向等に関する情報など、中小企業の製品開発や生産活動に役立つ情報をインターネットや技術情報誌等の広報媒体により速やかに提供する。

本部の公開図書室を活用し、中小企業に役立つ技術資料等を公開する。

#### 業務運営の改善及び効率化に関する事項

#### 1 組織体制及び運営

##### 1-1 機動性の高い組織体制の確保

事業動向等を踏まえ組織の見直しを継続的に実施し、各事業の効率的な執行体制を確保する。

既存組織体制にとらわれず、適時プロジェクトチームを設置するなど、ニーズに柔軟に対応する。

##### 1-2 適正な組織運営の確保

事業別のセグメント管理を活用することにより、各事業において投入した経営資源と事業効果の検証を継続する。

都内中小企業に対して高品質な技術支援サービスを安定かつ継続的に提供する適切な組織運営を継続する。

##### 1-3 職員の確保・育成

大学訪問などの積極的なリクルート活動により、優秀な技術職員を計画的に採用する。

地方独立行政法人の機動的で柔軟な組織運営に必要な事務職員について、計画的に確保する。

公平な業績評価とその昇給等への適切な反映により、職員一人ひとりのモチベーションを高めるとともにそのレベルアップを進め、組織運営の効率化や、技術支援及び研究開発の水準の向上を図る。

中小企業の国際化を適切に支援していくため、職員の海外での学会参加による情報収集など国際規格の相談に対応できる職員の育成を継続する。

##### 1-4 情報システム化の推進・情報セキュリティ対策の徹底

ネットワークやインターネット、人事・庶務システムなどの都産技研の業務運営に欠かせない情報システム基盤を活用し、情報システムの利便性向上、業務の効率化、セキュリティの向上等を図る。

テレビ会議システムによる遠隔相談など情報システムを活用した利便性の向上に努める。

海外展開を支援する海外支所とのネットワーク化を推進し、利便性及びセキュリティの向上を図る。

## 2 業務運営の効率化と経費節減

### 2-1 業務改革の推進

お客様へのサービスの向上、業務の効率化、経費の削減等を目的として、組織と職員からの提案により、業務内容や処理手続きの見直等の業務改革を推進し、外部機関の活用も含め高い経営品質の実現や利用者満足度の向上を目指す。

### 2-2 財政運営の効率化

標準運営費交付金（プロジェクト的経費を除く。）を充当して行う業務については、中小企業ニーズの低下した業務の見直しや複数年契約の推進による効率化を進める。

#### 財務内容の改善に関する事項

##### 1 資産の適正な管理運用

安全かつ効率的な資金運用管理を推進し、建物、施設については、計画的な維持管理を行うとともに、設備機器については校正・保守・点検を的確に行うことにより国内規格や国際規格に適合する測定等が確実に実施できるよう管理運用する。

##### 2 剰余金の適切な活用

的確な経営判断を行い、新しい事業の開始、研究開発の推進、設備の更新・導入などにより、都内中小企業に提供するサービス水準の向上を図るとともに、事業実績や成果の向上につながるよう、剰余金を有効に活用する。

予算（人件費の見積りを含む。）収支計画及び資金計画  
別紙

#### 短期借入金の限度額

##### 1 短期借入金の限度額

15 億円

##### 2 想定される理由

運営費交付金の受入れ遅滞及び予見できなかった不測の事態の発生等により、緊急に借入れの必要が生じることが想定される。

重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画  
なし

#### 剰余金及び積立金の使途

##### 1 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

## 2 積立金の使途

前期中期目標期間の最終年度において地方独立行政法人法第40条第1項又は第2項の処理を行ってなお積立金があるときは、その額に相当する金額のうち設立団体の長の承認を受けた金額について、中期計画の剰余金の使途に規定されている、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保又は施設・設備の整備及び改善に充てる。

### その他業務運営に関する重要事項

#### 1 施設・設備の整備と活用

業務の確実な実施と機能向上のための施設・設備の整備を計画的に実施する。

実施に当たっては、東京都からの施設整備補助金等の財源を適切に確保し、策定する長期保全計画に基づき総合的・長期的観点に立った整備・更新を行う。

#### 2 危機管理対策の推進

第一期中に策定した「リスクマネジメントに関する基本方針」に基づき、内部危機管理体制の整備を継続する。

個人情報や企業情報、また製品開発等の職務上知り得た秘密については、適正な取扱いと確実な漏洩防止のために、全職員の受講を必須とする研修を実施する。

環境保全や規制物質管理、労働安全衛生に関する法令を遵守し、危険物、毒劇物の管理と取扱い、災害に対する管理体制を確保するとともに、防災訓練等の実施や職員に対する意識向上のための研修を実施する。

震災の発生や新興感染症の流行などに備え、対応策を定めるとともに、万が一発生した場合には、被害拡大の防止に向けた対策を実施する。

緊急事態の発生を想定し、対策委員会の設置、緊急連絡網の設定、通報訓練の実施等をまとめたマニュアルを活用し、迅速な情報伝達・意思決定に向けた管理体制を継続する。

## 3 社会的責任

### 3-1 情報公開

公共性を有する法人として、運営状況の一層の透明性を確保するため、都産技研ホームページや刊行物の発行等により経営情報の公開に取り組む。

事業内容や事業運営状況に関する情報開示請求については、規則に基づき迅速かつ適正に対応する。

### 3-2 環境への配慮

法人の社会的責任を踏まえ、省エネルギー対策の推進、CO2削減等、「環境方針」に沿った取組みにより環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営を行う。

### 3-3 法人倫理

都民から高い信頼性を得られるよう、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター憲章」等を踏まえ、法令遵守を徹底するとともに、職務執行に対する中立性と公平性を確保しつつ、高い倫理観を持って業務を行う。

## 予算（人件費の見積を含む） 収支計画および資金計画

## 1. 予算

## 平成 29 年度 予算

（単位：百万円）

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	6,317
施設整備費補助金	10
自己収入	1,239
事業収入	703
補助金収入	60
外部資金研究費等	100
その他収入	376
積立金取崩	265
計	7,832
支出	
業務費	5,747
試験研究経費	1,810
外部資金研究経費等	100
東京緊急対策	12
ロボット産業活性化	800
役職員人件費	3,024
一般管理費	2,085
計	7,832

## [人件費の見積]

平成 29 年度は、2,940 百万円支出する。（退職手当は除く。）

金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 2. 収支計画

## 平成29年度 収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	7,875
經常費用	7,875
業務費	4,852
試験研究経費	1,025
外部資金研究経費等	100
役職員人件費	3,024
東京緊急対策	12
ロボット産業活性化	690
一般管理費	1,790
減価償却費	1,233
収入の部	7,875
經常収益	7,875
運営費交付金収益	5,453
事業収益	703
外部資金研究費等収益	100
補助金収益	10
その他収益	376
資産見返運営費交付金等戻入	1,188
資産見返補助金等戻入	41
資産見返物品受贈額戻入	0
資産見返寄付金等戻入	4
純利益	0
総利益	0

金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 3. 資金計画

## 平成 29 年度 資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	7,832
業務活動による支出	6,642
投資活動による支出	1,190
資金収入	7,567
業務活動による収入	7,567
運営費交付金による収入	6,317
事業収入	703
外部資金研究費等による収入	100
補助金等による収入	70
その他の収入	376
前期中期目標期間よりの繰越金	0

金額については見込みであり、今後、変更する可能性がある。

## 9 職員名簿

理事長	奥村 次徳	技術経営支援室	
理事	長谷川 裕夫	室長	山田 一徳
理事	鈴木 雅洋	技術振興係	
監事	宮内 忍	係長	宇井 剛
		副主任研究員(ワイド)	榎本 博司
経営企画部		研究員(ワイド)	小林 敏信
部長	近藤 幹也	相談支援係	
経営企画室		係長	菅谷 紘子
室長	小林 丈士	副主任研究員	植松 卓彦
上席研究員	大久保 一宏	研究員(ワイド)	本阿彌 忠彦
主任研究員	清水 綾	研究員(ワイド)	鈴木 隆司
副主任研究員	山中 寿行	研究員(ワイド)	西野 義典
副主任	梅津 晴香	研究員(ワイド)	嶋 明
経営情報室		国際化推進室	
室長(兼務)	近藤 幹也	室長(兼務)	片桐 正博
情報システム係		輸出製品技術支援センター	
副主任研究員	北原 枢	センター長	城 照彰
副主任研究員	近藤 崇	副主任	仁田 千鶴
副主任研究員	志水 匠	副主任研究員	萩原 利哉
研究員	坂井 哲也	研究員(ワイド)(兼務)	井原 房雄
広報室		バンコク支所	
室長	木村 千明	支所長	阿保 友二郎
広報係		主任研究員	浦崎 香織里
副主任研究員	池田 紗織	主任研究員(ワイド)	須間 賢二
主事	原田 英彦	プロジェクト事業推進部	
主事	淡路 和江	部長	瓦田 研介
技術経営支援部		特命担当部長	櫻井 政考
部長	片桐 正博	プロジェクト企画室	
交流連携室		室長	竹内 由美子
室長	長坂 浩志	企画調整係	
上席研究員	内田 聡	係長	高崎 英承
産業交流係		副主任研究員	長尾 梨紗
係長	中村 広隆	副主任研究員(ワイド)(兼務)	久慈 俊夫
副主任研究員	中川 朋恵	副主任	高橋 千秋
副主任研究員	許 琛	副主任	入川 涼
研究員(ワイド)	沼田 邦雄	プロジェクト事業化推進室	
技術管理係		室長	倉持 昌尚
係長	水野 裕正	主任研究員	佐藤 研
研究員(ワイド)	岡野 宏	主任研究員	益田 俊樹
研究員(ワイド)	斎藤 正明	副主任研究員	小林 祐介
研究員(ワイド)	島田 勝広	副主任研究員	森田 裕介
		研究員	村上 真之
		プロジェクト事業技術員	吉村 僚太
		プロジェクト事業技術員	松本 正雄
		プロジェクト事業技術員	大泉 悟
		プロジェクト事業技術員	佐藤 宏
		プロジェクト事業技術員	鈴木 薫
		プロジェクト事業技術員	木村 正二郎
		ロボット開発セクター	
		セクター長	武田 有志
		上席研究員(ワイド)	坂下 和広
		副主任研究員	佐々木 智典
		研究員	中村 佳雅
		プロジェクト事業技術員	渡辺 公一

IoT開発セクター

セクター長(兼務) 櫻井 政考  
 主任研究員 大原 衛  
 主任研究員 中川 善継  
 主任研究員(兼務) 大平 倫宏  
 主任研究員(兼務) 金田 泰昌  
 主任研究員(兼務) 阿部 真也  
 主任研究員(兼務) 岡部 忠  
 副主任研究員 仲村 将司  
 副主任研究員 横田 浩之  
 副主任研究員(兼務) 富山 真一  
 主事 富岡 愛  
 プロジェクト事業技術員 浮谷 俊一  
 プロジェクト事業技術員 綾部 豊樹  
 プロジェクト事業技術員 浜口 忠彦  
 プロジェクト事業技術員 佐藤 樹

開発本部

本部長(兼務) 長谷川 裕夫  
 主席研究員 中村 優

開発企画室

室長(兼務) 中村 優  
 主任研究員 堀江 暁  
 副主任研究員(ワイド) 朝倉 守

開発企画係

係長 中田 修  
 副主任研究員 田熊 保彦  
 副主任 和田 雅明  
 主事 渡辺 彩

開発第一部

部長 三尾 淳

電気電子技術グループ

グループ長 上野 武司  
 主任研究員 重松 宏志  
 主任研究員 藤原 康平  
 副主任研究員 豊島 克久  
 副主任研究員 黒澤 大樹  
 副主任研究員 時田 幸一  
 副主任研究員 西澤 裕輔  
 副主任研究員(兼務) 近藤 崇  
 副主任研究員 小宮 一毅  
 副主任研究員 新井 宏章  
 副主任研究員 山岡 英彦  
 副主任研究員 太田 優一  
 副主任研究員 渡部 雄太  
 副主任研究員(ワイド) 三上 和正  
 研究員 須藤 翼  
 研究員 永田 晃基  
 研究員 宮下 惟人  
 研究員 武内 陽子  
 研究員(ワイド) 梶ヶ谷 正美

機械技術グループ

グループ長 青沼 昌幸  
 主任研究員 福田 良司  
 主任研究員 中村 健太  
 副主任研究員 中村 勲  
 副主任研究員 小西 毅  
 副主任研究員 岩岡 拓  
 副主任研究員 西村 信司  
 副主任研究員 岩田 雄介  
 副主任研究員 奥出 裕亮  
 副主任研究員(ワイド) 伊藤 清  
 研究員 猿渡 直洋  
 研究員 齋藤 庸賀  
 研究員 國枝 泰博

光音技術グループ

グループ長 岩永 敏秀  
 主任研究員 服部 遊  
 主任研究員 海老澤 瑞枝  
 副主任研究員 渡辺 茂幸  
 副主任研究員 西沢 啓子  
 副主任研究員 澁谷 孝幸  
 副主任研究員 磯田 和貴  
 副主任研究員 宮入 徹  
 研究員 秋葉 拓也  
 研究員 平 健吾  
 研究員(ワイド) 神田 浩一

開発第二部

部長 樋口 明久

表面・化学技術グループ

グループ長 水元 和成  
 主任研究員 川口 雅弘  
 主任研究員 寺西 義一  
 主任研究員 竹村 昌太  
 主任研究員 安田 健  
 主任研究員 村井 まどか  
 副主任研究員 樋口 智寛  
 副主任研究員 木下 健司  
 副主任研究員 菊池 有加  
 副主任研究員 徳田 祐樹  
 副主任研究員 桑原 聡士  
 研究員 西田 葵  
 研究員 佐野 森  
 研究員 石田 祐也  
 研究員(ワイド) 篠田 勉  
 研究員(ワイド) 佐熊 範和  
 研究員(ワイド) 土井 正

環境技術グループ

グループ長 飯田 孝彦  
 主任研究員 陸井 史子  
 主任研究員 中澤 亮二  
 主任研究員 小沼 ルミ  
 副主任研究員 増田 優子  
 副主任研究員 濱野 智子  
 副主任研究員 平井 和彦  
 副主任研究員 吉野 徹  
 副主任研究員(ワイド) 小坂 幸夫  
 研究員 井上 研一郎  
 研究員 森久保 諭  
 研究員 宮宅 ゆみ子  
 研究員 亀崎 悠  
 研究員 榎本 大佑  
 研究員 小林 真大  
 研究員(ワイド) 上部 隆男

バイオ応用技術グループ

グループ長 櫻井 昇  
 主任研究員 中川 清子  
 主任研究員 紋川 亮  
 主任研究員 柚木 俊二  
 主任研究員 八谷 如美  
 主任研究員 大藪 淑美  
 主任研究員 月精 智子  
 副主任研究員 河原 大吾  
 副主任研究員 藤井 恭子  
 副主任研究員 永川 栄泰  
 副主任研究員 畑山 博哉  
 副主任研究員(ワイド) 関口 正之  
 研究員 瀧本 悠貴  
 研究員 片岡 憲昭  
 研究員 成田 武文  
 研究員 木下 真梨子  
 研究員(ワイド) 外立 貴宏  
 研究員(ワイド)(兼務) 武藤 利雄

開発第三部

部長 大泉 幸乃

情報技術グループ

グループ長 入月 康晴  
 主任研究員 大平 倫宏  
 主任研究員 金田 泰昌  
 主任研究員 阿部 真也  
 主任研究員 岡部 忠  
 副主任研究員 富山 真一  
 研究員 村上 知里  
 研究員 三木 大輔  
 研究員 吉次 なぎ

デザイン技術グループ

グループ長(兼務) 大泉 幸乃  
 主任研究員 加藤 貴司  
 副主任研究員 酒井 日出子  
 副主任研究員(ワイド) 平山 明浩  
 研究員 森 豊史  
 研究員 角坂 麗子  
 研究員 橋本 みゆき  
 研究員(ワイド) 中田 恵子  
 研究員(ワイド) 小池 真生

生活技術開発セクター

セクター長 山口 美佐子  
 主任研究員 添田 心  
 主任研究員 島田 茂伸  
 主任研究員 飛澤 泰樹  
 副主任研究員 山田 巧  
 副主任研究員 山口 隆志  
 副主任研究員 佐々木 直里  
 副主任研究員 後濱 龍太  
 研究員 大島 浩幸  
 研究員(ワイド) 古田 博一

事業化支援本部

本部長(兼務) 鈴木 雅洋

技術開発支援部

部長 木下 稔夫

3Dものづくりセクター

セクター長(兼務) 木下 稔夫  
 主任研究員 横山 幸雄  
 主任研究員 中西 正一  
 主任研究員 山内 友貴  
 副主任研究員 中村 弘史  
 副主任研究員 藤巻 研吾  
 研究員 小林 隆一  
 研究員 村上 祐一  
 研究員 古杉 美幸  
 研究員 千葉 浩行  
 研究員 大久保 智  
 研究員 三浦 由佳

平成29年度 年報

先端材料開発セクター

セクター長 清水 研一  
 主任研究員 森河 和雄  
 主任研究員 柳 捷凡  
 主任研究員 渡邊 禎之  
 主任研究員 染川 正一  
 副主任研究員 藤巻 康人  
 副主任研究員 渡辺 洋人  
 副主任研究員 林 孝星  
 研究員 立花 直樹  
 研究員 小林 宏輝  
 研究員 小汲 佳祐  
 研究員 小川 大輔  
 研究員 並木 宏允  
 研究員(ワイド)(兼務) 佐熊 範和

実証試験セクター

セクター長(兼務) 木下 稔夫  
 主任研究員 佐々木 正史  
 主任研究員 松原 独歩  
 主任研究員(ワイド) 山本 哲雄  
 副主任研究員 小船 諭史  
 副主任研究員 田中 真美  
 副主任研究員 倉持 幸佑  
 研究員 新垣 翔  
 研究員 林 夢愛子  
 研究員(ワイド) 森口 正夫  
 研究員(ワイド) 大久保 富彦  
 研究員(ワイド) 石井 清一

品質保証推進センター

センター長 沼尻 治彦  
 主任研究員(兼務) 中西 正一  
 主任研究員(兼務) 佐々木 正史  
 主任研究員(兼務) 松原 独歩  
 副主任研究員(兼務) 中村 弘史  
 副主任研究員(兼務) 小船 諭史  
 副主任研究員(兼務) 澁谷 孝幸  
 副主任研究員(兼務) 倉持 幸佑  
 研究員(兼務) 新垣 翔  
 研究員(兼務) 秋葉 拓也  
 研究員(兼務) 三浦 由佳  
 研究員(ワイド)(兼務) 森口 正夫

地域技術支援部

部長(兼務) 鈴木 雅洋

城東支所

支所長 上野 博志  
 管理係 係長 中村 孝  
 技術支援係 係長 櫻庭 健一郎  
 主任研究員 小野澤 明良  
 主任研究員(ワイド) 山本 克美  
 副主任研究員 小金井 誠司  
 副主任研究員 木暮 尊志  
 副主任研究員 安藤 恵理  
 副主任研究員 上野 明也  
 副主任研究員(ワイド) 中島 敏晴  
 副主任研究員(ワイド) 秋山 正

墨田支所

支所長(兼務) 山口 美佐子  
 管理係 主事 高木 徹也

城南支所

支所長 田中 実  
 管理係 係長 石上 知子  
 副主任 山本 大輔  
 技術支援係 係長 玉置 賢次  
 主任研究員 梶山 哲人  
 主任研究員 林 英男  
 副主任研究員 湯川 泰之  
 副主任研究員 樋口 英一  
 副主任研究員 平野 康之  
 副主任研究員 竹澤 勉  
 副主任研究員 山田 健太郎  
 副主任研究員 井上 潤  
 副主任研究員 石堂 均

多摩テクノプラザ

所長 澤近 洋史

総合支援課

課長 荒川 豊  
 管理係 係長 茂木 一也  
 副主任 金子 真由美  
 主事(ワイド) 清水 美代子  
 主事(ワイド) 井上 寛也

連携支援係

係長 藤田 薫子  
 副主任研究員(ワイド) 薬師寺 千尋  
 副主任研究員(ワイド) 小山 元子  
 研究員 山本 清志  
 主事(ワイド) 小林 文雄  
 研究員(ワイド) 小山 秀美

電子・機械グループ

グループ長(兼務) 澤近 洋史  
 主任研究員 五十嵐 美穂子  
 主任研究員 大西 徹  
 主任研究員 西川 康博  
 副主任研究員 長谷川 孝  
 副主任研究員 高松 聡裕  
 副主任研究員 高橋 文緒  
 副主任研究員 佐野 宏靖  
 副主任研究員 鈴木 悠矢  
 副主任研究員 高橋 俊也  
 副主任研究員 佐々木 秀勝  
 副主任研究員(ワイド) 久慈 俊夫  
 研究員 福田 純子  
 研究員 秋山 美郷  
 研究員 小畑 輝  
 研究員(ワイド) 大森 学  
 研究員(ワイド) 井原 房雄

複合素材開発セクター		環境安全管理室	
セクター長	谷口 昌平	室長	足立 孝
主任研究員	小柴 多佳子	上席研究員(兼務)	櫻井 昇
主任研究員	渡部 友太郎	担当係長	渡邊 正俊
主任研究員	榎本 一郎	施設係	
主任研究員	峯 英一	係長	近藤 好信
主任研究員	窪寺 健吾	主任	星野 滋記
主任研究員(ワイド)	伊東 洋一	主事	市川 崇
副主任研究員	杉森 博和	研究員(ワイド)	武藤 利雄
副主任研究員	岡田 明子	主事(ワイド)	高田 彬宏
副主任研究員	唐木 由佑	主事(ワイド)	鈴木 光由
副主任研究員	武田 浩司	主事(ワイド)	北原 喜敏
研究員	渡辺 世利子	顧問	原田 晃
研究員(ワイド)	仁平 宣弘		
研究員(ワイド)	棚木 敏幸		
研究員(ワイド)	山本 悦子		
研究員(ワイド)	中島 茂		
研究員(ワイド)	池田 善光		
研究員(ワイド)	岩崎 謙次		
総務部			
部長	新田 裕人		
総務課			
課長	伊藤 健悟		
庶務係			
係長	佐藤 達哉		
副主任	細井 武人		
主事	小此木 瑛介		
人事給与係			
係長	宮崎 律子		
副主任	時岡 裕美		
副主任	佐藤 岳		
副主任	菅原 信恵		
主事(兼務)	井上 崇		
主事	木邑 真也		
調整係			
係長	直井 亮介		
主事	神野 裕太		
財務会計課			
課長(ワイド)	清水 一弥		
経理係			
係長	竹野 公		
副主任	市川 啓子		
副主任(兼務)	入川 涼		
主事	秦 由梨加		
主事	児山 由美子		
主事	大谷 広輝		
主事	金子 一		
主事	網野 智文		
出納係			
係長(ワイド)(兼務)	清水 一弥		
主任	衣笠 里美		
主事	井上 崇		

(ワイド)はワイドキャリアスタッフの略

平成30年3月31日現在

※本年報から転載する場合には、前もって都産技研に連絡の上、了承を得てください。  
本年報の内容は、ウェブサイトでも PDF ファイルをご覧ください。  
都産技研ウェブサイト： <http://www.iri-tokyo.jp/>

都産技 30-2

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
平成 29 年度 年報  
平成 30 年 6 月 29 日発行  
ISSN1882-157X

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター  
経営企画部 経営企画室  
〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10  
TEL 03-5530-2521  
FAX 03-5530-2536  
URL <http://www.iri-tokyo.jp>

印刷所 日経印刷株式会社  
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-15-5  
TEL 03-6758-1001  
FAX 03-3263-5814

平成29年度 年報  
平成30年6月



古紙配合率70%  
白色度70%の再生紙を使用しています

石油系溶剤を含まないインキを使用しています